《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

1. 工業簿記とは？

～商業簿記との違いや「原価」について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

工業簿記とは？

～商業簿記と工業簿記の違いについて～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

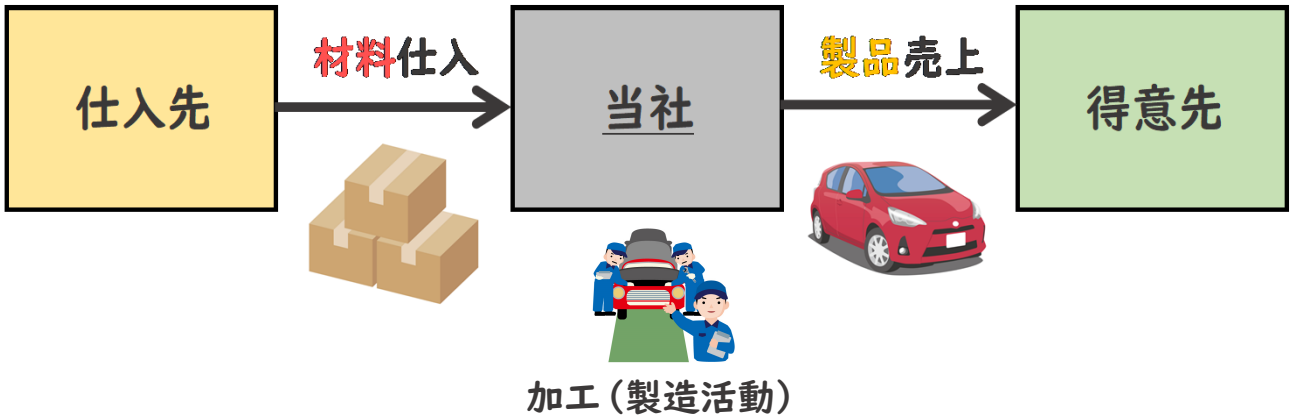
工業簿記とは？

〇日本で有名な製造業〇
トヨタ、日産、ソニー、パナソニック、サントリー、ブリジストン等…

＜商業簿記（　　）＞

・3級で学んできたもの
・仕入れた商品をそのまま売る
（加工することはない）
・商品…商売のための品物

＜工業簿記（　　）＞



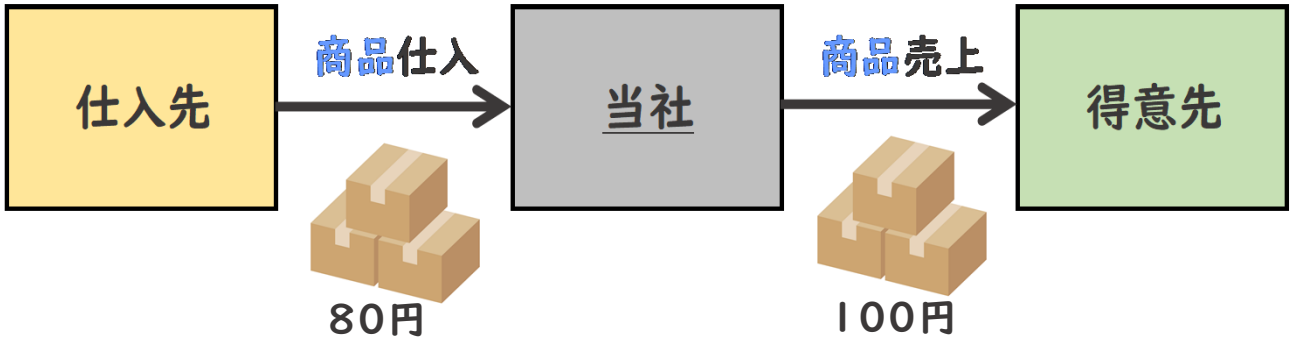
・2級で新たに学ぶ
・仕入れた材料を加工して売る
・製品…製造した品物

※「加工（製造活動）の記録」をするのが（商業簿記にはない）工業簿記の大きな特徴

工業簿記とは？

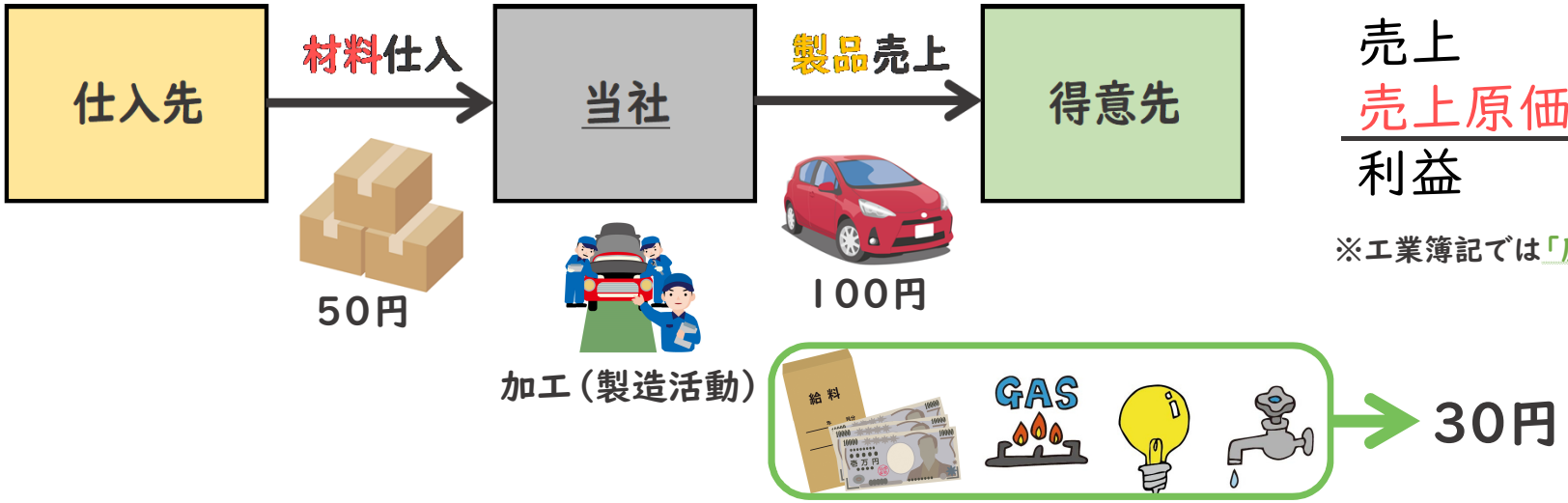
●用語●（　　）…製品を作るためにかかる費用
（　　）…製品の原価を計算すること

＜商業簿記（商品販売業）＞　原価計算の必要（　　）



売上	100 円
売上原価	80 円
利益	20 円

＜工業簿記（製造業）＞　原価計算の必要（　　）



売上	100 円
売上原価	80 円
利益	20 円

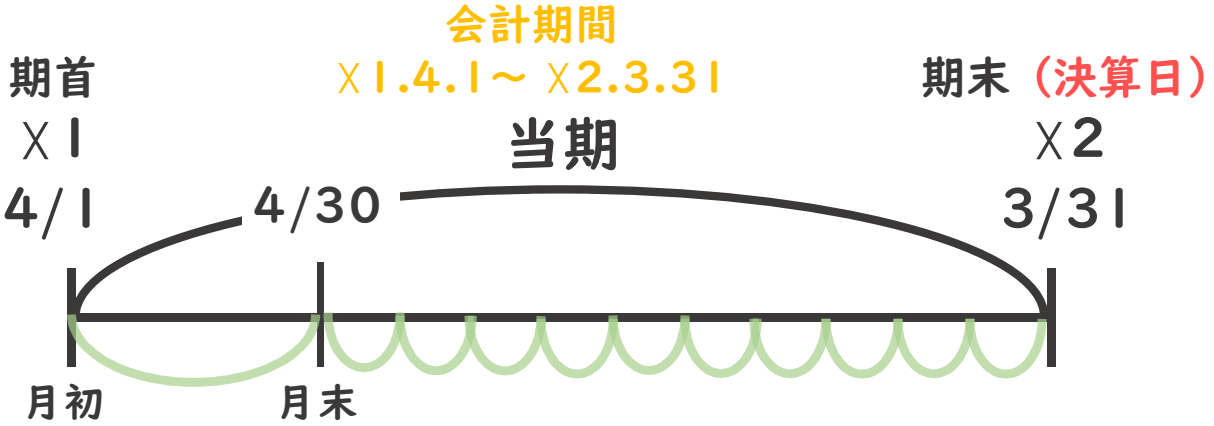
※工業簿記では「原価計算」を行う必要がある！

工業簿記とは？　～基本的な計算期間について～

●用語●
（　　）…月の初め
（　　）…月の終わり
（　　）…1ヶ月ごとに行う決算のこと
（　　）…年に1回行う決算のこと

＜商業簿記（商品販売業）＞

＜工業簿記（製造業）＞



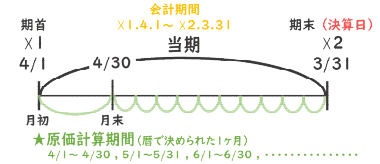
★（　　）（暦で決められた1ヶ月）
4/1～4/30，5/1～5/31，6/1～6/30，・・・・・・・・・・・・・・・

《1ヶ月ごとに決算（月次決算）を行うメリット》
・実際にかかった原価をいち早く把握できる
・原価の無駄の把握など、早めの対応ができる

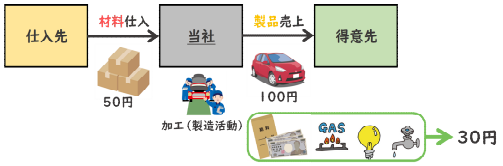
工業簿記とは？

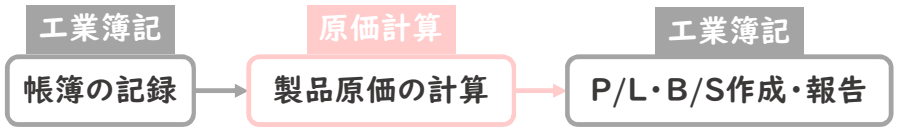
	商業簿記	工業簿記
対象となる業種		
売るもの		
加工の有無		
原価計算		
(基本的な) 計算期間	1年間(例:4/1~3/31) ➔(　　)	1ヶ月(例:7/1~7/31) ➔(　　)

<工業簿記(製造業)>



<工業簿記(製造業)> 原価計算の必要あり





●ポイント●

・工業簿記においても、商業簿記と同じくP/LやB/S等を作成して関係者への報告を行う(会計期間は同じ)

・ただし、工業簿記では1ヶ月単位である「原価計算期間」が重要視されるため、基本的な計算期間となる

・工業簿記(製造業)は、加工作業を行うため原価計算が欠かせない
(具体的には、(　　)を把握していく)

・工業簿記(帳簿の記録、報告)と原価計算(製品原価の計算)は切り離すことができない深い関係にある

工業簿記とは？

～原価の分類について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

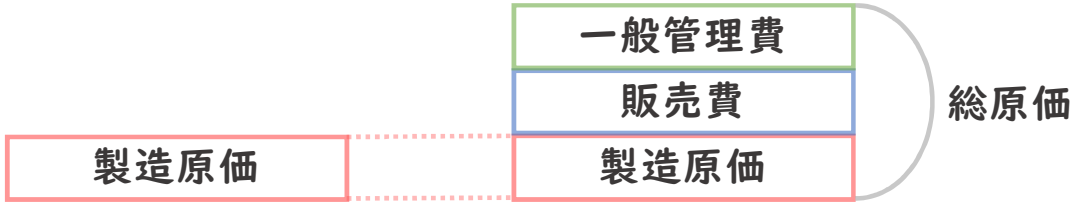
工業簿記とは？

・工業簿記でいう「原価」は、製造活動にかかる費用のみの（　　）をいう場合と、
（　　）・（　　）・（　　）の3つの原価に分類する
（　　）をいう場合がある。

・なお、総原価以外の費用は（　　）といい、これは原価計算には含めない。

・法人税　・借入金の利息など

原価の種類	意味	どこで発生するか？
	製品を作るためにかかる費用	
	製品を販売するためにかかる費用	
	会社全般の管理にかかる費用	



―問題解説―

～原価を分類してみよう～

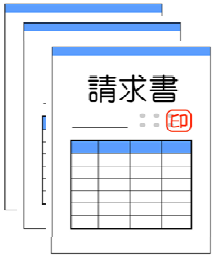
ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

工業簿記とは？

問題　**次の各項目を「製造原価」・「販売費」・「一般管理費」・「非減価項目」に分類しなさい。**

●用語●
（　　）…後日まとめて代金を回収する取引方法
（　　）…会社の取締役や監査役

No.	項目	分類
1	工場の従業員の給料	
2	工場の電気代	
3	営業所の従業員の給料	
4	本社の従業員の給料	
5	工場建物の減価償却費	
6	広告宣伝費	
7	工場の従業員の募集費	
8	営業所建物の減価償却費	
9	本社建物の減価償却費	
10	掛売集金費	
11	本社の役員の給料	
12	会社が支払う法人税	
13	借入金にかかる支払利息	
14	重役室費	
15	工場で発生した火災損失	



≪まとめ≫

- 工業簿記では、（　　）に関する簿記を学ぶ
- 工業簿記は、（　　）のが、大きな特徴である
- 工業簿記でいう原価は、（　　）もしくは（　　）のことである
- 総原価は、製造原価・販売費・一般管理費からなる
- 工業簿記では1ヶ月単位である（　　）が基本的な計算期間である

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第1回の内容お疲れさまでした♪

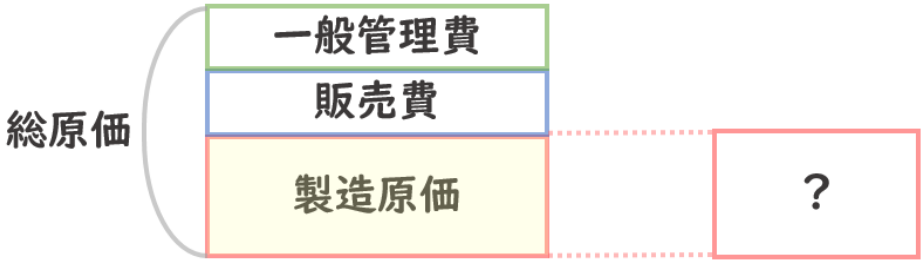
《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

2. 工業簿記の基礎

～製造原価の分類と原価計算の流れについて～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

～製造原価の分類について～



工業簿記の基礎　～製造原価の分類について～

＜形態別分類＞

・製造原価の形態別分類とは、「どのようなモノ（サービス）から発生した原価なのか」といった発生形態をもとに、（　　）・（　　）・（　　）の3つに分類する方法をいう。

材料費	製品を製造するために（　　）の金額
労務費	製品を製造するために（　　）の金額
経費	製品を製造するために（　　）の金額

＜【参考】機能別分類＞

・機能別分類とは、「どのような機能で使った原価なのか」といった使う目的まで加味して分類する方法をいう。

形態別分類	機能別分類
材料費	主要材料費、補助材料費、工場消耗品費など
労務費	賃金・給料・賞与など
経費	外注加工費、減価償却費、水道光熱費、修繕費など

○用語○
（　　）…表面的に見たままの形
（　　）…ものの働き
（　　）…（モノや労力、エネルギー等を）使ってなくすこと
（　　）…（製造に携わる）工員への給与
（　　）…（製造に携わらない人への）給与

工業簿記の基礎　～製造原価の分類について～

＜製品との関連による分類＞

・製造原価の「製品との関連による分類」とは、ある製品にいくらかかったかを明確か不明確かで分類する方法である。
・ある製品にいくらかかったかが明確な製造原価➔（　　）
・ある製品にいくらかかったかが不明確な製造原価➔（　　）

●ポイント●
・明確か不明確かというのは、特定の製品にいくらかかったかを紐づけできるかどうかで考える
（製品Aに100円・製品Bに200円・製品Cに300円など）
・紐づけできるものは「（　　）」、できないものは「（　　）」

工業簿記の基礎　～製造原価の分類について～

＜「形態別分類」と「製品との関連による分類」の関係＞

		製品との関連による分類	
		製造直接費	製造間接費
形態別分類	材料費		
	労務費		
	経費		

※なお、製造原価は「直接材料費」と「（　　）」の2つに分類する場合もある。

工業簿記の基礎

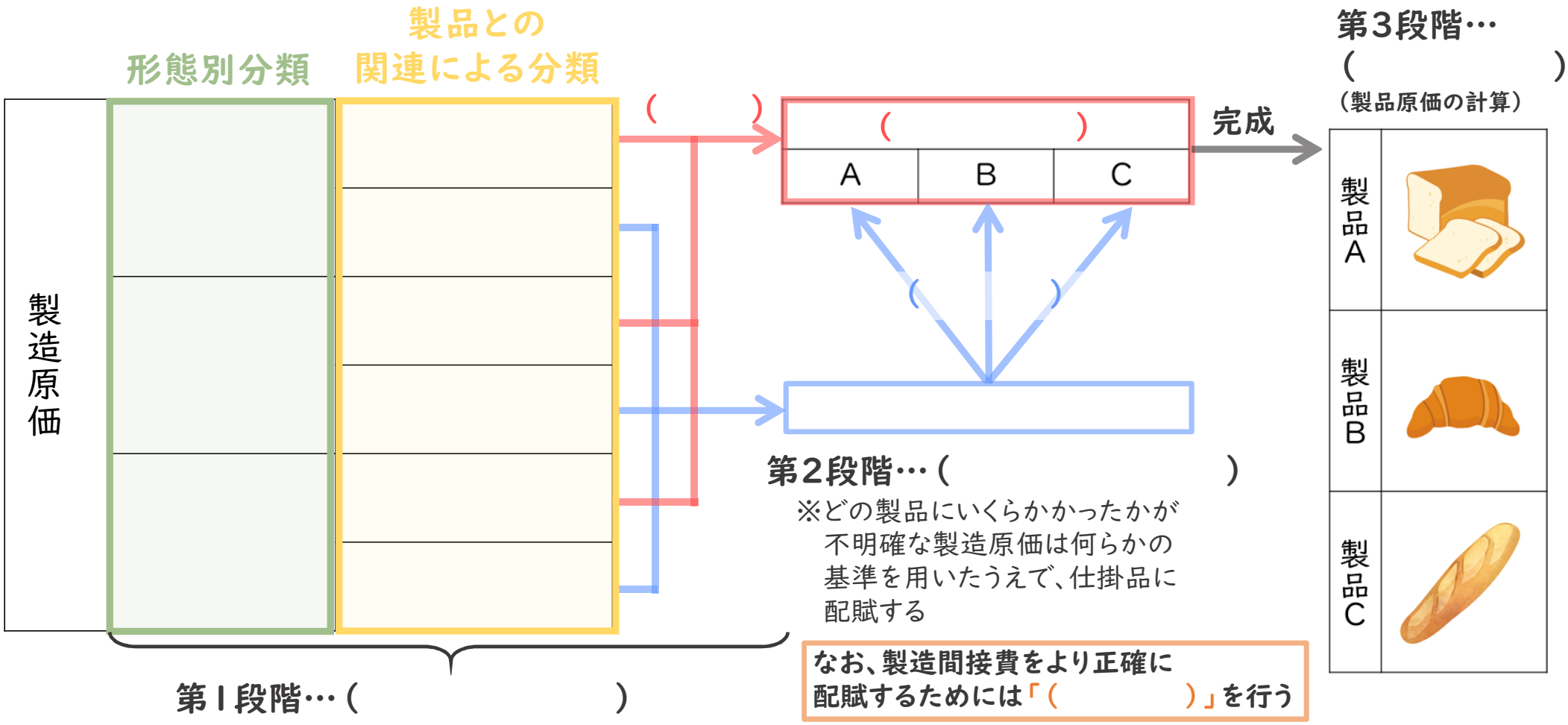
～原価計算の流れについて～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

工業簿記の基礎

＜原価計算の流れ（計算段階）＞

○用語○
費目…使い道で分けた費用の名目
（　　）…（加工途中の）未完成品
（　　）…直接、原価を割り当てること
（　　）…ある基準を用いて原価を割り当てること
部門…（工場の）組織における部署のこと（切削部門、組立部門など）



なお、製造間接費をより正確に配賦するためには「（　　）」を行う

工業簿記の基礎

○用語○
受注生産…顧客の注文を受けてから生産する形態（在庫を持たない）
見込生産…顧客の需要を予測してから見込みで生産する形態

＜第3段階…製品原価の計算方法について＞

・製品原価の計算方法は、製品の生産形態の違いにより、（　　）と（　　）の2つの方法がある。
・（　　）は、いわゆる「オーダーメイド」で、受注生産で製品の製造を行う業種（建設業・造船業など）で用いられる計算方法である。
・（　　）は、見込み生産で同じ規格の製品を大量に生産する業種（衣料品製造業など）で用いられる計算方法である。

○製造原価の分類○

	個別原価計算の場合	総合原価計算の場合
材料費	直接材料費	直接材料費
	間接材料費	加工費
労務費	直接労務費	
	間接労務費	
経費	直接経費	
	間接経費	

≪まとめ≫

- 形態別分類は、製造原価を（　　）に分類する
- 製品との関連による分類は、ある製品にいくら使ったかが明確な製造原価は（　　）、不明確な製造原価は（　　）に分類する
- 加工途中の未完成品は、（　　）という
- ある基準を用いて原価を割り当てることを、（　　）という
- 原価計算は3つの段階（費目別計算・製造間接費の配賦（部門別計算）・製品別計算）で行われる。

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第2回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

3. 材料費・労務費・経費の一連の流れ

～工業簿記の勘定連絡図を抑えよう！～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

～材料費・労務費・経費の仕訳～

＜材料費について＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

材料費・労務費・経費の一連の流れ

〇用語〇
（　　）…購入する材料そのものの本体価格
（　　）…購入する材料の実際の購入金額

・材料は、製品を製造するためのモノであり、その材料を消費したときに発生する原価を材料費という。
・材料を購入したときは、材料勘定を「借方」に記入する。購入手数料や引取運賃などの（　　）がある場合、購入代価（材料そのものの金額）に含めた処理を行う。

購入に欠かせない手数料

例1. 材料900円を掛で購入した。なお、その際の引取運賃300円は現金で支払った。
例2. 購入した材料を直接材料費として800円、間接材料費として200円消費した。

1.

2.

材料

仕掛品

製造間接費

〇ポイント〇
ある製品にいくら使ったかが明確な場合（製造直接費）➔仕掛品勘定
ある製品にいくら使ったかが明確ではない原価➔製造間接費勘定

～材料費・労務費・経費の仕訳～

＜労務費について＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

材料費・労務費・経費の一連の流れ

・労務費は、製品を製造するためにかかる（工場の従業員の）人件費であり、
労働力を消費した時に発生する原価をいう。

例1. 賃金1,800円から預り金300円を差し引き、残額は現金で支払った。
例2. 賃金のうち直接労務費として1,300円、間接労務費として500円消費した。

1.

2.

賃金

仕掛品

製造間接費

〇ポイント〇
ある製品にいくら使ったかが明確な場合（製造直接費）➔仕掛品勘定
ある製品にいくら使ったかが明確ではない原価➔製造間接費勘定

～材料費・労務費・経費の仕訳～

＜経費について＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

材料費・労務費・経費の一連の流れ

・経費は、製品を製造するためにかかる材料費・労務費以外の製造原価をいう。

例1. 経費1,400円を現金で支払った。
例2. 経費のうち直接経費として400円、間接経費として1,000円消費した。

1.

2.

経費

仕掛品

製造間接費

〇ポイント〇
ある製品にいくら使ったかが明確な場合（製造直接費）➔仕掛品勘定
ある製品にいくら使ったかが明確ではない原価➔製造間接費勘定

材料費・労務費・経費の一連の流れ

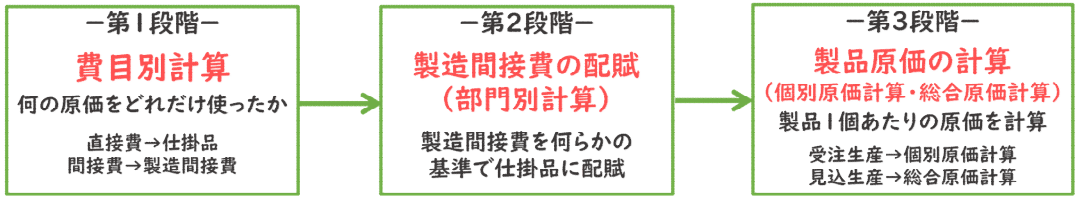
～工業簿記の勘定連絡図～

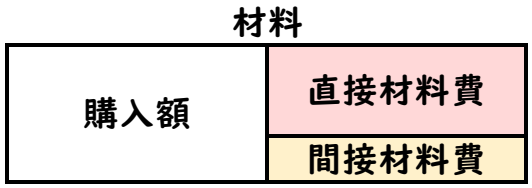
＜工業簿記の勘定の流れを把握しよう＞

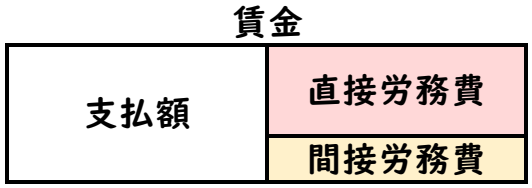
ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

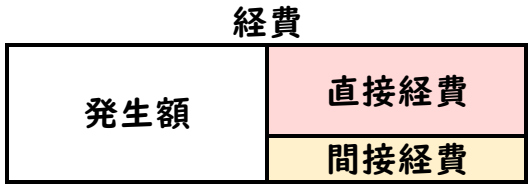
材料費・労務費・経費の一連の流れ

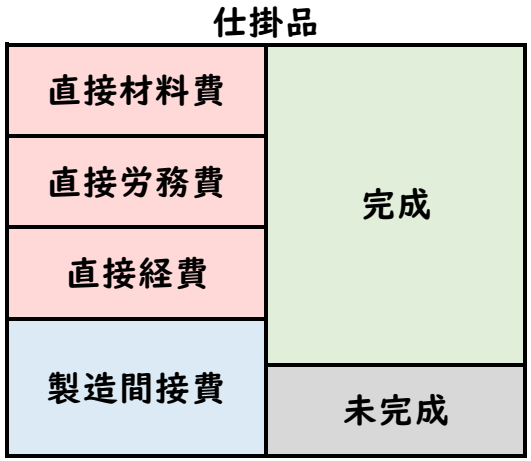
＜工業簿記の勘定連絡図＞
～個別原価計算の場合～

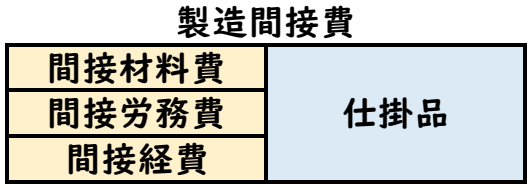


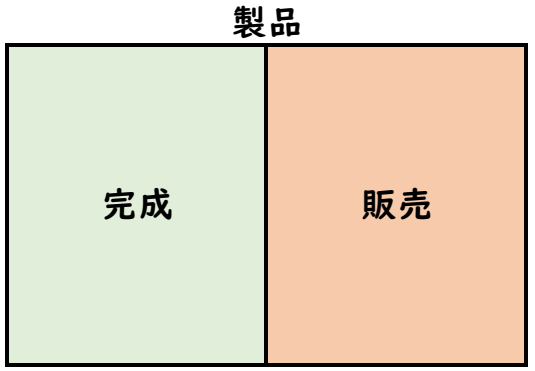


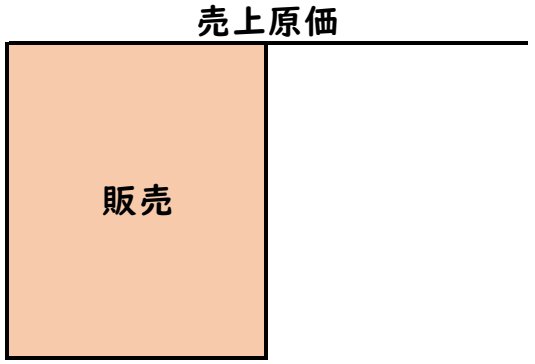












材料費・労務費・経費の一連の流れ

―問題解説―

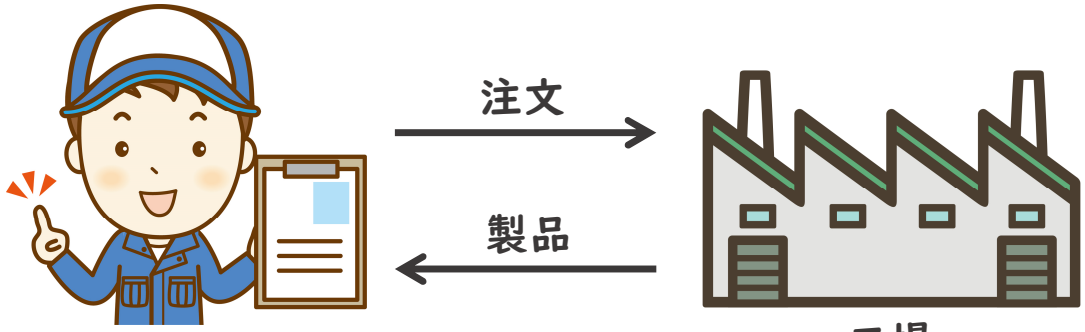
＜個別原価計算における一連の流れ＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

材料費・労務費・経費の一連の流れ

<製造指図書と原価計算表について>

○用語○
（　　）…注文内容や納期などが記載された製造命令書
（　　）…製造指図書をもとに原価を集計するための表



製造指図書			No.001
受注先	イロハ製作所		
受注日		納期	
**年 **月 **日		**年 **月 **日	
品名	型番	数量	備考
製品X	X-1	100個	

製造指図書			No.002
受注先	イロハ製作所		
受注日		納期	
**年 **月 **日		**年 **月 **日	
品名	型番	数量	備考
製品Y	Y-1	30個	

工業簿記の基礎　　原価計算の手続き

<第3段階…製品原価の計算方法について>

・製品原価の計算方法は、製品の生産形態の違いにより、（ 個別原価計算 ）と（ 総合原価計算 ）の2つの方法がある。
・（ 個別原価計算 ）は、いわゆる「オーダーメイド」で、受注生産で製品の製造を行う業種（建設業・造船業など）で用いられる計算方計算方法である。
・（ 総合原価計算 ）は、見込み生産で同じ規格の製品を大量に生産する業種（衣料品製造業など）で用いられる計算方法である。

原価計算表　　（単位：円）

	製品X	製品Y	合　計
直接材料費	1,000	500	1,500
直接労務費	800	400	1,200
直接経費	600	300	900
製造間接費	400	200	600
合　計	2,800	1,400	4,200
備　考	完成	未完成	

材料費・労務費・経費の一連の流れ

問題

下記取引の仕訳を行い、勘定への転記を行いなさい。
なお、原価計算表の作成まで行うこと。

[取引事項]

1. 材料800円を掛けで購入した。
   なお、その際の引取運賃300円は現金で支払った。

2. 購入した材料を直接材料費として、製造指図書No.1に600円、
   No.2に400円、間接材料費として100円消費した。

3. 賃金1,500円から預り金500円を差し引き、残額は現金で支払った。

4. 賃金のうち直接労務費として、製造指図書No.1に900円、
   No.2に400円、間接労務費として200円消費した。

5. 経費900円を現金で支払った。

6. 経費のうち直接経費として、製造指図書No.1に500円、
   No.2に200円、間接経費として200円消費した。

7. 製造間接費500円を一定の配賦基準を用いて、
   製造指図書No.1に300円、No.2に200円を配賦した。

8. 製造指図書No.1が完成した。なお、No.2は未完成である。

9. 製造指図書No.1を3,000円で顧客へ引き渡し、代金は掛けとした。

1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.
8.
9.

原価計算表 **(単位:円)**

	No.1	No.2	合 計
直接材料費			
直接労務費			
直接経費			
製造間接費			
合 計			
備 考			

材料費・労務費・経費の一連の流れ

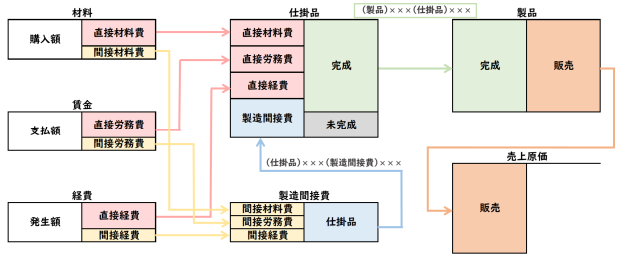
問題

下記取引の仕訳を行い、勘定への転記を行いなさい。
なお、原価計算表の作成まで行うこと。

1.	（材　　料）1,100	（買掛金）	800
		（現　　金）	300
2.	（仕掛品）1,000	（材　　料）1,100	
	（製造間接費） 100		
3.	（賃　　金）1,500	（預り金）	500
		（現　　金）1,000	
4.	（仕掛品）1,300	（賃　　金）1,500	
	（製造間接費） 200		
5.	（経　　費） 900	（現　　金）	900
6.	（仕掛品） 700	（経　　費）	900
	（製造間接費） 200		
7.	（仕掛品） 500	（製造間接費）	500
8.	（製　　品）2,300	（仕掛品）2,300	
9.	（売掛金）3,000	（売　　上）3,000	
	（売上原価）2,300	（製　　品）2,300	

原価計算表　　(単位:円)

	No.1	No.2	合 計
直接材料費	600	400	1,000
直接労務費	900	400	1,300
直接経費	500	200	700
製造間接費	300	200	500
合 計	2,300	1,200	3,500
備 考	完成・引渡済	未完成	



材料

仕掛品

製品

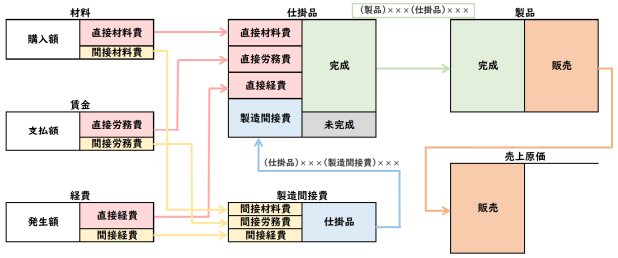
賃金

製造間接費

売上原価

経費

≪まとめ≫



- 材料の購入は、購入代価に付随費用を含めた（　　）で処理する
- 製造指図書をもとに（　　）で原価の集計を行う
- （　　）は工業簿記全体の流れ把握のため、必ず抑えよう❣

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第3回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

4. 材料費計算①

～材料費の分類と材料の購入について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

材料費の分類と材料の購入

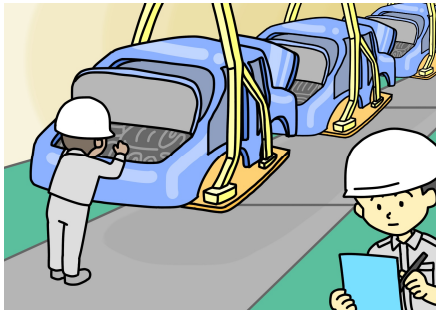
～材料費の分類～

＜何が直接材料費・間接材料費となるのか＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

材料費の分類と材料の購入

・材料費とは、材料を（　　）した時に発生する原価のことである。



《材料費の分類》

分類	内容
	製品の元となる主要なもの （車の鋼板、洋服の生地など） ※「間接材料費」として消費する場合もある
	外部から買い入れた部品 （車のタイヤや窓ガラス・洋服のボタンやファスナーなど）
	製造に補助的に使用されるもの （塗料・接着剤など）
	製造に補助的に使用される消耗品 （洗剤・軍手・機械油、糸や針など）
	耐用年数1年未満または比較的価格が低い工具器具備品 （ドライバーやペンチなど）

材料費の分類と材料の購入

～材料の購入～

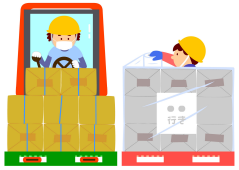
＜材料の購入原価・材料副費について＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

材料費の分類と材料の購入

・材料を購入したときは、材料そのものの金額である（　　）に、購入手数料や引取運賃などの付随費用を含めた（　　）で処理を行う。
・また、材料の購入原価となる付随費用は（　　）といい、（　　）と（　　）に分類される。　※出題頻度はかなり低い！

材料の購入原価　＝　購入代価 ＋ 付随費用（材料副費）



・なお、（特に内部材料副費は）購入時に発生額が判明しないため、実際発生額が判明するまで予定配賦額（見積額）を用いて計算することが認められている。
・予定配賦を行う場合は、例外処理として、その額を「材料副費」勘定で処理を行う。
・また、実際発生額と予定配賦額の差額は（　　）といい、「実際＞予定」となった場合は（　　）、「実際＜予定」となった場合は（　　）として把握していく。

〇用語〇
外部材料副費…運送料や荷役費（荷物の積み下ろし）など仕入先から納入までの会社外部にかかるもの
内部材料副費…購入事務費、検収費（不良品等のチェック作業）、保管料などの会社内部でかかるもの
なお、購入原価に算入してもしなくてもどちらでも構わないとされている。
（　　）…計算を迅速に行うために、あらかじめ合理的に見積もった予定額

―問題解説―

～材料の購入～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

材料費の分類と材料の購入

仕訳問題

1. 素材A10kg（@500円）を掛で仕入れた。なお、その際の引取運賃800円は現金で支払った。
2. 素材B5kg（@300円）を掛で仕入れた。
3. 素材Bのうち1kgに汚れがあったため返品した。

1.

2.

3.

〇ポイント〇
材料の購入原価＝購入代価＋付随費用（材料副費）
返品や値引きを受けた場合は、その分だけ購入したときの仕訳を取り消す

材料費の分類と材料の購入

仕訳問題

4. 買入部品10コ（@100円）を掛で仕入れた。なお、その際の材料副費（購入事務費）は
　購入代価の10%を予定配賦する。
5. 材料副費（購入事務費）の実際発生額が150円と判明したため、その額を現金で支払った。
6. 材料副費の実際発生額と予定配賦額の差額を「材料副費配賦差異」勘定で処理する。

4.

5.

6.

買掛金	材料

材料副費	材料副費配賦差異

〇ポイント〇
予定配賦は、実際発生額の集計に時間がかかることから、計算を迅速に行うためにある。
そのため、予定配賦額を先に貸方へ記帳し、実際発生額が分かったら借方を埋めていく。

≪まとめ≫

- 材料の購入原価は（　　）で処理する（原則）
- 材料副費を予定配賦する場合は、例外処理として、（　　）で処理する。なお、2級での出題頻度はかなり低い。
- 予定配賦を行う場合、予定配賦額を先に貸方へ記帳し、実際発生額が判明したら借方に記帳し、差異の認識をする
- 各種差異において「実際＞予定」となった場合は（　　）、「実際＜予定」となった場合は（　　）として把握する

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第4回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

5. 材料費計算②

～材料費の計算方法について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

～材料費の計算方法～

消費単価の計算方法と消費数量の計算方法

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

材料費の計算方法

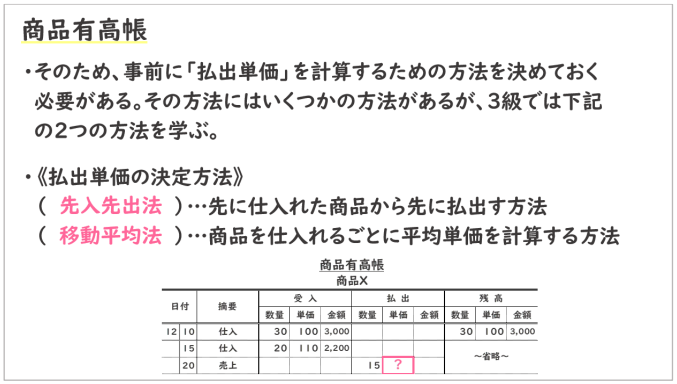
・材料の消費額（材料費）は、消費する材料の単価である（　　）に消費する材料の数量である（　　）をかけて計算する。

材料費 ＝ 消費単価 × 消費数量

《消費単価の計算》

・消費単価は、材料の購入原価をもとに決めていくが、同じ材料を購入したとしても、それが複数回に渡る場合、時期などによって単価が異なることがある。
・そのため、事前に消費単価を計算するための方法を決めておく必要があるが、その方法には（　　）・（　　）・（　　）がある。

＜参考動画＞
・先入先出法と移動平均法は3級の「商品有高帳」の項目で学習した、商品の払出単価の決定方法と同じです。今回は「移動平均法」には触れないのでよかったら確認して下さい😊



商品有高帳

・そのため、事前に「払出単価」を計算するための方法を決めておく必要がある。その方法にはいくつかの方法があるが、3級では下記の2つの方法を学ぶ。

・《払出単価の決定方法》
（ 先入先出法 ）…先に仕入れた商品から先に払出す方法
（ 移動平均法 ）…商品を仕入れるごとに平均単価を計算する方法

商品有高帳
商品X

日付		摘要	受入 数量	受入 単価	受入 金額	払出 数量	払出 単価	払出 金額	残高 数量	残高 単価	残高 金額
12	10	仕入	30	100	3,000				30	100	3,000
	15	仕入	20	110	2,200				～省略～		
	20	売上				15	?				

材料費の計算方法

材料費 ＝ 消費単価 × 消費数量

《消費数量の計算》

・消費数量の計算方法には、下記の2つの方法がある。

【原則】

（　　）…　材料の購入・払出（消費）を行う都度、帳簿に記録する方法
また、帳簿棚卸数量と実地棚卸数量の差額で（　　）を
把握することができる。これが、正常な範囲内で発生した場合は、
製造原価（間接経費）として（　　）勘定へ振替える。

・事務手続き上、手間がかかる
・正確な消費量を把握できるため、原価管理に適している
・重要性が高い主要材料費等はこの方法を用いる

【簡便的な方法】

（　　）…　材料の購入のみ帳簿に記録していき、月末の実地棚卸数量を
もとに、（差額で）消費数量を計算する方法
払出（消費）の記録は行わない。

・事務手続き上、手間がかからない
・正確な消費量を把握できない
・補助材料費等はこの方法を用いる

〇用語〇

（　　）…帳簿上で記録している数量（在庫数）
（　　）…実際に数えた数量（在庫数）
（　　）…帳簿上の数量と実地棚卸を行った数量の差(紛失や盗難等による保管中の減少)
「材料」として消費しているわけではないため、「経費（間接経費）」に分類される

―問題解説―

～材料費の計算～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

材料費の計算方法

問題

次の取引の仕訳および材料勘定への転記を行いなさい。
なお、消費単価の計算については、素材は先入先出法、補助材料は総平均法で計算し、
消費数量の計算についは、素材は継続記録法、補助材料は棚卸計算法で行うこと。

◎ 5月 1日　前月繰越　素材10kg ＠100円
　　補助材料2コ ＠20円
1. 5月 5日　素材50kg（@80円）を掛けで仕入れた。
2. 5月10日　補助材料8コ（@25円）を掛けで仕入れた。
3. 5月15日　素材30kgを製造指図書No.1のために出庫した。
4. 5月20日　素材10kgを間接材料費として出庫した。
5. 5月31日　素材の帳簿棚卸数量は20kgで月末実地棚卸数量は15kgだった。この差は正常な範囲内のものである。
6. 5月31日　補助材料の月末実地棚卸数量は3コだった。

1. 5/5
2. 5/10
3. 5/15
4. 5/20
5. 5/31
6. 5/31

材料

5/1	前月繰越	（　　）		（　　）	
		（　　）		（　　）	
		（　　）		（　　）	
				（　　）	
				（　　）	

素材

補助材料

材料費の計算方法

問題

次の取引の仕訳および材料勘定への転記を行いなさい。
なお、消費単価の計算については、素材は先入先出法、補助材料は総平均法で計算し、
消費数量の計算については、素材は継続記録法、補助材料は棚卸計算法で行うこと。

◎ 5月 1日　前月繰越　素材10kg ＠100円
　　補助材料2コ ＠20円
1. 5月 5日　素材50kg（@80円）を掛けで仕入れた。
2. 5月10日　補助材料8コ（@25円）を掛けで仕入れた。
3. 5月15日　素材30kgを製造指図書No.1のために出庫した。
4. 5月20日　素材10kgを間接材料費として出庫した。
5. 5月31日　素材の帳簿棚卸数量は20kgで月末実地棚卸数量は
　　15kgだった。この差は正常な範囲内のものである。
6. 5月31日　補助材料の月末実地棚卸数量は3コだった。

1.	5/5	（材　料）	4,000	（買掛金）	4,000
2.	5/10	（材　料）	200	（買掛金）	200
3.	5/15	（仕掛品）	2,600	（材　料）	2,600
4.	5/20	（製造間接費）	800	（材　料）	800
5.	5/31	（製造間接費）	400	（材　料）	400
6.	5/31	（製造間接費）	168	（材　料）	168

素材

月初　10kg @100　1,000	直接材料費　30kg　2,600
当月仕入　50kg @80　4,000	間接材料費　10kg　800
	棚卸減耗　5kg　400
	月末実地　15kg　1,200

補助材料

月初　2コ @20　40	間接材料費　7コ　168
当月仕入　8コ @25　200	月末実地　3コ　72

材料

5/1	前月繰越	( )	
		( )	( )
		( )	( )
			( )
			( )

≪まとめ≫

- 材料費は（　　）で計算される
- 消費単価の計算方法には、（　　）・（　　）・（　　）がある
- 消費数量の計算方法には、原則の（　　）と簡便的な方法である（　　）がある
- 継続記録法では、帳簿棚卸数量と実地棚卸数量との差によって（　　）が把握できる
- 棚卸計算法では、消費数量を（　　）で求めていく

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第5回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

6. 材料費計算③

～予定消費価格を用いた計算方法について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

～予定消費価格を用いた計算方法～

＜予定消費価格とは?＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

予定消費価格を用いた計算方法

・予定消費価格とは、年度のはじめに実際の消費価格を予想した価格をいう。
・予定消費価格を用いるメリットには、「計算が迅速にできる」ことや季節変動による「価格変動の影響をなくせる」ことがあげられる。

材料費 ＝ 予定消費単価 × （実際）消費数量

・なお、予定消費価格を用いて「予定消費額」を計算していったとしても、月末には、実際消費価格を用いて「実際消費額」を求める必要がある。
この実際消費額と予定消費額の差額は（　　）勘定で処理を行う。

●復習●

「実際消費額＞予定消費額」の場合 ➔予定していた消費額（原価）より実際は多くの消費額（原価）がかかった場合

不利差異（借方差異）　・　有利差異（貸方差異）

「実際消費額＜予定消費額」の場合 ➔予定していた消費額（原価）より実際は少ない消費額（原価）でよかった場合

不利差異（借方差異）　・　有利差異（貸方差異）

―問題解説―

～予定消費価格を用いた場合～

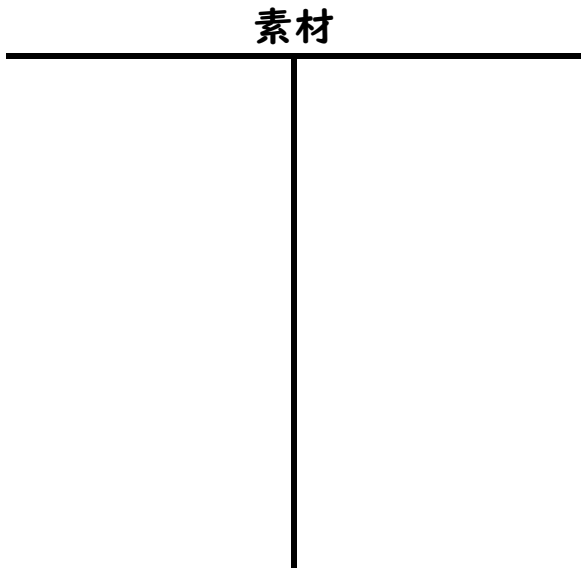
ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

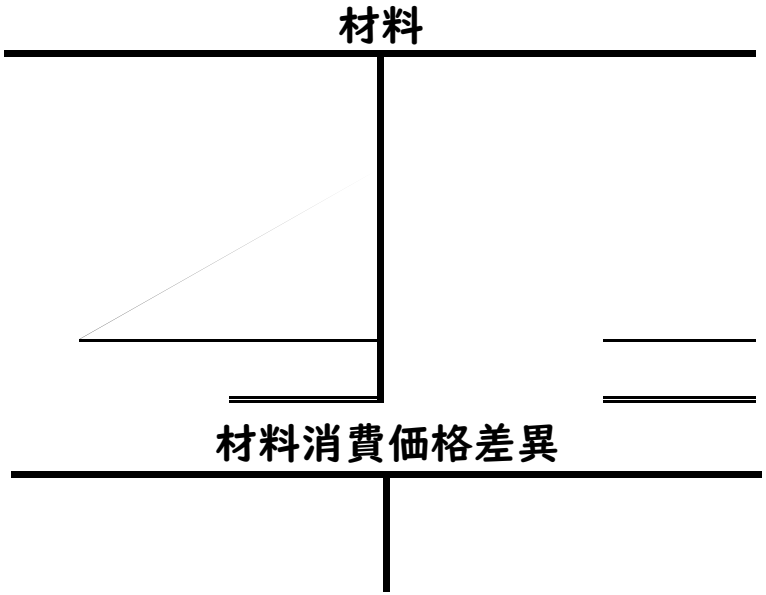
予定消費価格を用いた計算方法

問題　次の取引の仕訳を行いなさい。なお、消費単価は計算を迅速に行うため、予定消費価格@100円で計算している。また、実際消費量は継続記録法で計算し、月末に実際消費価格を先入先出法で計算している。

◎ 6月 1日　前月繰越　素材20kg @105円
1. 6月 5日　素材100kg(@110円)を掛けで仕入れた。
2. 6月10日　素材の60kgを直接材料費として出庫した。
3. 6月15日　素材の20kgを間接材料費として出庫した。
4. 6月30日　材料の予定消費額と実際消費額の差額を材料消費価格差異勘定で処理する。
5. 6月30日　素材の帳簿棚卸数量は40kgで月末実地棚卸数量は30kgだった。この差は正常な範囲内のものである。

1.　6/5
2.　6/10
3.　6/15
4.　6/30
5.　6/30





≪まとめ≫

- 予定消費価格は実際の消費価格を予想した価格である
- 予定消費価格を用いることで、（　　）できるメリットなどがある
- 予定消費価格を用いる場合の予定消費額は、
  予定消費単価×（実際）消費数量で計算していく
- 材料消費価格差異が生じた場合、「実際消費額＞予定消費額」となる場合は、
  （　　）となり、「実際消費額＜予定消費額」となる場合は、
  （　　）を把握する

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第6回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

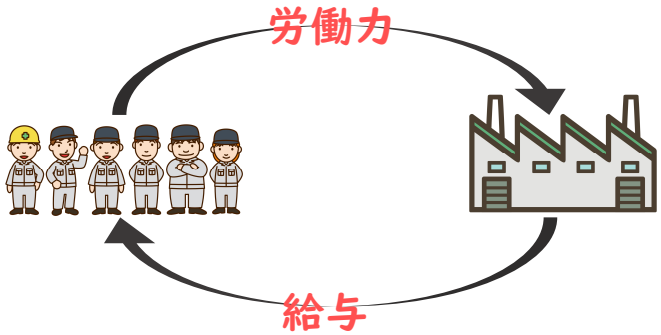
7. 労務費計算①

～労務費の分類と原価計算期間の要支払額について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

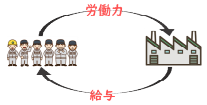
～労務費の分類～

＜何が直接労務費・間接労務費となるのか＞



ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

労務費の分類と原価計算期間の要支払額



○用語○
給与…労働の対価として支払われるお金
工員…製品の製造に携わる従業員

・労務費とは、工場で働く人の（　　）を消費した時に発生する原価のことである。

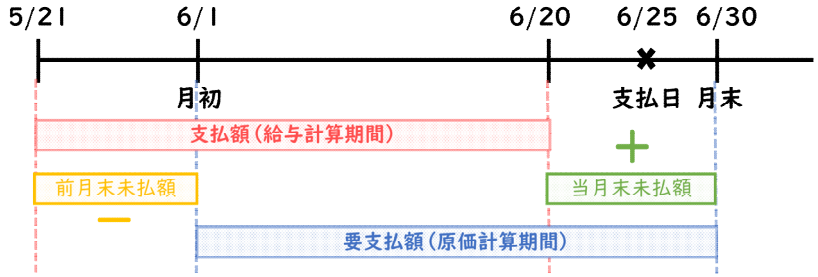
《労務費の分類》

分類	内容
	製品製造（加工作業）に直接携わる工員への給与（直接作業分） （切削・組立など）
	製品製造（加工作業）に直接携わる工員への給与（間接作業分） （製品製造に直接携わらない作業）
	製品製造はせず、補助的な作業に携わる工員への給与 （修繕・運搬・清掃など）
	事務員や管理監督者などへの給与 ※製品製造に関わっていないので工員とは言わない
	パートやアルバイトなどへの給与
	賞与（ボーナス）や（作業には関係ない）通勤手当、住宅手当など
	退職金の支払いに備えて設定される引当金の繰入額
	社会保険料の会社負担分 ※日商簿記3級「第26回：立替金と預り金」で詳しく解説してます!!

労務費の分類と原価計算期間の要支払額

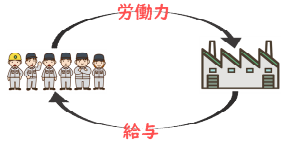
～原価計算期間の要支払額について～

＜給与計算期間と原価計算期間の違いとは？＞



ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

労務費の分類と原価計算期間の要支払額

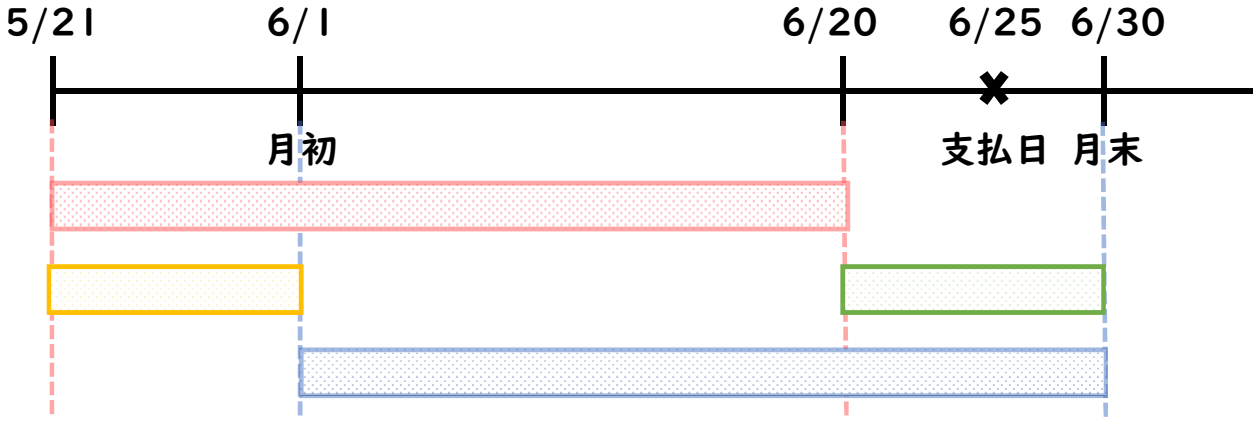


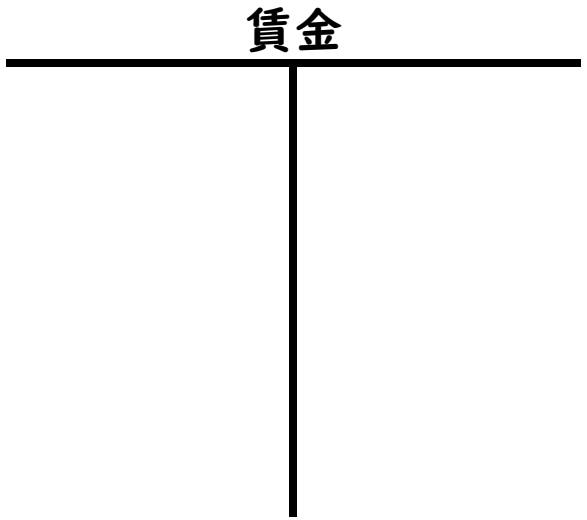
・賃金は、基本賃金に加給金・諸手当を加えた（　　）から源泉所得税や社会保険料の従業員負担分などを控除して支払いが行われる。
なお、これらの控除額は（　　）勘定で処理を行う。

（給与）支給総額 ＝ 基本賃金 ＋ 加給金 ＋ 諸手当

・また、賃金支払額の計算は、「毎月20日締め25日払い」のような（　　）をもとに計算される。ただし、製造原価の計算を行うための（　　）は、「当月の1日から月末」をもとに計算する必要があるため、これらにはズレが生じる場合がある。

・そのため、給与計算期間の支給総額に（　　）を加減して、原価計算期間における（　　）を求める必要がある。





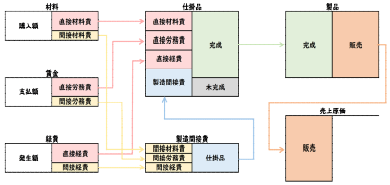
○用語○
加給金…基本賃金に加えて支給される手当のうち、作業に関係するもの（時間外手当など）

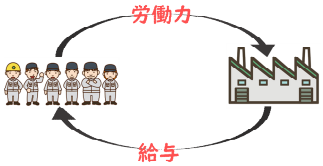
―問題解説―

～労務費（当月消費額）の計算～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

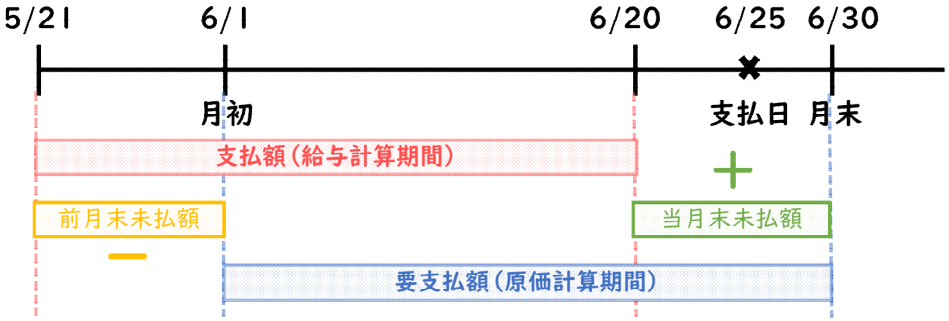
労務費の分類と原価計算期間の要支払額





仕訳問題

1. 6月 1日　賃金の前月末未払額は600円だった。
2. 6月25日　当月の賃金2,000円から預り金200円を控除して、残額は現金で支払った。
3. 6月30日　当月の賃金消費額は、直接労務費1,600円、間接労務費500円だった。
4. 6月30日　当月の賃金未払額は700円である。



1. 6/1

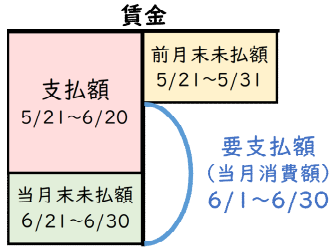
2. 6/25

3. 6/30

4. 6/30

賃金

未払賃金



≪まとめ≫

- （　　）とは、製品製造に直接携わる工員をいう
- （　　）とは、（製品製造を直接行わず）補助的な作業に携わる工員をいう
- 直接工の（　　）が直接労務費となり、それ以外はすべて間接労務費となる
- 労務費の当月消費額の計算は、給与計算期間の支給総額に未払賃金を加減した原価計算期間の（　　）で行われる

原価計算期間の要支払額 ＝ 給与計算期間の支給総額 － 前月末未払額 ＋ 当月末未払額

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第7回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

8. 労務費計算②

～消費賃金の計算について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

～直接工の消費賃金の計算方法～

＜作業時間と消費賃率について＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

消費賃金の計算方法

・直接工の消費賃金は、作業1時間あたりの賃金である（　　）に（　　）をかけて計算する。

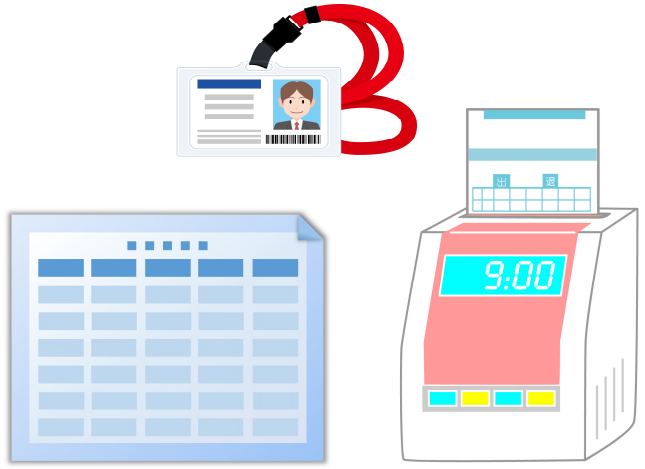
直接工の消費賃金 ＝ 消費賃率 × 作業時間

・その際、工員の作業時間に応じて、特定の製品と紐づけができる（　　）と特定の製品と紐づけができない（　　）に分けていく。

分類	内容
直接工の賃金	製品製造（加工作業）に直接携わる工員への給与（直接作業分） （切削・組立など）
直接工の賃金	製品製造（加工作業）に直接携わる工員への給与（間接作業分） （製品製造に直接携わらない作業）
間接工の賃金	製品製造はせず、補助的な作業に携わる工員への給与 （修繕・運搬・清掃など）
給料	事務員や管理監督者などへの給与 ※製品製造に関わっていないので工員とは言わない
雑給	パートやアルバイトなどへの給与
従業員賞与手当	賞与（ボーナス）や（作業には関係ない）通勤手当、住宅手当など
退職給付費用	退職金の支払いに備えて設定される引当金の繰入額
法定福利費	社会保険料の会社負担分 ※日商簿記3級「第26回：立替金と預り金」で詳しく解説してます!!

《直接工の作業時間について》

<table>
<tr><th colspan="3">勤務時間（拘束時間）</th></tr>
<tr><th colspan="2">就業時間</th><th>休憩時間</th></tr>
<tr><th colspan="2">実働時間</th><th>手待時間</th></tr>
<tr><th>直接作業時間</th><th>間接作業時間</th><th></th></tr>
<tr><th>加工時間</th><th>段取時間</th><th></th></tr>
<tr><td>（　　）</td><td colspan="2">（　　）</td></tr>
</table>



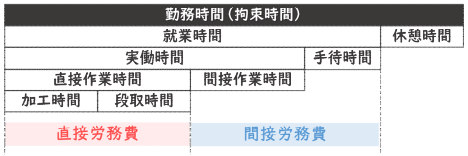
〇用語〇

（　　）…実際に働いている時間

（　　）…（機械の故障などで）作業ができずに待機している時間

（　　）…機械とか工具の準備、後片付けにかかる時間

消費賃金の計算方法



直接工の消費賃金＝消費賃率×作業時間

《直接工の消費賃率について》

・消費賃率（作業1時間あたりの賃金）には、下記の2つがある。
（　　）…実際の賃金をもとに計算したもの【直接工の要支払額÷就業時間】
（　　）…年度のはじめに実際賃率を予想したもの

・予定賃率を用いるメリットには、「計算が迅速にできる」などがあげられる。
・また、予定賃率を用いた場合、月末に把握される実際消費額との差額で
（　　）を把握する必要がある。

●復習●

「実際消費額>予定消費額」の場合　➔予定していた消費額（原価）より実際は多くの消費額（原価）がかかった場合

不利差異（借方差異）　・　有利差異（貸方差異）

「実際消費額<予定消費額」の場合　➔予定していた消費額（原価）より実際は少ない消費額（原価）でよかった場合

不利差異（借方差異）　・　有利差異（貸方差異）

～間接工などの消費賃金の計算方法～

<〇〇〇〇のすべてを間接労務費へ>

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

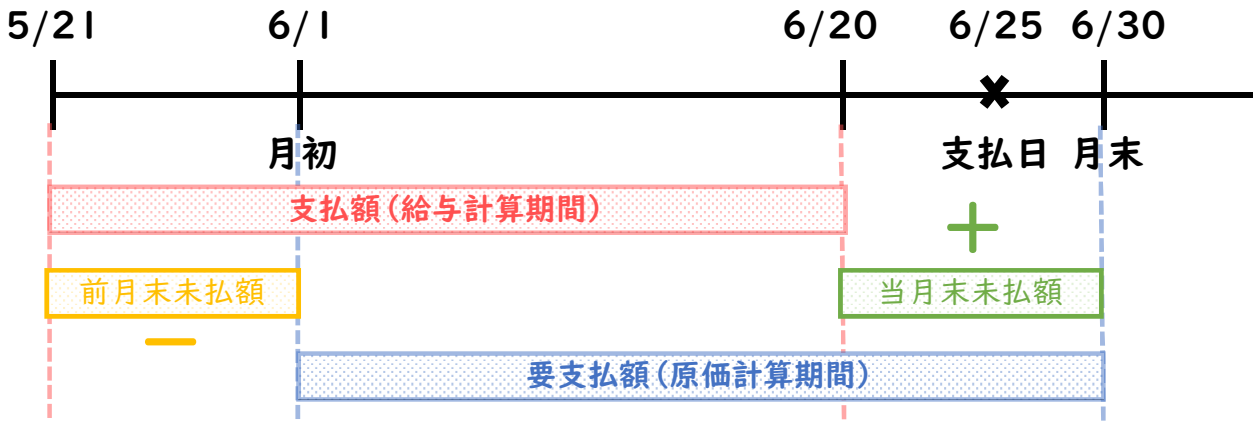
消費賃金の計算方法

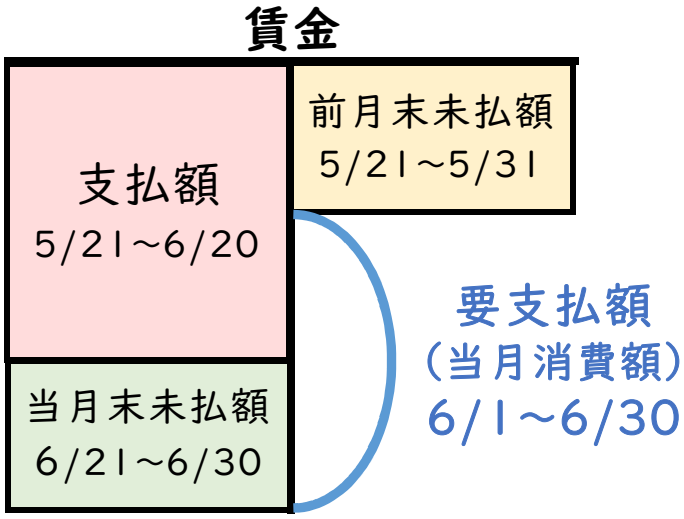
〇参考〇
本来は、間接工賃金・事務職員の給料も「消費賃率×作業時間」で求めるのが理想なのですが、簡便的に要支払額を消費賃金としていきます。原価計算基準においても原則は「要支払額をもって計算することができる」とされています。

・間接工の賃金や事務職員などの給料は、原価計算期間における（　　）のすべてを間接労務費として（　　）勘定へ振替える。

例題）下記の資料をもとに消費に関する仕訳を行うこと

	前月末 未払額	当月 支払額	当月末 未払額	要支払額
間接工の賃金	100	500	200	
事務職員の給料	50	250	100	





消費賃金の計算方法

―問題解説―

～予定賃率を用いた場合～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

消費賃金の計算方法

直接工の消費賃金＝消費賃率×作業時間

問題 次の取引の仕訳を行いなさい。なお、消費賃率は計算を迅速に行うため、予定賃率@10円で計算している。

1. 6月 1日　賃金の前月末未払額は1,500円だった。
　　直接工：1,100円　間接工：400円
2. 6月25日　当月の賃金8,500円から預り金850円を控除して、残額は現金で支払った。

	当月支払額	預り金
直接工：	6,500円	650円
間接工：	2,000円	200円

3. 6月30日　当月の直接工の実際作業時間は次のとおりであった。消費に関する仕訳を行うこと。
　　就業時間：600時間
　　直接作業時間：500時間　間接作業時間：80時間
4. 6月30日　当月の賃金未払額は1,700円である。
　　直接工：1,200円　間接工：500円
5. 6月30日　実際消費額と予定消費額より、賃率差異を計上する。
6. 6月30日　当月の間接工の消費に関する仕訳を行う。

勤務時間（拘束時間）			
就業時間			休憩時間
実働時間		手待時間	
直接作業時間		間接作業時間	
加工時間	段取時間		
直接労務費		間接労務費	

【予定消費賃金】
直接労務費

間接労務費

【実際消費額】

直接工賃金

直接工未払賃金

間接工賃金

間接工未払賃金

消費賃金の計算方法

問題 次の取引の仕訳を行いなさい。なお、消費賃率は計算を迅速に行うため、予定賃率@10円で計算している。

1. 6月 1日　賃金の前月末未払額は1,500円だった。
　　直接工:1,100円　間接工:400円
2. 6月25日　当月の賃金8,500円から預り金850円を控除して、残額は現金で支払った。

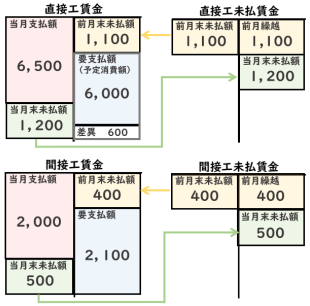
	当月支払額	預り金
直接工:	6,500円	650円
間接工:	2,000円	200円

3. 6月30日　当月の直接工の実際作業時間は次のとおりであった。消費に関する仕訳を行うこと。
　　就業時間:600時間
　　直接作業時間:500時間　間接作業時間:80時間
4. 6月30日　当月の賃金未払額は1,700円である。
　　直接工:1,200円　間接工:500円
5. 6月30日　実際消費額と予定消費額より、賃率差異を計上する。
6. 6月30日　当月の間接工の消費に関する仕訳を行う。

【予定消費賃金】
直接労務費
@10×500h =5,000円
間接労務費
@10×(80h+20h)=1,000円

【実際消費額】
6,500+1,200-1,100
=6,600円

1. 6/1
2. 6/25
3. 6/30
4. 6/30
5. 6/30
6. 6/30



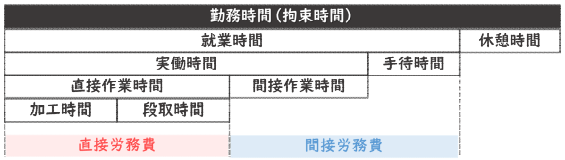
直接工賃金

当月支払額	前月未未払額 1,100
6,500	予定消費額 6,000
当月未未払額 1,200	差異 600

間接工賃金

当月支払額	前月未未払額 400
2,000	要支払額 2,100
当月未未払額 500	

≪まとめ≫



- 直接工の消費賃金は、（　　）で計算していく
- 直接工の作業時間は、直接作業時間分が（　　）となり、
  間接作業時間や手待時間分は（　　）となる
- （　　）とは、作業ができずに待機している時間である
- 予定賃率を用いる場合は、実際消費額との差額で（　　）を把握する
- 間接工・事務職員の消費賃金（給料）は、要支払額のすべてが
  （　　）となる

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第8回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

9. 経費計算

～経費の分類と消費時の処理方法について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

～経費の分類～

＜何が直接経費・間接経費となるのか＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

経費の分類と処理方法

・経費とは、製造原価のうち材料費・労務費以外のものをいう。

〇経費の消費額（4つの計算方法について）〇
支払経費…当月の支払額や請求額を消費額とするもの
※原価計算期間とズレ（未払分・前払分）がある場合は調整を行う
測定経費…メーターなどで測定した使用量を当月の消費額とするもの
月割経費…月割計算によって1ヶ月分を消費額とするもの
発生経費…当月発生した額を消費額とするもの

《経費の分類》

勘定科目	計算方法	内容
	支払経費	材料の加工や組立を外部へ委託した時にかかる費用
		他社（他人）の特許を利用した場合にかかる使用料
		切手代、ハガキ代、電話代など
		材料や製品を保管する倉庫代など
	測定経費	水道代、電気代、ガス代
	月割経費	工場建物や機械などの減価償却費
		工場建物や機械などの保険料
		工場建物や機械などの修繕費
		工場建物や機械などの固定資産税
	発生経費	材料の帳簿上の数量と実地棚卸を行った数量の差

～経費の処理方法～

＜経費勘定で処理する方法・経費勘定で処理しない方法＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

経費の分類と処理方法

・経費の消費額の記帳方法には、「経費勘定（経費諸勘定）で処理する方法」と「経費勘定で処理しない方法」がある。

～例題～

＜経費勘定で処理する方法＞

1．経費（外注加工賃）100円を現金で支払った。

2．当月の経費（水道料側定額）は50円であった。

3．上記1～2の経費について、消費の処理を行う。

＜経費諸勘定（各費目）で処理する方法＞

1．経費（外注加工賃）100円を現金で支払った。

2．当月の経費（水道料側定額）は50円であった。

3．上記1～2の経費について、消費の処理を行う。

経費の分類と処理方法

・「経費勘定で処理しない方法」は、簡便な方法として、経費勘定（経費諸勘定）を用いることなく、
経費の発生と（　　）に消費の処理を行う。
つまり、ダイレクトに直接経費は仕掛品勘定へ、間接経費は製造間接費勘定へ振替える方法となる。

～例題～

＜経費勘定で処理しない方法＞

1．経費（外注加工賃）100円を現金で支払った。

2．当月の経費（水道料側定額）は50円であった。

〇ポイント〇
実際の問題では、問題で与えられる勘定科目をもとに、どの処理方法かを考える。
多くの場合、**「経費勘定で処理しない方法」**で問われることが多い。

経費の分類と処理方法

―問題解説―

～経費に関する仕訳を抑えよう～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

経費の分類と処理方法

○経費の消費額（4つの計算方法について）○
支払経費…当月の支払額や請求額を消費額とするもの
※原価計算期間とズレ（未払分・前払分）がある場合は調整を行う
測定経費…メーターなどで測定した使用量を当月の消費額とするもの
月割経費…月割計算によって1ヶ月分を消費額とするもの
発生経費…当月発生した額を消費額とするもの

仕訳問題

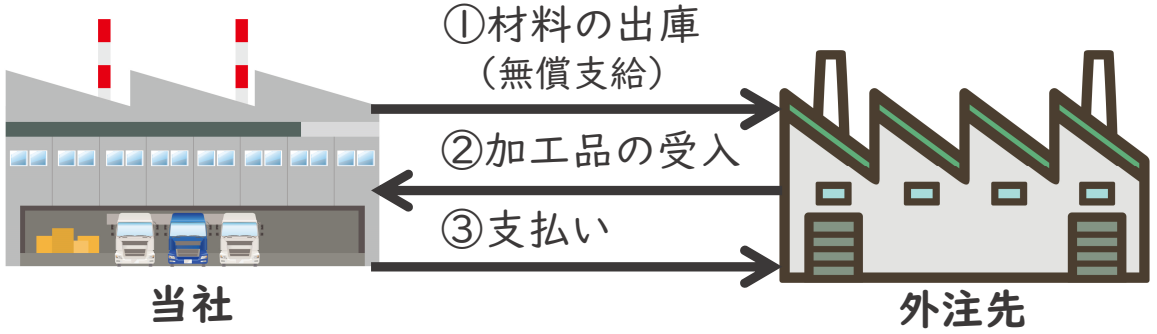
仕掛品、製造間接費、材料、未払電力料、未払金、減価償却累計額

つぎの1～5の問題について、仕訳を行いなさい。
なお、勘定科目は上記の中から選ぶこと

1. 製品Aの製造のため、倉庫の材料500円を出庫し、外注先に加工を依頼した。
　なお、出庫した材料は出庫時に出庫票へ記録を行い、外注先へ無償支給している。
2. 上記「1.」の加工品すべてを外注先から受け入れ、ただちに製造現場へ引き渡した。
　なお、請求書における外注加工賃は300円であった。

1.

2.



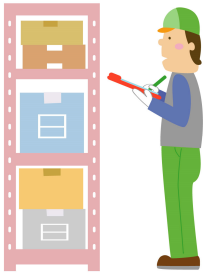
経費の分類と処理方法

○経費の消費額（4つの計算方法について）○
支払経費…当月の支払額や請求額を消費額とするもの
※原価計算期間とズレ（未払分・前払分）がある場合は調整を行う
測定経費…メーターなどで測定した使用量を当月の消費額とするもの
月割経費…月割計算によって1ヶ月分を消費額とするもの
発生経費…当月発生した額を消費額とするもの

仕訳問題

仕掛品、製造間接費、材料、未払電力料、未払金、減価償却累計額

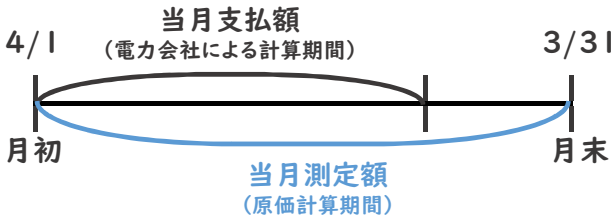
3. 当月分の電力料測定額は1,500円、支払額は1,200円であった。
4. 工場建物の減価償却費の月割額を計上する。
　減価償却費の年間発生見積額は2,400円である。
5. 当月の材料の月末帳簿棚卸高は500円、月末実地棚卸高は400円であった。
　この差額を当月分経費として計上する。

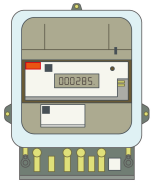


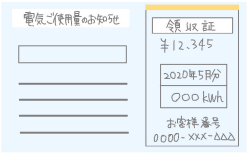
3.

4.

5.







経費の分類と処理方法

○経費の消費額（4つの計算方法について）○
支払経費…当月の支払額や請求額を消費額とするもの
※原価計算期間とズレ（未払分・前払分）がある場合は調整を行う
測定経費…メーターなどで測定した使用量を当月の消費額とするもの
月割経費…月割計算によって1ヶ月分を消費額とするもの
発生経費…当月発生した額を消費額とするもの

問題 次の資料に基づいて、当月消費額を計算しなさい。

6. 保険料：年額24,000円

7. 通信費：前月末未払額：300円　当月支払額：800円　当月末未払額：500円

8. 保管費：前月末前払額：100円　当月支払額：600円　当月末前払額：200円

6		7		8	

通信費

未払通信費

前払保管費

保管費

≪まとめ≫

- 経費とは、（　　）の製造原価である
- 直接経費に該当するものには、（　　・　　）がある
- 経費の記帳は、経費勘定で処理しない方法による出題が多い
  （発生と同時に直接、仕掛品勘定・製造間接費勘定へ振替える）
- 経費の消費額の計算方法は、以下の4つに分類される

① 支払経費…当月の支払額や請求額を消費額とするもの
※原価計算期間とズレ（未払分・前払分）がある場合は当月分を求める
② 測定経費…メーターなどで測定した使用量を当月の消費額とするもの
③ 月割経費…月割計算によって1ヶ月分を消費額とするもの
④ 発生経費…当月発生した額を消費額とするもの

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第9回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

10. 製造間接費計算①

～製造間接費の配賦について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

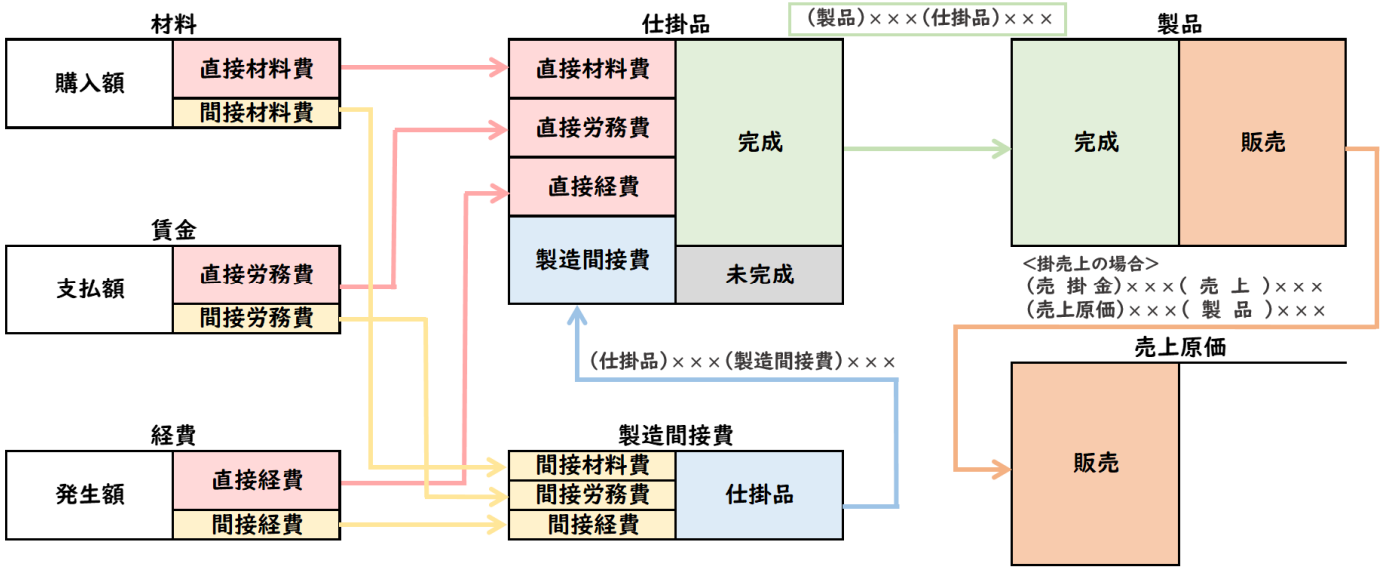
～製造間接費の配賦について～

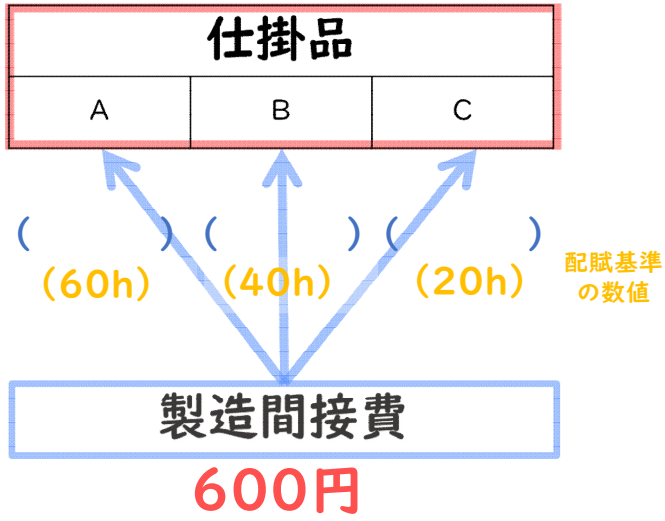
＜配賦額の計算方法とは？＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

製造間接費の配賦について

・材料費・労務費・経費の間接費が集計された（　　）は、何らかの基準を用いて（　　）することになるが、これは（　　）勘定へ振替えられる。





・具体的な配賦額の計算方法としては、（　　）に（時間や生産量などの）何らかの基準である（　　）の数値をかけて計算する。

（各製造指図書ごとの）配賦額 ＝ 配賦率 × 各配賦基準の数値

製造間接費の配賦について

〇用語〇 （　　）…生産設備の利用度合い（金額・時間・数量など）
（　　）…一定期間における操業度の予測値

（各製造指図書ごとの）配賦額 ＝ 配賦率 × 各配賦基準の数値

《配賦率について》

・配賦率には、下記の2つがある。

（　　）……製造間接費の実際発生額をもとに計算したもの

$$\frac{\text{製造間接費の実際発生額}}{\text{実際配賦基準数値の合計（実際操業度）}}$$

（　　）……年度のはじめに製造間接費の予算額（予定額）を設定し、この予算をもとに計算したもの

（例）製造間接費月間予算額：660円
月間直接作業時間：110h
（基準操業度）

$$\frac{\text{製造間接費の予算額}}{\text{予定配賦基準数値の合計（基準操業度）}}$$

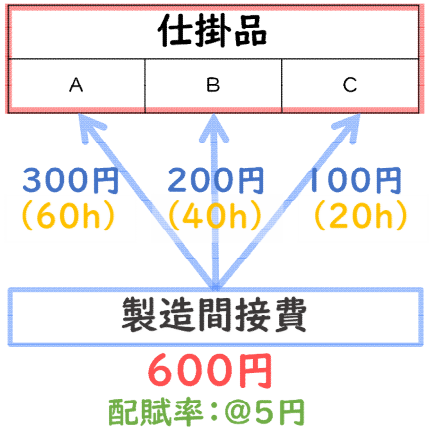
・予定配賦率を用いるメリットには、「計算が迅速にできる」・「単位原価の変動がない」ことなどがあげられる。

・また、予定配賦率を用いる場合、月末に把握される実際発生額との差額で（　　）を把握する必要がある。

製造間接費の配賦について

（各製造指図書ごとの）配賦額 ＝ 配賦率 × 各配賦基準の数値

・実際配賦率
・予定配賦率



《配賦基準について》

・配賦基準には、下記のようなものがある。

配賦基準	内容
直接材料費基準	直接材料費の金額をもとに配賦する方法
直接労務費基準	直接労務費の金額をもとに配賦する方法
直接作業時間基準	直接作業時間をもとに配賦する方法
機械作業時間基準	機械作業時間をもとに配賦する方法
生産量基準	生産量をもとに配賦する方法

・このように、製造間接費は（　　）・（　　）・（　　）などの何らかの基準を用いて、各製造指図書における実際の操業度（利用度合い）に応じて配賦していく。

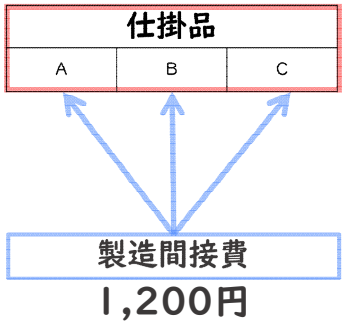
製造間接費の配賦について

―問題解説―

～配賦額を計算してみよう～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

製造間接費の配賦について



問題1　**下記の資料より、各配賦基準における製造間接費の配賦率および配賦額を計算しなさい。**

[資料]
・製造間接費の当月実際発生額：1,200円
・配賦基準（各製造指図書における実際操業度）

	製品A	製品B	製品C	合　計
直接材料費	300円	200円	100円	600円
直接作業時間	100h	80h	60h	240h
生産量	700個	350個	150個	1,200個

＜電卓の打ち方（1.の問題の場合）＞
「2××」で「K（定数計算）」を表示させる
（これで、配賦率の「2×」が固定された状態となる）
そして、各製造指図書の実際操業度の数値を
「300＝　200＝　100＝　」と打っていくと配賦率の
「2×」は固定されたままなので、配賦額が効率よく計算できる。

1. 直接材料費基準における配賦率および実際配賦額

配賦率：（@　　円）　製品A：（　　円）　製品B：（　　円）　製品C：（　　円）

2. 直接作業時間基準における配賦率および実際配賦額

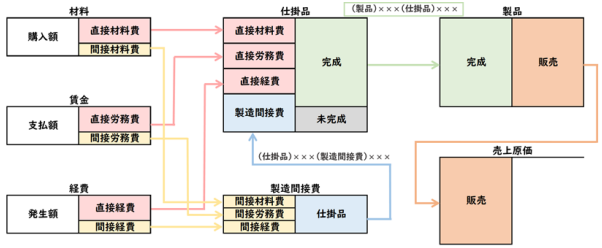
配賦率：（@　　円）　製品A：（　　円）　製品B：（　　円）　製品C：（　　円）

3. 生産量基準における配賦率および実際配賦額

配賦率：（@　　円）　製品A：（　　円）　製品B：（　　円）　製品C：（　　円）

製造間接費の配賦について

<電卓テクニック>
「50××」
「6h=　4h=　2h=　」
※予定配賦率50円を固定して
　各実際操業度にかける



問題2　**下記の資料より、各問に答えなさい。**

[資料]
・製造間接費の当月実際発生額:660円
・各製造指図書ごとの当月直接作業時間(実際操業度)
　製品A:6h　製品B:4h　製品C:2h
・製造間接費の月間予算額:500円
・月間直接作業時間(基準操業度):10h

製造間接費	製造間接費配賦差異

1.予定配賦率および予定配賦額を計算しなさい。

予定配賦率:(@　　円)　製品A:(　　円)　製品B:(　　円)　製品C:(　　円)

2.予定配賦における仕訳を行いなさい。

3.製造間接費差異における仕訳を行いなさい。

≪まとめ≫

- 製造間接費は何らかの基準を用いて、（　　）勘定へ配賦する
- 各製造指図書への配賦額は「配賦率×各配賦基準の数値」で計算していく
- 製造間接費は、原則、（　　）を用いて計算する
- 配賦を行う際は、電卓の定数計算機能「K」を使うと効率よく計算できる
- 予定配賦額と実際発生額の差額は（　　）として計上する

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第10回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

11. 製造間接費会計②

～製造間接費配賦差異の分析～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

製造間接費配賦差異の分析

～製造間接費予算額の設定～

＜固定予算・（公式法）変動予算とは？＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

製造間接費配賦差異の分析

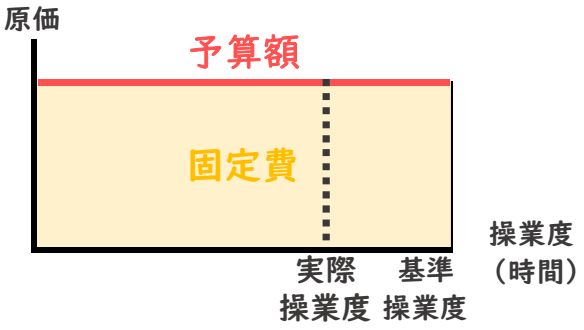
○用語○
基準操業度…一定期間における操業度の予測値

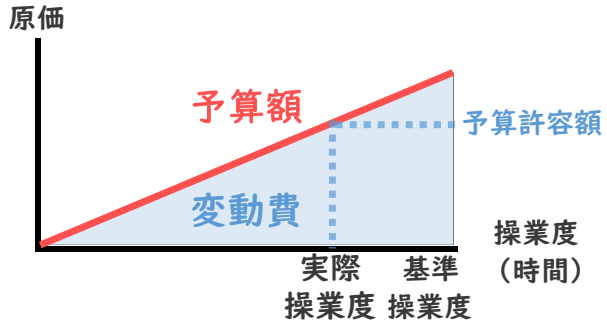
・1年間の製造間接費予算額は、前もって年度のはじめに見積もった（　　）の間で発生する金額を予定したものであり、その設定方法には2つがある。

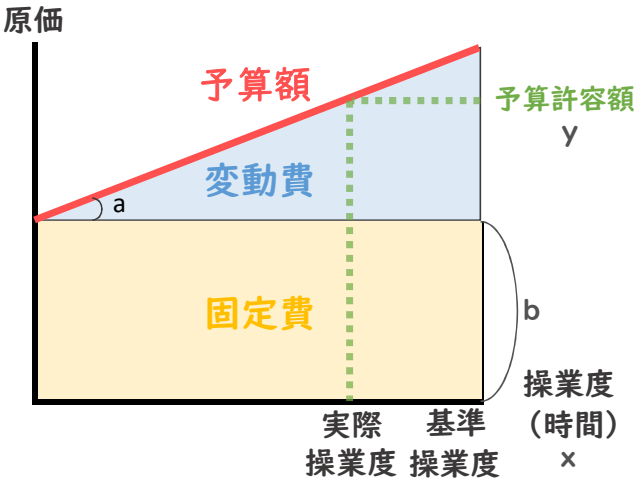
《製造間接費予算の設定方法（決め方）について》

（　　）…基準操業度における予算額を製造間接費予算額とする方法。
そのため、実際操業度が違ったとしても予算額は変化させない。【基準操業度の予算額＝実際操業度の予算額】

（　　）…実際操業度に応じた予算額である（　　）を製造間接費予算額とする方法。
基準操業度と実際操業度が違ったら、実際操業度に応じた予算額に修正を行っていく。
この中には、変動費と固定費に分けて予算額を決める（　　）という方法がある。
これは、【y=ax+b】という一定の公式を用いて計算することから、このように呼ばれている。
（yは製造間接費予算、aは変動費率、xは操業度、bは固定費予算額を表す）
つまり、固定費部分は、操業度の増減に関係なく一定の予算額とし、変動費部分は、操業度に応じて予算額が変動する形となる。







～製造間接費配賦差異の分析～

＜予算差異と操業度差異について＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

製造間接費配賦差異の分析

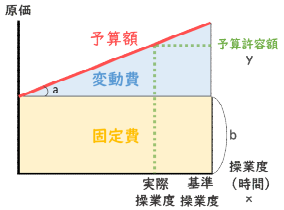
予定配賦額 ＝ 予定配賦率 × 実際操業度

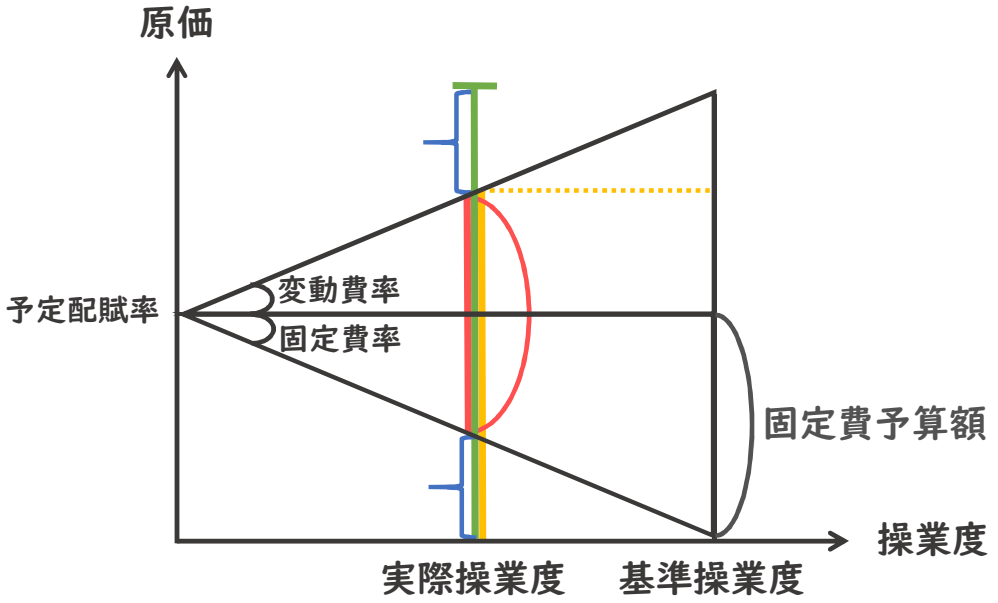
・製造間接費を予定配賦した場合は、予定配賦額と実際発生額の間に製造間接費配賦差異が生じるが、
この差異は、さらに2つに分析し、原価管理に役立てていく。（下記は、公式法変動予算の場合）

（　　）…製造間接費が予算どおりに発生したかを把握する差異。
予算許容額（実際操業度における予算額）と実際発生額の差額で求めていく。

（　　）…生産設備の利用度（操業度）が基準操業度どおりであったかを把握する差異。
予定配賦を行うことで固定費部分から発生する差異であり、予算許容額と予定配賦額の差
もしくは**実際操業度と基準操業度の差に固定費率をかけて**求めていく。

・これらの差異分析を行う際に、
公式法変動予算では、
便利な「シュラッターの図」という
分析図を用いると計算式を
覚えなくても簡単に計算できる。





製造間接費配賦差異の分析

―問題解説―

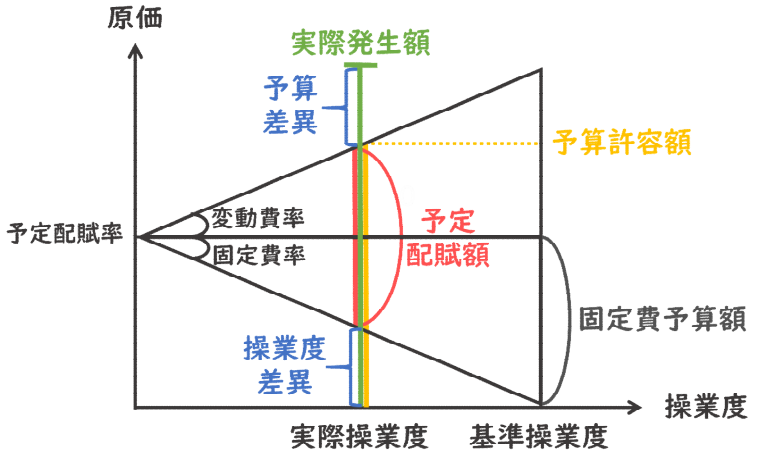
～シュラッターの図で差異分析してみよう～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

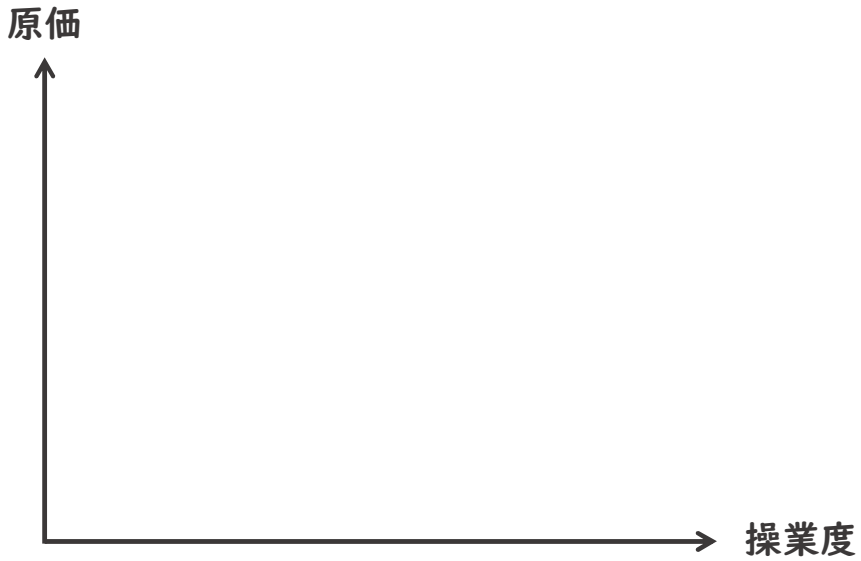
製造間接費配賦差異の分析

問題1

下記の資料より、製造間接費配賦差異を計算し、予算差異と操業度差異に分析しなさい。（有利差異・不利差異まで記入すること）
なお、製造間接費予算額の設定は公式法変動予算で行っている。



［資料］
Ⅰ.当月の実際直接作業時間（実際操業度）：180h
Ⅱ.当月の製造間接費実際発生額：10,600円
Ⅲ.月間の予定直接作業時間（基準操業度）：200h
Ⅳ.月間の製造間接費予算額：10,000円
・変動費率：@20円
・月間固定費予算額：6,000円



【解答】
1.製造間接費配賦差異：　　円（　　差異）

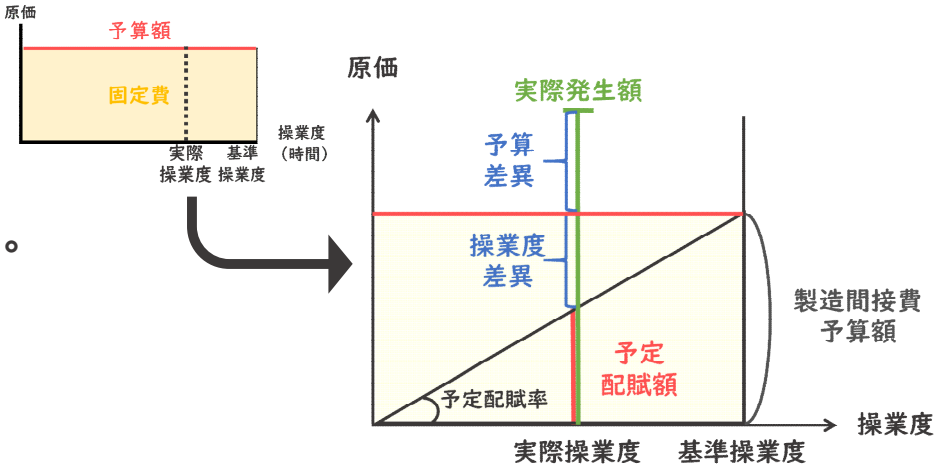
2.予算差異：　　円（　　差異）

3.操業度差異：　　円（　　差異）

製造間接費配賦差異の分析

問題2

下記の資料より、製造間接費配賦差異を計算し、予算差異と操業度差異に分析しなさい。（有利差異・不利差異まで記入すること）なお、製造間接費予算額の設定は固定予算で行っている。



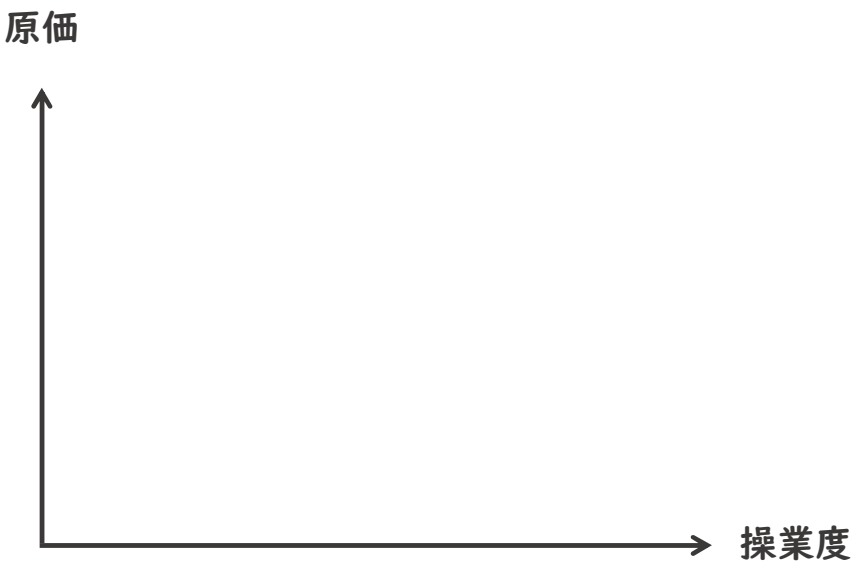
［資料］

Ⅰ.当月の実際直接作業時間（実際操業度）：180h

Ⅱ.当月の製造間接費実際発生額：9,800円

Ⅲ.月間の予定直接作業時間（基準操業度）：200h

Ⅳ.月間の製造間接費予算額：10,000円

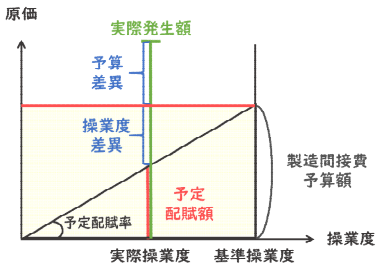


【解答】

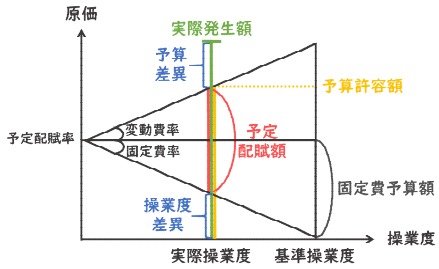
1.製造間接費配賦差異：　　円（　　差異）

2.予算差異：　　円（　　差異）

3.操業度差異：　　円（　　差異）



≪まとめ≫



- 製造間接費予算額の設定方法には（　　）と（　　）がある
- 固定予算の場合は、（　　）における予算額を製造間接費予算額とする
- 変動予算の場合は、実際操業度に応じた予算額である（　　）を製造間接費予算額とする
- 製造間接費配賦差異はさらに、（　　）と（　　）に分析できる
- 公式法変動予算の差異分析を行う際は、シュラッターの図を使うと簡単

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第１１回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

12. 部門別原価計算

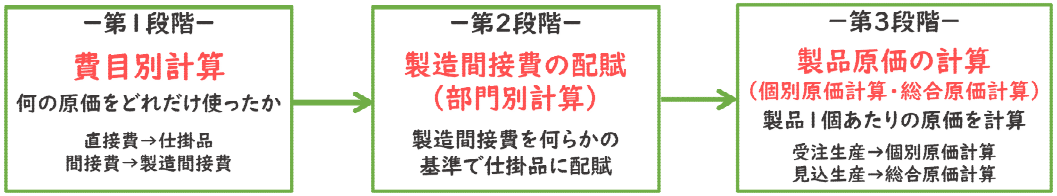
～製造間接費をより正確に配賦計算する方法について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

部門別原価計算

～部門別原価計算とは？～

＜部門別計算を行う目的と勘定連絡図について＞



ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

部門別原価計算

・部門別原価計算は、間接費として集計された（　　）を部門ごとに集計する手続きをいう。
・部門ごとに集計することで、「どの部門でどれぐらい発生したもの」という責任が明確になるため、部門ごとに原価管理を行うことができる。
・また、部門別原価計算は、各部門に適した配賦基準を用いて配賦計算を行うため、製品原価の計算を正確に行うことができる。

＜原価部門について＞

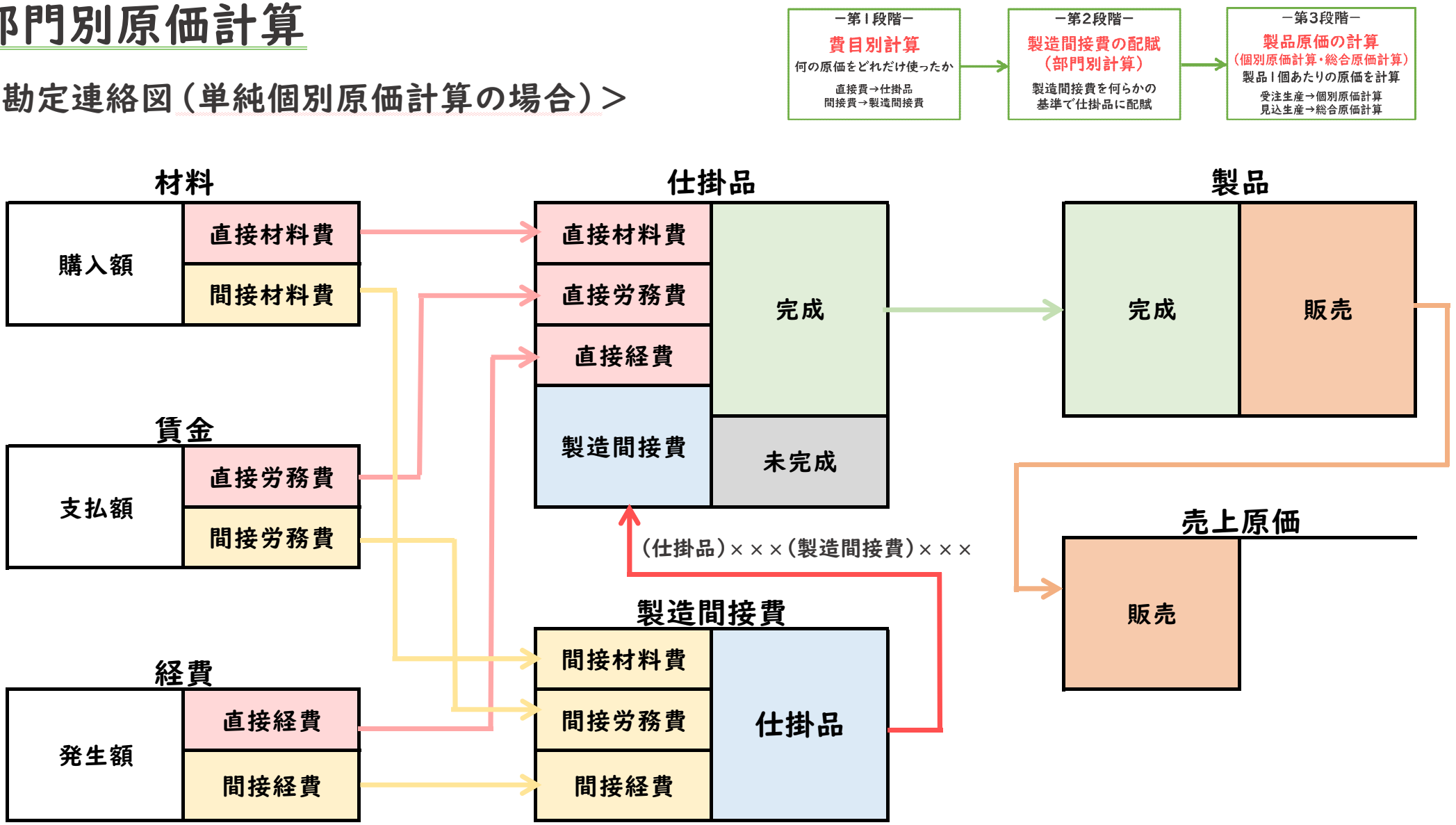
・原価部門は、製品の製造に直接携わる（　　）と補助的な役割を担う（　　）に分類される。

原価部門
- **製造部門（切削部門、組立部門など）**
- **補助部門（動力部門、修繕部門、工場事務部門など）**

○用語○
部門…（工場の）組織における部署のこと（切削部門、組立部門など）

部門別原価計算

<勘定連絡図（単純個別原価計算の場合）>



部門別原価計算

原価部門
- 製造部門（切削部門、組立部門など）
- 補助部門（動力部門、修繕部門、工場事務部門など）

＜勘定連絡図（部門別個別原価計算の場合）＞

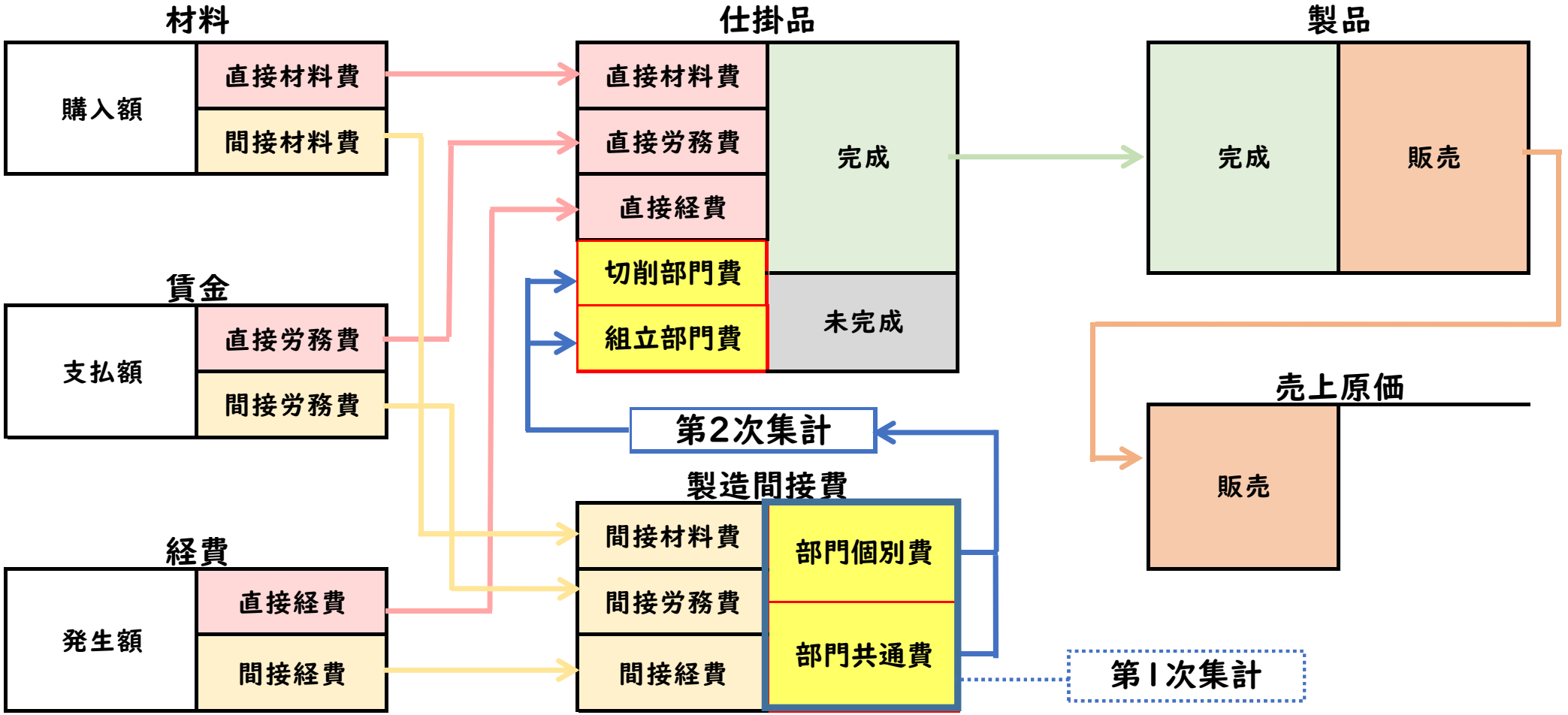
－第1段階－
費目別計算
何の原価をどれだけ使ったか
直接費→仕掛品
間接費→製造間接費

→

－第2段階－
製造間接費の配賦（部門別計算）
製造間接費を何らかの基準で仕掛品に配賦

→

－第3段階－
製品原価の計算
（個別原価計算・総合原価計算）
製品1個あたりの原価を計算
受注生産→個別原価計算
見込生産→総合原価計算



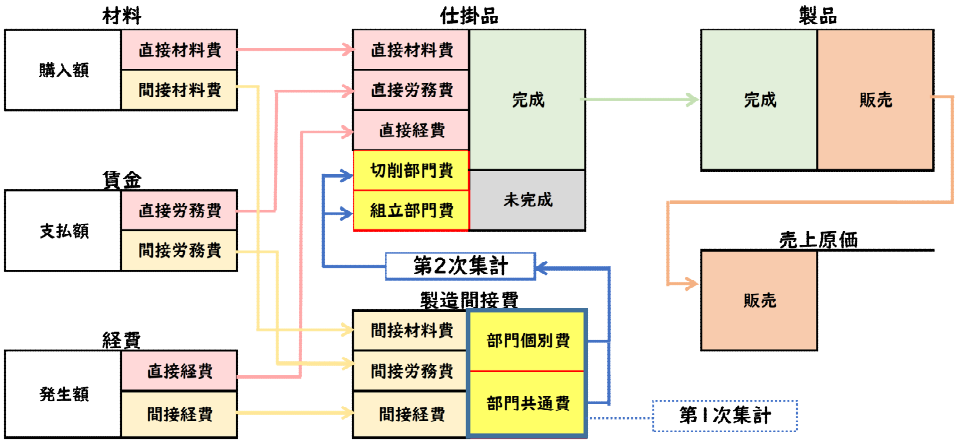
～部門別原価計算の計算手順～

＜部門別計算の手順を問題とともに把握しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

部門別原価計算

原価部門
- 製造部門（切削部門、組立部門など）
- 補助部門（動力部門、修繕部門、工場事務部門など）



<部門別計算の流れ>

①.製造間接費を部門ごとに集計する（第1次集計）
②.補助部門費を製造部門に配賦する（第2次集計）
③.製造部門費を各製造指図書へ配賦する（第3次集計）

《①.製造間接費を部門ごとに集計する（第1次集計）》

・部門別計算の第1段階は、製造間接費を部門個別費と部門共通費に区分していく。

（　　）… どの部門で発生した原価（製造間接費）なのかが明確に分かる原価であるため、各部門ごとにその発生額を（　　）する。

（　　）… 複数の部門で共通的に発生する原価であり、どの部門で発生した原価なのかを特定できないものである。この原価は、各部門に適切な配賦基準を用いて配賦を行う。

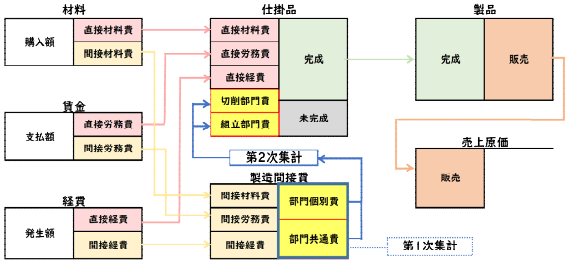
仕訳例

（切削部門費）600　（製造間接費）1,500
（組立部門費）500
（動力部門費）300
（修繕部門費）100

○用語○
部門費…部門ごとに集計した原価のこと
賦課（直課）…直接、原価を割り当てること

部門別原価計算

①.製造間接費を部門ごとに集計する（第1次集計）
②.補助部門費を製造部門に配賦する（第2次集計）
③.製造部門費を各製造指図書へ配賦する（第3次集計）



《問題1》
次の資料に基づいて、実際部門費集計表を完成させ、第1次集計の仕訳を行いなさい。
なお、製造間接費の当月実際発生額は150,000円であった。

1. 部門個別費

（単位：円）

切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門	合計
24,000	12,500	11,000	9,500	57,000

2. 部門共通費

建物減価償却費　50,000　電力料　15,000
福利厚生費　28,000

3. 部門共通費の配賦基準

配賦基準	切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門	合計
従業員数（人）	10	8	6	4	28
占有面積（㎡）	400	300	200	100	1,000
電力供給量（kwh）	240	180	120	60	600

部門費集計表

（単位：円）

摘要	合計	製造部門		補助部門	
		切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
部門個別費					
部門共通費					
建物減価償却費					
電力料					
福利厚生費					
部門費合計					

【第1次集計の仕訳】

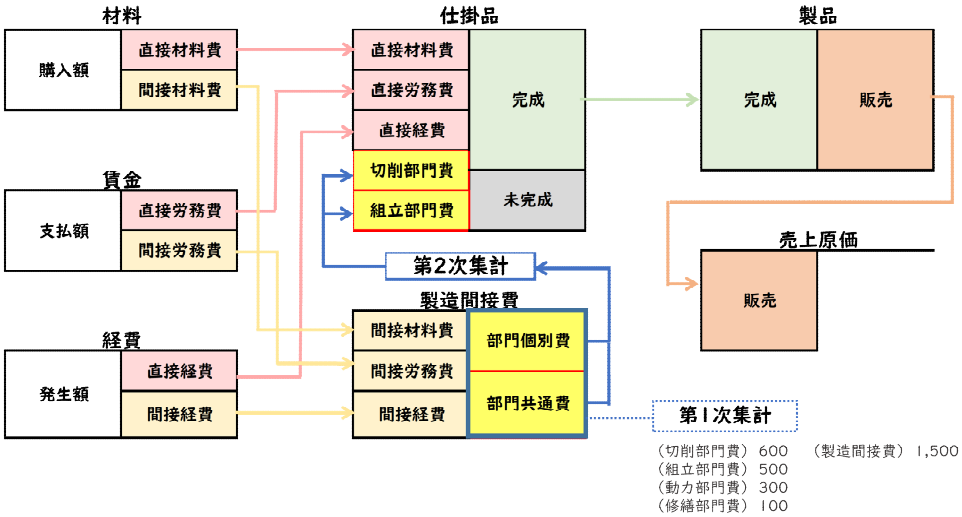
《重要》
定数計算機能「K」を使って計算すること！

部門別原価計算

原価部門 ┌ 製造部門（切削部門、組立部門など）
　　　　 └ 補助部門（動力部門、修繕部門、工場事務部門など）

＜部門別計算の流れ＞

①.製造間接費を部門ごとに集計する（第1次集計）
②.補助部門費を製造部門に配賦する（第2次集計）
③.製造部門費を各製造指図書へ配賦する（第3次集計）



《②.補助部門費を製造部門に配賦する（第2次集計）》

・部門別計算の第2段階では、第1次集計で集計した補助部門費（補助部門に集計された製造間接費）を各製造部門に配賦していく。なお、配賦方法には2つの方法がある。
また、この補助部門費の配賦には、実際配賦する場合と予定配賦する場合がある。
予定配賦する場合は、実際発生額と予定配賦額との差額で（　　）を把握する。

（　　）…補助部門間における用役のやりとりを計算上は一切無視して、製造部門にのみ配賦する方法。
（　　）…補助部門間における用役のやりとりを計算上考慮して、製造部門と補助部門に配賦する方法。
なお、配賦手続きは2段階（第1次配賦・第2次配賦）に分けて行っていく。

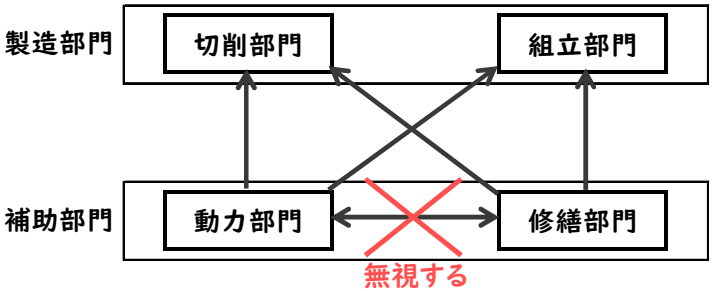
（　　）…用役を提供した自部門以外の関係部門すべてに補助部門費を配賦する。
（　　）…第1次配賦で配賦を受けた補助部門費を製造部門にのみ配賦する。

○用語○
用役（ようえき）…サービスのこと

仕訳例

（切削部門費） 250　（動力部門費） 300
（組立部門費） 150　（修繕部門費） 100

部門別原価計算



《問題2》
次の資料に基づいて、実際部門別配賦表を完成させ、第2次集計の仕訳を行いなさい。
なお、補助部門費の配賦方法は直接配賦法によること。

1. 補助部門の当月実際用役提供量

	切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
動力供給量	3,000kwh	2,000kwh	−	1,000kwh
修繕時間	50h	30h	20h	−

＜実際配賦率＞

実際部門別配賦表

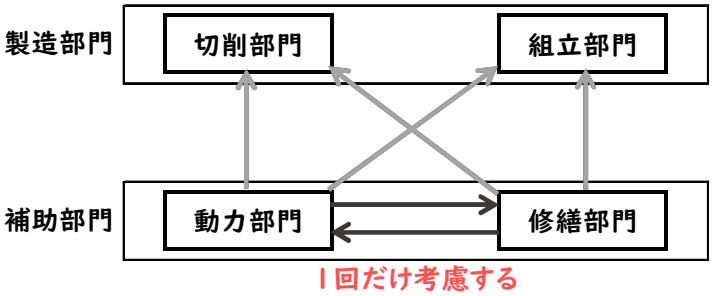
（単位：円）

摘要	合計	製造部門		補助部門	
		切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
部門費合計	150,000	60,000	40,000	30,000	20,000
動力部門					
修繕部門					
配賦額合計					
製造部門費					

【第2次集計の仕訳】

部門別原価計算

第1次配賦…用役を提供した自部門以外の関係部門すべてに補助部門費を配賦する。
第2次配賦…第1次配賦で配賦を受けた補助部門費を製造部門にのみ配賦する。



《問題3》
次の資料に基づいて、実際部門別配賦表を完成させ、第2次集計の仕訳を行いなさい。
なお、補助部門費の配賦方法は相互配賦法によること。

※製造部門と補助部門に配賦する（2段階の配賦を行う）

1. 補助部門の当月実際用役提供量

	切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
動力供給量	3,000kwh	2,000kwh	−	1,000kwh
修繕時間	50h	30h	20h	−

＜第1次配賦の配賦率＞　　＜第2次配賦の配賦率＞

実際部門別配賦表

（単位：円）

摘要	合計	製造部門		補助部門	
		切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
部門費合計	150,000	60,000	40,000	30,000	20,000
第1次配賦					
動力部門					
修繕部門					
第1次配賦額合計					
第2次配賦					
動力部門					
修繕部門					
第2次配賦額合計					
製造部門費					

【第2次集計の仕訳】

＜第1次配賦＞

＜第2次配賦＞

部門別原価計算

●ポイント●
製造部門に補助部門費を予定配賦する場合、配賦される
予定配賦額は「製造部門では実際発生額」として扱っていく。

●補助部門費を予定配賦するメリット●
実際配賦の場合、補助部門の責任で原価が
多くかかってしまっても、その原価の増加分は
製造部門の責任になってしまう。
予定配賦の場合は、各補助部門で配賦差異が
把握できるので、補助部門の責任も明確になる。
また、製品原価の計算も迅速にできる。

《問題4》
次の資料に基づいて、実際部門別配賦表を完成させ、第2次集計と差異に関する仕訳を行いなさい。
なお、補助部門費の配賦方法は直接配賦法による予定配賦を行うこと。

1. 補助部門の当月実際用役提供量

	切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
動力供給量	3,000kwh	2,000kwh	−	1,000kwh
修繕時間	50h	30h	20h	−

2. 補助部門の予定用役提供量（年間）

	切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
動力供給量	38,400kwh	21,600kwh	−	9,600kwh
修繕時間	720h	480h	120h	−

3. 補助部門費の年間予算額

動力部門費：384,000円　修繕部門費：216,000円

＜予定配賦率＞　動力部門：

修繕部門：

実際部門別配賦表

（単位：円）

摘要	合計	製造部門		補助部門	
		切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
部門費合計	150,000	60,000	40,000	30,000	20,000
動力部門					
修繕部門					
配賦額合計					
製造部門費					

【第2次集計の仕訳（予定配賦）】

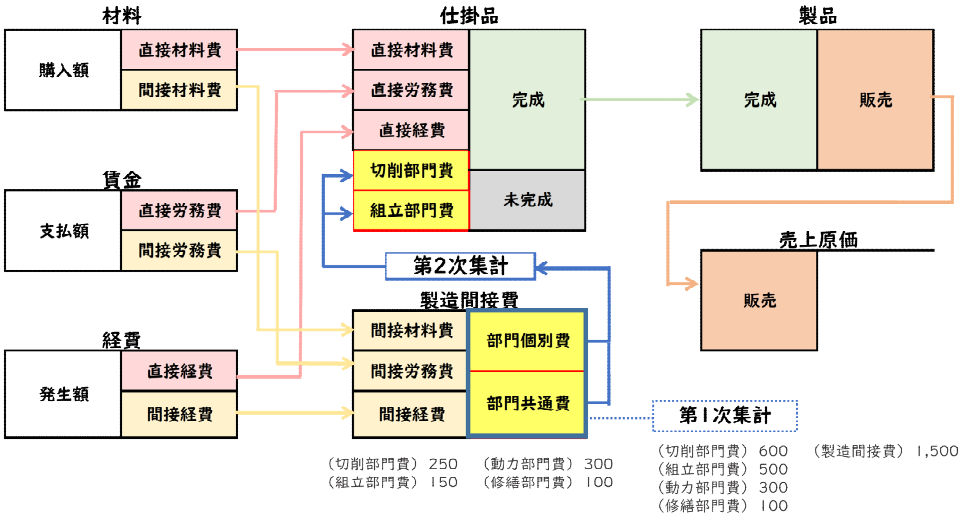
【補助部門費配賦差異の仕訳】

部門別原価計算

原価部門
- 製造部門（切削部門、組立部門など）
- 補助部門（動力部門、修繕部門、工場事務部門など）

＜部門別計算の流れ＞

①.製造間接費を部門ごとに集計する（第1次集計）
②.補助部門費を製造部門に配賦する（第2次集計）
③.製造部門費を各製造指図書へ配賦する（第3次集計）



《③.製造部門費を各製造指図書へ配賦する》

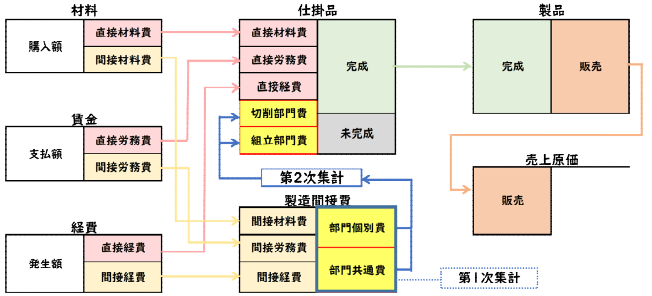
・部門別計算の第3段階では、第2次集計で各製造部門に集計された製造部門費を各製造指図書へ配賦していくが、これには、実際配賦と予定配賦がある。

実際配賦…各製造部門ごとの当月実際発生額を各製造部門ごとの実際配賦基準に基づいて、各製造指図書へ配賦していく。

予定配賦…計算を迅速に行うため、年初に各製造部門ごとの予定配賦率を設定する。
そして、予定配賦率を用いた当月予定配賦額で各製造指図書へ配賦していく。
なお、予定配賦をする場合は、実際発生額との差額で（　　）を求める必要がある。

仕訳例　（仕掛品）1,500　（切削部門費）850
（組立部門費）650

部門別原価計算



《問題5》
次の資料に基づいて、部門別予定配賦率を計算し、第3次集計（予定配賦）の仕訳および製造部門費差異に関する仕訳を行いなさい。
なお、予定配賦の配賦基準は直接作業時間を用いること。

1. 年間の予算部門別配賦表

年間予算部門別配賦表　（単位：円）

摘要	合計	製造部門		補助部門	
		切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
部門費合計	2,000,000	800,000	600,000	400,000	200,000
動力部門	400,000	240,000	160,000		
修繕部門	200,000	120,000	80,000		
配賦額合計	600,000	360,000	240,000		
製造部門費	2,000,000	1,160,000	840,000		

2. 年間の直接作業時間（基準操業度）

切削部門：10,000h　　組立部門：8,400h

3. 当月の製造部門費実際発生額（150,000円）

切削部門費：90,500円　　組立部門費：59,500

4. 当月の直接作業時間

	No.101	No.102
切削部門	450h	300h
組立部門	350h	250h

【部門別予定配賦率】

切削部門	@　　円	組立部門	@　　円

【第3次集計の仕訳（予定配賦）】

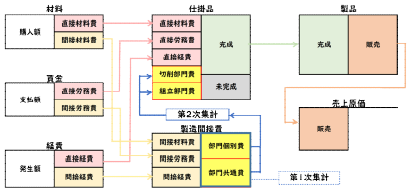
各製造指図書への予定配賦額　（単位：円）

	No.101	No.102	合計
切削部門			
組立部門			
合　　計			

【製造部門費配賦差異の仕訳】

部門別原価計算

＜製造間接費～仕掛品抜粋＞
（製造部門費の配賦を予定配賦する場合）



＜部門別計算の流れ＞
①.製造間接費を部門ごとに集計する（第１次集計）
②.補助部門費を製造部門に配賦する（第２次集計）
③.製造部門費を各製造指図書へ配賦する（第３次集計）

製造間接費

間接材料費
間接労務費
間接経費
部門個別費
部門共通費

～第１次集計～
（切削部門費） 600 （製造間接費） 1,500
（組立部門費） 500
（動力部門費） 300
（修繕部門費） 100

～第２次集計～
（切削部門費） 250 （動力部門費） 300
（組立部門費） 150 （修繕部門費） 100

動力部門費

部門個別費
部門共通費
切削部門費
組立部門費

修繕部門費

部門個別費
部門共通費
切削部門費
組立部門費

切削部門費

部門個別費
部門共通費
動力部門費
修繕部門費
差 異
仕掛品

組立部門費

部門個別費
部門共通費
動力部門費
修繕部門費
差 異
仕掛品

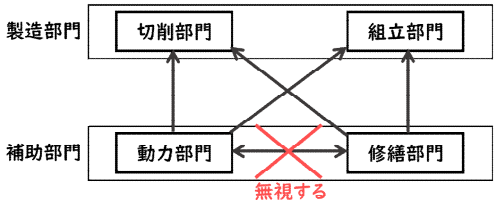
仕掛品

直接材料費
直接労務費
切削部門費
組立部門費
完成
未完成

～第３次集計（予定配賦）～
（ 仕 掛 品 ） 1,400 （切削部門費） 900
（組立部門費） 500

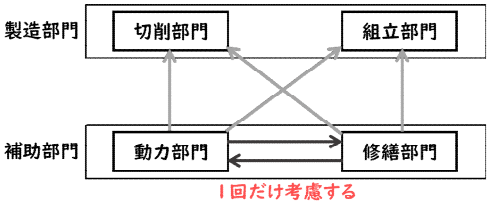
～製造部門費配賦差異～
（切削部門費） 50 （切削部門費配賦差異） 50
（組立部門費配賦差異）150 （組立部門費）150

～直接配賦法～



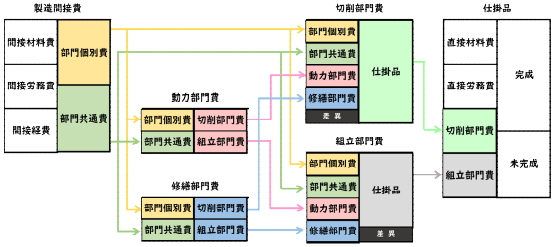
≪まとめ≫

～相互配賦法～



- 原価部門は、製品の製造に直接携わる（　　）と補助的な役割を担う（　　）に分類される
- 補助部門費の配賦方法には（　　）と（　　）がある
- 部門別原価計算は3段階で行われる

<部門別計算の流れ>
①.製造間接費を部門ごとに集計する（第1次集計）
②.補助部門費を製造部門に配賦する（第2次集計）
③.製造部門費を各製造指図書へ配賦する（第3次集計）



※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第12回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
－工業簿記－

13. 個別原価計算

～仕損が発生した場合の処理まで確認しよう～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

～個別原価計算とは～

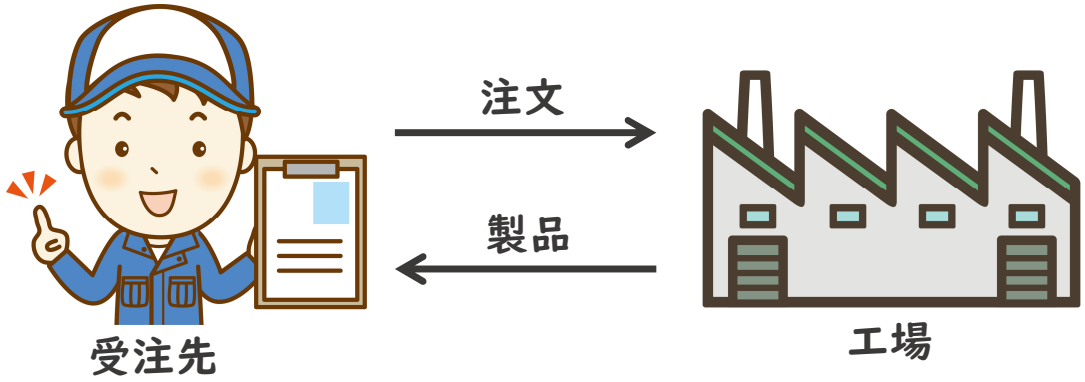
＜個別原価計算の概要と種類について＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

個別原価計算

<個別原価計算の流れについて>

○用語○
製造指図書…注文内容や納期などが記載された書類
原価計算表…製造指図書をもとに原価を集計するための表



製造指図書			No.001
受注先	イロハ製作所		
受注日		納期	
**年 **月 **日		**年 **月 **日	
品名	型番	数量	備考
製品X	X-1	100個	

製造指図書			No.002
受注先	イロハ製作所		
受注日		納期	
**年 **月 **日		**年 **月 **日	
品名	型番	数量	備考
製品Y	Y-1	30個	

工業簿記の基礎　　原価計算の手続き

<第3段階…製品原価の計算方法について>

・製品原価の計算方法は、製品の生産形態の違いにより、(個別原価計算)と (総合原価計算)の2つの方法がある。
・(個別原価計算)は、いわゆる「オーダーメイド」で、受注生産で製品の製造を行う業種(建設業・造船業など)で用いられる計算方計算方法である。
・(総合原価計算)は、見込み生産で同じ規格の製品を大量に生産する業種(衣料品製造業など)で用いられる計算方法である。

原価計算表　　(単位:円)

	製品X	製品Y	合 計
直接材料費	1,000	500	1,500
直接労務費	800	400	1,200
直接経費	600	300	900
製造間接費	400	200	600
合 計	2,800	1,400	4,200
備 考	完成	未完成	

個別原価計算

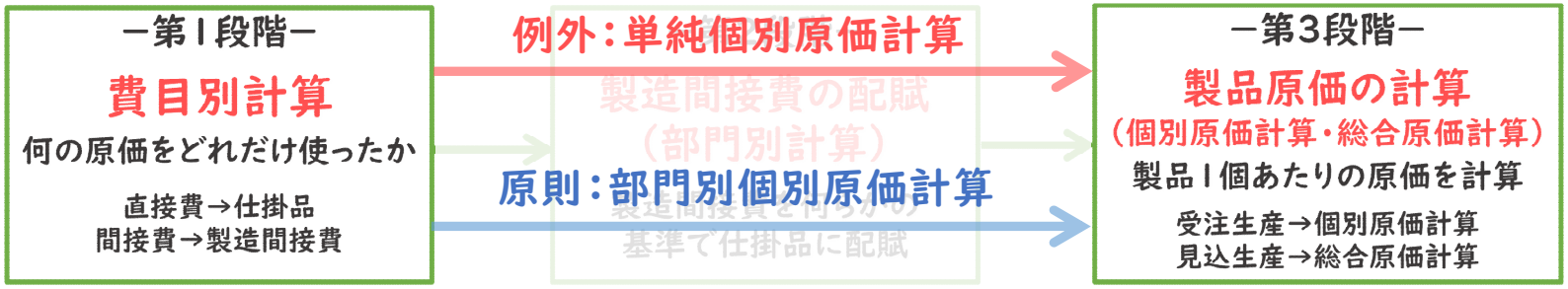
・個別原価計算は、部門別計算をするかしないかで2つの種類に分けられる。

【例外】

（　　）… 原価計算の手続きを簡単に行うため、部門別計算の過程を省略し、1つの配賦基準で配賦（総括配賦）する方法である。
生産工程が単純で、規模の小さな工場で採用される。

【原則】

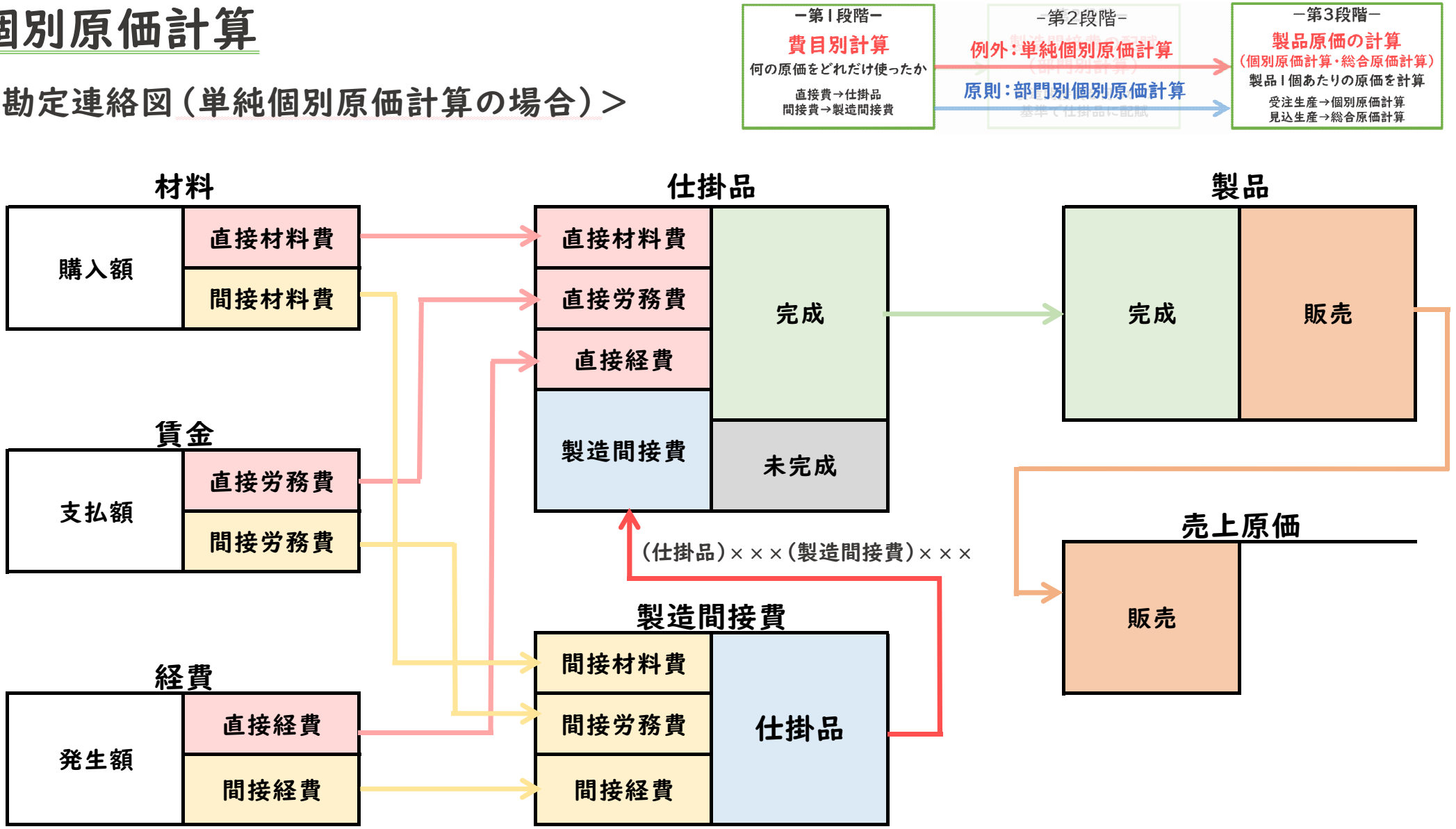
（　　）… 原価計算をより正確に行うため、部門別計算を行って、それぞれの部門に適した（複数の）配賦基準で配賦（部門別配賦）する方法である。生産工程が複雑で、規模の大きな工場で採用される。



〇用語〇
（原価）部門…原価を分けて集計するための計算上の区分（製造部門、組立部門など）
部門別計算（部門別原価計算）…原価を部門ごとに分けて集計する計算手続き

個別原価計算

<勘定連絡図（単純個別原価計算の場合）>



個別原価計算

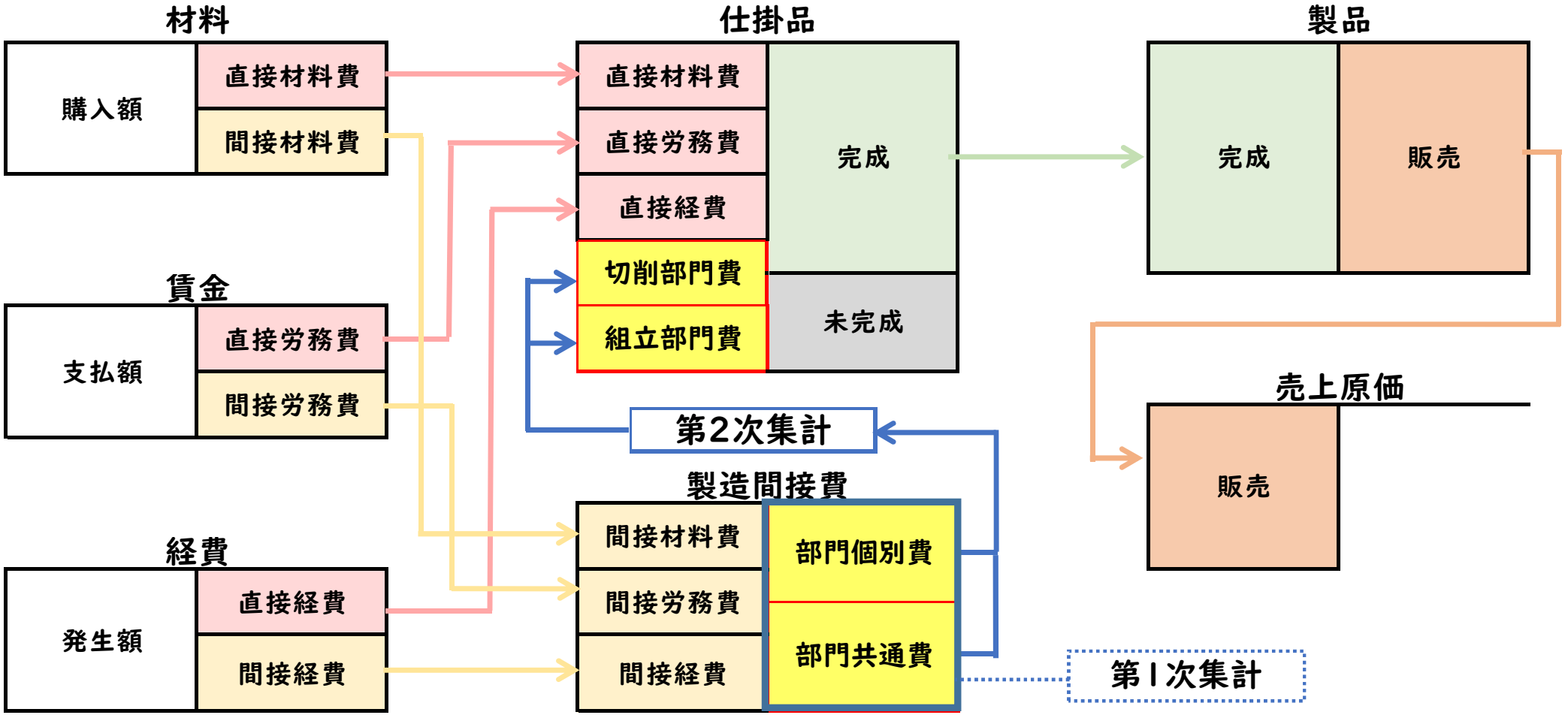
原価部門
- 製造部門（切削部門、組立部門など）
- 補助部門（動力部門、修繕部門、工場事務部門など）

－第１段階－
費目別計算
何の原価をどれだけ使ったか
直接費→仕掛品
間接費→製造間接費

－第2段階－
例外：単純個別原価計算
原則：部門別個別原価計算

－第3段階－
製品原価の計算
（個別原価計算・総合原価計算）
製品１個あたりの原価を計算
受注生産→個別原価計算
見込生産→総合原価計算

＜勘定連絡図（部門別個別原価計算の場合）＞



個別原価計算

～仕損（しそんじ）が発生した場合の処理方法～

＜「仕損とは？」と仕訳について＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

個別原価計算

・個別原価計算における仕損（しそんじ）とは、製品の製造過程の中で加工に（　　）し、不合格品が発生したことをいう。なお、この不合格品は（　　）といい、これを補修もしくは代品を製造するために発生した費用を（　　）という。

※1級の内容です!

＜仕損費の処理について＞

・仕損品を補修によって合格品にできる場合は、（　　）を発行するが、ここに集計された製造原価（＝補修費用）が仕損費となる。
・そして、この仕損費は仕損が発生した製造指図書へ賦課する。
（　　）という

《例題》
製造指図書No.1において、仕損が発生したが、補修によって合格品にできるため補修指図書No.1-1を発行した。原価計算表を完成させなさい。

原価計算表　（単位：円）

	No.1	No.1-1
直接材料費	1,000	250
直接労務費	600	150
製造間接費	400	100
小計	2,000	500
仕損費		
合　計		
備　考		

補修指図書によるもの

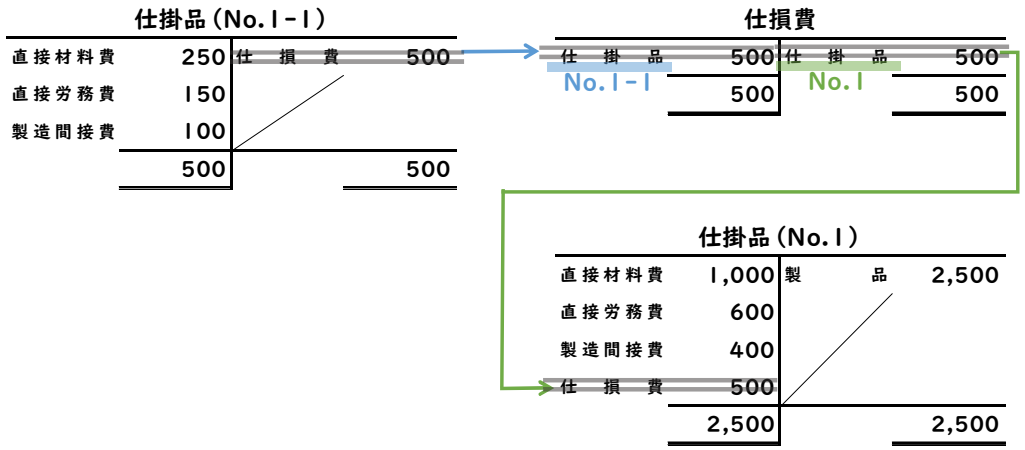
○用語○
賦課（直課）…直接、原価を割り当てること

個別原価計算

<勘定記入のパターンと仕訳ついて>

仕損費を直接経費処理する際の勘定記入の方法には、
「仕損費勘定」を設ける場合と設けない場合がある。

○仕損費勘定を設ける場合○



【仕訳】 ①No.1-1の補修費を仕損費へ振替える仕訳

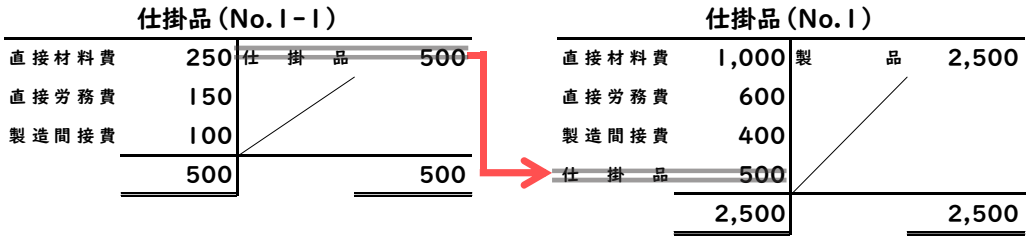
②仕損費をNo.1の原価として賦課する仕訳

原価計算表 （単位：円）

	No.1	No.1-1
直接材料費	1,000	250
直接労務費	600	150
製造間接費	400	100
小計	2,000	仕損費 500
仕損費	500	△500
合 計	2,500	0
備 考	完 成	No.1へ振替

補修指図書によるもの

◎仕損費勘定を設けない場合◎



【仕訳】

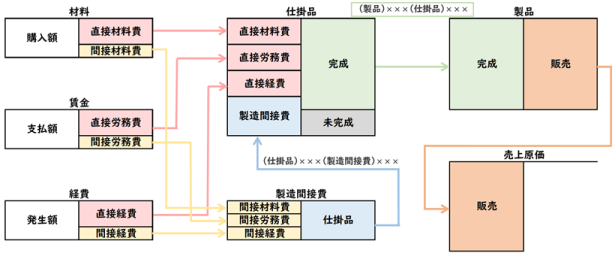
<参考>
問題によっては、仕損費勘定を設ける場合の「仕損費勘定」および
設けない場合の「仕掛品勘定」が借方と貸方で相殺できるため
全体の仕掛品勘定には計上されない（しない）場合もある。
この場合、「仕訳不要」として処理する。

―問題解説―

＜個別原価計算において仕損が発生した場合＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

個別原価計算



問題

当社では、単純個別原価計算を採用している。
下記の資料より、原価計算表を完成させ、仕掛品勘定と製品勘定の記入を行いなさい。

[資料]

1. 当月の製造指図書内訳

製造指図書	直接材料費	直接作業時間	備考
No.101	2,000円	150h	6/25着手、7/5完成、7/10販売
No.102	5,000円	300h	7/2着手、7/15完成、7/25販売
No.103	3,500円	200h	7/8着手、7/16一部仕損、7/20完成、7/31在庫
No.103-1	500円	50h	7/17補修開始、7/18補修完了
No.104	1,500円	100h	7/25着手、7/31未完成

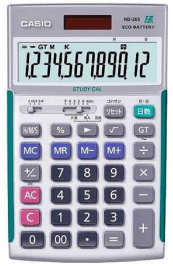
・月初仕掛品（No.101）は3,500円であった。
・No.103-1は一部仕損が生じたNo.103を補修して合格品にするために発行した指図書であり、仕損は正常なものであった。
なお、仕損費は直接経費として処理している。

2. 直接労務費の計算は、、予定消費賃率を採用しており、1時間あたり10円である。
3. 製造間接費は、直接作業時間を配賦基準として各製造指図書に予定配賦しており、1時間あたり20円である。
4. 月初製品（No.100）は10,000円であり、7/12に販売済みである。

原価計算表

(単位:円)

	No.101	No.102	No.103	No.103-1	No.104	合　計
月初仕掛品						
直接材料費						
直接労務費						
製造間接費						
小計						
仕損費						
合計						
備　考						

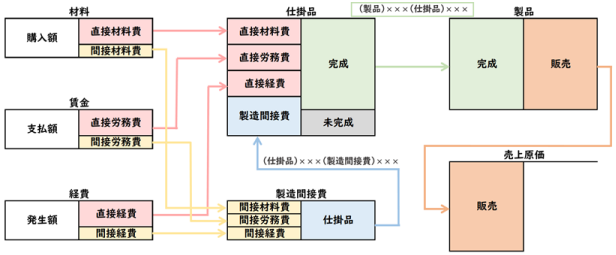


《重要》
定数計算機能「K」を使って計算すること!
@10円××150=,300=…
@20円××150=,300=…

個別原価計算

問題

当社では、単純個別原価計算を採用している。
下記の資料より、原価計算表を完成させ、仕掛品勘定と製品勘定の記入を行いなさい。



[資料]

1～3.＜　省略　＞

4. 月初製品（No.100）は10,000円であり、
　7/12に販売済みである。

原価計算表　　(単位:円)

	No.101	No.102	No.103	No.103-1	No.104	合 計
月初仕掛品	3,500	-	-	-	-	3,500
直接材料費	2,000	5,000	3,500	500	1,500	12,500
直接労務費	1,500	3,000	2,000	500	1,000	8,000
製造間接費	3,000	6,000	4,000	1,000	2,000	16,000
小計	10,000	14,000	9,500	2,000	4,500	40,000
仕損費	-	-	2,000	△2,000	-	0
合計	10,000	14,000	11,500	0	4,500	40,000
備 考	完成・販売	完成・販売	完成・在庫	No.103へ振替	仕掛中	

仕掛品

前月繰越		製　　品	
直接材料費		次月繰越	
直接労務費			
製造間接費			

製品

前月繰越		売上原価	
仕　掛　品		次月繰越	

個別原価計算

<参考>
問題によっては、仕損費勘定を設ける場合の「仕損費勘定」および設けない場合の「仕掛品勘定」が借方と貸方で相殺できるため全体の仕掛品勘定には計上されない（しない）場合もある。
この場合、「仕訳不要」として処理する。

<参考>

仕損費勘定を設ける場合、設けない場合の仕掛品勘定の記入について

仕掛品

前月繰越	3,500	製品	35,500
直接材料費	12,500	次月繰越	4,500
直接労務費	8,000		
製造間接費	16,000		
	40,000		40,000

●仕損費勘定を設ける場合●

仕掛品（No.103-1）

直接材料費	500	仕損費	2,000
直接労務費	500		
製造間接費	1,000		
	2,000		2,000

仕損費

仕掛品 No.103-1	2,000	仕掛品 No.103	2,000
	2,000		2,000

仕掛品（No.103）

直接材料費	3,500	製品	11,500
直接労務費	2,000		
製造間接費	4,000		
仕損費	2,000		
	11,500		11,500

仕掛品（No.101/102/103/103-1/104）

前月繰越	3,500	製品	35,500
直接材料費	12,500	次月繰越	4,500
直接労務費	8,000	仕損費	2,000
製造間接費	16,000		
仕損費	2,000		
	42,000		42,000

原価計算表　（単位：円）

	No.101	No.102	No.103	No.103-1	No.104	合計
月初仕掛品	3,500	-	-	-	-	3,500
直接材料費	2,000	5,000	3,500	500	1,500	12,500
直接労務費	1,500	3,000	2,000	500	1,000	8,000
製造間接費	3,000	6,000	4,000	1,000	2,000	16,000
小計	10,000	14,000	9,500	2,000	4,500	40,000
仕損費	-	-	2,000	△2,000	-	0
合計	10,000	14,000	11,500	0	4,500	40,000
備考	完成・販売	完成・販売	完成・在庫	No.103へ振替	仕掛中	

●仕損費勘定を設けない場合●

仕掛品（No.103-1）

直接材料費	500	仕掛品	2,000
直接労務費	500		
製造間接費	1,000		
	2,000		2,000

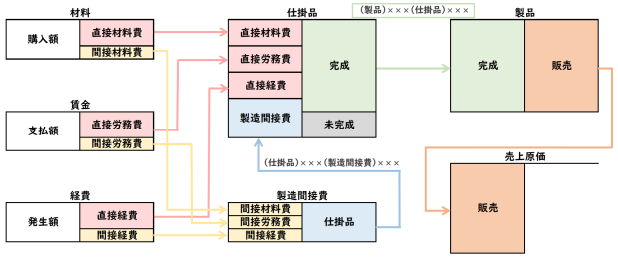
仕掛品（No.103）

直接材料費	3,500	製品	11,500
直接労務費	2,000		
製造間接費	4,000		
仕掛品	2,000		
	11,500		11,500

仕掛品（No.101/102/103/103-1/104）

前月繰越	3,500	製品	35,500
直接材料費	12,500	次月繰越	4,500
直接労務費	8,000	仕掛品	2,000
製造間接費	16,000		
仕掛品	2,000		
	42,000		42,000

≪まとめ≫



- 個別原価計算には、原価計算の手続きを簡単に行う単純個別原価計算とより正確に行う（　　）がある
- 個別原価計算において不合格品が発生したことは、（　　）という
- 仕損費が発生した場合、仕損が発生した製造指図書へ賦課する
  （2級では直接経費処理を学ぶ）

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第13回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
－工業簿記－

14. 総合原価計算①

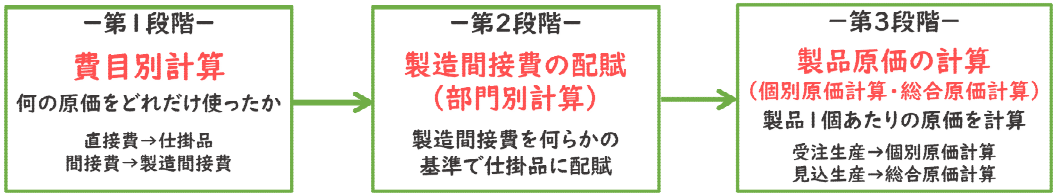
～大量見込生産に用いられる原価計算について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

総合原価計算

～総合原価計算とは？～

＜総合原価計算の基本について確認しよう！＞



ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

総合原価計算

・総合原価計算とは、同じ製品を（　　）する業種で用いられる製品原価の計算方法である。
・総合原価計算でも、個別原価計算と同じく、原価計算の目的「製品1個あたりの原価を把握すること」は変わらない。

工業簿記の基礎　　原価計算の手続き

＜第3段階…製品原価の計算方法について＞

・製品原価の計算方法は、製品の生産形態の違いにより、（ 個別原価計算 ）と（ 総合原価計算 ）の2つの方法がある。
・（ 個別原価計算 ）は、いわゆる「オーダーメイド」で、受注生産で製品の製造を行う業種（建設業・造船業など）で用いられる計算方計算方法である。
・（ 総合原価計算 ）は、見込み生産で同じ規格の製品を大量に生産する業種（衣料品製造業など）で用いられる計算方法である。

○用語○
完成品総合原価…完成した製品の原価総額

【（総合原価計算による）製品1個あたりの原価の計算方法】
製品1個あたりの原価＝完成品総合原価÷完成品数量

総合原価計算

○用語○
（　　）…製品を作るための過程（加工作業の段階）
（　　）…1つのまとまり（種類）を表す単位（1組、2組など）
（　　）…何らかの基準で区分したもの（形、品質、量など）

＜総合原価計算の生産形態による分類＞

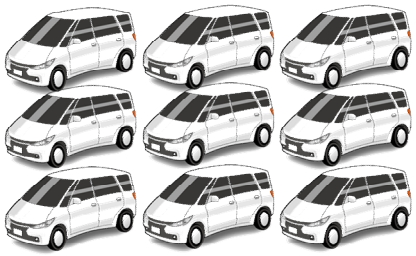
・総合原価計算は、それぞれの生産形態によって、下記のような計算方法がある。

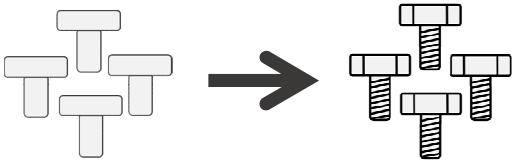
・（　　）…　1つの製造工程で、1種類の製品を生産する場合の原価計算

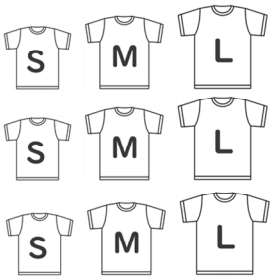
・（　　）…　2つ以上の製造工程で、製品を生産する場合の原価計算
※第1工程、第2工程、第3工程、、、

・（　　）…　同じ製造工程で、2種類以上の異種製品を生産する場合の原価計算
※製品の種類別に「組」を設ける。

・（　　）…　同じ製造工程で、同じ種類の製品を複数生産する場合の原価計算
※大きさ（S・M・L）・品質（1級品・2級品）などの等級をつけて区分







総合原価計算

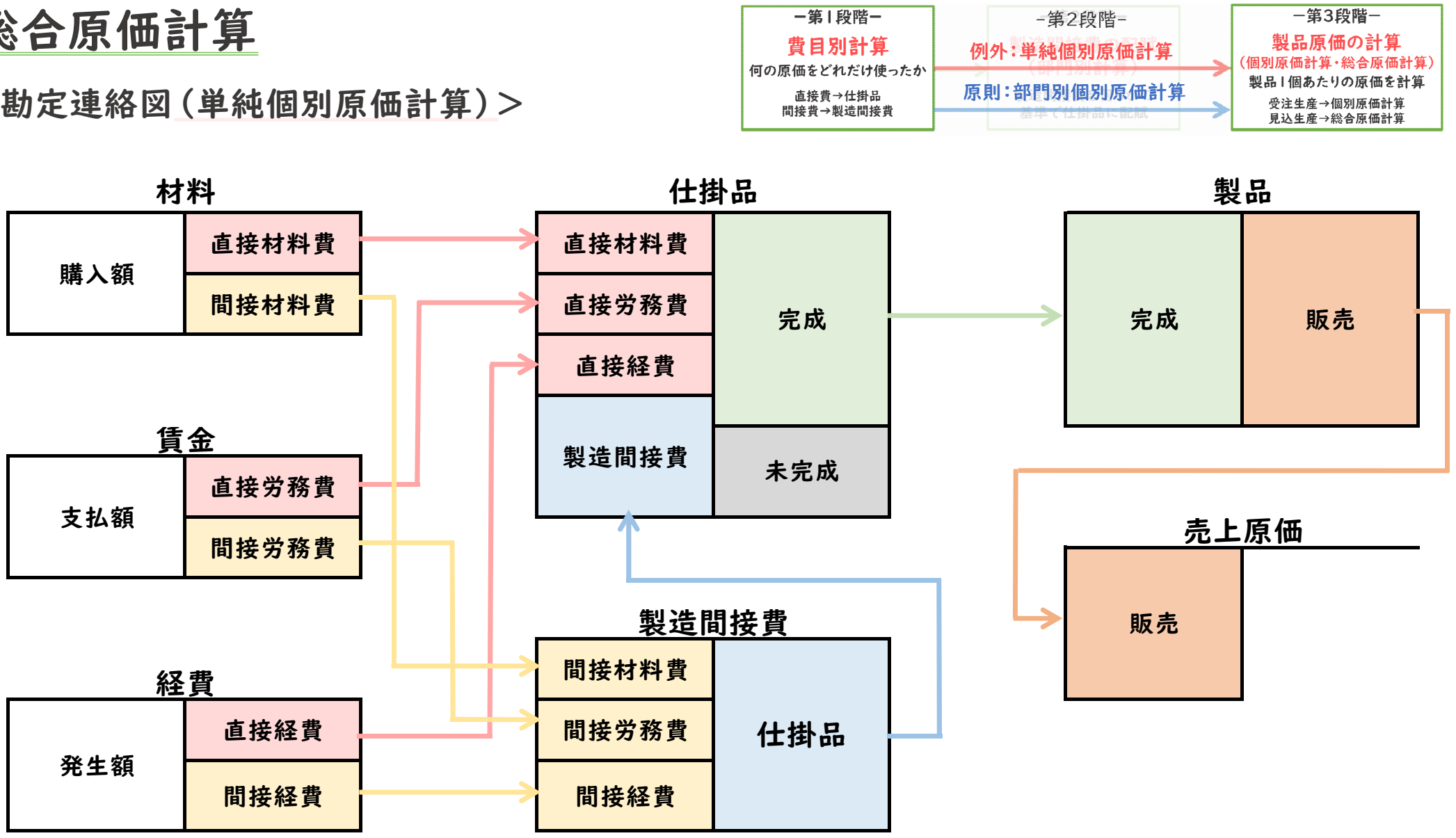
～総合原価計算の勘定連絡図～

＜総合原価計算の全体の流れを把握しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

総合原価計算

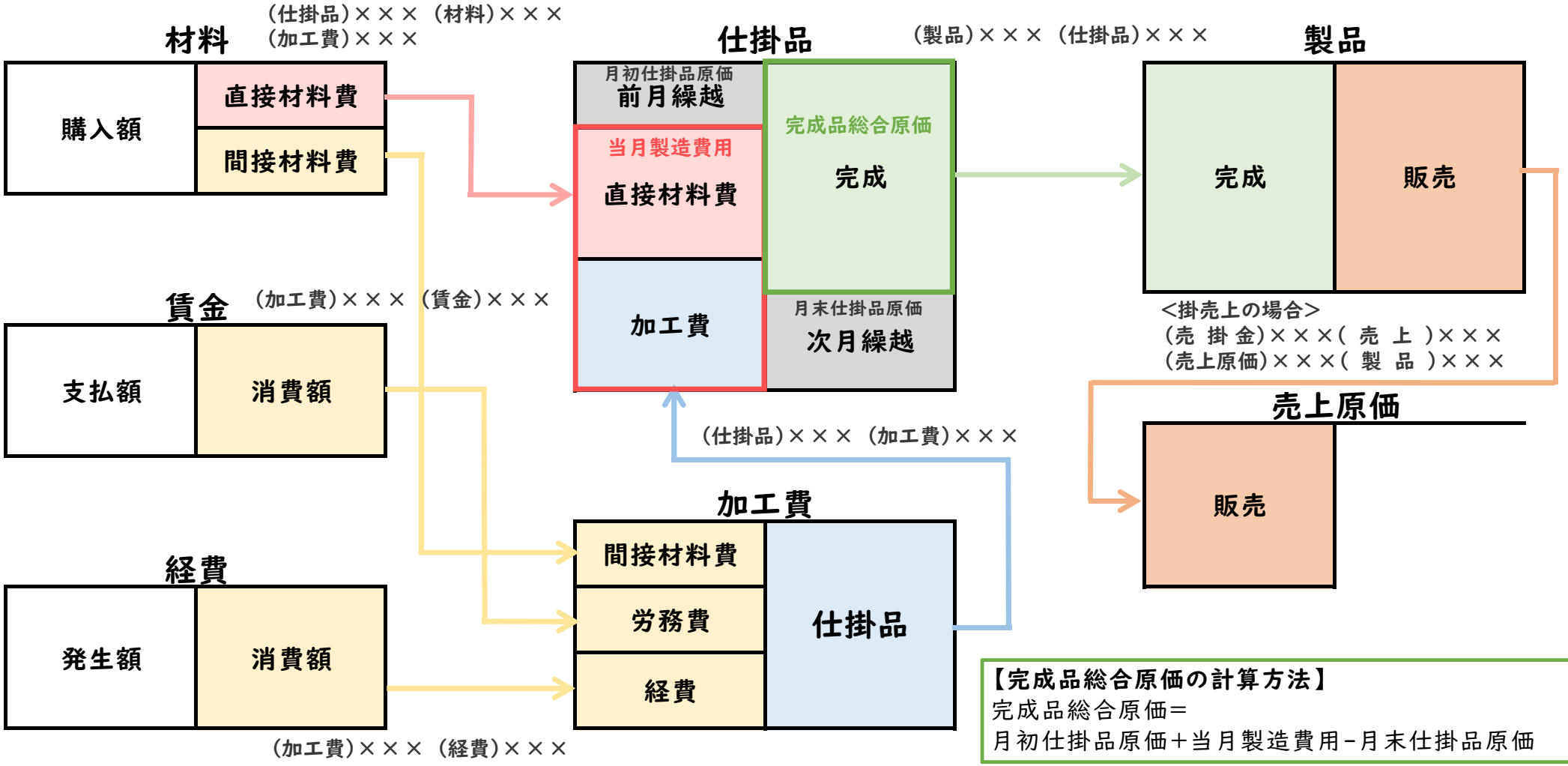
<勘定連絡図（単純個別原価計算）>



総合原価計算

<勘定連絡図（総合原価計算）>

○用語○
月初仕掛品原価…前月から作業している分の未完成品
当月製造費用…当月の作業によって発生した原価（直接材料費・加工費）
月末仕掛品原価…当月に作業した分の未完成品



【完成品総合原価の計算方法】
完成品総合原価＝
月初仕掛品原価＋当月製造費用－月末仕掛品原価

総合原価計算

～製造原価の分類と加工進捗度について～

＜加工進捗度から換算量を求めよう＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

総合原価計算

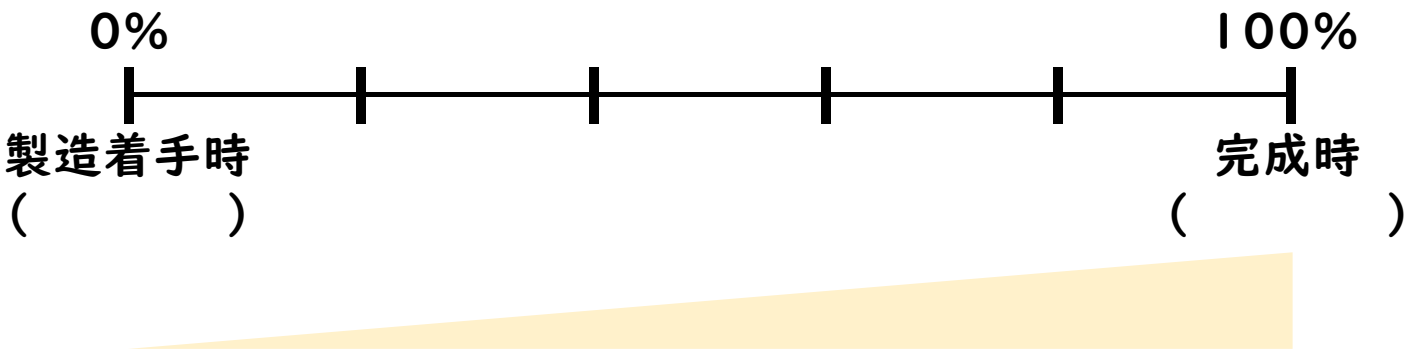
＜製造原価の分類＞

・総合原価計算における製造原価は下記の2つに分類される。
・（　　）…製品の元となる主要な原価
・（　　）…製品の加工が進むにつれてかかる原価

1．生産データ		
月初仕掛品	0 コ	
当月投入	100 コ	
合計	100 コ	
月末仕掛品	40 コ	(50%)
完成品	60 コ	

・なお、製品完成までにかかるこれらの原価を正確に計算するためには、「どれぐらい加工が進んでいるのか」を把握するため、「加工の仕上がり度」を表す（　　）を考慮する必要がある。

＜加工進捗度＞



・材料は、基本的に工程の（　　）で必要な数量を投入するため、工程のどの段階であっても加工進捗度は（　　）%である。そのため、投入した材料の（　　）で計算を行う。

・加工費は、製品の加工が進むにつれてかかる原価であるため、加工進捗度に応じた原価を求める必要がある。そのため、投入材料の数量を加工進捗度に応じて換算した（　　）で計算を行う。

総合原価計算

～問題解説～

＜総合原価計算の計算手順を問題で把握しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

総合原価計算

〇ポイント〇
総合原価計算は「ボックス図」を使って解答すること‼

《問題》
次の資料に基づいて、月末仕掛品原価、完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。

1. 生産データ

<換算量>

月初仕掛品	0 コ	
当月投入	100 コ	
合計	100 コ	
月末仕掛品	40 コ	(50%)
完成品	60 コ	

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

仕掛品(直接材料費)

当月投入	完成品
	月末仕掛品

仕掛品(加工費)

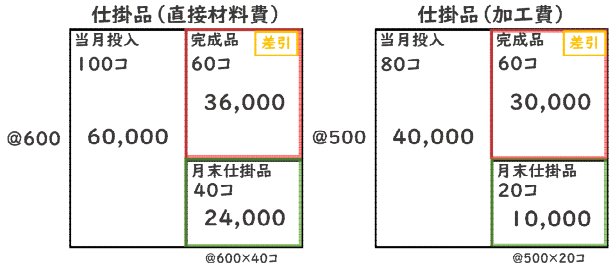
当月投入	完成品
	月末仕掛品

2. 原価データ

	直接材料費	加工費
当月製造費用	60,000 円	40,000 円

月末仕掛品原価		円
完成品総合原価		円
完成品単位原価	@	円

≪まとめ≫



- 総合原価計算は、同じ製品を大量生産する業種に用いられる製品原価の計算をいう
- 総合原価計算には、生産形態によって「単純」・「組別」・「等級別」・「工程別」といった計算方法がある
- 総合原価計算では、製造原価を（　　）と（　　）に分類する
- 加工費は、加工が進むにつれてかかる原価であるため、加工進捗度に応じた（　　）で計算を行う
- 総合原価計算の問題を解く際は、ボックス図を用いること！

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第14回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
－工業簿記－

15. 総合原価計算②

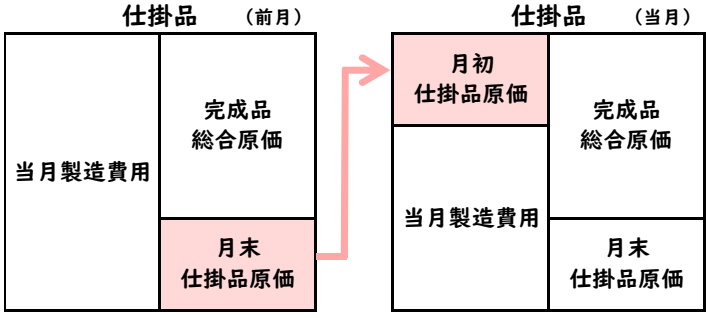
～月初仕掛品がある場合について（平均法と先入先出法）～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

総合原価計算（平均法・先入先出法）

～月初仕掛品がある場合の計算方法について～

＜平均法と先入先出法を把握しよう！＞



ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

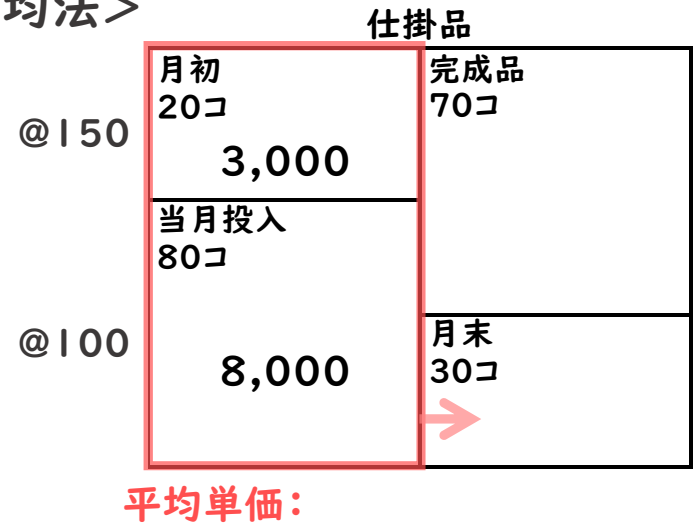
総合原価計算（平均法・先入先出法）

・月初仕掛品がある場合、月初仕掛品原価の単価と当月製造費用の単価は異なる場合があるため、月末仕掛品原価は、平均法もしくは先入先出法を用いて計算を行う。

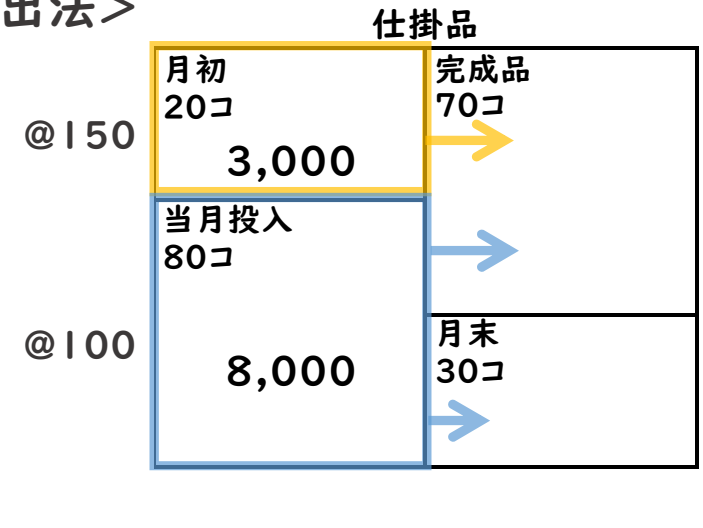
・（　　）…月初仕掛品と当月投入分の合計から平均的に製品が完成すると仮定して月末仕掛品原価を計算する方法

・（　　）…先に投入したもの（月初仕掛品）を先に完成させ、その後当月投入分を完成させるという考えをもとに月末仕掛品原価を計算する方法

＜平均法＞



＜先入先出法＞



【完成品原価の計算方法】
完成品原価 ＝ 月初仕掛品原価 ＋ 当月製造費用 － 月末仕掛品原価

総合原価計算（平均法・先入先出法）

～問題解説～

＜平均法と先入先出法の計算手順をマスターしよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

総合原価計算（平均法・先入先出法）

《問題１》
次の資料に基づいて、平均法により月末仕掛品原価、完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。

１．生産データ

＜換算量＞

月初仕掛品	300 コ	（60%）
当月投入	500 コ	
合計	800 コ	
月末仕掛品	200 コ	（40%）
完成品	600 コ	

・（　　）内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

仕掛品（加工費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

２．原価データ

	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	12,000 円	18,000 円
当月製造費用	30,000 円	50,000 円

【解答】

月末仕掛品原価		円
完成品総合原価		円
完成品単位原価	@	円

総合原価計算（平均法・先入先出法）

《問題2》
次の資料に基づいて、先入先出法により月末仕掛品原価、完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。

1. 生産データ

<換算量>

月初仕掛品	300 コ	（60%）
当月投入	500 コ	
合計	800 コ	
月末仕掛品	200 コ	（40%）
完成品	600 コ	

・（　　）内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

仕掛品（加工費）

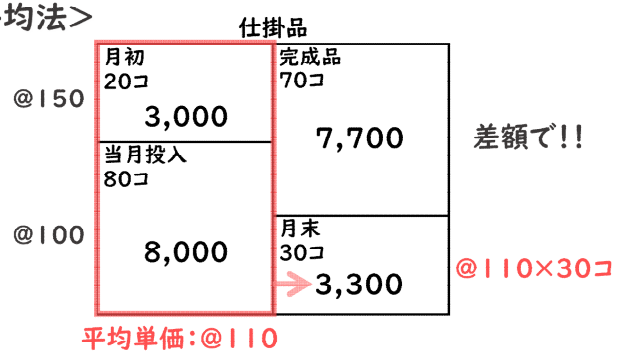
月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

2. 原価データ

	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	15,000 円	25,800 円
当月製造費用	70,000 円	80,000 円

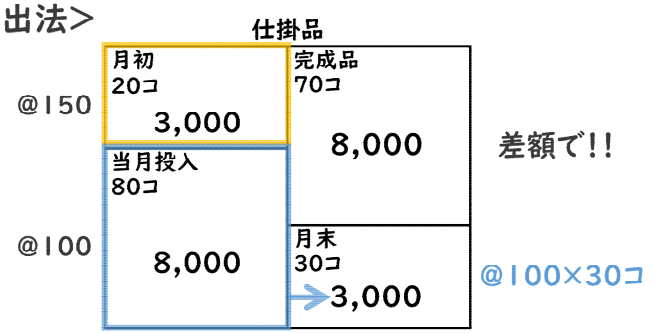
月末仕掛品原価		円
完成品総合原価		円
完成品単位原価	@	円

<平均法>



≪まとめ≫

<先入先出法>



- 月初仕掛品と当月製造費用は、それぞれの単価が異なる場合があるため、月末仕掛品原価を求める際に、(　　)もしくは(　　)で計算する

- 完成品総合原価は、貸借差額(月初仕掛品原価+当月製造費用-月末仕掛品原価)で求めること(月末仕掛品原価の計算が重要)

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第15回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

16. 総合原価計算③

～材料の追加投入について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

総合原価計算（材料の追加投入）

～材料の追加投入とは？～

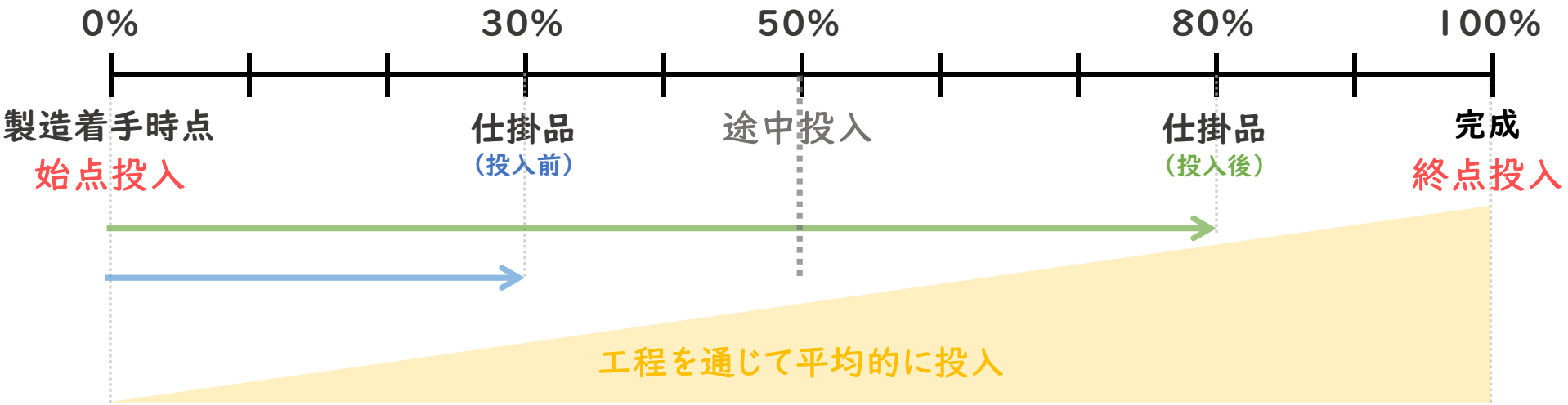
＜投入パターンと処理方法を把握しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

総合原価計算（材料の追加投入）

＜材料の投入パターン＞

No.	材料の投入パターン	材料費の処理方法
1	工程の始点（0%）で投入する場合	月末仕掛品原価と完成品原価の両者に負担（（　　）按分）
2	工程の終点（100%）で投入する場合	完成品原価にのみ負担（仕掛品にはならない）
3	工程の途中で投入する場合	月末仕掛品の加工進捗度より前に投入したか後に投入したかで処理が異なる 月末仕掛品の加工進捗度よりも前→ 月末仕掛品の加工進捗度よりも後→
4	工程を通じて平均的に投入する場合	月末仕掛品原価と完成品原価の両者に負担（（　　）按分） （加工の進捗に応じてかかる原価のため「加工費と同じ扱い」）



総合原価計算（材料の追加投入）

―問題解説―

～それぞれのパターンを問題で確認しよう！～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

総合原価計算（材料の追加投入）

○ポイント○
材料の投入時点と月初仕掛品・月末仕掛品の加工進捗度との関係を考えること

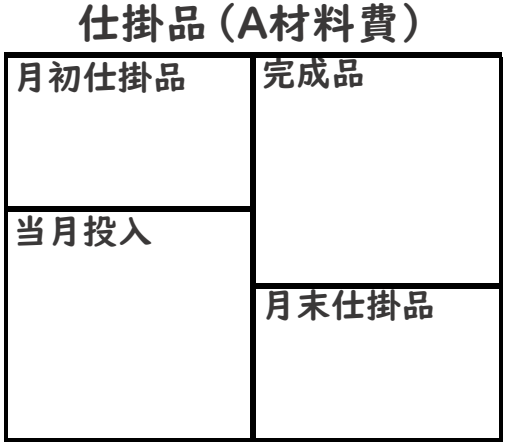
《問題》
次の資料に基づいて、先入先出法により月末仕掛品原価、完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。

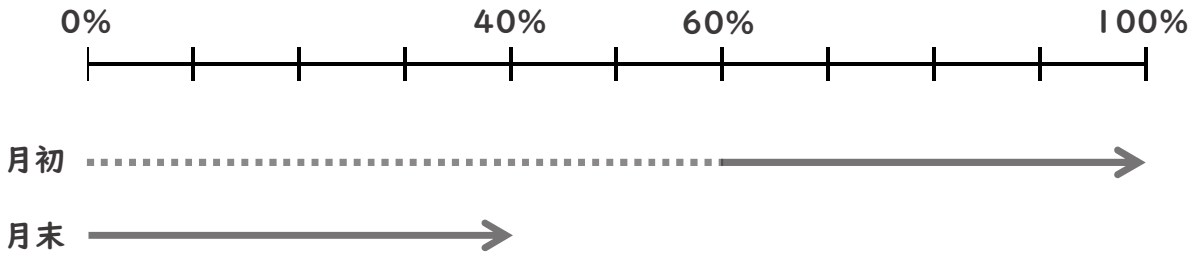
1. 生産データ

<換算量>

月初仕掛品	300 コ	（60%）
当月投入	500 コ	
合計	800 コ	
月末仕掛品	200 コ	（40%）
完成品	600 コ	

・（　　）内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて直接材料費であり、
A材料費は工程の始点で、B材料費は工程の50%で、
C材料費は工程の30%で、D材料費は工程の終点で、
E材料費は工程を通じて平均的に投入する。





2. 原価データ

	A材料費	B材料費	C材料費	D材料費	E材料費	加工費
月初仕掛品原価	10,000円	5,000円	13,000円	0円	9,000円	18,000円
当月製造費用	50,000円	15,000円	20,000円	5,000円	25,000円	50,000円

総合原価計算（材料の追加投入）

○ポイント○
材料の投入時点と月初仕掛品・月末仕掛品の加工進捗度との関係を考えること

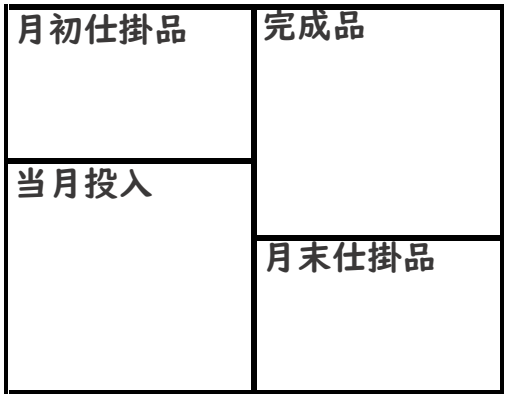
《問題》
次の資料に基づいて、先入先出法により月末仕掛品原価、完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。

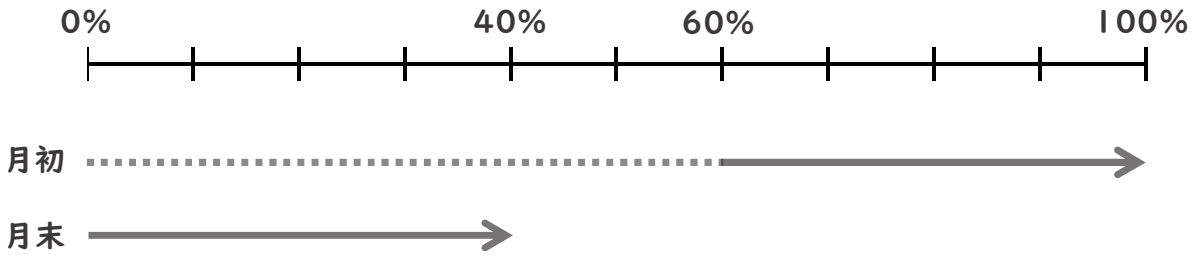
1. 生産データ

			<換算量>
月初仕掛品	300 コ	(60%) →	180コ
当月投入	500 コ		500コ
合計	800 コ		680コ
月末仕掛品	200 コ	(40%) →	80コ
完成品	600 コ		600コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて直接材料費であり、
A材料費は工程の始点で、B材料費は工程の50%で、
C材料費は工程の30%で、D材料費は工程の終点で、
E材料費は工程を通じて平均的に投入する。

仕掛品（B材料費）





2. 原価データ

	A材料費	B材料費	C材料費	D材料費	E材料費	加工費
月初仕掛品原価	10,000円	5,000円	13,000円	0円	9,000円	18,000円
当月製造費用	50,000円	15,000円	20,000円	5,000円	25,000円	50,000円

総合原価計算（材料の追加投入）

○ポイント○
材料の投入時点と月初仕掛品・月末仕掛品の加工進捗度に注目すること

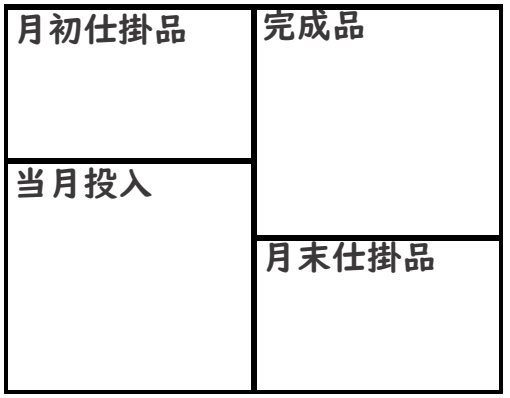
《問題》
次の資料に基づいて、先入先出法により月末仕掛品原価、完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。

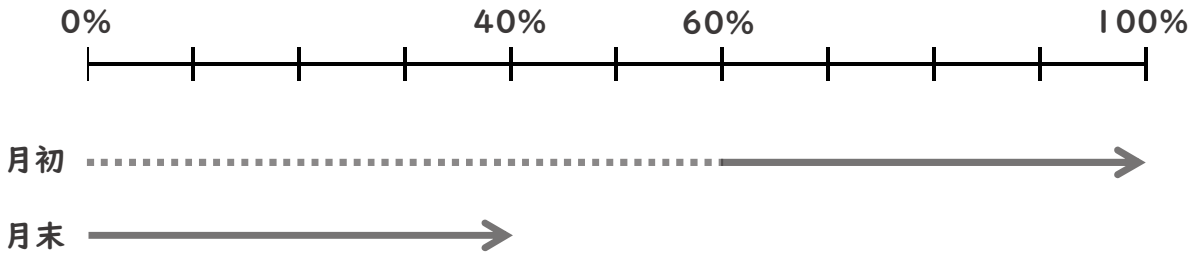
1. 生産データ

			<換算量>
月初仕掛品	300 コ	(60%) →	180コ
当月投入	500 コ		500コ
合計	800 コ		680コ
月末仕掛品	200 コ	(40%) →	80コ
完成品	600 コ		600コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて直接材料費であり、
A材料費は工程の始点で、B材料費は工程の50%で、
C材料費は工程の30%で、D材料費は工程の終点で、
E材料費は工程を通じて平均的に投入する。

仕掛品（C材料費）





2. 原価データ

	A材料費	B材料費	C材料費	D材料費	E材料費	加工費
月初仕掛品原価	10,000円	5,000円	13,000円	0円	9,000円	18,000円
当月製造費用	50,000円	15,000円	20,000円	5,000円	25,000円	50,000円

総合原価計算（材料の追加投入）

○ポイント○
材料の投入時点と月初仕掛品・月末仕掛品の加工進捗度との関係を考えること

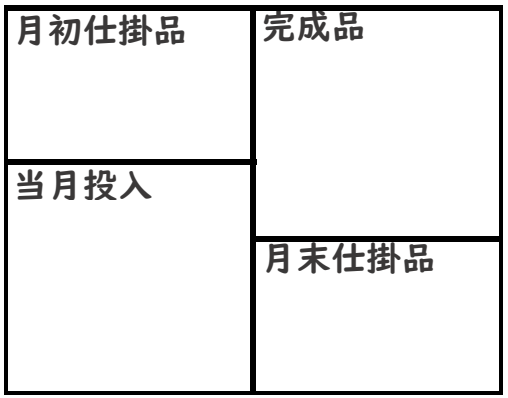
《問題》
次の資料に基づいて、先入先出法により月末仕掛品原価、完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。

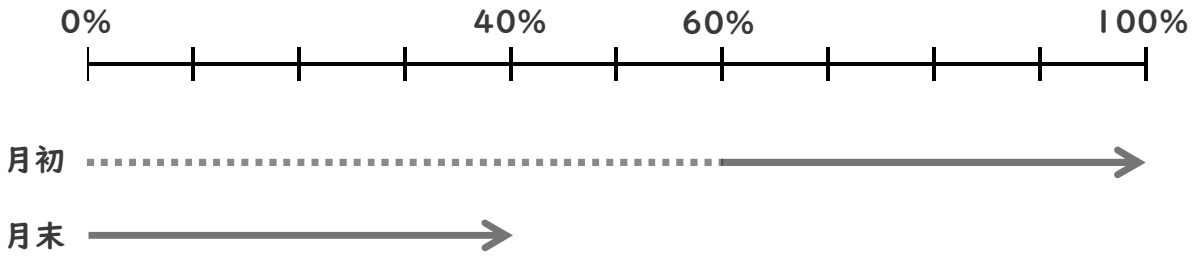
1. 生産データ

			<換算量>
月初仕掛品	300 コ	(60%) →	180コ
当月投入	500 コ		500コ
合計	800 コ		680コ
月末仕掛品	200 コ	(40%) →	80コ
完成品	600 コ		600コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて直接材料費であり、
A材料費は工程の始点で、B材料費は工程の50%で、
C材料費は工程の30%で、D材料費は工程の終点で、
E材料費は工程を通じて平均的に投入する。

仕掛品（D材料費）





2. 原価データ

	A材料費	B材料費	C材料費	D材料費	E材料費	加工費
月初仕掛品原価	10,000円	5,000円	13,000円	0円	9,000円	18,000円
当月製造費用	50,000円	15,000円	20,000円	5,000円	25,000円	50,000円

総合原価計算（材料の追加投入）

○ポイント○
材料の投入時点と月初仕掛品・月末仕掛品の加工進捗度との関係を考えること

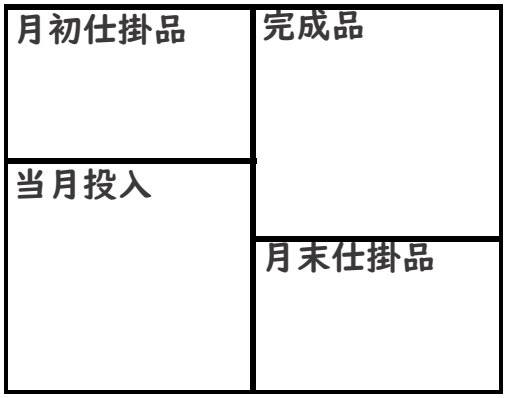
《問題》
次の資料に基づいて、先入先出法により月末仕掛品原価、完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。

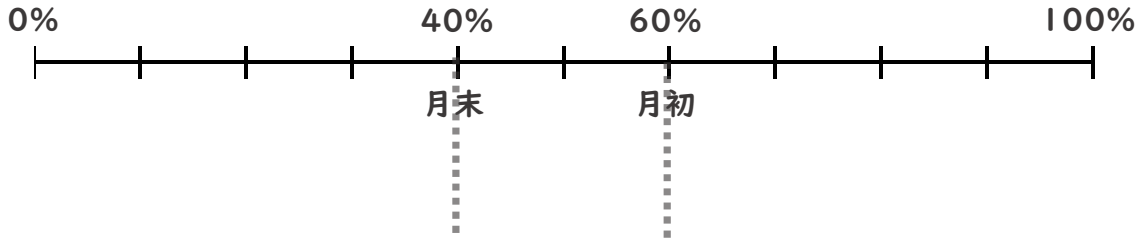
1. 生産データ

			<換算量>
月初仕掛品	300 コ	(60%) →	180コ
当月投入	500 コ		500コ
合計	800 コ		680コ
月末仕掛品	200 コ	(40%) →	80コ
完成品	600 コ		600コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて直接材料費であり、
A材料費は工程の始点で、B材料費は工程の50%で、
C材料費は工程の30%で、D材料費は工程の終点で、
E材料費は工程を通じて平均的に投入する。

仕掛品（E材料費）





2. 原価データ

	A材料費	B材料費	C材料費	D材料費	E材料費	加工費
月初仕掛品原価	10,000円	5,000円	13,000円	0円	9,000円	18,000円
当月製造費用	50,000円	15,000円	20,000円	5,000円	25,000円	50,000円

総合原価計算（材料の追加投入）

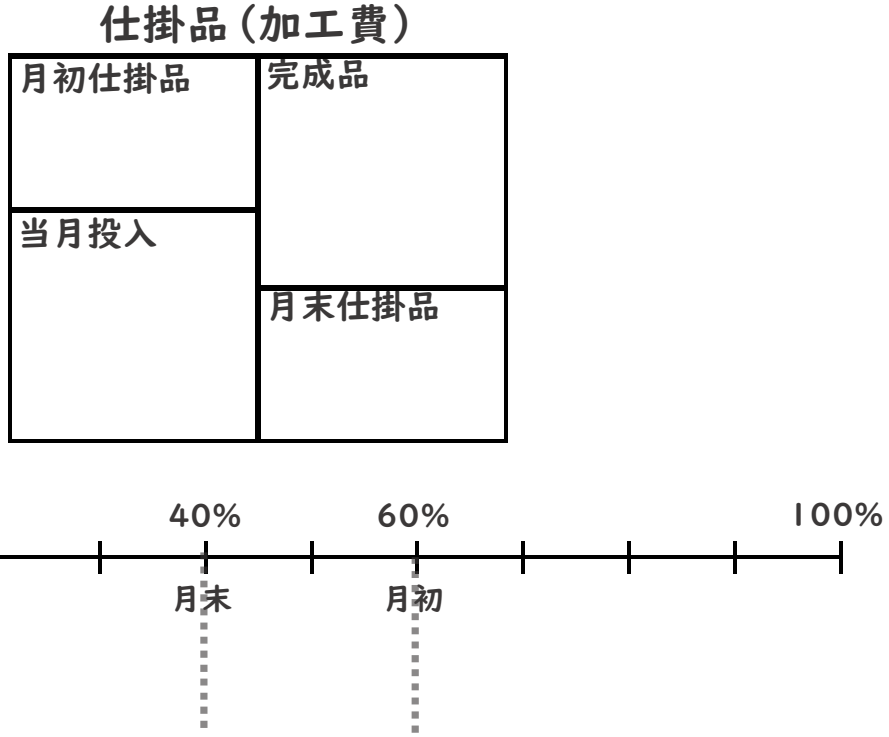
○ポイント○
材料の投入時点と月初仕掛品・月末仕掛品の加工進捗度との関係を考えること

《問題》
次の資料に基づいて、先入先出法により月末仕掛品原価、完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。

1. 生産データ

			<換算量>
月初仕掛品	300 コ	(60%) →	180コ
当月投入	500 コ		500コ
合計	800 コ		680コ
月末仕掛品	200 コ	(40%) →	80コ
完成品	600 コ		600コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて直接材料費であり、
A材料費は工程の始点で、B材料費は工程の50%で、
C材料費は工程の30%で、D材料費は工程の終点で、
E材料費は工程を通じて平均的に投入する。



2. 原価データ

	A材料費	B材料費	C材料費	D材料費	E材料費	加工費
月初仕掛品原価	10,000円	5,000円	13,000円	0円	9,000円	18,000円
当月製造費用	50,000円	15,000円	20,000円	5,000円	25,000円	50,000円

総合原価計算（材料の追加投入）

《問題》

次の資料に基づいて、先入先出法により月末仕掛品原価、完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。

1. 生産データ

月初仕掛品	300 コ	（60%）
当月投入	500 コ	
合計	800 コ	
月末仕掛品	200 コ	（40%）
完成品	600 コ	

・（　　）内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて直接材料費であり、
A材料費は工程の始点で、B材料費は工程の50%で、
C材料費は工程の30%で、D材料費は工程の終点で、
E材料費は工程を通じて平均的に投入する。

仕掛品（A材料費）

月初仕掛品 300コ	完成品 600コ
10,000	40,000
当月投入 500コ	月末仕掛品 200コ
50,000	20,000

仕掛品（B材料費）

月初仕掛品 300コ	完成品 600コ
5,000	20,000
当月投入 300コ	月末仕掛品 0コ
15,000	0

仕掛品（C材料費）

月初仕掛品 300コ	完成品 600コ
13,000	25,000
当月投入 500コ	月末仕掛品 200コ
20,000	8,000

仕掛品（D材料費）

月初仕掛品 0コ	完成品 600コ
0	5,000
当月投入 600コ	月末仕掛品 0コ
5,000	0

仕掛品（E材料費）

月初仕掛品 180コ	完成品 600コ
9,000	30,000
当月投入 500コ	月末仕掛品 80コ
25,000	4,000

仕掛品（加工費）

月初仕掛品 180コ	完成品 600コ
18,000	60,000
当月投入 500コ	月末仕掛品 80コ
50,000	8,000

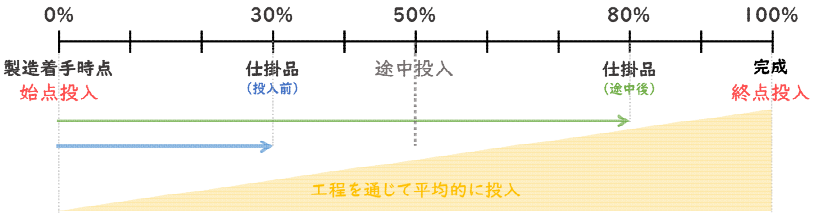
2. 原価データ

	A材料費	B材料費	C材料費	D材料費	E材料費	加工費
月初仕掛品原価	10,000円	5,000円	13,000円	0円	9,000円	18,000円
当月製造費用	50,000円	15,000円	20,000円	5,000円	25,000円	50,000円

【解答】

月末仕掛品原価		円
完成品総合原価		円
完成品単位原価	@	円

≪まとめ≫



- 材料の投入パターンには、工程の始点で投入する場合の他、
  工程の終点で投入する場合、工程の途中で投入する場合、
  工程を通じて平均的に投入する場合がある
- 材料の投入時点と月初仕掛品・月末仕掛品の（　　）
  との関係を考えること（通り過ぎているかどうか）がポイント

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第16回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
－工業簿記－

17. 総合原価計算④

～減損（正常減損費）の処理について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

総合原価計算（正常減損費の処理）

～減損（正常減損費）の処理について～

＜減損の発生パターンと計算のポイントを確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

総合原価計算（正常減損費の処理）

<参考>【原価計算基準二七～仕損および減損の処理～】
総合原価計算においては、仕損の費用は、原則として、特別に仕損費の費目を設けることをしないで、これをその期の完成品と期末仕掛品とに負担させる。　※度外視法のこと
加工中に蒸発、粉散、ガス化、煙化等によって生ずる原料の減損の処理は、仕損に準ずる。

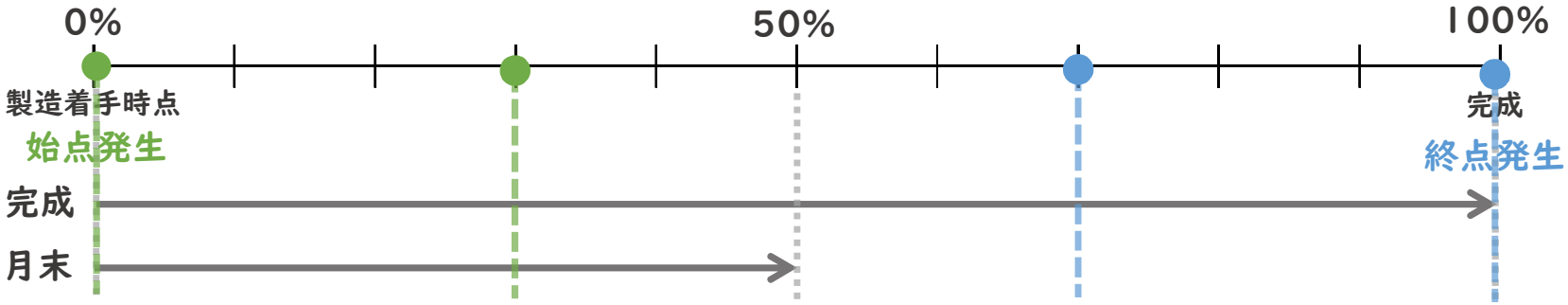
＜減損とは？＞

・製品を加工する際に、材料の一部が蒸発などによって消えてなくなってしまうことを（　　）いう。
　また、この発生による損失分の原価を（　　）という。
・なお、製品製造のために減損の発生を避けることができない場合があるが、これを（　　）という。
　これに対して、異常な原因で発生したものは（　　）という。

＜正常減損費の処理について＞

・正常減損費は、「製品製造を行うための必要原価」として考えられるため、正常減損の（　　）に応じて、その原価を完成品や月末仕掛品に負担させる処理を行う。
・なお、正常減損費をこれらに負担させる場合、（日商簿記2級では）正常減損費を個別に計算せずに自動的に負担させる（　　）という方法を用いる。

No.	正常減損の発生パターン	処理方法
1	月末仕掛品の加工進捗度より後に発生する場合（終点（100%）発生など）	
2	月末仕掛品の加工進捗度より前に発生する場合（始点（0%）発生など）	
3	工程のどこで発生したかが不明な場合	



総合原価計算（正常減損費の処理）

―問題解説―

～発生点に応じた処理方法を確認しよう！～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

総合原価計算（正常減損費の処理）

○ポイント○
正常減損の発生点を確認し、正常減損費を完成品のみに負担させるか
完成品と月末仕掛品の両者に負担させるかを考えていく
なお、正常減損費そのものは個別に計算しない（正常減損度外視法）。

《問題1》
次の資料に基づいて、平均法により月末仕掛品原価、
完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。
なお、正常減損は工程の終点で発生した。

1. 生産データ

<換算量>

月初仕掛品	100 コ	(60%)
当月投入	400 コ	
合計	500 コ	
正常減損	20 コ	
月末仕掛品	180 コ	(50%)
完成品	300 コ	

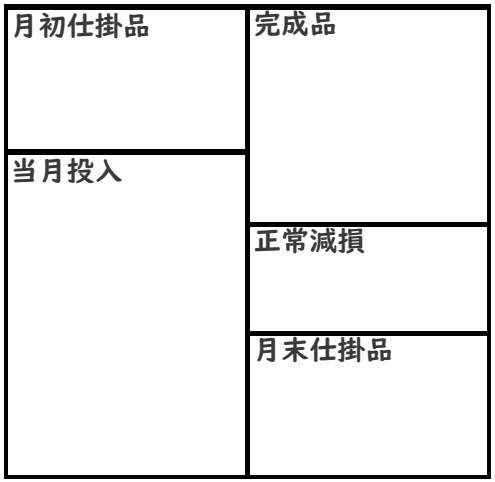
・(　　) 内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している

2. 原価データ

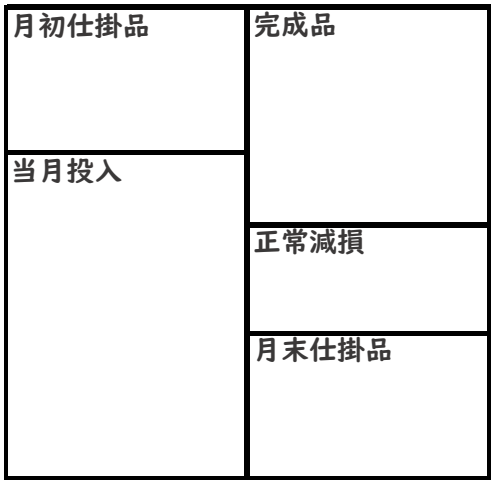
	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	1,000 円	3,000 円
当月製造費用	10,000 円	17,500 円

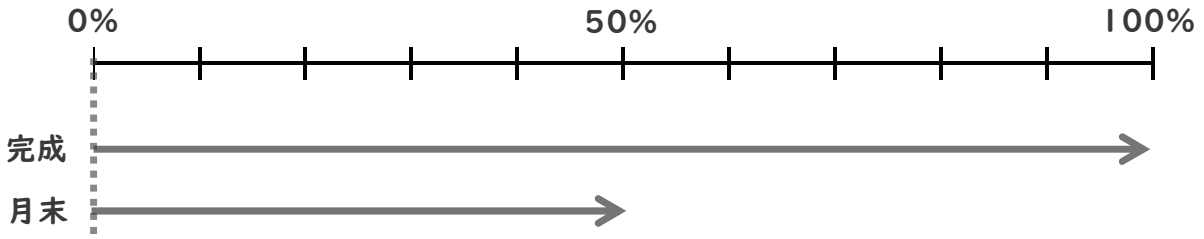
○用語○
正常減損度外視法…正常減損費を個別に計算せずに自動的に負担させる

仕掛品（直接材料費）



仕掛品（加工費）





【解答】

月末仕掛品原価	円
完成品総合原価	円
完成品単位原価	@ 円

総合原価計算（正常減損費の処理）

○ポイント○
正常減損の発生点を確認し、正常減損費を完成品のみに負担させるか
完成品と月末仕掛品の両者に負担させるかを考えていく
なお、正常減損費そのものは個別に計算しない（正常減損度外視法）。

《問題2》
次の資料に基づいて、平均法により月末仕掛品原価、
完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。
なお、正常減損は工程の始点で発生した。

1. 生産データ

<換算量>

月初仕掛品	100 コ	（60%）
当月投入	400 コ	
合計	500 コ	
正常減損	20 コ	
月末仕掛品	180 コ	（50%）
完成品	300 コ	

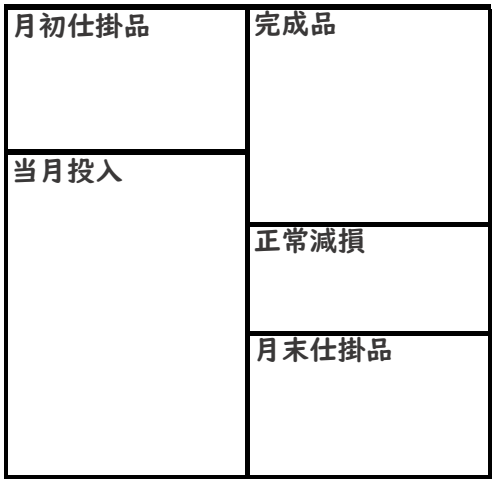
・（　　）内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している

2. 原価データ

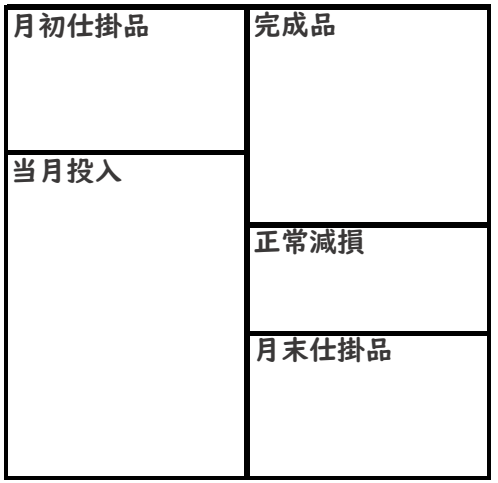
	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	1,000 円	3,000 円
当月製造費用	8,600 円	12,600 円

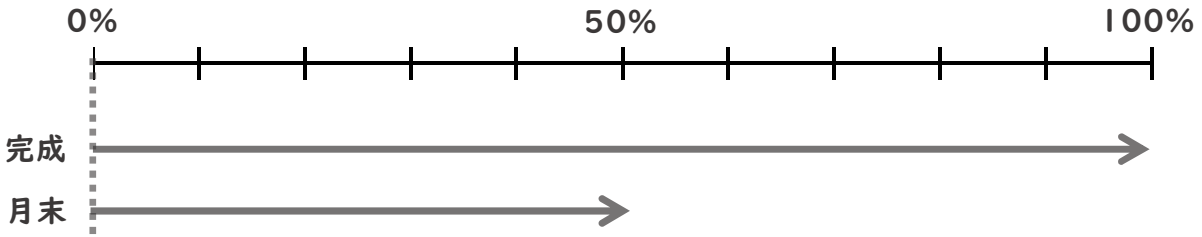
○用語○
正常減損度外視法…正常減損費を個別に計算せずに自動的に負担させる

仕掛品（直接材料費）



仕掛品（加工費）





【解答】

月末仕掛品原価		円
完成品総合原価		円
完成品単位原価	@	円

総合原価計算（正常減損費の処理）

○ポイント○
正常減損の発生点を確認し、正常減損費を完成品のみに負担させるか
完成品と月末仕掛品の両者に負担させるかを考えていく
なお、正常減損費そのものは個別に計算しない（正常減損度外視法）。

《問題3》
次の資料に基づいて、先入先出法により月末仕掛品原価、
完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。
なお、正常減損は工程の終点で発生した。

1. 生産データ

<換算量>

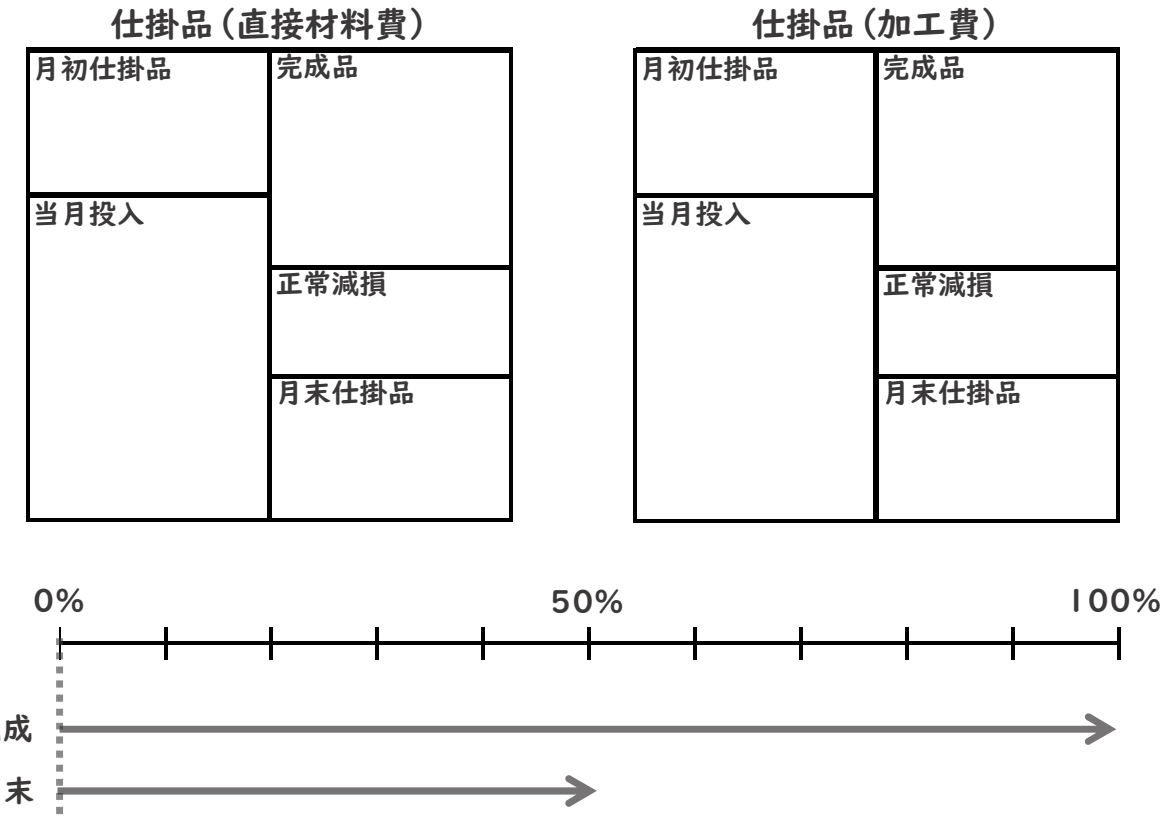
月初仕掛品	100 コ	（60%）
当月投入	400 コ	
合計	500 コ	
正常減損	20 コ	
月末仕掛品	180 コ	（50%）
完成品	300 コ	

・（　　）内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している

2. 原価データ

	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	1,000 円	4,100 円
当月製造費用	10,000 円	14,000 円

○用語○
正常減損度外視法…正常減損費を個別に計算せずに自動的に負担させる



【解答】

月末仕掛品原価	円
完成品総合原価	円
完成品単位原価	@ 円

総合原価計算（正常減損費の処理）

○ポイント○
正常減損の発生点を確認し、正常減損費を完成品のみに負担させるか
完成品と月末仕掛品の両者に負担させるかを考えていく
なお、正常減損費そのものは個別に計算しない（正常減損度外視法）。

《問題4》
次の資料に基づいて、先入先出法により月末仕掛品原価、
完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。
なお、正常減損は工程の始点で発生した。

1. 生産データ

<換算量>

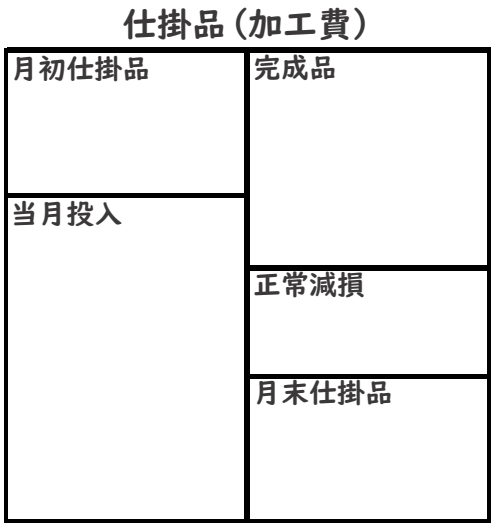
月初仕掛品	100 コ	（60%）
当月投入	400 コ	
合計	500 コ	
正常減損	20 コ	
月末仕掛品	180 コ	（50%）
完成品	300 コ	

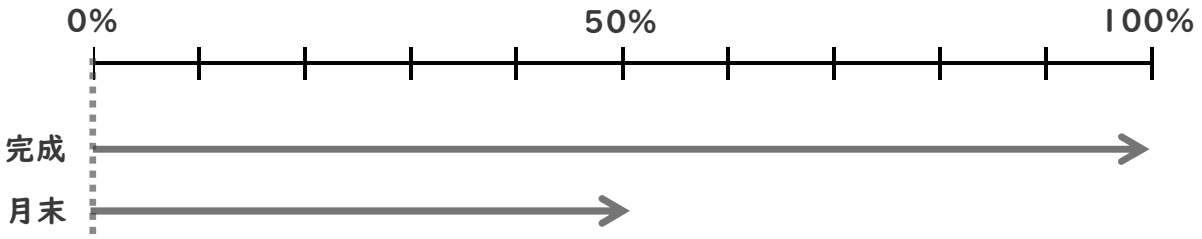
・（　　）内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している

2. 原価データ

	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	1,500 円	4,500 円
当月製造費用	14,250 円	24,750 円

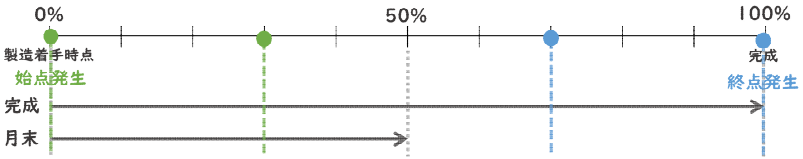
○用語○
正常減損度外視法…正常減損費を個別に計算せずに自動的に負担させる





【解答】

月末仕掛品原価		円
完成品総合原価		円
完成品単位原価	@	円



≪まとめ≫

仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品	完成品
10コ	50コ
当月投入	歩減（10コ）
70コ	月末仕掛品
	20コ

- 投入量に対して産出量が少ない場合は、減損や仕損が発生している
- （　　）とは、材料の一部が消えてなくなってしまうことをいう
- 減損のうち、その発生を避けることができないものを（　　）という
- 正常減損費は、減損の発生点に応じて（　　）や（　　）に負担させる
- 正常減損費は、個別に計算せずに自動的に負担させる（　　）という方法で処理する

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第17回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
－工業簿記－

18. 総合原価計算⑤

～仕損（正常仕損費）の処理について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

～仕損（正常仕損費）の処理について～

＜減損との処理の違いやポイントを把握しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

総合原価計算（正常仕損費の処理）

○用語○
正常仕損度外視法…正常仕損費を個別に計算せずに自動的に負担させる

・製品を加工する際に、加工に失敗し一定の基準に満たない不合格品が発生することを（　　）といい、この発生による損失分の原価を（　　）という。なお、この不合格品そのものは（　　）という。
・また、製品製造のために仕損の発生を避けることができない場合があるが、これを（　　）という。これに対して、異常な原因で発生したものは（　　）という。

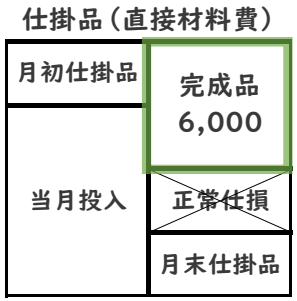
＜正常仕損費の処理について＞

・正常仕損費は、「製品製造を行うための必要原価」として考えられるため、正常仕損の発生点に応じて、良品である完成品や月末仕掛品に負担させるが、これは（　　）で処理する。なお、仕損品には、評価額（売却価値）がある場合とない場合がある。評価額がない場合（ゼロの場合）は、正常減損費と同じ処理を行うが、評価額がある場合は下記のように処理する。

●仕損品評価額がある場合の正常仕損費の処理方法 ●

・正常仕損費を完成品のみに負担させる場合
→直接材料費の完成品原価を計算後、完成品原価から仕損品評価額を差し引く

＜完成品原価が下記の通りで仕損品評価額が100円の場合＞

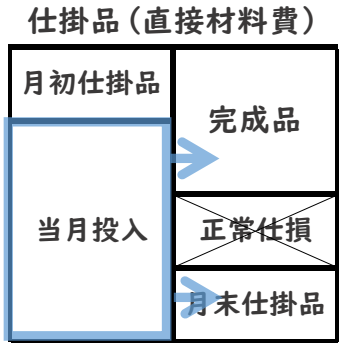


完成品原価
6,000
▲100
5,900

・正常仕損費を完成品と月末仕掛品の両者に負担させる場合
→当月製造費用（直接材料費）から仕損品評価額を差し引き、差し引き後の金額で月末仕掛品原価と完成品原価を計算する

＜当月製造費用（直接材料費）が5,100円で仕損品評価額が100円の場合（先入先出法）＞

当月製造費用
5,100
▲100
5,000



＜参考＞
正常仕損費の計算は、
「正常仕損品原価－仕損品評価額」で個別に計算できるが、仕損費の処理は度外視法で行うのが原則である（原価計算基準二七）。
そのため、正常仕損費は個別に計算せず、評価額は直接材料費から控除する。

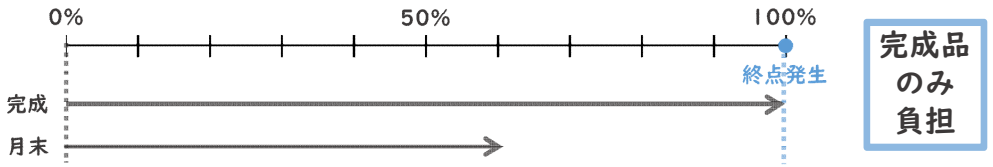
総合原価計算（正常仕損費の処理）

―問題解説―

～それぞれのパターンを問題で確認しよう！～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

総合原価計算（正常仕損費の処理）



《問題1》
次の資料に基づいて、平均法により月末仕掛品原価、完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。
なお、正常仕損は工程の終点で発生した。
仕損品1個あたりの評価額は3円であり、直接材料費から控除する。

1. 生産データ　　**<換算量>**

月初仕掛品	200 コ	(50%)
当月投入	410 コ	
合計	610 コ	
正常仕損	10 コ	
月末仕掛品	100 コ	(60%)
完成品	500 コ	

・(　　) 内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している

2. 原価データ

	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	1,100 円	1,410 円
当月製造費用	5,000 円	6,000 円

仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	正常仕損
	月末仕掛品

仕掛品（加工費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	正常仕損
	月末仕掛品

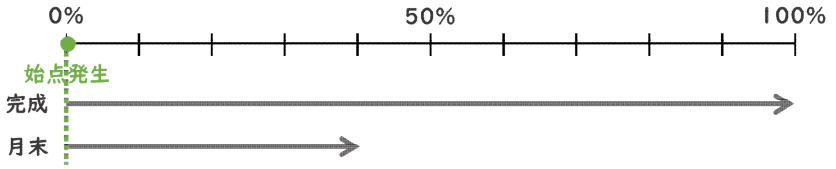
<仕損品評価額>

<完成品総合原価>

【解答】

月末仕掛品原価		円
完成品総合原価		円
完成品単位原価	@	円

総合原価計算（正常仕損費の処理）



《問題2》

次の資料に基づいて、先入先出法により月末仕掛品原価、完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。
なお、正常仕損は工程の始点で発生した。
仕損品1個あたりの評価額は10円であり、直接材料費から控除する。

1. 生産データ　　**<換算量>**

月初仕掛品	300 コ	(50%)
当月投入	520 コ	
合計	820 コ	
正常仕損	20 コ	
月末仕掛品	200 コ	(40%)
完成品	600 コ	

・(　　) 内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している

2. 原価データ

	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	1,800 円	1,200 円
当月製造費用	4,200 円	5,300 円

仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	正常仕損
	月末仕掛品

仕掛品（加工費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	正常仕損
	月末仕掛品

<仕損品評価額>

<当月製造費用（直接材料費）>

【解答】

月末仕掛品原価		円
完成品総合原価		円
完成品単位原価	@	円

≪まとめ≫

- 減損と仕損の大きな違いは、（　　）である
- 正常仕損費も正常減損費と同様に、その金額を個別に計算せずに自動的に負担させる（　　）で処理する
- 仕損品には、評価額（売却価値）がある場合とない場合がある
- 評価額（売却価値）がない場合は正常減損費と同じ処理をするが、評価額がある場合は下記のとおり処理する

〇完成品のみに負担させる場合〇
→（直接材料費の）完成品原価から評価額を差し引く
〇完成品と月末仕掛品の両者に負担させる場合〇
→当月製造費用（直接材料費）から評価額を差し引く

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第18回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

19. 工程別総合原価計算

～製造工程を複数に区分する場合について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

～工程別総合原価計算とは？～

＜工程別総合原価計算の流れとポイントを確認しよう！！＞

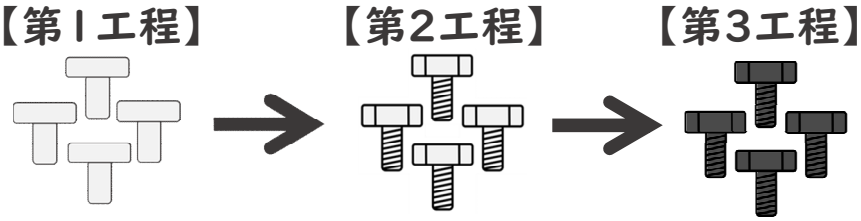
ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

工程別総合原価計算

・工程別総合原価計算とは、2つ以上の製造工程で製品を生産する場合に用いられる原価計算をいう。
・この方法は、製造工程を1つの単位で行わず、複数の単位に分けて計算するものである。

例)「切削→組立→塗装」を1つの単位

例)「①切削」→「②組立」→「③塗装」のように複数の単位に区分



＜工程別総合原価計算の計算方法＞

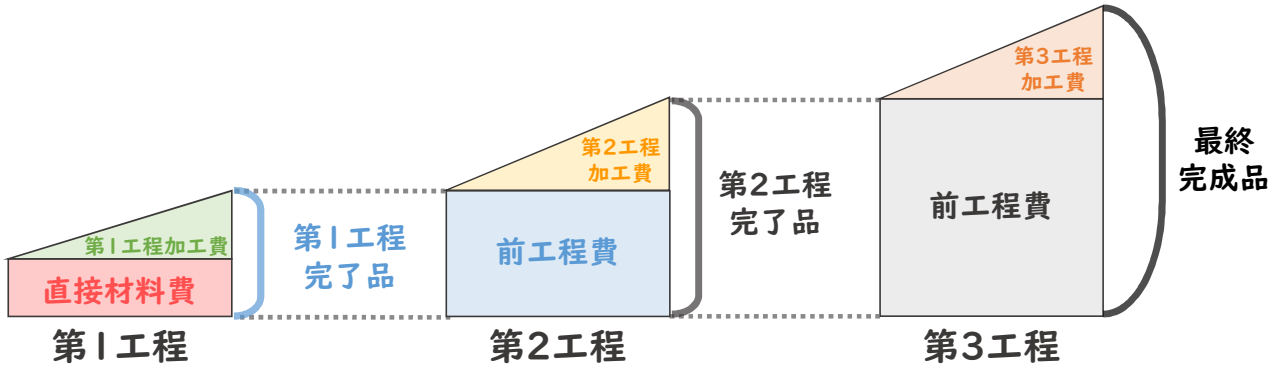
・工程別総合原価計算の計算方法は下記の2つに分類される。

（　　）…前工程の完成品総合原価を次工程に振替えて、最終完成品原価を計算していく方法

加算（累加）

（　　）…（前工程の完成品総合原価を次工程に累加せずに）各工程ごとに工程費を計算して、それらを直接合計して最終完成品原価を計算する方法

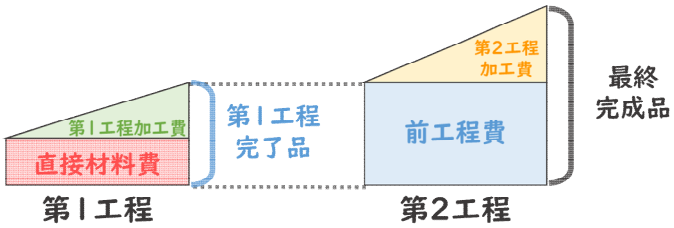
○用語○
単一工程…製造工程を一括したもの
工程完了品…一部の加工作業を終えたもの
（　　）…前工程の工程完了品
累加…重ねて加えること
（　　）…販売可能な工程完了品
（　　）…完全にできあがったもの



工程別総合原価計算

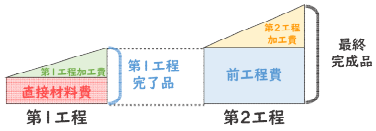
―問題解説―

～問題で解き方を確認しよう！～



ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

工程別総合原価計算



《問題1》

当工場では、累加法による工程別総合原価計算を採用している。
次の資料に基づいて、第1工程および第2工程の月末仕掛品原価、
完成品総合原価、完成品単位原価を求めなさい。
なお、第1工程は平均法、第2工程は先入先出法によって計算すること。

1. 生産データ

	第1工程	<換算量>	第2工程	<換算量>
月初仕掛品	100 コ	(60%)	150 コ	(80%)
当月投入	200 コ		250 コ	
合計	300 コ		400 コ	
月末仕掛品	50 コ	(40%)	100 コ	(50%)
完成品	250 コ		300 コ	

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて第1工程の始点で投入している。

2. 原価データ

	第1工程		第2工程	
	直接材料費	加工費	前工程費	加工費
月初仕掛品原価	6,000円	5,000円	14,500円	14,000円
当月製造費用	15,000円	22,000円	??? 円	46,000円

第1工程仕掛品(直接材料費)

月初仕掛品	完成品
当月投入	
	月末仕掛品

第1工程仕掛品(加工費)

月初仕掛品	完成品
当月投入	
	月末仕掛品

第2工程仕掛品(前工程費)

月初仕掛品	完成品
当月投入	
	月末仕掛品

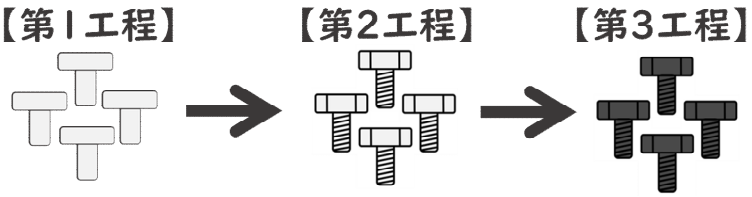
第2工程仕掛品(加工費)

月初仕掛品	完成品
当月投入	
	月末仕掛品

【解答】

	第1工程	第2工程
月末仕掛品原価	円	円
完成品総合原価	円	円
完成品単位原価	@ 円	@ 円

工程別総合原価計算



《問題2》
当工場では、累加法による工程別総合原価計算を採用している。次の資料に基づいて、設問1～3の仕訳を行いなさい。

1. 第1工程（第1工程完了品）に関するデータ

・完成品数量：250コ
・完成品総合原価：42,500円
・完成品単位原価：@170円

2. 第2工程に関するデータ

・当月投入量：200コ
・前工程費：???

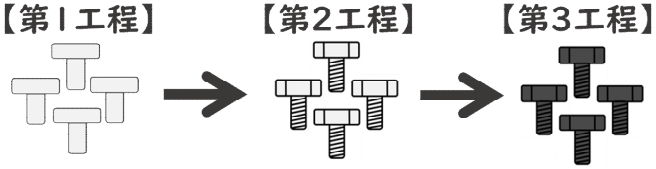
○用語＆参考○
半製品…販売可能な工程完了品
仕掛品…加工途中の未完成品
<半製品と仕掛品の違い>
販売可能な状態であるかないかが大きな違いである。
半製品は会社にとって「中間的製品」でもある。

<仕訳>

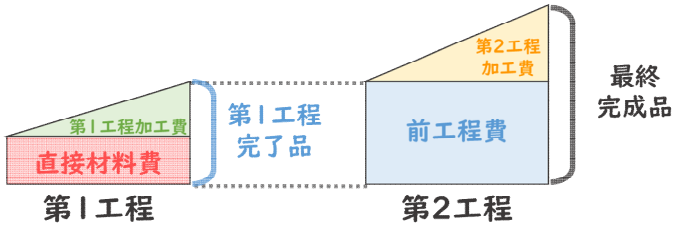
1. 第1工程完了品のうち50コは、外部販売のため倉庫に保管することにした。

2. 第1工程完了品のうち200コを次工程（第2工程）へ振替えた。

3. 倉庫に保管していた半製品（製造原価：8,500円）のすべてを10,000円で販売した。なお、代金は掛けとした。



≪まとめ≫



- 工程別総合原価計算とは、2つ以上の製造工程で製品を生産する場合に用いられる原価計算である
- 日商簿記2級では、前工程の完成品総合原価を次工程に振替えて最終完成品原価を計算する（　　）という方法が出題される
- 前工程の工程完了品は（　　）として受け入れる
- 前工程費は（　　）と同じように扱い、計算を行う

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第19回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

20. 組別総合原価計算

～同じ製造工程で2種類以上の異種製品を生産する場合について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

～組別総合原価計算とは？～

＜組別総合原価計算で用いる用語を確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

組別総合原価計算

・組別総合原価計算とは、同一工程で、2種類以上の異種製品を生産する場合の原価計算をいう。
・（　　）とは、製品の種類の単位であり、その異なるそれぞれの製品のことを（　　）という。

【A組製品：オレンジジュース】

【B組製品：りんごジュース】

＜組別総合原価計算における製造原価について＞

・組別総合原価計算の製造原価（当月製造費用）は下記の2つに分類される。

（　　）…特定の組製品に対していくらかかったかが明確な製造原価である。
　　そのため、各組製品に（　　）する処理を行う。

（　　）…特定の組製品に対していくらかかったかが不明確な製造原価である。
　　そのため、一定の基準を用いて各組製品に（　　）する処理を行う。

〇参考〇
個別原価計算は、製造原価を製造直接費と製造間接費に分けて集計していくが、組別総合原価計算も、製造原価を組直接費と組間接費に分けて集計していく。つまり、組別総合原価計算には、個別原価計算の考え方が用いられている。
そのため、組別総合原価計算は「個別原価計算に近い方法」や「総合原価計算と個別原価計算を組み合わせた方法」と言われている。

組別総合原価計算

～組別総合原価計算の計算手順について～

＜計算の流れとポイントを確認しよう!!＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

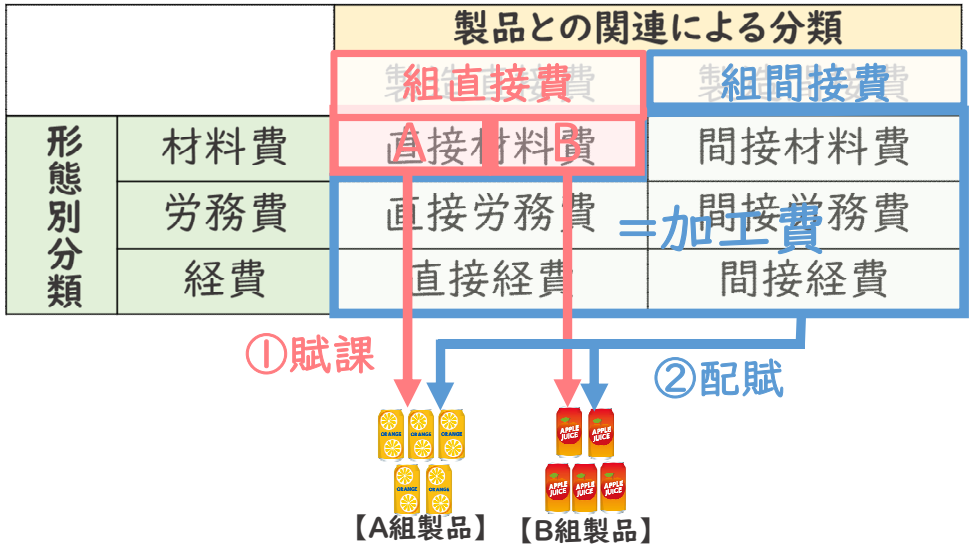
組別総合原価計算

<組別総合原価計算の計算の流れ>

①.組直接費を各組製品に賦課する
②.組間接費を一定の基準を用いて各組製品に配賦する。
③.組製品ごとに(直/材と加工費に分けて)総合原価計算を行う。

<製造原価を総合原価計算に準じて分ける場合>

→直接材料費を組直接費、加工費を組間接費に分けていく

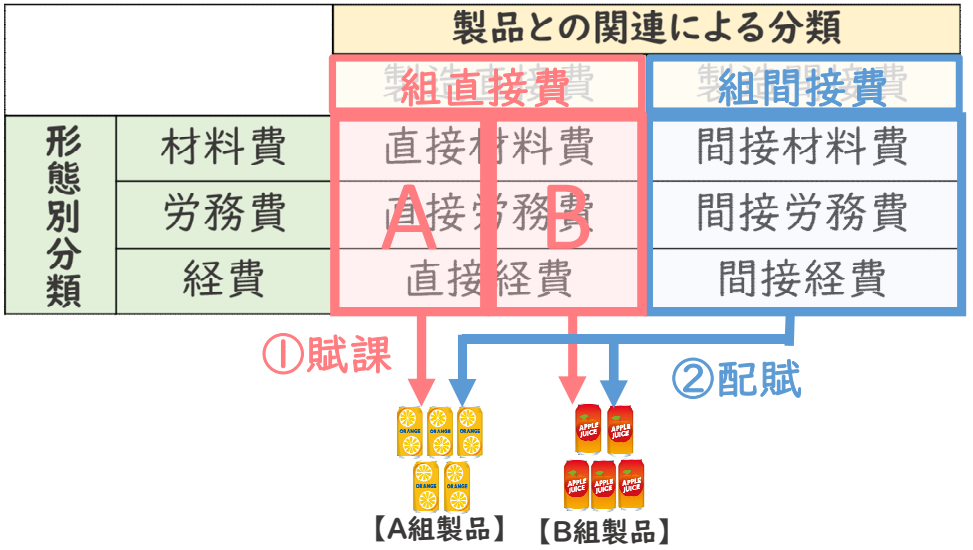


●ポイント●
総合原価計算では、製造原価を「直接材料費」と「加工費」に分けるのが原則なので、この考え方に準じて「組直接費」と「組間接費」に分ける方法である。

○用語○
組直接費…特定の組製品に対していくらかかったかが明確な製造原価
組間接費…特定の組製品に対していくらかかったかが不明確な製造原価

<製造原価を個別原価計算に準じて分ける場合>

→製造直接費を組直接費、製造間接費を組間接費に分けていく



◎ポイント◎
直接材料費以外の直接労務費(直接経費)も特定の製品とのヒモ付が可能なので個別原価計算の考え方に準じて「組直接費」と「組間接費」を分ける方法である。
ただ、**最終的に計算するときは原則の形である「直接材料費」と(直接材料費以外を表す)「加工費」に分けて計算**を行う。

組別総合原価計算

―問題解説―

～問題で解き方を確認しよう！～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

組別総合原価計算

①.**組直接費**を各組製品に賦課する
②.**組間接費**を一定の基準を用いて各組製品に配賦する。
③.組製品ごとに（直/材と加工費に分けて）総合原価計算を行う。

《問題１》

次の資料に基づいて、A組製品およびB組製品の月末仕掛品原価、完成品総合原価、完成品単位原価を求めなさい。なお、当工場では、直接材料費は組直接費、加工費は組間接費として処理している（組間接費は機械作業時間を基準に配賦）。また、月末仕掛品原価の計算は平均法によること。

1. 生産データ

	A組製品	<換算量>	B組製品	<換算量>
月初仕掛品	400 コ	(1/4)	600 コ	(1/3)
当月投入	600 コ		1,000 コ	
合計	1,000 コ		1,600 コ	
月末仕掛品	200 コ	(3/4)	400 コ	(3/4)
完成品	800 コ		1,200 コ	

・（　　）内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2. 原価データ

		A組製品	B組製品
月初仕掛品原価	直接材料費	10,000	26,000
	加工費	12,000	15,000
当月製造費用	直接材料費	50,000	90,000
	加工費	150,000	

3. 当月実際機械作業時間

A組製品：300h　B組製品：700h

A組仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

A組仕掛品（加工費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

B組仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

B組仕掛品（加工費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

【解答】

	A組製品	B組製品
月末仕掛品原価	円	円
完成品総合原価	円	円
完成品単位原価	@　円	@　円

組別総合原価計算

①.組直接費を各組製品に賦課する
②.組間接費を一定の基準を用いて各組製品に配賦する。
③.組製品ごとに（直/材と加工費に分けて）総合原価計算を行う。

《問題2》

次の資料に基づいて、A組製品およびB組製品の月末仕掛品原価、完成品総合原価、完成品単位原価を求めなさい。なお、当月製造費用のうち直接材料費と直接労務費は各組製品へ賦課し、製造間接費は、機械作業時間を配賦基準として各組製品に実際配賦している。また、月末仕掛品原価の計算は先入先出法によること。

1. 生産データ

	A組製品	<換算量>	B組製品	<換算量>
月初仕掛品	200 コ	(1/2)	300 コ	(1/3)
当月投入	1,000 コ		1,500 コ	
合計	1,200 コ		1,800 コ	
月末仕掛品	400 コ	(1/2)	600 コ	(1/2)
完成品	800 コ		1,200 コ	

・（　　）内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2. 原価データ

		A組製品	B組製品
月初仕掛品原価	直接材料費	10,000	26,000
	加工費	8,000	17,500
当月製造費用	直接材料費	50,000	90,000
	直接労務費	24,000	35,000
	製造間接費	100,000	

3. 当月実際機械作業時間

A組製品：300h　B組製品：700h

A組仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

A組仕掛品（加工費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

B組仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

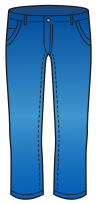
B組仕掛品（加工費）

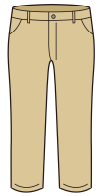
月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

【解答】

	A組製品	B組製品
月末仕掛品原価	円	円
完成品総合原価	円	円
完成品単位原価	@　円	@　円

≪まとめ≫





- 組別総合原価計算とは、同一工程で、2種類以上の（　　）を生産する場合に用いられる原価計算である
- 組とは、製品の種類の単位であり、その異なるそれぞれの製品のことを（　　）という
- 組別総合原価計算の製造原価は（　　）と（　　）に分類される
- 組間接費は一定の基準を用いて各組製品に配賦していく

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第20回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

21. 等級別総合原価計算

～同一工程で同種製品を複数生産する場合～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

～等級別総合原価計算の概要と計算手順～

＜等級別総合原価計算で用いる用語と計算手順を確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

等級別総合原価計算

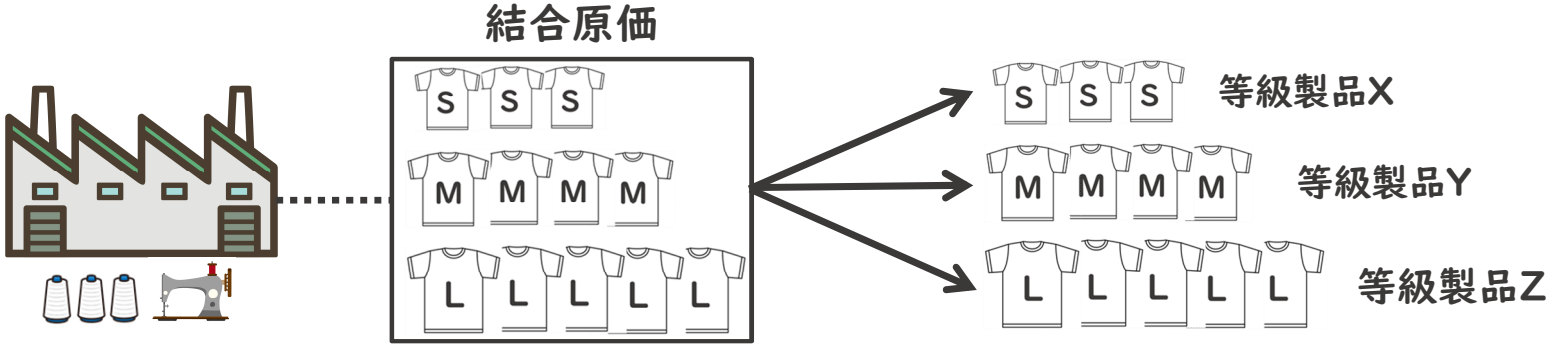
○用語○
等級…何らかの基準（形、品質、量など）で違いを区分したもの
結合原価…等級製品の完成品総合原価をまとめたもの

＜等級別総合原価計算とは＞

・等級別総合原価計算とは、（　　）で、形や大きさなどが異なる（　　）を複数生産する場合の原価計算をいう。
・なお、形や大きさなどの等級別に分けられる製品を（　　）という。

＜等級別総合原価計算の流れ＞

●完成品原価按分法●
①.（各等級製品の製造原価を区別することなく）一括して完成品総合原価（結合原価）を計算する。
②.結合原価を各等級製品に按分する。この際は、各等級製品の原価の負担割合を表す（　　）を用いて、各等級製品の（　　）を計算し、この比率をもとに按分していく。
③.各等級製品の完成品単位原価を計算する。



等級別総合原価計算

<等級別総合原価計算の流れ>

●完成品原価按分法●

①.（各等級製品の製造原価を区別することなく）一括して完成品総合原価（結合原価）を計算する。

②.結合原価を各等級製品に按分する。この際は、各等級製品の原価の負担割合を表す（　等価係数　）を用いて、各等級製品の（　積数　）を計算し、この比率をもとに按分していく。

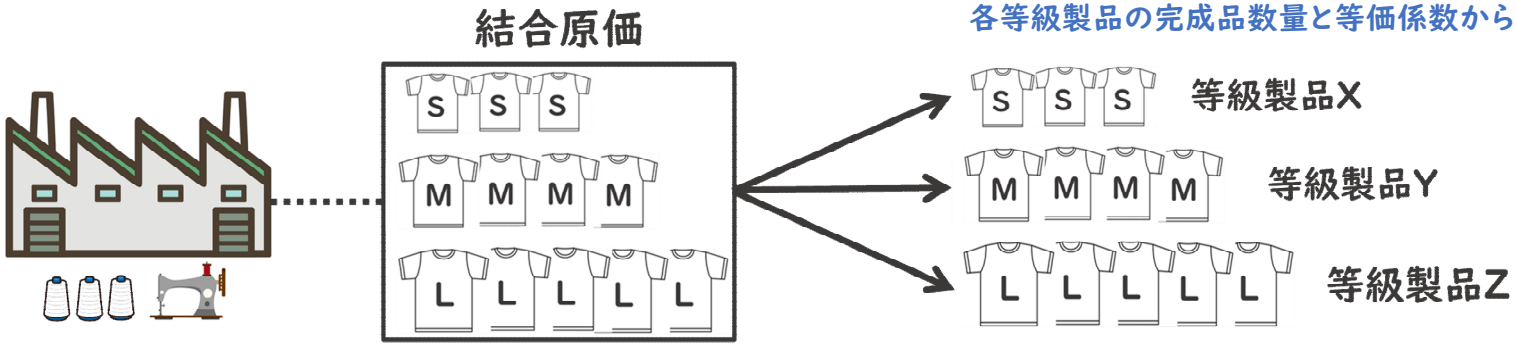
③.各等級製品の完成品単位原価を計算する。　※完成品単位原価を計算する際は（積数ではなく）完成品数量で計算すること

各等級製品の積数＝各等級製品の完成品数量×各等級製品の等価係数

各等級製品の完成品原価＝完成品総合原価（結合原価）× $\frac{\text{各等級製品の積数}}{\text{積数の合計}}$

○完成品単位原価○
等級製品X:
等級製品Y:
等級製品Z:

例題）完成品総合原価（結合原価）が1，900円、各等級製品の等価係数が「X:Y:Z＝1.0:1.5:2.0」とした場合



等級別総合原価計算

＜当月製造費用に等価係数を用いる場合＞

・結合原価を各等級製品に按分する方法である（　　）とは別に、事前に当月製造費用を按分し、按分された費用にもとづいて各等級製品の計算を行う（　　）がある。
・この方法の場合、按分するための積数は、各等級製品の当月投入分の数量もしくは換算量に等価係数をかけて計算する。

【直接材料費】　各等級製品の積数＝各等級製品の**当月投入（　　）**×各等級製品の等価係数
【 加 工 費 】　各等級製品の積数＝各等級製品の**当月加工（　　）**×各等級製品の等価係数

・ちなみに、等級別総合原価計算は、「単純総合原価計算」と「組別総合原価計算」の中間的な存在に位置しており、
完成品原価按分法は、「（　　）に近い方法」、
当月製造費用按分法は「（　　）に近い方法」とされている。

＜これまでのおさらい～総合原価計算の生産形態による分類～＞

総合原価計算の種類	内　容
単純総合原価計算	単一工程で、1種類の製品を生産する場合に用いる
工程別総合原価計算	2つ以上の製造工程で、製品を生産する場合に用いる
組別総合原価計算	同一工程で2種類以上の異種製品（組製品）を生産する場合に用いる
等級別総合原価計算	同一工程で同種製品（等級製品）を複数生産する場合に用いる

等級別総合原価計算

―問題解説―

～問題で解き方を確認しよう！～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

等級別総合原価計算

●完成品原価按分法●
①.単/総で完成品総合原価(結合原価)を計算
②.積数の比で結合原価を各等級製品に按分
③.各等級製品の完成品単位原価を計算

《問題1》
次の資料に基づいて、等級製品X・等級製品Yの完成品原価、完成品単位原価を求めなさい。なお、月末仕掛品原価の計算は平均法によること。

1. 生産データ

<換算量>

月初仕掛品	300 コ	(60%)
当月投入	900 コ	
合計	1,200 コ	
月末仕掛品	200 コ	(50%)
完成品	1,000 コ	

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

仕掛品(直接材料費)

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

仕掛品(加工費)

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

2. 原価データ

	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	9,000 円	15,000 円
当月製造費用	39,000 円	62,000 円

3. 各等級製品の完成品数量および等価係数

等級製品	完成品数量	等価係数
製品X	600コ	1.0
製品Y	400コ	0.7

【解答】

	等級製品X	等級製品Y
完成品総合原価	円	円
完成品単位原価	@ 円	@ 円

等級別総合原価計算

《問題2》

次の資料に基づいて、等級製品A・等級製品Bの月末仕掛品原価、完成品原価、完成品単位原価を求めなさい。なお、等級別の計算は、当月製造費用を按分する方法により計算しなさい。また、月末仕掛品原価の計算は先入先出法によること。

1. 生産データ

	等級製品A	<換算量>	等級製品B	<換算量>
月初仕掛品	200 コ	(60%)	500 コ	(80%)
当月投入	1,000 コ		1,200 コ	
合計	1,200 コ		1,700 コ	
月末仕掛品	400 コ	(50%)	600 コ	(50%)
完成品	800 コ		1,100 コ	

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。

・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2. 原価データ

		等級製品A	等級製品B
月初仕掛品原価	直接材料費	10,000	21,000
	加工費	8,000	23,000
当月製造費用	直接材料費	98,000	
	加工費	148,000	

3. 各等級製品別の等価係数

	等級製品A	等級製品B
直接材料費	1.0	0.8
加工費	1.0	0.6

A仕掛品(直接材料費)

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

A仕掛品(加工費)

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

B仕掛品(直接材料費)

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

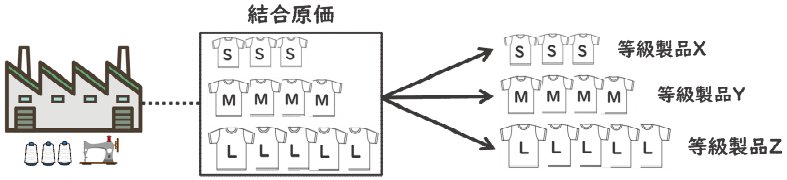
B仕掛品(加工費)

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

【解答】

	等級製品A	等級製品B
月末仕掛品原価	円	円
完成品総合原価	円	円
完成品単位原価	@　円	@　円

≪まとめ≫



- 等級別総合原価計算とは、同一工程で（形や大きさなどが異なる）同種製品を複数生産する場合に用いられる原価計算である
- 等級別に原価を按分する際には、各等級製品別に（　　）を設定し、各等級製品の（　　）の比率に基づいて按分する
- 等級別総合原価計算には、（　　）（単純総合原価計算に近い方法）と（　　）（組別総合原価計算に近い方法）がある。

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第21回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

22. 工業簿記の財務諸表

～製造原価報告書（C/R）とは？～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

～工業簿記の財務諸表について～

＜商業簿記との違いを把握しよう＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

工業簿記の財務諸表

・製造業（メーカー）を対象とする工業簿記においても、財務諸表として、一定期間の経営成績を明らかにするための（　　）、一定期日の財政状態を明らかにするための（　　）を利害関係者に報告するために作成を行う。
・なお、製造業では、原価の無駄などに迅速に対応するため、原価計算期間（暦上の1ヶ月）ごとに月次決算を行うが、月次決算で作成する損益計算書は（　　）という。

●損益計算書（報告式）の商業簿記と工業簿記の表示の違い●

＜商業簿記＞

損益計算書
×1年4月1日～×2年3月31日

Ⅰ.売上高		10,000
Ⅱ.売上原価		
1.期首商品棚卸高	300	
2.当期商品仕入高	4,300	
合　計	4,600	
3.期末商品棚卸高	600	4,000
売上総利益		6,000
Ⅲ.販売費及び一般管理費		
⋮		1,000
営業利益		5,000

＜工業簿記＞

損益計算書
×1年4月1日～×2年3月31日

Ⅰ.売上高		10,000
Ⅱ.売上原価		
1.期首製品棚卸高	300	
2.当期製品製造原価	4,300	
合　計	4,600	
3.期末製品棚卸高	600	4,000
売上総利益		6,000
Ⅲ.販売費及び一般管理費		
⋮		1,000
営業利益		5,000

※商業簿記（商品販売業）では「商品」を扱う（商品を仕入れて販売する）のに対して、
工業簿記（製造業）では「製品」を扱う（製品を製造して販売する）ため表示方法が異なる。

○貸借対照表（報告式）について○

貸借対照表
×2年3月31日現在

資産の部		
Ⅰ.流動資産		
⋮		
製品	600	← 完成済みの未販売分
材料	300	← 材料の未消費分
仕掛品	100	← 加工途中の未完成品分
⋮		

工業簿記の財務諸表

～製造原価報告書とは？～

＜製造原価報告書の概要とポイントを把握しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

工業簿記の財務諸表

・製造業（メーカー）では、損益計算書・貸借対照表とは別に、当期における製造活動の内容を明らかにするために（　　）を作成する。
・この書類は、損益計算書に記載される（　　）の内訳を示す役割がある。

※月次損益計算書について作成する場合は「当月製品製造原価」の内訳を示す

月次損益計算書

×1年7月1日～×1年7月31日

Ⅰ.売上高		×××
Ⅱ.売上原価		
1.月初製品棚卸高	×××	
2.当月製品製造原価	×××	
合　計	×××	
3.月末製品棚卸高	×××	
差　引	×××	
4.原価差異	×××	×××
売上総利益		×××

●製造原価報告書の表示方法●

①.製品との関連による分類で表示する方法
（製造直接費・製造間接費に分類して表示する方法）

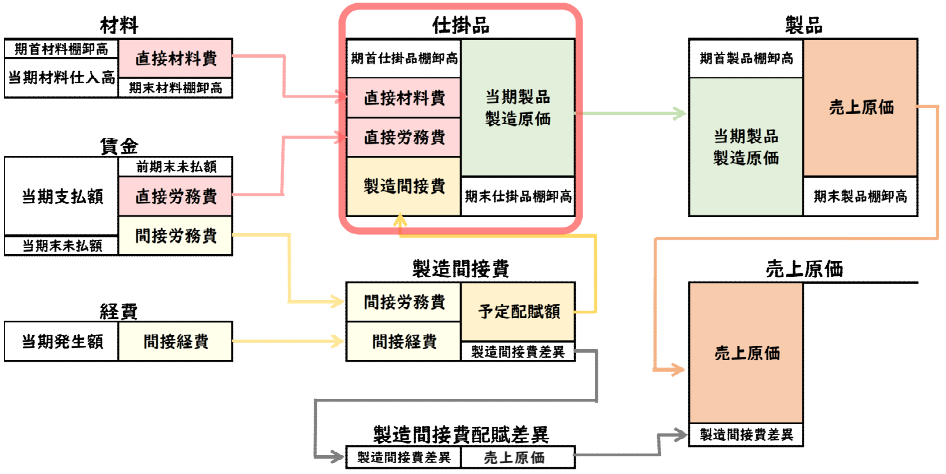
		製品との関連による分類	
		製造直接費	製造間接費
形態別分類	材料費	直接材料費	間接材料費
	労務費	直接労務費	間接労務費
	経費	直接経費	間接経費

製造原価報告書

×1年4月1日～×2年3月31日

Ⅰ.直接材料費		
期首材料棚卸高	200	
当期材料仕入高	1,000	
合　計	1,200	
期末材料棚卸高	100	1,100
Ⅱ.直接労務費		
直接工賃金	500	500
Ⅲ.製造間接費		
間接工賃金	300	
水道光熱費	150	
減価償却費	250	
合　計	700	
製造間接費配賦差異	100	600
当期総製造費用		2,200
期首仕掛品棚卸高		300
合　計		2,500
期末仕掛品棚卸高		500
当期製品製造原価		2,000

※製造原価報告書は仕掛品勘定の内容
（製品原価・生産の進捗状況）を報告する！



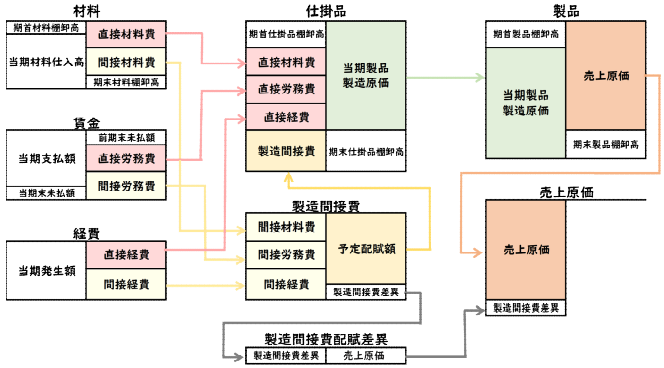
②.形態別分類で表示する方法
（材料費・労務費・経費に分類して表示する方法）

製造原価報告書

×1年4月1日～×2年3月31日

Ⅰ.材料費		
期首材料棚卸高	200	
当期材料仕入高	1,000	
合　計	1,200	
期末材料棚卸高	100	1,100
Ⅱ.労務費		
直接工賃金	500	
間接工賃金	300	800
Ⅲ.経　費		
水道光熱費	150	
減価償却費	250	
合　計	400	
製造間接費配賦差異	100	300
当期総製造費用		2,200
期首仕掛品棚卸高		300
合　計		2,500
期末仕掛品棚卸高		500
当期製品製造原価		2,000

工業簿記の財務諸表



<製造間接費配賦差異の処理について①>

・製造原価報告書は、仕掛品勘定をベースに作成していくが、製造間接費を予定配賦する場合、仕掛品勘定の製造間接費は（　　）で計上される。
そのため、製造原価報告書に実際発生額で計上された製造間接費については、（　　）を表示して予定配賦額に修正する必要がある。

・C/R上で実際発生額を予定配賦額にするためには、製造間接費配賦差異が借方差異（不利差異）の場合は、実際発生額に対して（　　）し、貸方差異（有利差異）の場合は、実際発生額に対して（　　）する。

●借方差異（不利差異）の場合●

製造原価報告書

Ⅲ.製造間接費

実際発生額	間接工賃金	300
	水道光熱費	150
	減価償却費	250
	合　計	700
	製造間接費配賦差異	－100
		600 予定配賦額

製造間接費

実際発生額 700	予定配賦額 600
	製造間接費差異 100

●貸方差異（有利差異）の場合●

製造原価報告書

Ⅲ.製造間接費

実際発生額	間接工賃金	200
	水道光熱費	150
	減価償却費	250
	合　計	600
	製造間接費配賦差異	＋100
		700 予定配賦額

製造間接費

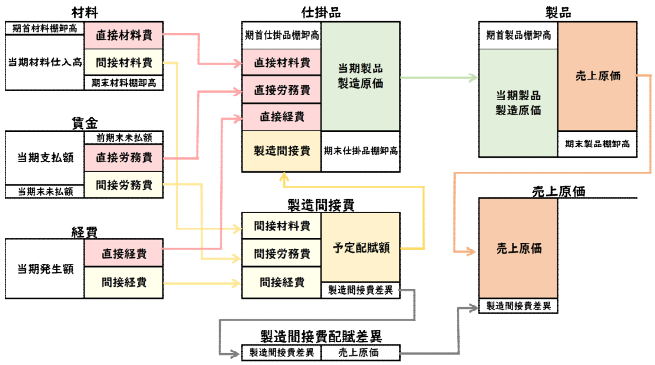
実際発生額 600	予定配賦額 700
製造間接費差異 100	

○ポイント○
「＋」か「－」かによって得点が大きく左右されるところなのでしっかり理解しておくこと。
「製造原価報告書は仕掛品勘定の内容を報告する」迷ったらこのことを思い出して下さい。
慣れるまではT字勘定で考えるのがおすすめです☺

工業簿記の財務諸表

<製造間接費配賦差異の処理について②>

・製造間接費配賦差異などの原価差異は、最終的に（　　）勘定へ振替え、そこで差異の加減を行う。
・損益計算書における「売上原価」の項目には、「原価差異」として表示していくが、ここで（　　）で計上していた金額を（　　）に修正していく。



●借方差異（不利差異）の場合●

※製造間接費配賦差異を100円（**借方差異**）とした場合

損益計算書
X1年4月1日～X2年3月31日

Ⅰ.売上高			3,000
Ⅱ.売上原価			
予定配賦額	期首製品棚卸高	1,000	
	当期製品製造原価	2,000	
	合　計	3,000	
	期末製品棚卸高	700	
	差　引	2,300	
	原価差異	＋100	2,400 ←実際発生額
	売上総利益		600

●貸方差異（有利差異）の場合●

※製造間接費配賦差異を100円（**貸方差異**）とした場合

損益計算書
X1年4月1日～X2年3月31日

Ⅰ.売上高			3,000
Ⅱ.売上原価			
予定配賦額	期首製品棚卸高	1,000	
	当期製品製造原価	2,000	
	合　計	3,000	
	期末製品棚卸高	700	
	差　引	2,300	
	原価差異	－100	2,200 ←実際発生額
	売上総利益		800

○ポイント○
製造原価報告書では、実際発生額を予定配賦額に修正するために、借方差異（不利差異）はマイナス・貸方差異（有利差異）はプラスとなるが、損益計算書では、予定配賦額を実際発生額に修正するため、借方差異（不利差異）はプラス・貸方差異（有利差異）はマイナスとなる。
このように、製造原価報告書と損益計算書とでは、製造間接費配賦差異のプラス・マイナスが逆になるので注意すること。

工業簿記の財務諸表

―問題解説―

～全体の流れを問題で確認しよう！～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

工業簿記の財務諸表

《問題》

次の資料に基づいて、仕掛品勘定、製造原価報告書および損益計算書を完成させなさい。

1. 直接材料の期首棚卸高は500円、当期仕入高は2,000円、期末棚卸高は300円であった。
2. 直接工賃金の期首未払額は400円、当期支払額は1,300円、当期末未払額は600円であった。
3. 間接工賃金の期首未払額は200円、当期支払額は400円、当期末未払額は100円であった。
4. 工場の水道光熱費は150円、減価償却費は250円であった。
5. 製造間接費の予定配賦額は600円であった。
6. 期首仕掛品棚卸高は800円、期末仕掛品棚卸高は1,200円であった。
7. 期首製品棚卸高は1,500円、期末製品棚卸高は2,000円であった。

仕掛品　（単位：円）

期首仕掛品棚卸高	( )	製品	( )
直接材料費	( )	期末仕掛品棚卸高	( )
直接労務費	( )		
製造間接費	( )		
	( )		( )

・製品との関連による分類で表示する方法
（製造直接費・製造間接費に分類して表示する方法）

製造原価報告書

Ⅰ.直接材料費		
期首材料棚卸高	( )	
当期材料仕入高	( )	
合計	( )	
期末材料棚卸高	( )	( )
Ⅱ.直接労務費		
直接工賃金	( )	( )
Ⅲ.製造間接費		
間接工賃金	( )	
水道光熱費	( )	
減価償却費	( )	
合計	( )	
製造間接費配賦差異	( )	( )
当期総製造費用		( )
期首仕掛品棚卸高		( )
合計		( )
期末仕掛品棚卸高		( )
当期製品製造原価		( )

損益計算書

Ⅰ.売上高		4,500
Ⅱ.売上原価		
期首製品棚卸高	( )	
当期製品製造原価	( )	
合計	( )	
期末製品棚卸高	( )	
差引	( )	
原価差異	( )	( )
売上総利益		( )

工業簿記の財務諸表

《問題》
次の資料に基づいて、仕掛品勘定、製造原価報告書および損益計算書を完成させなさい。

1. 直接材料の期首棚卸高は500円、当期仕入高は2,000円、期末棚卸高は300円であった。
2. 直接工賃金の期首未払額は400円、当期支払額は1,300円、当期末未払額は600円であった。
3. 間接工賃金の期首未払額は200円、当期支払額は400円、当期末未払額は100円であった。
4. 工場の水道光熱費は150円、減価償却費は250円であった。
5. 製造間接費の予定配賦額は600円であった。
6. 期首仕掛品棚卸高は800円、期末仕掛品棚卸高は1,200円であった。
7. 期首製品棚卸高は1,500円、期末製品棚卸高は2,000円であった。

仕掛品　（単位：円）

期首仕掛品棚卸高	( )	製品	( )
直接材料費	( )	期末仕掛品棚卸高	( )
直接労務費	( )		
製造間接費	( )		
	( )		( )

製造原価報告書

Ⅰ.直接材料費		
期首材料棚卸高	( )	
当期材料仕入高	( )	
合　計	( )	
期末材料棚卸高	( )	( )
Ⅱ.直接労務費		
直接工賃金	( )	( )
Ⅲ.製造間接費		
間接工賃金	( )	
水道光熱費	( )	
減価償却費	( )	
合　計	( )	
製造間接費配賦差異	( )	( )
当期総製造費用		( )
期首仕掛品棚卸高		( )
合　計		( )
期末仕掛品棚卸高		( )
当期製品製造原価		( )

工業簿記の財務諸表

《問題》

次の資料に基づいて、仕掛品勘定、製造原価報告書および損益計算書を完成させなさい。

1. 直接材料の期首棚卸高は500円、当期仕入高は2,000円、期末棚卸高は300円であった。
2. 直接工賃金の前期末未払額は400円、当期支払額は1,300円、当期末未払額は600円であった。
3. 間接工賃金の前期末未払額は200円、当期支払額は400円、当期末未払額は100円であった。
4. 工場の水道光熱費は150円、減価償却費は250円であった。
5. 製造間接費の予定配賦額は600円であった。
6. 期首仕掛品棚卸高は800円、期末仕掛品棚卸高は1,200円であった。
7. 期首製品棚卸高は1,500円、期末製品棚卸高は2,000円であった。

損益計算書

Ⅰ.売上高		4,500
Ⅱ.売上原価		
期首製品棚卸高	( )	
当期製品製造原価	( )	
合　計	( )	
期末製品棚卸高	( )	
差　引	( )	
原価差異	( )	( )
売上総利益		( )

製造原価報告書

Ⅰ.直接材料費			
期首材料棚卸高	( )		
当期材料仕入高	( )		
合　計	( )		
期末材料棚卸高	( )	( )	
Ⅱ.直接労務費			
直接工賃金	( )	( )	
Ⅲ.製造間接費			
間接工賃金	( )		
水道光熱費	( )		
減価償却費	( )		
合　計	( )		
製造間接費配賦差異	( )	( )	
当期総製造費用		( )	
期首仕掛品棚卸高		( )	
合　計		( )	
期末仕掛品棚卸高		( )	
当期製品製造原価		( )	

≪まとめ≫

- 工業簿記では、当期における製造活動の内容を明らかにするため、P/L・B/Sの他に製造原価報告書（C/R）を作成する
- 製造原価報告書は（　　）勘定をベースに作成するが、実際発生額で計上された製造間接費は、製造間接費配賦差異の項目を設けて（　　）へ修正を行う
- 損益計算書において、製造間接費配賦差異などの原価差異がある場合は、（　　）を（　　）へ修正する処理を行う
- C/RとP/Lでは、原価差異の取り扱いが異なるので「＋・－」に注意すること

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第22回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
－工業簿記－

23. 標準原価計算①

～標準原価計算の概要と計算手順について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

～標準原価計算とは？～

＜標準原価計算の概要について確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

標準原価計算

＜標準原価計算とは＞

・これまで学習してきた個別原価計算や総合原価計算は、実際に発生した原価（実際原価）をもとに製品原価の計算を行う（　　）である。これに対して、事前に設定した目標の原価をもとに製品原価の計算を行う方法を（　　）いう。

標準原価

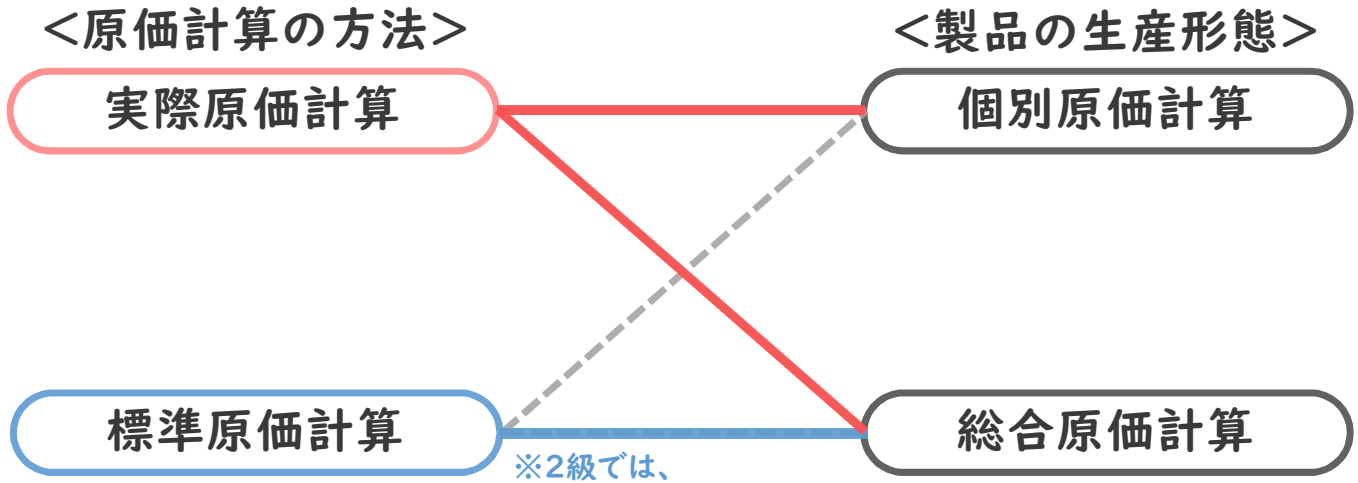
・なお、標準原価は（おおよそで見積った金額とかではなく）、過去数年の実績や経済情勢、市場の需要予測などを考慮して設定されたものである。

科学的、統計的調査に基づいて決められる

●原価計算基準四（一）の1より●
「実際原価とは、財貨の実際消費量をもって計算した原価」

「原価を予定価格等をもって計算しても、消費量を実際によって計算する限り、それは実際原価の計算」

※実際原価であるかどうかは、「価格（単価）」よりも「数量（消費量）」の方が求められる！



○参考（「標準」と「予定」の違いについて）○

原価計算基準四（一）の2では、「標準原価とは、財貨の消費量を科学的、統計的調査に基づいて能率の尺度となるように予定し、かつ、予定価格又は正常価格をもって計算した原価」となっており、両者の用語そのものにそこまで大きな違いはない。
ただ、「標準」には「（科学的、統計的調査に基づいた）目標値」の意味が込められています。

標準原価計算

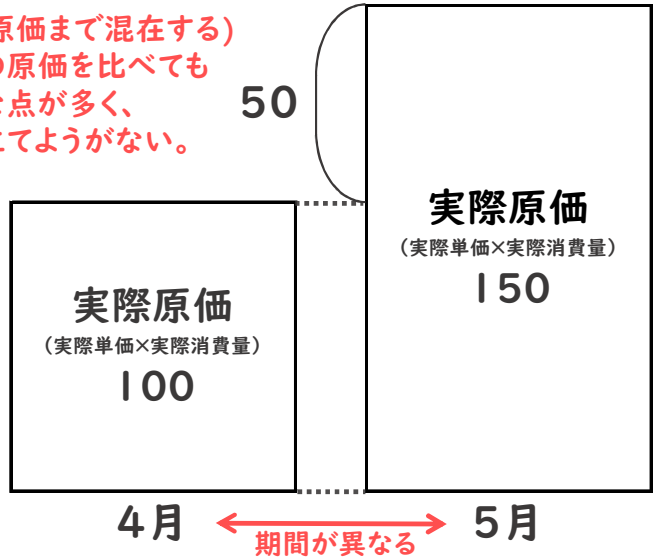
◎偶発的な出来事について◎
・材料の価格変動
・工員の問題による割り増し賃金の増加
・作業能率の悪化、機械の不具合等による生産量の低下など

＜標準原価計算が誕生した背景と目的＞

・実際原価計算で原価管理を行う場合、異なる原価計算期間の（　　）同士を比較していく。
・ただし、実際原価は、偶発的な出来事から生じる原価まで混在していることが多く、比較したところで原価管理のために有効な情報を得ることは難しい。この問題点を補う方法として誕生したのが「標準原価計算」である。
・標準原価計算の場合は、目標値となる（　　）と（　　）を比較して、この差額（差異）から改善策を検討していく。

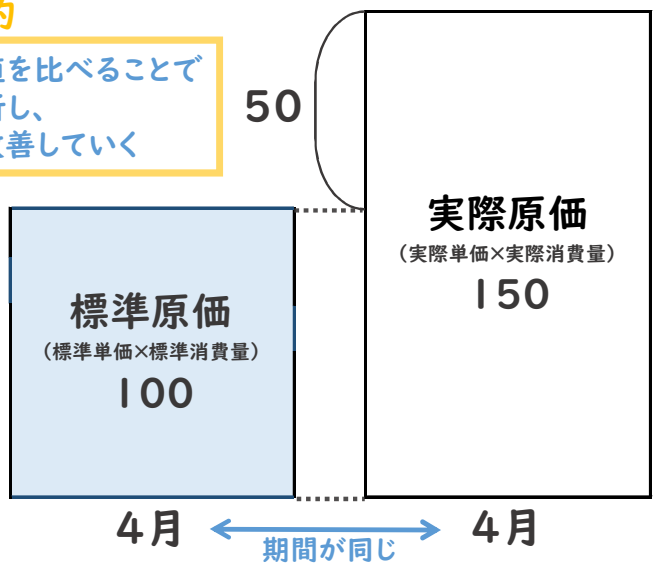
実際原価計算

※(偶発的な原価まで混在する)
結果同士の原価を比べても
原因不明な点が多く、
改善策の立てようがない。



標準原価計算

目的
※目標値と実際の値を比べることで
差異の原因を分析し、
特定した原因を改善していく



標準原価計算

＜実際原価計算と標準原価計算の比較＞

	実際原価計算	標準原価計算
製造原価	実際に発生した原価 （実際原価）	事前に設定する目標の原価 （標準原価）
計算方法	実際単価×実際消費量 または 予定単価×実際消費量	標準単価×標準消費量
メリット	正確な原価情報を得られる	原価の無駄が把握できる 原価管理に優れている 計算が簡単で迅速にできる
デメリット	偶発的な原価が混在するため 原価管理には使えない 原価の集計に時間がかかる	標準原価の設定に時間がかかる

標準原価計算

～標準原価計算の計算手順～

＜標準原価計算の全体の流れを把握しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

標準原価計算

○用語○
標準原価…（事前に設定した）目標の原価
原価標準…製品1個あたりの標準原価（目標原価）

●標準原価計算の計算手順●
①.原価標準の設定
②.標準原価の計算
③.実際原価の計算
④.標準原価差異の計算
⑤.標準原価差異の原因分析

＜標準原価計算の流れ＞

・標準原価計算は、つぎの手順で行われる。

①.原価標準の設定

会計年度のはじめに製品1コ当たりの標準原価となる（　　）を設定する。
その際は、直接材料費・直接労務費・製造間接費に分けて記載した
（　　）を作成する。

標準原価カード

標準直接材料費	標準単価 @500円	×	標準消費量 6kg	=	3,000円
標準直接労務費	標準賃率 @800円	×	標準直接作業時間 5h	=	4,000円
標準製造間接費	標準配賦率 @1,000円	×	標準直接作業時間 5h	=	5,000円
			製品1コあたりの標準原価		12,000円

標準原価計算

●標準原価計算の計算手順●
①.原価標準の設定
②.標準原価の計算
③.実際原価の計算
④.標準原価差異の計算
⑤.標準原価差異の原因分析

<標準原価計算の流れ>

・標準原価計算は、つぎの手順で行われる。

②.標準原価の計算

標準原価カードをもとに、当月完成品原価、月初仕掛品原価、月末仕掛品原価、
当月標準製造費用（当月投入分の標準原価）を計算する。

月初仕掛品	XXX コ（○○%）
当月投入	XXX コ
合計	XXX コ
月末仕掛品	XXX コ（○○%）
完成品	XXX コ

標準原価カード

標準直接材料費	標準単価 @500円	×	標準消費量 6kg	=	3,000円
標準直接労務費	標準賃率 @800円	×	標準直接作業時間 5h	=	4,000円
標準製造間接費	標準配賦率 @1,000円	×	標準直接作業時間 5h	=	5,000円
			製品1コあたりの標準原価		12,000円

直接材料費

月初仕掛品原価	当月完成品原価
当月標準製造費用	月末仕掛品原価

（直接労務費+製造間接費）
加工費

月初仕掛品原価	当月完成品原価
当月標準製造費用	月末仕掛品原価

●ポイント●
これまでの「総合原価計算」と同様に、**直接材料費は「数量」**による計算を行い、
直接労務費・製造間接費（加工費）は「換算量」による計算を行う。

標準原価計算

●標準原価計算の計算手順●
①.原価標準の設定
②.標準原価の計算
③.実際原価の計算
④.標準原価差異の計算
⑤.標準原価差異の原因分析

<標準原価計算の流れ>

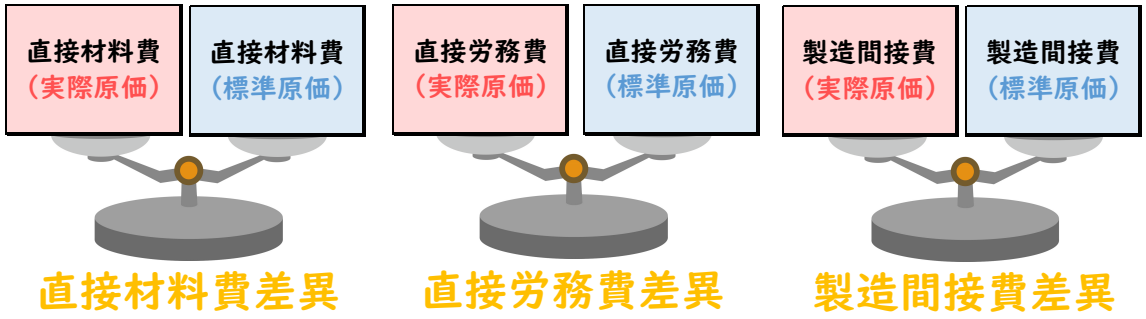
・標準原価計算は、つぎの手順で行われる。

③.実際原価の計算

当月に実際にかかった直接材料費・直接労務費・製造間接費を集計し、
当月製造費用（当月の実際原価）を計算する。

④.標準原価差異の計算

当月の標準原価（当月標準製造費用）と当月の実際原価を比較して、
標準原価差異（直接材料費差異・直接労務費差異・製造間接費差異）を計算する。



標準原価計算

<標準原価計算の流れ>

・標準原価計算は、つぎの手順で行われる。

⑤.標準原価差異の原因分析

標準原価差異をもとに、その原因の分析を行う。
・直接材料費差異→価格差異・数量差異
・直接労務費差異→賃率差異・時間差異
・製造間接費差異→予算差異・操業度差異・能率差異

《日商簿記2級》
－工業簿記－

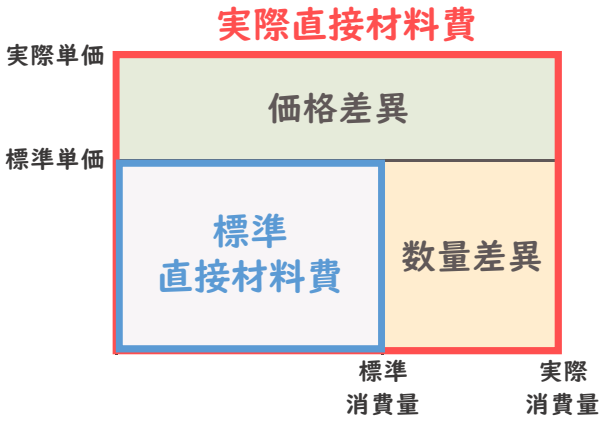
25. 標準原価計算③
～標準原価差異の分析について～

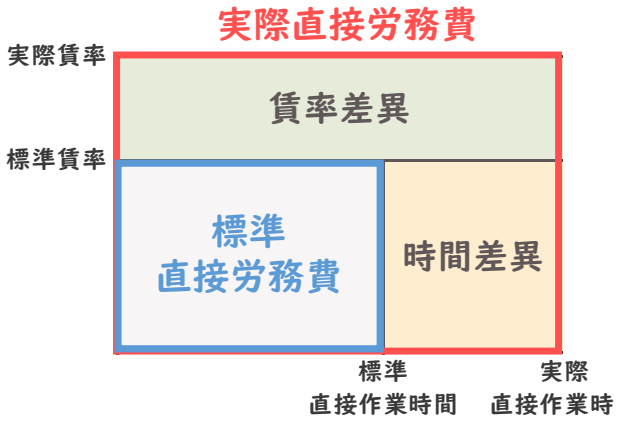
ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

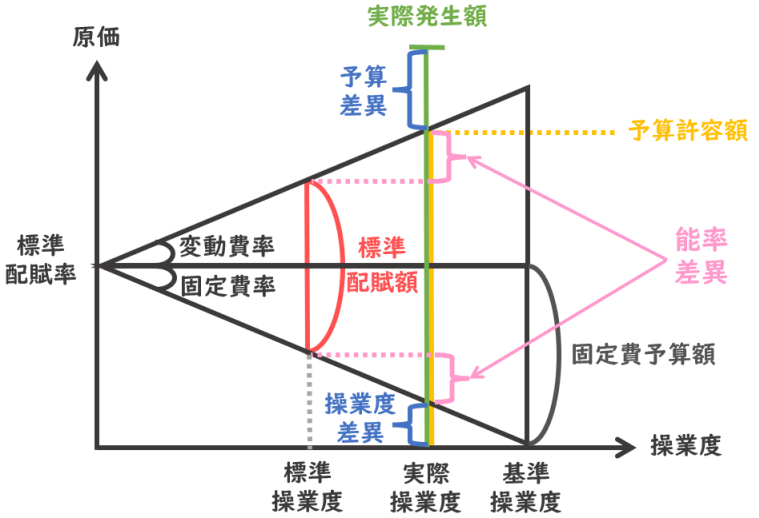
●標準原価計算の計算手順●
①.原価標準の設定
②.標準原価の計算
③.実際原価の計算
④.標準原価差異の計算
⑤.標準原価差異の原因分析

標準原価カード

標準直接材料費	標準単価 @500円	×	標準消費量 6kg	= 3,000円
標準直接労務費	標準賃率 @800円	×	標準直接作業時間 5h	= 4,000円
標準製造間接費	標準配賦率 @1,000円	×	標準直接作業時間 5h	= 5,000円
			製品1コあたりの標準原価	12,000円







標準原価計算

～問題解説～

＜標準原価計算の計算手順を問題で把握しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

標準原価計算

●標準原価計算の計算手順●
①.原価標準の設定
②.標準原価の計算
③.実際原価の計算
④.標準原価差異の計算
⑤.標準原価差異の原因分析

●ポイント●
これまでの「総合原価計算」と同様に、**直接材料費は「数量」**による計算を行い、**直接労務費・製造間接費（加工費）は「換算量」**による計算を行う。

《問題》
製品Aを製造する当社は、標準原価計算を採用している。
次の資料に基づいて、解答欄（1）～（4）の金額を求めなさい。

1. 生産データ

<換算量>

月初仕掛品	100 コ	（80%）
当月投入	500 コ	
合計	600 コ	
月末仕掛品	200 コ	（50%）
完成品	400 コ	

・（　　）内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2.製品A1コあたりの標準原価カード

標準原価カード

標準直接材料費	標準単価 @100円	×	標準消費量 2kg	＝	200円
標準直接労務費	標準賃率 @300円	×	標準直接作業時間 1h	＝	300円
標準製造間接費	標準配賦率 @500円	×	標準直接作業時間 1h	＝	500円
			製品A1コあたりの標準原価		1,000円

仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

（直接労務費＋製造間接費）

仕掛品（加工費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	月末仕掛品

【解答】

	金額
（1）完成品原価	円
（2）月末仕掛品原価	円
（3）月初仕掛品原価	円
（4）当月標準製造原価	円

標準原価計算

●標準原価計算の計算手順●
①.原価標準の設定
②.標準原価の計算
③.実際原価の計算
④.標準原価差異の計算
⑤.標準原価差異の原因分析

《問題》
製品Aを製造する当社は、標準原価計算を採用している。次の資料に基づいて、
解答欄(5)～(7)の金額を求め、その金額が不利差異か有利差異かを答えなさい。

1.生産データ

<換算量>

月初仕掛品	100 コ	(80%)
当月投入	500 コ	
合計	600 コ	
月末仕掛品	200 コ	(50%)
完成品	400 コ	

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2.製品A1コあたりの標準原価カード

標準原価カード

標準直接材料費	標準単価 @100円	×	標準消費量 2kg	=	200円
標準直接労務費	標準賃率 @300円	×	標準直接作業時間 1h	=	300円
標準製造間接費	標準配賦率 @500円	×	標準直接作業時間 1h	=	500円
			製品A1コあたりの標準原価		1,000円

3.実際原価に関するデータ

・直接材料費実際発生額:132,000円
・直接労務費実際発生額:107,500円
・製造間接費実際発生額:225,000円

仕掛品(直接材料費)

月初仕掛品	完成品
100コ 20,000	400コ 80,000
当月投入 500コ 100,000	月末仕掛品 200コ 40,000

仕掛品(加工費)

月初仕掛品	完成品
80コ 24,000 40,000	400コ 120,000 200,000
当月投入 420コ 126,000 210,000	月末仕掛品 100コ 30,000 50,000

【解答】

	金額
(5)直接材料費差異	円　(　　)　差異
(6)直接労務費差異	円　(　　)　差異
(7)製造間接費差異	円　(　　)　差異

≪まとめ≫

標準原価カード

標準直接材料費	標準単価 @500円	×	標準消費量 6kg	=	3,000円
標準直接労務費	標準賃率 @800円	×	標準直接作業時間 5h	=	4,000円
標準製造間接費	標準配賦率 @1,000円	×	標準直接作業時間 5h	=	5,000円
			製品1コあたりの標準原価		12,000円

- 標準原価計算は実際原価計算の問題点を補うために誕生したものである
- 標準原価計算では、目標値を用いた（　　）で計算を行う
- 標準原価と実際原価の差額は差異として把握していく（原価管理に役立てる）
- 標準原価計算の計算手順は、「①.原価標準の設定→②.標準原価の計算→③.実際原価の計算→④.原価差異の計算→⑤.原価差異の原因分析」の流れで行われる

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第23回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

24. 標準原価計算②

～パーシャル・プランとシングル・プラン～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

標準原価計算の記入方法

～パーシャル・プランとシングル・プランとは？～

＜標準原価計算における勘定記入方法について＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

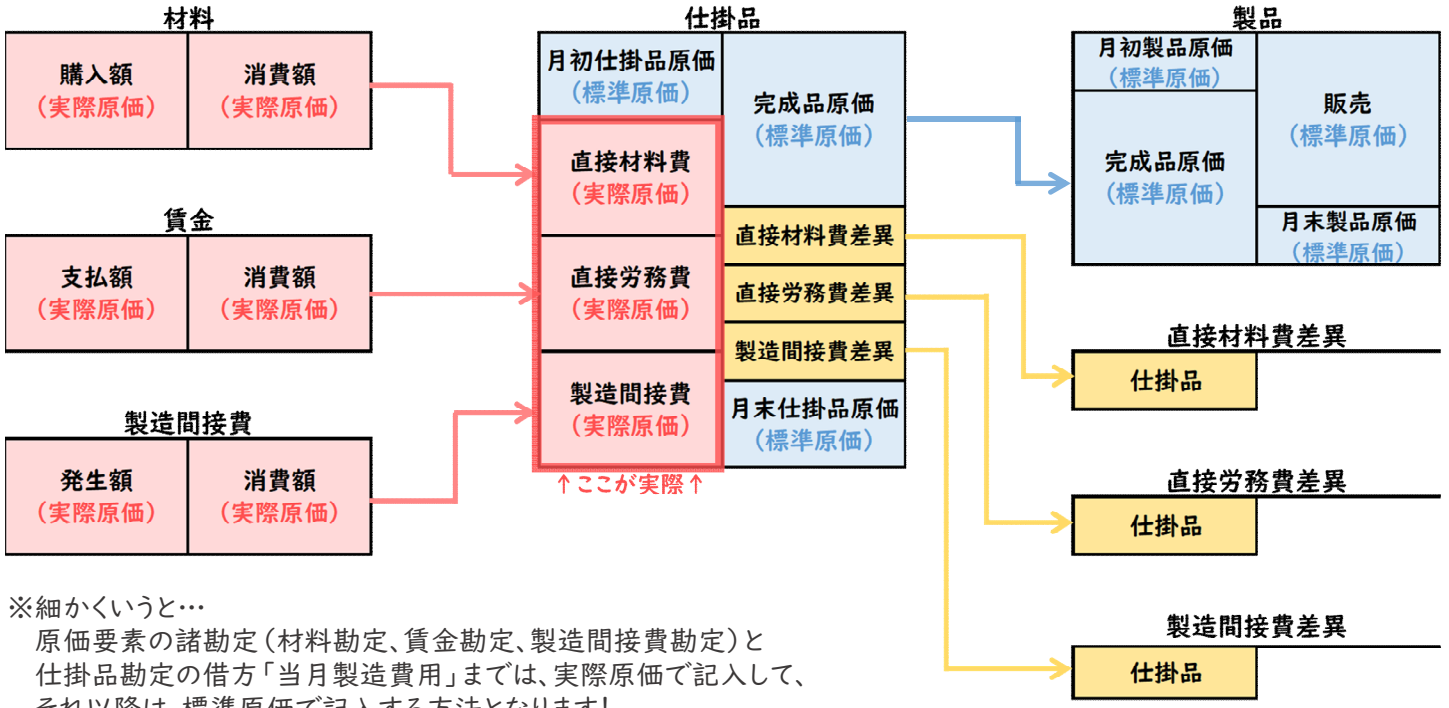
標準原価計算の記入方法

○用語○
パーシャル…「一部だけ」、「部分的な」など
シングル…「たった1つの」、「単一の」など
プラン…方法、方式のこと

<標準原価計算の勘定記入方法>

・標準原価計算の勘定記入の方法には、(　　)と(　　)の2つの方法がある。

パーシャル・プラン…仕掛品勘定の当月製造費用の金額に(　　)を用いる方法である。
この方法の場合、標準原価差異は仕掛品勘定で把握される。



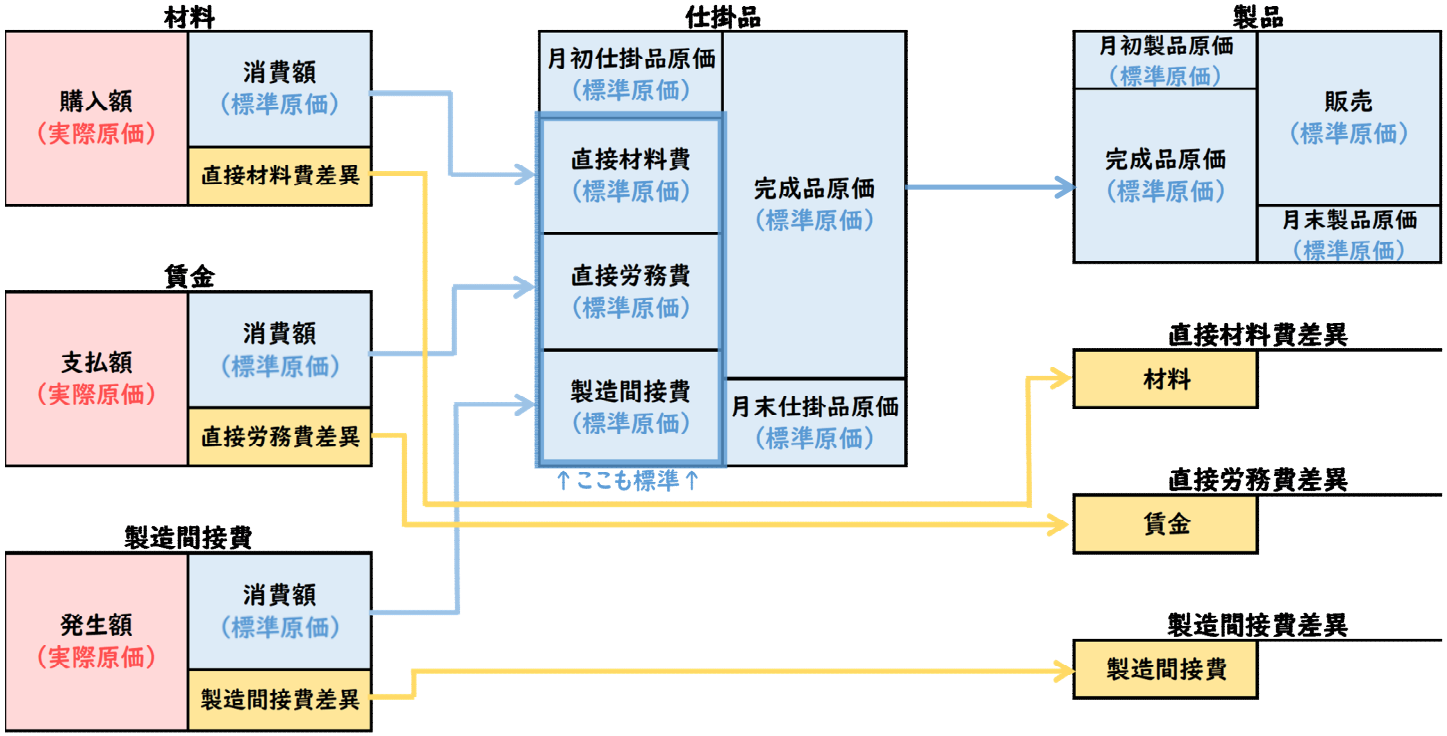
※細かくいうと…
原価要素の諸勘定(材料勘定、賃金勘定、製造間接費勘定)と
仕掛品勘定の借方「当月製造費用」までは、実際原価で記入して、
それ以降は、標準原価で記入する方法となります!

標準原価計算の記入方法

○用語○
パーシャル…「一部だけ」、「部分的な」など
シングル…「たった1つの」、「単一の」など
プラン…方法、方式のこと

<標準原価計算の勘定記入方法>

シングル・プラン…仕掛品勘定の当月製造費用の金額に（　　）を用いる方法である。
この方法の場合、標準原価差異は、材料・労務費・製造間接費の各勘定で把握される。



※細かくいうと…
「原価要素の諸勘定の借方」までは、実際原価で記入して、それ以降は標準原価で記入する方法となります。

・ちなみに、パーシャル・プランとシングル・プランは、各企業の特徴や目的に合わせて採用される。
また、両者で原価差異を把握するタイミングは異なるが、金額そのものは変わらない。

標準原価計算の記入方法

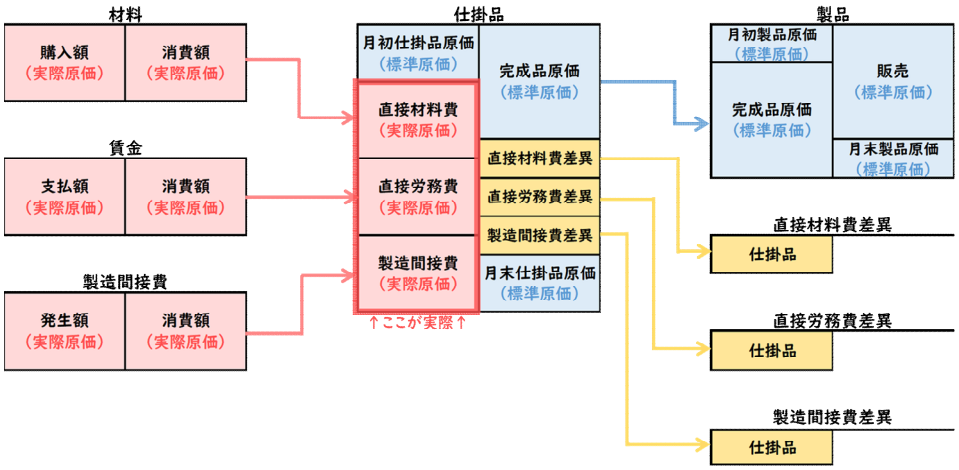
＜原価差異の把握方法について＞

・原価差異を把握するタイミングには、（　　）と（　　）の2つの方法がある。

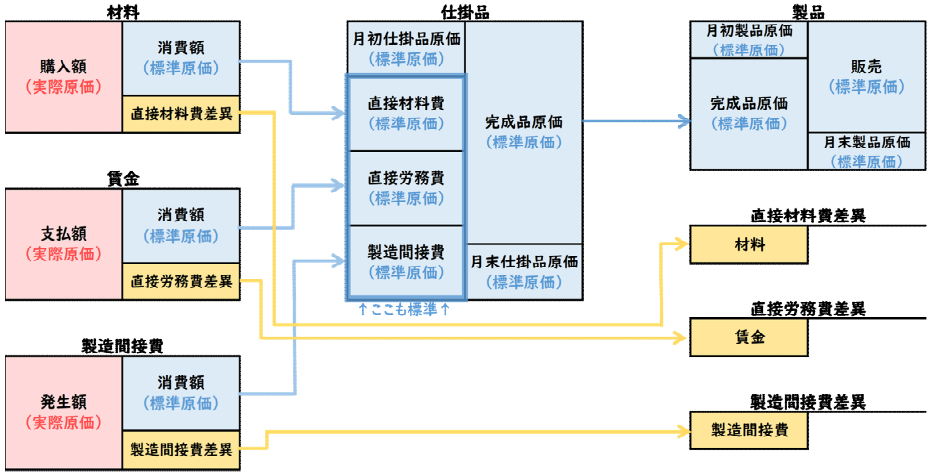
アウトプット法…実際の生産量（完成品と月末仕掛品）が確定したタイミングで、一括して原価差異を把握する方法である。そのため、標準原価計算の勘定記入方法（　　）と深く関係している。
この方法は、事務処理（計算量）は少なくて済むが、実際原価が確定するまで差異の計算ができないため、差異の把握が遅れる。

インプット法…材料等の原価要素を投入するタイミングで原価差異を把握する方法である。
そのため、標準原価計算の勘定記入方法（　　）と深く関係している。
この方法は、材料等を消費する時点で差異を把握をできるので、差異の把握は早いが、事務処理（計算量）は多くなる。

＜パーシャル・プランの勘定連絡図＞



＜シングル・プランの勘定連絡図＞

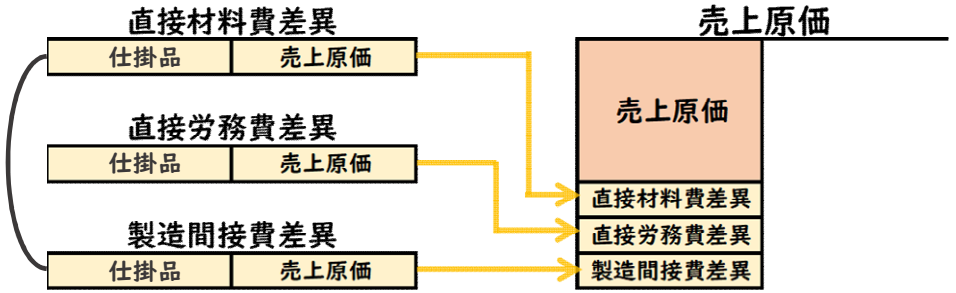


標準原価計算の記入方法

＜標準原価差異の処理について＞

・月ごとに把握される標準原価差異（直接材料費差異・直接労務費差異・製造間接費差異）」は、「売上原価」勘定に賦課する処理を行う。損益計算書においては、借方差異（不利差異）なら（　　）し、貸方差異（有利差異）なら（　　）する処理を行う。

※すべて借方差異の場合



月次損益計算書

Ⅰ.売上高		XXX
Ⅱ.売上原価		
1.月初製品棚卸高	XXX	
2.当月製品製造原価	XXX	
合　計	XXX	
3.月末製品棚卸高	XXX	
差　引	XXX	
4.原価差異	XXX	XXX
売上総利益		XXX

月次損益計算書

Ⅰ.売上高			XXX
Ⅱ.売上原価			
1.月初製品棚卸高		XXX	
2.当月製品製造原価		XXX	
合　計		XXX	
3.月末製品棚卸高		XXX	
差　引		XXX	
4.原価差異			
直接材料費差異	XXX		
直接労務費差異	XXX		
製造間接費差異	XXX	XXX	XXX
売上総利益			XXX

標準原価計算の記入方法

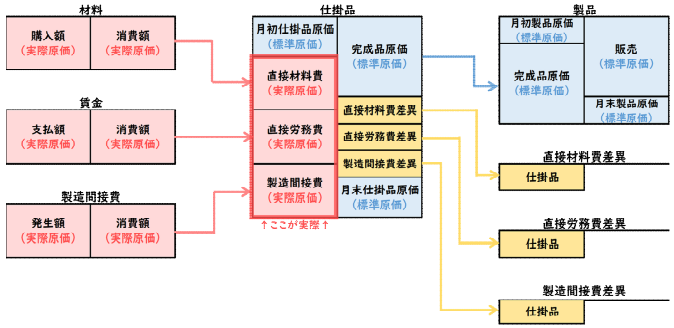
～問題解説～

＜パーシャル・プランとシングル・プランを問題で確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

標準原価計算の記入方法

<パーシャル・プラン>
仕掛品勘定の当月製造費用の金額に「実際原価」を用いる方法である。この方法の場合、標準原価差異は仕掛品勘定で把握される。



《問題1》
製品Aを製造する当社は、標準原価計算を採用している。次の資料に基づいて、仕掛品勘定と各原価差異の勘定を完成させなさい。なお、勘定記入の方法はパーシャル・プランによること。

1. 生産データ

			<換算量>
月初仕掛品	100 コ	(80%)	80コ
当月投入	500 コ		420コ
合計	600 コ		500コ
月末仕掛品	200 コ	(50%)	100コ
完成品	400 コ		400コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2.製品A1コあたりの標準原価カード

標準原価カード

標準直接材料費	標準単価 @100円	×	標準消費量 2kg	=	200円
標準直接労務費	標準賃率 @300円	×	標準直接作業時間 1h	=	300円
標準製造間接費	標準配賦率 @500円	×	標準直接作業時間 1h	=	500円
			製品A1コあたりの標準原価		1,000円

3. 実際原価に関するデータ

・直接材料費実際発生額：132,000円
・直接労務費実際発生額：107,500円
・製造間接費実際発生額：225,000円

仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品 100コ	完成品 400コ
20,000	80,000
当月投入 500コ	月末仕掛品 200コ
100,000	40,000

仕掛品（加工費）

月初仕掛品 80コ	完成品 400コ
24,000 40,000	120,000 200,000
当月投入 420コ	月末仕掛品 100コ
126,000 210,000	30,000 50,000

●差異に関する仕訳●

仕掛品

前月繰越		製品	
直接材料費		(　　)	
直接労務費		(　　)	
製造間接費		次月繰越	
(　　)			

直接材料費差異

(　　)	(　　)

直接労務費差異

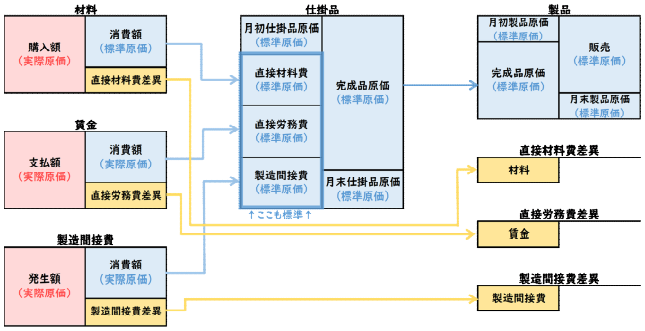
(　　)	(　　)

製造間接費差異

(　　)	(　　)

標準原価計算の記入方法

<シングル・プラン>
仕掛品勘定の当月製造費用の金額に「標準原価」を用いる方法である。この方法の場合、標準原価差異は材料・労務費・製造間接費の各勘定で把握される。



《問題2》
製品Aを製造する当社は、標準原価計算を採用している。次の資料に基づいて、仕掛品勘定と各原価差異の勘定を完成させなさい。なお、勘定記入の方法はシングル・プランによること。

1. 生産データ

			<換算量>
月初仕掛品	100 コ	(80%)	80コ
当月投入	500 コ		420コ
合計	600 コ		500コ
月末仕掛品	200 コ	(50%)	100コ
完成品	400 コ		400コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

3. 実際原価に関するデータ

・直接材料費実際発生額：132,000円
・直接労務費実際発生額：107,500円
・製造間接費実際発生額：225,000円

仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品 100コ	完成品 400コ
20,000	80,000
当月投入 500コ	月末仕掛品 200コ
100,000	40,000

仕掛品（加工費）

月初仕掛品 80コ	完成品 400コ
24,000 40,000	120,000 200,000
当月投入 420コ	月末仕掛品 100コ
126,000 210,000	30,000 50,000

●差異に関する仕訳●

2.製品A1コあたりの標準原価カード

標準原価カード

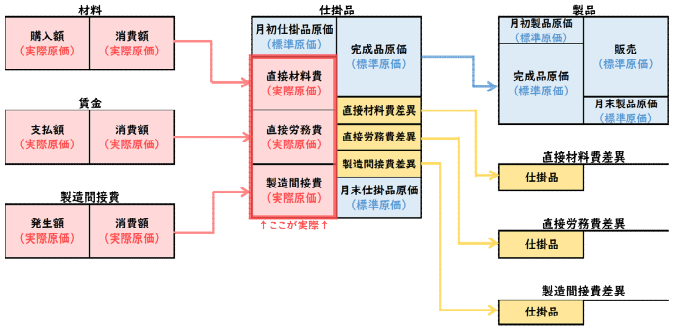
標準直接材料費	標準単価 @100円	×	標準消費量 2kg	=	200円
標準直接労務費	標準賃率 @300円	×	標準直接作業時間 1h	=	300円
標準製造間接費	標準配賦率 @500円	×	標準直接作業時間 1h	=	500円
			製品A1コあたりの標準原価		1,000円

仕掛品

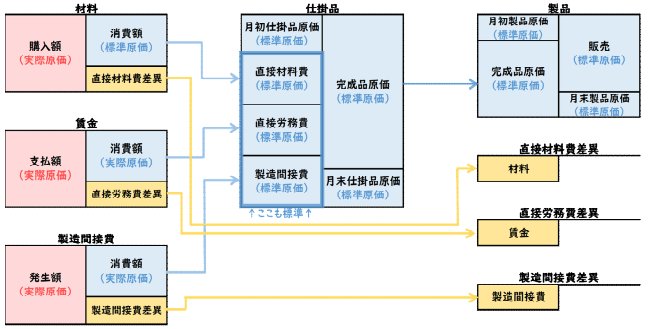
前月繰越		製品	
直接材料費		次月繰越	
直接労務費			
製造間接費			

直接材料費差異

(　　)	(　　)



≪まとめ≫



- 標準原価計算の勘定記入には、仕掛品勘定の当月製造費用に実際原価を用いる（　　）と標準原価を用いる（　　）がある
- パーシャル・プランの場合、原価差異は（　　）勘定で把握される
- シングル・プランの場合、原価差異は各勘定（材料・労務費・製/間）で把握される

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第24回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

25. 標準原価計算③

～標準原価差異の分析について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

～標準原価差異の分析について～

＜原価差異の原因分析までの手順を再確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

標準原価差異の分析

<標準原価計算の計算手順>

〇今回のポイント〇
標準原価と実際原価の差額で把握された「標準原価差異」は、あくまでも差異の総額であるため、その差異がどこで・どんな影響で発生したかという原因まで明らかにすることができない。そこで、原因別分析を行い、原価管理に役立てるための作業を行う。

①.原価標準の設定

会計年度のはじめに製品1コ当たりの標準原価となる（ 原価標準 ）を設定する。
その際は、直接材料費・直接労務費・製造間接費に分けて記載した
（ 標準原価カード ）を作成する。

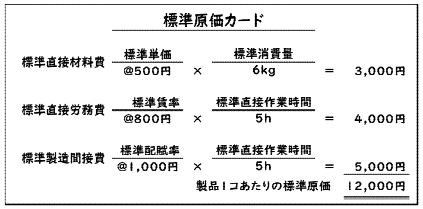
標準原価カード

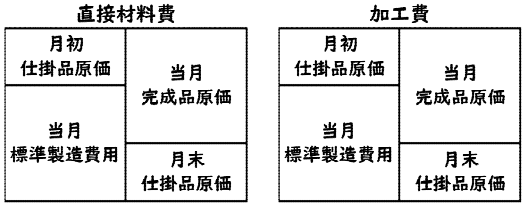
標準直接材料費	標準単価 @500円	×	標準消費量 6kg	＝ 3,000円
標準直接労務費	標準賃率 @800円	×	標準直接作業時間 5h	＝ 4,000円
標準製造間接費	標準配賦率 @1,000円	×	標準直接作業時間 5h	＝ 5,000円
			製品1コあたりの標準原価	12,000円

②.標準原価の計算

標準原価カード（事前に設定した原価標準）をもとに、当月完成品原価、月初仕掛品原価、月末仕掛品原価、当月標準製造費用（当月の標準原価）を計算する。

月初仕掛品	xxx コ（○○%）
当月投入	xxx コ
合計	xxx コ
月末仕掛品	xxx コ（○○%）
完成品	xxx コ



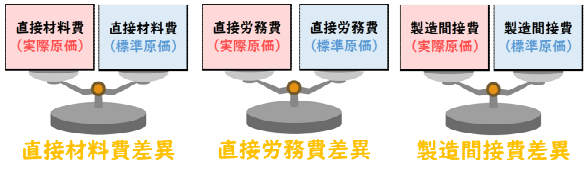


③.実際原価の計算

当月に実際にかかった直接材料費・直接労務費・製造間接費を集計し、
当月製造費用（当月の実際原価）を計算する。

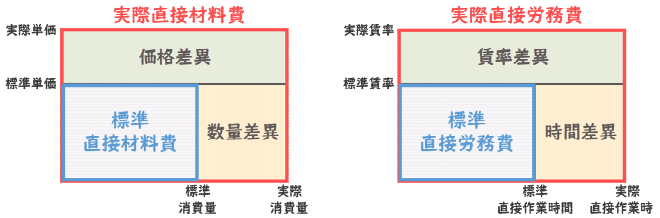
④.標準原価差異の計算

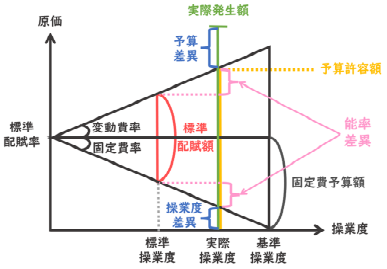
当月の標準原価（当月標準製造費用）と当月の実際原価を比較して、
標準原価差異（直接材料費差異・直接労務費差異・製造間接費差異）を計算する。



⑤.標準原価差異の原因分析

標準原価差異をもとに、その原因の分析を行う。
・直接材料費差異→価格差異・数量差異
・直接労務費差異→賃率差異・時間差異
・製造間接費差異→予算差異・操業度差異・能率差異





標準原価差異の分析

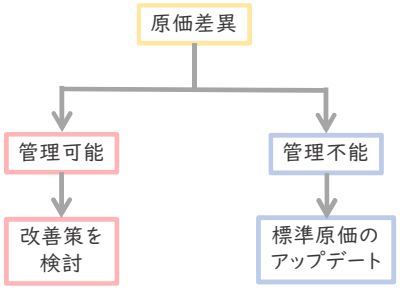
～直接材料費差異の分析について～

＜価格差異と数量差異の分析方法を確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

標準原価差異の分析

●価格差異・数量差異の有利・不利の考え方●
価格差異…標準より、実際が安かったら「有利」
標準より、実際が高かったら「不利」
数量差異…標準より、実際が少なかったら「有利」
標準より、実際が多かったら「不利」



<直接材料費差異の分析>

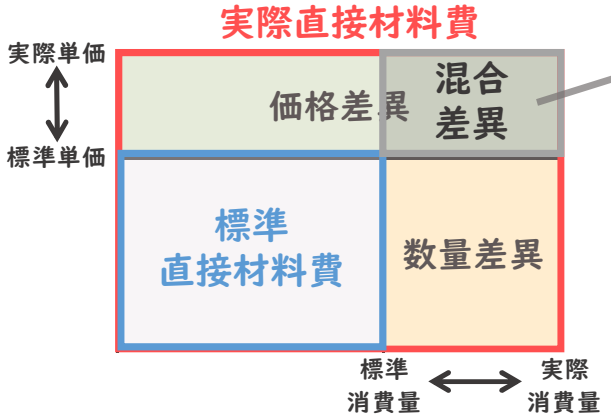
・直接材料費の標準原価と実際原価の差額で把握された「直接材料費差異」は、さらに「価格差異」と「数量差異」の2つに分類される。

(　　)…材料の標準単価と実際単価の差から把握される差異である。
材料の市場価格の変動などが原因(企業の外部要因)で発生するため、
製造現場の管理者にとっては(　　)な差異である。

(　　)…材料の標準消費量と実際消費量の差から把握される差異である。
材料を無駄に使った(効率よく使った)ことなどが原因(企業の内部要因)で
発生するため、製造現場の管理者にとっては(　　)な差異である。

<直接材料費差異の分析方法>

※差異分析のためのボックス図を使って計算していきます!



<参考>混合差異の取扱いについて
価格差異と数量差異の「混合差異」は、原価管理の観点から管理不能な「価格差異」に含めるべきとされている。

直接材料費差異=価格差異+数量差異

価格差異=(標準単価−実際単価)×実際消費数量

数量差異=標準単価×(標準消費量−実際消費量)

標準原価差異の分析

～直接労務費差異の分析について～

＜賃率差異と時間差異の分析方法を確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

標準原価差異の分析

●賃率差異・時間差異の有利・不利の考え方●
賃率差異…標準より、実際が安かったら「有利」
標準より、実際が高かったら「不利」
時間差異…標準より、実際が短かったら「有利」
標準より、実際が長かったら「不利」

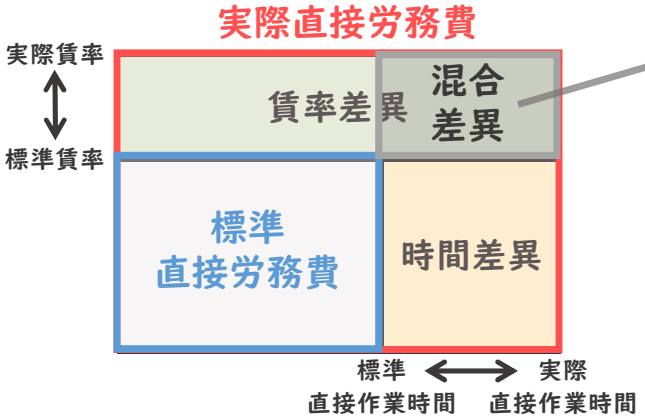
<直接労務費差異の分析>

・直接労務費の標準原価と実際原価の差額で把握された「直接労務費差異」は、さらに「賃率差異」と「時間差異」の2つに分類される。

（　　）…標準賃率と実際賃率の差から把握される差異である。賃上げ交渉による賃率の変動や急なシフト変更で賃率の低い工員から賃率の高い工員へ変更した場合などの原因で発生するため、製造現場の管理者にとっては（　　）な差異である。

（　　）…直接工の標準直接作業時間と実際直接作業時間の差から把握される差異である。作業能率の良否などが原因で発生するため、製造現場の管理者にとっては（　　）な差異である。

<直接労務費差異の分析方法>



<参考>混合差異の取扱いについて
賃率差異と時間差異の「混合差異」は、材料における「価格差異」と同様に、管理不能な「賃率差異」に含めるべきとされている。

直接労務費差異＝賃率差異＋時間差異

賃率差異＝（標準賃率－実際賃率）×実際直接作業時間

時間差異＝標準賃率×（標準直接作業時間－実際直接作業時間）

標準原価差異の分析

～製造間接費差異の分析について～

＜予算差異・操業度差異・能率差異の分析方法を確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

標準原価差異の分析

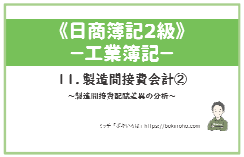
○用語○
基準操業度…一定期間における操業度の予測値

<製造間接費差異の分析>

・製造間接費の標準原価と実際原価の差額で把握された「製造間接費差異」は、(　　)、(　　)、(　　)の3つに分類される(この場合、3つに分けるため「3分法」という)。

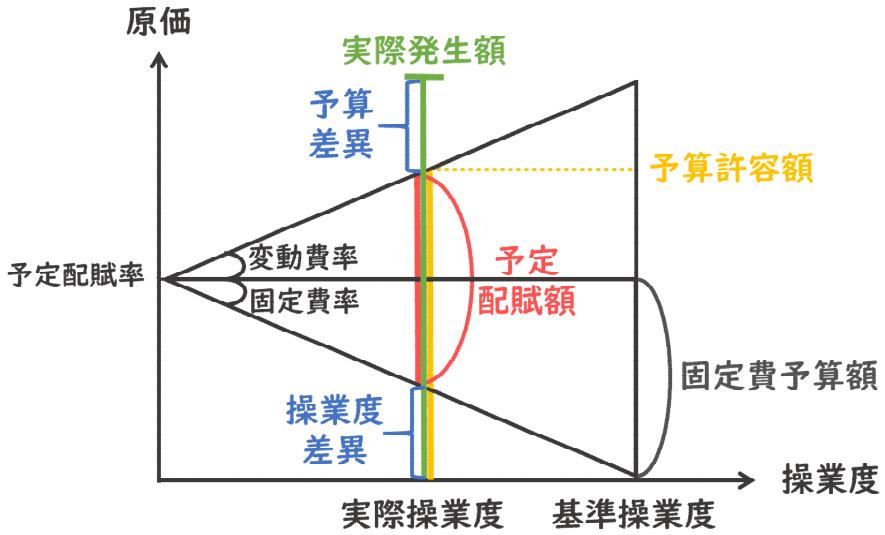
【復習(公式法変動予算)】

※「第11回:製造間接費会計②~製造間接費配賦差異の分析~」



(　　)差異…製造間接費が予算どおりに発生したかを把握する差異である。

(　　)差異…生産設備の利用度(操業度)が基準操業度どおりであったかを把握する差異であり、固定費部分から発生する差異である。



予算差異=予算許容額(実際操業度における予算額)- 実際発生額

操業度差異=(実際操業度-基準操業度) × 固定費率

標準原価差異の分析

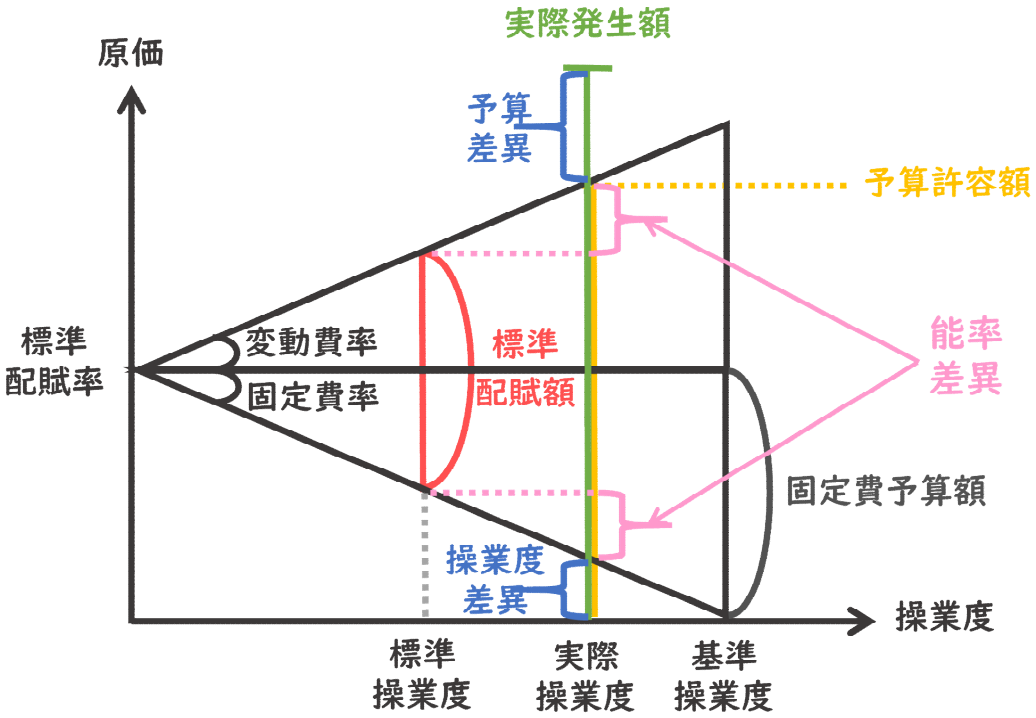
標準原価カード

	標準単価		標準消費量		
標準直接材料費	@100円	×	2kg	=	200円
	標準賃率		標準直接作業時間		
標準直接労務費	@300円	×	1h	=	300円
	標準配賦率		標準直接作業時間		
標準製造間接費	@500円	×	1h	=	500円
			製品A1コあたりの標準原価		1,000円

<能率差異について>

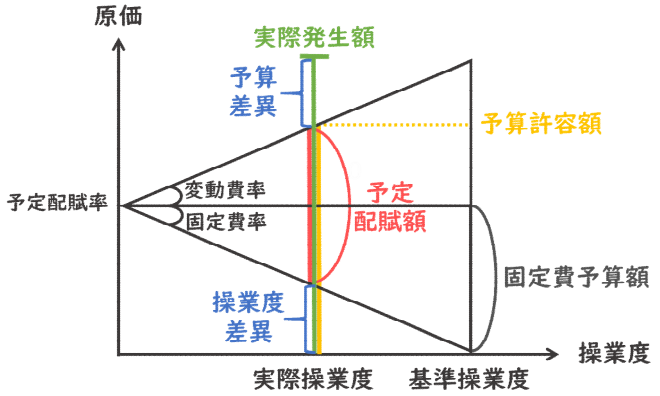
能率差異…標準操業度（目標値）と実際操業度の差から把握される差異である。
（　　）の良否が原因で発生する。

《標準原価計算におけるシュラッターの図（公式法変動予算）》



●ポイント●
標準原価計算における製造間接費の差異分析でも実際原価計算の時と同様に、「シュラッターの図」を用いて計算を行っていく。

《実際原価計算におけるシュラッターの図（公式法変動予算）》



予算差異＝予算許容額（実際操業度における予算額）－ 実際発生額

操業度差異＝（実際操業度－基準操業度）× 固定費率

能率差異＝（標準操業度－実際操業度）× 標準配賦率

〇参考〇※あとのスライドでも解説します
なお、能率差異は、変動費部分から生じるもの（変動費能率差異）と固定費部分から生じるもの（固定費能率差異）に分けて把握する場合もある。
この場合、「予算差異・操業度差異・変動費能率差異・固定費能率差異」の4つに分けるため「4分法」という。
ちなみに、製造現場の管理者にとって変動費能率差異は管理可能な差異であり、固定費能率差異は管理不能な差異となる。

標準原価差異の分析

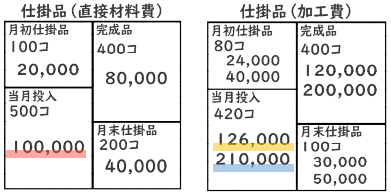
～問題解説～

＜原因別分析を問題で確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

標準原価差異の分析

●ポイント●
直接材料費差異・直接労務費差異の分析は、差異分析のボックスで面積計算、
製造間接費差異についてはシュラッターの図で計算すること



《問題》

製品Aを製造する当社は、標準原価計算を採用している。次の資料に基づいて、直接材料費差異、直接労務費差異、製造間接費差異の金額を計算し、さらに差異の原因別分析まで行いなさい。なお、製造間接費差異の原因別分析は3分法を採用しており、能率差異の計算は標準配賦率で行っている。

1. 生産データ

			<換算量>
月初仕掛品	100 コ	(80%)	80コ
当月投入	500 コ		420コ
合計	600 コ		500コ
月末仕掛品	200 コ	(50%)	100コ
完成品	400 コ		400コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2.製品A1コあたりの標準原価カード

標準原価カード

標準直接材料費	標準単価 @100円	×	標準消費量 2kg	=	200円
標準直接労務費	標準賃率 @300円	×	標準直接作業時間 1h	=	300円
標準製造間接費	標準配賦率 @500円	×	標準直接作業時間 1h	=	500円
			製品A1コあたりの標準原価		1,000円

3. 実際原価に関するデータ

・直接材料費実際発生額：132,000円（実際単価@110円×実際消費量1,200kg）
・直接労務費実際発生額：107,500円（実際賃率@250円×実際直接作業時間430h）
・製造間接費実際発生額：225,000円

4. 公式法変動予算に関するデータ

・変動費率：@200円　・月間固定費予算額：135,000円　・月間基準操業度：450h（直接作業時間）

【解答】　※[　]には、借方差異の場合は借、貸方差異の場合は貸と記入すること

	金額	内訳	
		差異の名称	金額
(1) 直接材料費差異	円 [　]	(　　)差異	円 [　]
		(　　)差異	円 [　]
(2) 直接労務費差異	円 [　]	(　　)差異	円 [　]
		(　　)差異	円 [　]
(3) 製造間接費差異	円 [　]	(　　)差異	円 [　]
		(　　)差異	円 [　]
		(　　)差異	円 [　]

標準原価差異の分析

●ポイント●
直接材料費差異・直接労務費差異の分析は、差異分析のボックスで面積計算、
製造間接費差異についてはシュラッターの図で計算すること

仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品		完成品	
100コ	20,000	400コ	80,000
当月投入			
500コ	100,000	月末仕掛品	
		200コ	40,000

仕掛品（加工費）

月初仕掛品		完成品	
80コ	24,000	400コ	120,000
	40,000		200,000
当月投入			
420コ	126,000	月末仕掛品	
	210,000	100コ	30,000
			50,000

《問題》

製品Aを製造する当社は、標準原価計算を採用している。次の資料に基づいて、直接材料費差異、直接労務費差異、製造間接費差異の金額を計算し、さらに差異の原因別分析まで行いなさい。なお、製造間接費差異の原因別分析は3分法を採用しており、能率差異の計算は標準配賦率で行っている。

1. 生産データ

			<換算量>
月初仕掛品	100 コ	(80%)	80コ
当月投入	500 コ		420コ
合計	600 コ		500コ
月末仕掛品	200 コ	(50%)	100コ
完成品	400 コ		400コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2.製品A1コあたりの標準原価カード

標準原価カード

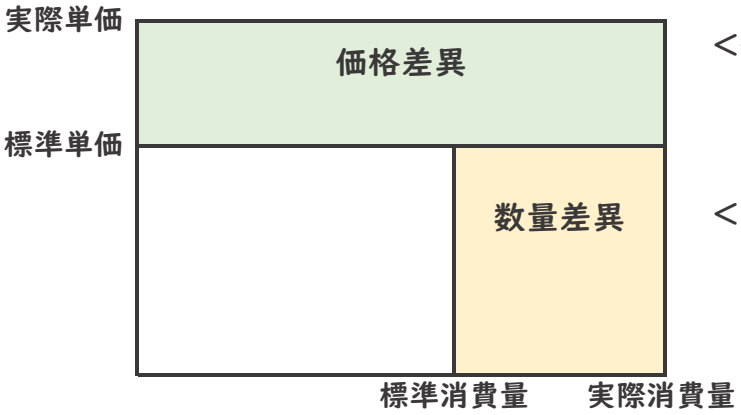
標準直接材料費	標準単価 @100円	×	標準消費量 2kg	=	200円
標準直接労務費	標準賃率 @300円	×	標準直接作業時間 1h	=	300円
標準製造間接費	標準配賦率 @500円	×	標準直接作業時間 1h	=	500円
			製品A1コあたりの標準原価		1,000円

3. 実際原価に関するデータ

・直接材料費実際発生額：132,000円（実際単価@110円×実際消費量1,200kg）
・直接労務費実際発生額：107,500円（実際賃率@250円×実際直接作業時間430h）
・製造間接費実際発生額：225,000円

4. 公式法変動予算に関するデータ

・変動費率：@200円　・月間固定費予算額：135,000円　・月間基準操業度：450h（直接作業時間）



<価格差異>

<数量差異>

【解答】

※[　]には、借方差異の場合は借、貸方差異の場合は貸と記入すること

	金額	内訳	
(1)直接材料費差異	円 [　]	(　　)差異	円 [　]
		(　　)差異	円 [　]

標準原価差異の分析

●ポイント●
直接材料費差異・直接労務費差異の分析は、差異分析のボックスで面積計算、
製造間接費差異についてはシュラッターの図で計算すること

仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品		完成品	
100コ	20,000	400コ	80,000
当月投入			
500コ	100,000	月末仕掛品	
		200コ	40,000

仕掛品（加工費）

月初仕掛品		完成品	
80コ	24,000	400コ	120,000
	40,000		200,000
当月投入			
420コ	126,000	月末仕掛品	
	210,000	100コ	30,000
			50,000

《問題》

製品Aを製造する当社は、標準原価計算を採用している。次の資料に基づいて、直接材料費差異、直接労務費差異、製造間接費差異の金額を計算し、さらに差異の原因別分析まで行いなさい。なお、製造間接費差異の原因別分析は3分法を採用しており、能率差異の計算は標準配賦率で行っている。

1. 生産データ

			<換算量>
月初仕掛品	100 コ	(80%)	80コ
当月投入	500 コ		420コ
合計	600 コ		500コ
月末仕掛品	200 コ	(50%)	100コ
完成品	400 コ		400コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2.製品A1コあたりの標準原価カード

標準原価カード

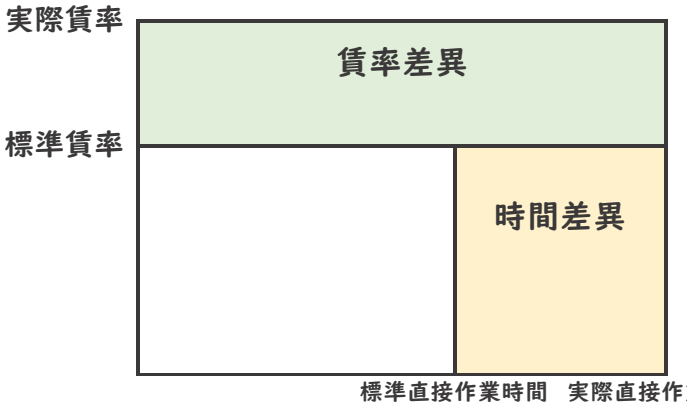
標準直接材料費	標準単価 @100円	×	標準消費量 2kg	=	200円
標準直接労務費	標準賃率 @300円	×	標準直接作業時間 1h	=	300円
標準製造間接費	標準配賦率 @500円	×	標準直接作業時間 1h	=	500円
			製品A1コあたりの標準原価		1,000円

3. 実際原価に関するデータ

・直接材料費実際発生額：132,000円（実際単価@110円×実際消費量1,200kg）
・直接労務費実際発生額：107,500円（実際賃率@250円×実際直接作業時間430h）
・製造間接費実際発生額：225,000円

4. 公式法変動予算に関するデータ

・変動費率：@200円　・月間固定費予算額：135,000円　・月間基準操業度：450h（直接作業時間）



<賃率差異>

<時間差異>

【解答】

※[　]には、借方差異の場合は借、貸方差異の場合は貸と記入すること

	金額	内訳	
(2) 直接労務費差異	円 [　]	(　　)差異	円 [　]
		(　　)差異	円 [　]

標準原価差異の分析

●ポイント●
直接材料費差異・直接労務費差異の分析は、差異分析のボックスで面積計算、
製造間接費差異についてはシュラッターの図で計算すること

仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品		完成品	
100コ	20,000	400コ	80,000
当月投入			
500コ	100,000		
		月末仕掛品	
		200コ	40,000

仕掛品（加工費）

月初仕掛品		完成品	
80コ	24,000	400コ	120,000
	40,000		200,000
当月投入			
420コ	126,000		
	210,000	月末仕掛品	
		100コ	30,000
			50,000

《問題》

製品Aを製造する当社は、標準原価計算を採用している。次の資料に基づいて、直接材料費差異、直接労務費差異、製造間接費差異の金額を計算し、さらに差異の原因別分析まで行いなさい。なお、製造間接費差異の原因別分析は3分法を採用しており、能率差異の計算は標準配賦率で行っている。

1. 生産データ

			<換算量>
月初仕掛品	100 コ	(80%)	80コ
当月投入	500 コ		420コ
合計	600 コ		500コ
月末仕掛品	200 コ	(50%)	100コ
完成品	400 コ		400コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2.製品A1コあたりの標準原価カード

標準原価カード

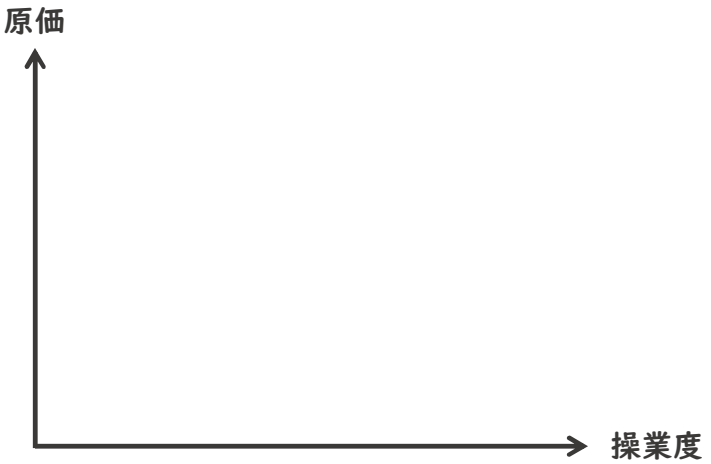
標準直接材料費	標準単価 @100円	×	標準消費量 2kg	=	200円
標準直接労務費	標準賃率 @300円	×	標準直接作業時間 1h	=	300円
標準製造間接費	標準配賦率 @500円	×	標準直接作業時間 1h	=	500円
			製品A1コあたりの標準原価		1,000円

3. 実際原価に関するデータ

・直接材料費実際発生額：132,000円（実際単価@110円×実際消費量1,200kg）
・直接労務費実際発生額：107,500円（実際賃率@250円×実際直接作業時間430h）
・製造間接費実際発生額：225,000円

4. 公式法変動予算に関するデータ

・変動費率：@200円
・月間固定費予算額：135,000円
・月間基準操業度：450h（直接作業時間）



<予算差異>

<操業度差異>

<能率差異>

【解答】※[　]には、借方差異の場合は借、貸方差異の場合は貸と記入すること

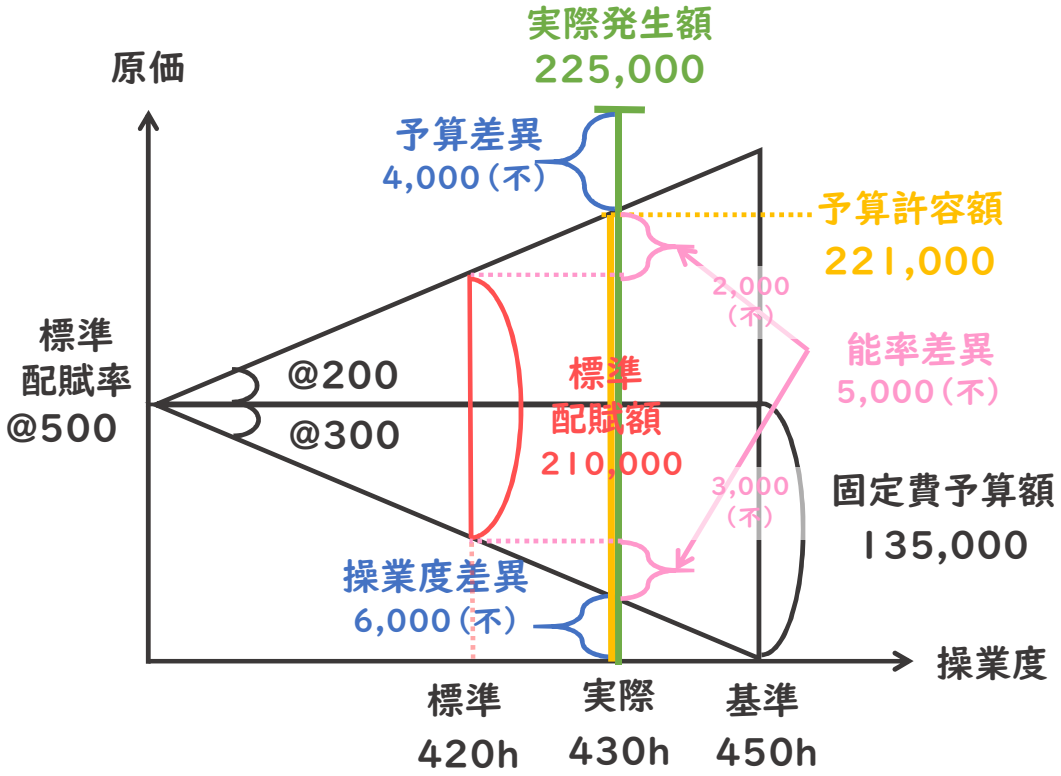
	金額	内訳	
(3) 製造間接費差異	円 [　]	(　　)差異	円 [　]
		(　　)差異	円 [　]
		(　　)差異	円 [　]

標準原価差異の分析

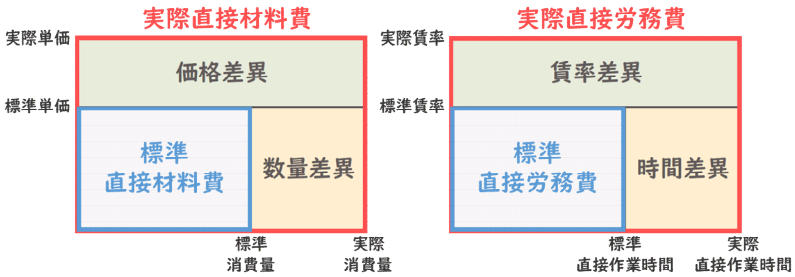
<参考：分析方法のパターンについて>

●参考●
問題によっては、「能率差異の計算は変動費率で行っている」などの場合もある。

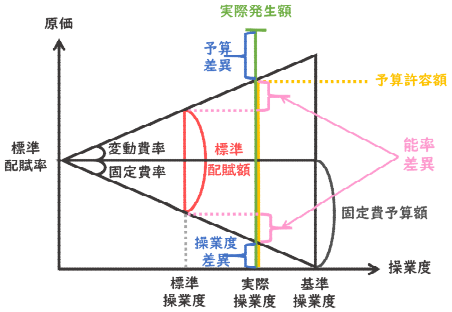
《問題》
製品Aを製造する当社は、標準原価計算を採用している。次の資料に基づいて、直接材料費差異、直接労務費差異、製造間接費差異の金額を計算し、さらに差異の原因別分析まで行いなさい。なお、製造間接費差異の原因別分析は3分法を採用しており、能率差異の計算は標準配賦率で行っている。



4分法	3分法①	3分法②	2分法
	予算差異 4,000円 （不利差異）		
	能率差異 5,000円 （不利差異）		
	操業度差異 6,000円 （不利差異）		



≪まとめ≫



4分法	3分法①	3分法②	2分法
予算差異 4,000円 (不利差異)	予算差異 4,000円 (不利差異)	予算差異 4,000円 (不利差異)	管理可能 差異 6,000円 (不利差異)
変動費 能率差異 2,000円 (不利差異)	能率差異 5,000円 (不利差異)	能率差異 2,000円 (不利差異)	
固定費 能率差異 3,000円 (不利差異)		操業度差異 9,000円 (不利差異)	管理不能 差異 9,000円 (不利差異)
操業度差異 6,000円 (不利差異)	操業度差異 6,000円 (不利差異)		

- 当月の標準原価と実際原価を比較して把握される標準原価差異は、さらに原因別に分析を行い、原価管理に役立てていく
- 各原価要素において把握される標準原価差異は下記のとおりである。

直接材料費差異→（　　）差異・（　　）差異　※差異分析のボックスを用いて計算すること

直接労務費差異→（　　）差異・（　　）差異　※差異分析のボックスを用いて計算すること

製造間接費差異→（　　）差異・（　　）差異・（　　）差異

※シュラッターの図を用いて計算すること

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第25回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

26. 標準原価計算④

～製造間接費差異の分析（固定予算）について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

～製造間接費差異の分析（固定予算）について～

＜固定予算の場合の差異分析を確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

製造間接費差異の分析（固定予算）

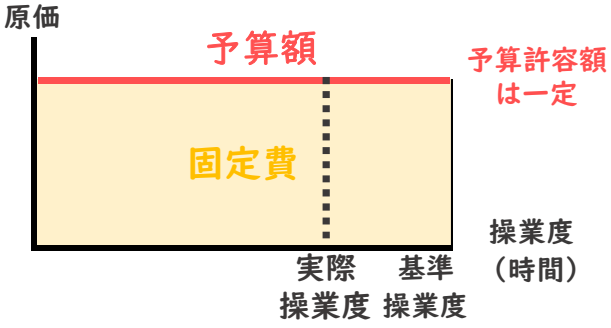
○用語○
基準操業度…一定期間における操業度の予測値

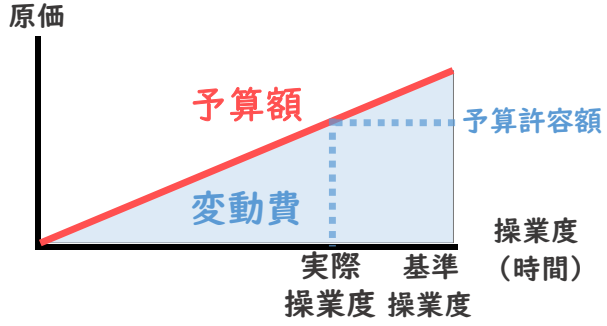
・1年間の製造間接費予算額は、前もって年度のはじめに見積もった（　　）の間で発生する金額を予定したものであり、その設定方法には2つがある。

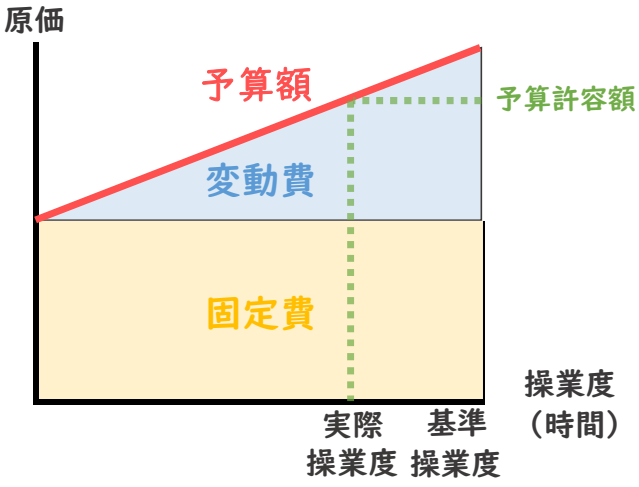
《製造間接費予算の設定方法（決め方）について》

（　　）…基準操業度における予算額を製造間接費予算額とする方法。
そのため、実際操業度が違ったとしても予算額は変化させない。【基準操業度の予算額＝実際操業度の予算額】

（　　）…実際操業度に応じた予算額である（　　）を製造間接費予算額とする方法。
基準操業度と実際操業度が違ったら、実際操業度に応じた予算額に修正を行っていく。
この中には、変動費と固定費に分けて予算額を決める（　　）という方法がある。
これは、【y=ax+b】という一定の公式を用いて計算することから、このように呼ばれている。
（yは製造間接費予算、aは変動費率、xは操業度、bは固定費予算額を表す）
つまり、固定費部分は、操業度の増減に関係なく一定の予算額とし、変動費部分は、操業度に応じて予算額が変動する形となる。







製造間接費差異の分析（固定予算）

＜実際原価計算による固定予算の復習問題＞

下記の資料より、製造間接費配賦差異を計算し、
予算差異と操業度差異に分析しなさい。
（有利差異・不利差異まで記入すること）
なお、製造間接費予算額の設定は固定予算で行っている。

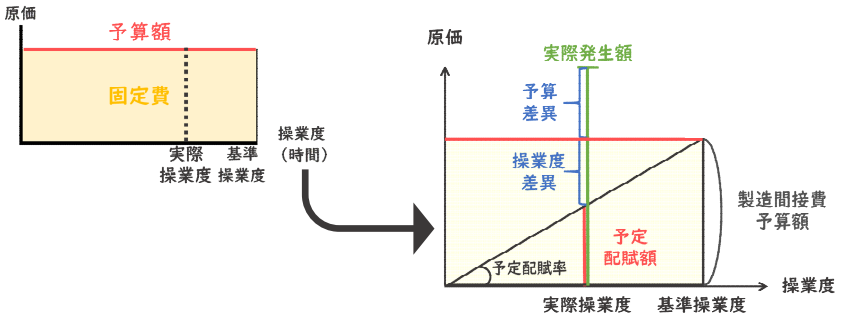
[資料]
Ⅰ.当月の実際直接作業時間（実際操業度）：180h
Ⅱ.当月の製造間接費実際発生額：9,800円
Ⅲ.月間の予定直接作業時間（基準操業度）：200h
Ⅳ.月間の製造間接費予算額：10,000円

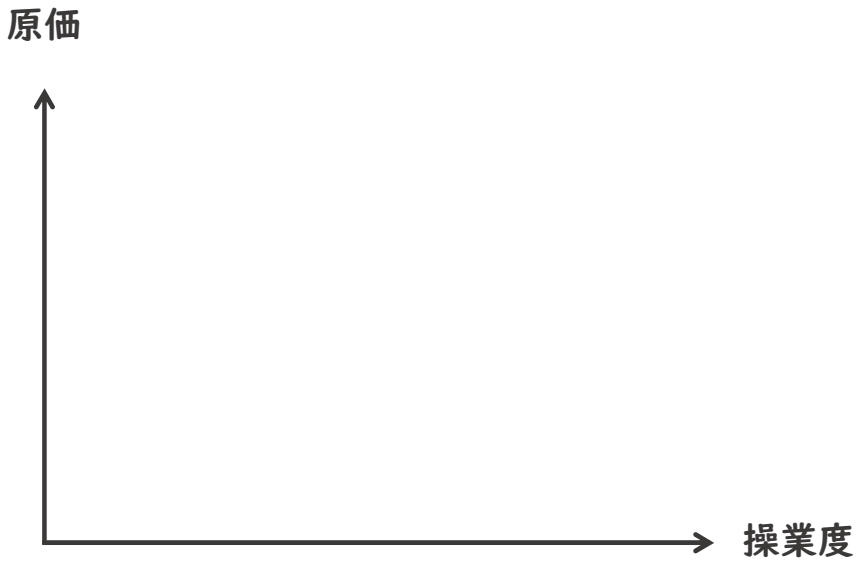
【解答】
1.製造間接費配賦差異：　　円（　　差異）

2.予算差異：　　円（　　差異）

3.操業度差異：　　円（　　差異）

○固定予算のポイント○
基準操業度の予算額＝実際操業度の予算額（予算許容額）
※実際操業度が違ったとしても予算額は変化させない



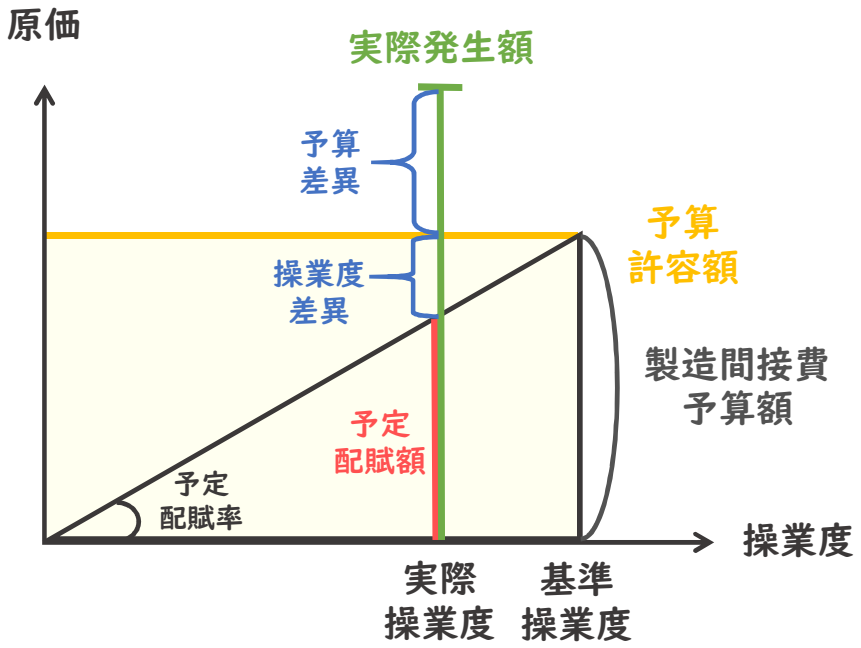


製造間接費差異の分析（固定予算）

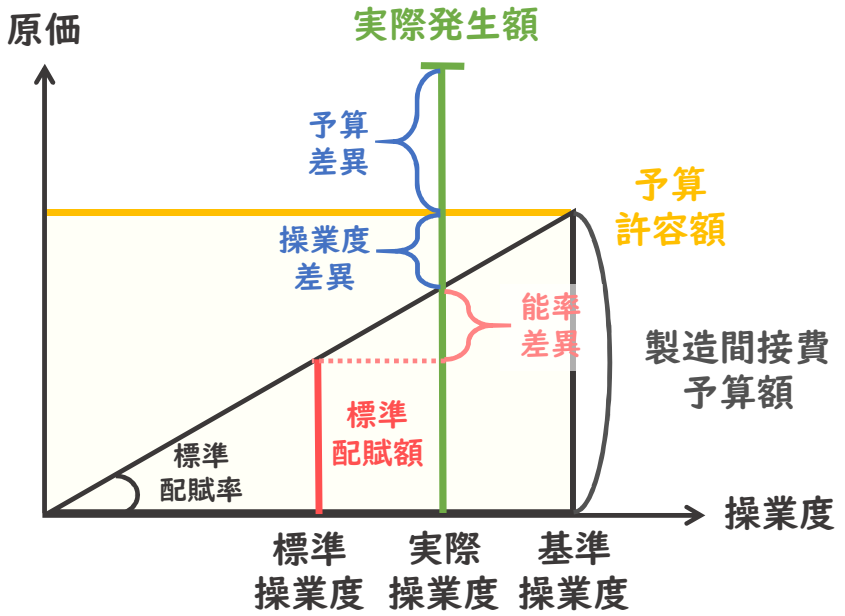
〇固定予算のポイント〇
基準操業度の予算額＝実際操業度の予算額（予算許容額）
※実際操業度が違ったとしても予算額は変化させない

＜実際原価計算と標準原価計算による固定予算のシュラッターの図の違い＞

【実際原価計算の場合】



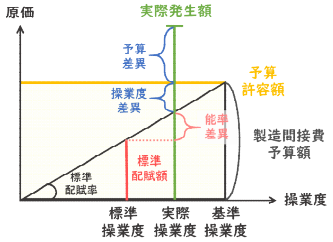
【標準原価計算の場合】



製造間接費差異の分析（固定予算）

○固定予算のポイント○
基準操業度の予算額＝実際操業度の予算額（予算許容額）
※実際操業度が違ったとしても予算額は変化させない

《問題》
製品Aを製造する当社は、標準原価計算を採用している。次の資料に基づいて、製造間接費差異の金額を計算し、さらに差異の原因別分析（3分法）まで行いなさい。なお、製造間接費予算額の設定は固定予算で行っている。



1. 生産データ

			<換算量>
月初仕掛品	100 コ	(80%)	80コ
当月投入	500 コ		420コ
合計	600 コ		500コ
月末仕掛品	200 コ	(50%)	100コ
完成品	400 コ		400コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2.標準原価カード

標準原価カード

標準製造間接費　標準配賦率 @500円 × 標準直接作業時間 1h ＝ 500円

3. 実際原価に関するデータ

・製造間接費実際発生額：228,000円
・実際直接作業時間：430h

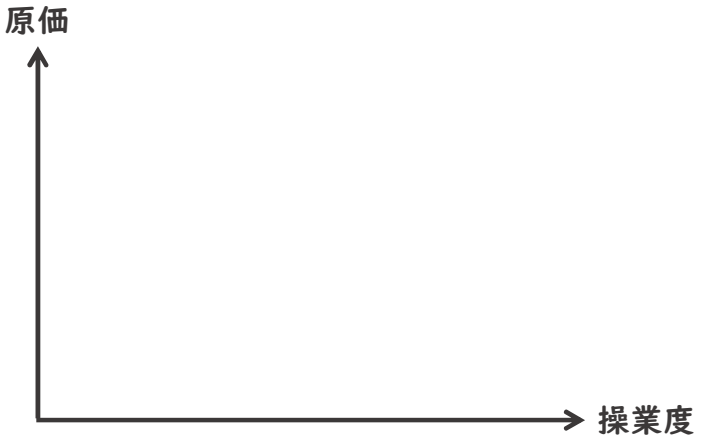
4. 固定予算に関するデータ

・月間製造間接費予算額：225,000円
・月間基準操業度：450h（直接作業時間）

<予算差異>

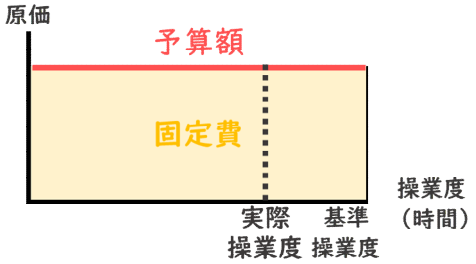
<操業度差異>

<能率差異>

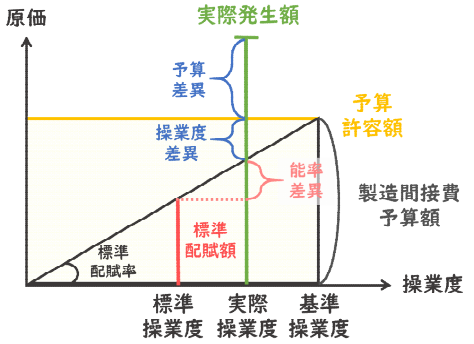


【解答】

	金額	内訳
(3) 製造間接費差異	円［　　］	(　　)差異　円［　　］
		(　　)差異　円［　　］
		(　　)差異　円［　　］



≪まとめ≫



- 製造間接費予算額は、基準操業度の間で発生する金額を予定したものである。
- （　　）とは、基準操業度における予算額を製造間接費予算額とする方法である。そのため、実際操業度が違ったとしても予算額は変化させない。
- （　　）とは、実際操業度に応じた予算額を製造間接費予算額とする方法である。

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第26回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

27. CVP分析

～短期利益計画に役立つ分析手法について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

～CVP分析とは？～

＜CVP分析の概要について確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

CVP分析

・CVP分析とは、（　　）とも言われ、短期利益計画を策定・実行するのに役立つ分析手法である。
・CVP分析の「CVP」とは、3つの会計用語［Cost（　　）・Volume（　　）・Profit（　　）］の頭文字をとったものであり、これらの関係をもとに目標利益などの計算（分析）を行っていく。
・CVP分析を行う際は、変動費と固定費を区分して製品原価の計算を行う（　　）方式の損益計算書が用いられる。それは、変動費と固定費を区分せずに製品原価の計算を行う（　　）方式の損益計算書からは利益計画に有効な情報を得ることができないからである。

～全部原価計算方式と直接原価計算方式による利益計画について～

●利益計画の設定●　次年度の目標売上高を2倍にすると…

P/L（全部原価計算方式）

Ⅰ．	売上高	1,000
Ⅱ．	売上原価 ←変動費+固定費	700
	売上総利益	300
Ⅲ．	販売費および一般管理費	200
	営業利益	100

2倍

P/L（全部原価計算方式）

Ⅰ．	売上高	2,000
Ⅱ．	売上原価	??
	売上総利益	??
Ⅲ．	販売費および一般管理費	??
	営業利益	??

計画できない
（計算不能）

・製品原価に変動費と固定費が混在しているので計算が困難

計画できる
（計算可能）

・製品原価は変動費のみなので販売量（生産量）に応じた計算が可能

P/L（直接原価計算方式）

Ⅰ．	売上高		1,000
Ⅱ．	変動売上原価 ←変動費のみ		500
	変動製造マージン		500
Ⅲ．	変動販売費		100
	貢献利益		400
Ⅳ．	固定費		
	固定製造原価	200	
	固定販売費および一般管理費	100	300
	営業利益		100

2倍

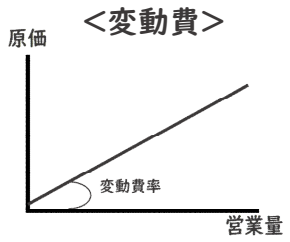
P/L（直接原価計算方式）

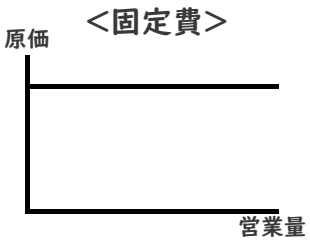
Ⅰ．	売上高		2,000
Ⅱ．	変動売上原価		1,000
	変動製造マージン		1,000
Ⅲ．	変動販売費		200
	貢献利益		800
Ⅳ．	固定費		
	固定製造原価	200	
	固定販売費および一般管理費	100	300
	営業利益		500

2倍

一定

○用語○
・損益分岐点…損益がプラスマイナスゼロとなる分岐点のこと
・短期利益計画…目標利益を獲得するための製造活動・販売活動を計画すること
・営業量…会社における経営活動の量のこと（生産量、販売量など）
・販売費…製品を販売するためにかかる費用（販売員の給料・広告宣伝費など）
・一般管理費…会社全般の管理にかかる費用（本社従業員や役員の給料など）





CVP分析

<CVP分析で用いる損益計算書について>

・CVP分析では、直接原価計算方式の損益計算書を簡略化したもので分析を行う。

P/L（直接原価計算方式）

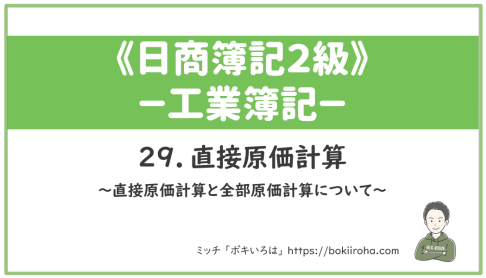
Ⅰ．	売上高		1,000
Ⅱ．	変動売上原価		500
	変動製造マージン		500
Ⅲ．	変動販売費		100
	貢献利益		400
Ⅳ．	固定費		
	固定製造原価	200	
	固定販売費および一般管理費	100	300
	営業利益		100

P/L（CVP ver.）

Ⅰ．	売上高	1,000
Ⅱ．	変動費	600
	貢献利益	400
Ⅲ．	固定費	300
	営業利益	100

～参考（CVP分析を行うための前提条件）～

①.原価を固定費と変動費に分けられること
②.その固定費は1期間において一定であること
③.その変動費は販売量に比例して発生すること
④.製品1単位あたりの販売価格は販売量に関係なく一定であること
⑤.生産量と販売量は一致すること（生産したものはすべて売れる）



※直接原価計算の
詳しい内容については、
第29回で解説します！

CVP分析

～CVP分析に関する用語について～

＜CVP分析に関する用語を把握しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

CVP分析

<CVP分析に関する用語について①>

・CVP分析で用いる用語は下記のとおりである。

P/L（全部原価計算方式）

Ⅰ．	売上高	1,000
Ⅱ．	売上原価	700
	売上総利益	300
Ⅲ．	販売費および一般管理費	200
	営業利益	100

P/L（直接原価計算方式）

Ⅰ．	売上高		1,000
Ⅱ．	変動売上原価		500
	変動製造マージン		500
Ⅲ．	変動販売費		100
	貢献利益		400
Ⅳ．	固定費		
	固定製造原価	200	
	固定販売費および一般管理費	100	300
	営業利益		100

（　　）…売上高から変動費を差し引いた金額であり、限界利益ともいう。
会社の製品・サービスが固定費の回収にどれぐらい貢献しているかを示す利益である。

（　　）…売上高から売上原価を差し引いた「売上総利益（粗利）」から、販売費および一般管理費を差し引いた金額である。
会社の本業で稼ぐ力を示す利益である。

（　　）…売上高に対する変動費の割合のこと

（　　）…売上高に対する貢献利益の割合のこと

（　　）…売上高に対する営業利益の割合のこと

P/L

売上高	1,000
変動費	600
貢献利益	400
固定費	300
営業利益	100

CVP分析

<CVP分析に関する用語について②>

・CVP分析で用いる用語は下記のとおりである。

	P/L	
100%	売上高	1,000
60%	変動費	600
40%	貢献利益	400
	固定費	300
	営業利益	100

(　　)…損益がプラスマイナスゼロとなる売上高のこと

(　　)…一定の売上高(予想売上高や当期売上高など)に占める損益分岐点売上高の割合のこと

(　　)…一定の売上高が損益分岐点売上高とどれだけ差があるか(損失となるまでにどれだけの余裕があるか)の割合のこと

<損益分岐点図表(CVP図表)>

<【例題】一定の売上高を1,000円・損益分岐点売上高を750円とした場合>

○損益分岐点比率○

$$\frac{\text{損益分岐点売上高}}{\text{一定の売上高}}$$

○数値の見方○
一定の売上高を(100%)としたときに、
損益分岐点は75%の位置にあることを示す。
この比率は、低ければ低いほど良い。

○安全余裕率○

$$\frac{\text{一定の売上高} - \text{損益分岐点売上高}}{\text{一定の売上高}}$$

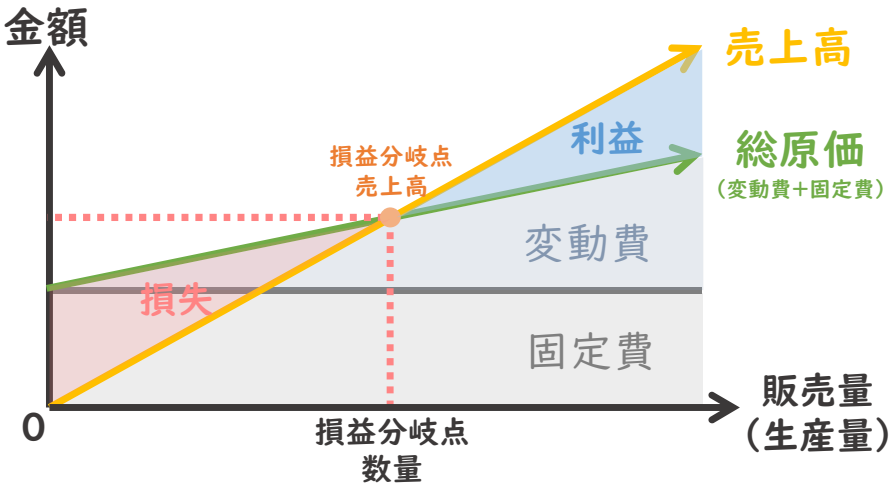
○数値の見方○
一定の売上高(100%)から25%減少したとしても
損失(赤字)にはならないことを示す。
この比率は、高ければ高いほど良い。

CVP分析

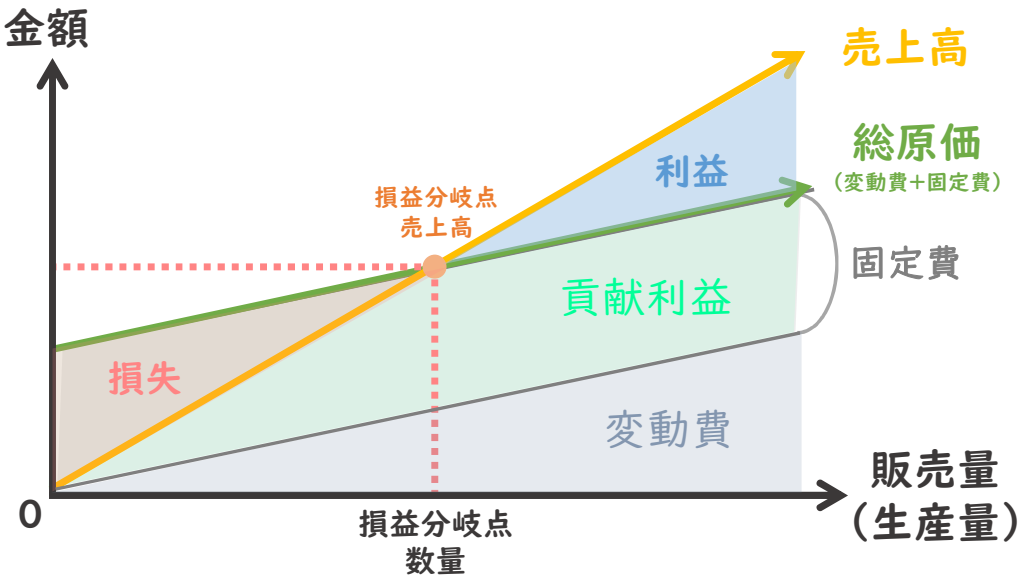
貢献利益…売上高から変動費を差し引いた金額であり、限界利益ともいう。
会社の製品・サービスが固定費の回収にどれぐらい貢献しているかを示す利益である。

＜損益分岐点図表（CVP図表）のパターンについて＞

《固定費の上に変動費を乗せる場合》



《変動費の上に固定費を乗せる場合》



〇参考（固定費と貢献利益の関係）〇
変動費の上に固定費を乗せる場合は、「貢献利益」まで把握できるので販売量が増加するに伴い、固定費の回収を行っている様子が分かる。
また、貢献利益と固定費が一致したところが損益分岐点であり、損益分岐点以降は完全な利益になっていくのが分かる。

CVP分析

～問題解説～

＜CVP分析の計算方法を確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

CVP分析

《問題1～2》

製品Aを製造する当社は、次期に向けた利益計画を行うことにした。次の資料に基づいて、解答欄に示すそれぞれの金額を計算しなさい。

【資料】

1.販売価格

製品A1コあたりの販売価格：@1,000円

2.製造原価

製品A1コあたりの変動製造原価：@400円

年間固定製造原価：150,000円

3.販売費および一般管理費

製品A1コあたりの変動販売費：@200円

年間固定販売費：20,000円

年間一般管理費（すべて固定費）：30,000円

○ポイント○

資料をもとに計算用の簡易P/Lを作り、販売量を「x」もしくは売上高を「x」として考えていく。

＜計算用の簡易P/L＞

売上高	@1,000	
変動費	@600	
貢献利益	@400	
固定費		200,000
営業利益		

P/L（直接原価計算方式）

Ⅰ.	売上高		×××
Ⅱ.	変動売上原価		×××
	変動製造マージン		×××
Ⅲ.	変動販売費		×××
	貢献利益		×××
Ⅳ.	固定費		
	固定製造原価	×××	
	固定販売費	×××	
	一般管理費	×××	×××
	営業利益		×××

※販売量を「x」とする。

＜損益分岐点の販売量＞　　＜損益分岐点売上高＞

【解答】

1.損益分岐点の販売量

コ

2.損益分岐点の売上高

円

CVP分析

《問題3～4》

製品Aを製造する当社は、次期に向けた利益計画を行うことにした。次の資料に基づいて、解答欄に示すそれぞれの金額を計算しなさい。

【資料】

1.販売価格

製品A1コあたりの販売価格：@1,000円

2.製造原価

製品A1コあたりの変動製造原価：@400円

年間固定製造原価：150,000円

3.販売費および一般管理費

製品A1コあたりの変動販売費：@200円

年間固定販売費：20,000円

年間一般管理費（すべて固定費）：30,000円

〇ポイント〇

資料をもとに計算用の簡易P/Lを作り、販売量を「x」もしくは売上高を「x」として考えていく。

＜計算用の簡易P/L＞

売上高	@1,000	
変動費	@600	
貢献利益	@400	
固定費		200,000
営業利益		

※販売量を「x」とする。

＜目標営業利益の販売量＞　　＜目標営業利益の売上高＞

【解答】

3.目標営業利益150,000円を達成するための販売量

コ

4.目標営業利益150,000円を達成するための売上高

円

CVP分析

（ 営業利益率 ）…売上高に対する営業利益の割合のこと

《問題5～6》

製品Aを製造する当社は、次期に向けた利益計画を行うことにした。次の資料に基づいて、解答欄に示すそれぞれの金額を計算しなさい。

【資料】

1.販売価格

製品A1コあたりの販売価格：@1,000円

2.製造原価

製品A1コあたりの変動製造原価：@400円

年間固定製造原価：150,000円

3.販売費および一般管理費

製品A1コあたりの変動販売費：@200円

年間固定販売費：20,000円

年間一般管理費（すべて固定費）：30,000円

〇ポイント〇

資料をもとに計算用の簡易P/Lを作り、販売量を「x」もしくは売上高を「x」として考えていく。

＜計算用の簡易P/L＞

売上高	@1,000	
変動費	@600	
貢献利益	@400	
固定費		200,000
営業利益		

※販売量を「x」とする。

＜目標営業利益率の販売量＞　＜目標営業利益の売上高＞

【解答】

5.目標営業利益率20%を達成するための販売量

コ

6.目標営業利益率20%を達成するための売上高

円

CVP分析

《問題7～8》

製品Aを製造する当社は、次期に向けた利益計画を行うことにした。次の資料に基づいて、解答欄に示すそれぞれの金額を計算しなさい。

【資料】

1.販売価格

製品A1コあたりの販売価格：@1,000円

2.製造原価

製品A1コあたりの変動製造原価：@400円

年間固定製造原価：150,000円

3.販売費および一般管理費

製品A1コあたりの変動販売費：@200円

年間固定販売費：20,000円

年間一般管理費（すべて固定費）：30,000円

$$\text{損益分岐点比率} = \frac{\text{損益分岐点売上高}}{\text{一定の売上高}}$$

$$\text{安全余裕率} = \frac{\text{一定の売上高} - \text{損益分岐点売上高}}{\text{一定の売上高}}$$

＜計算用の簡易P/L＞

売上高	@1,000	
変動費	@600	
貢献利益	@400	
固定費		200,000
営業利益		

＜損益分岐点比率＞

＜安全余裕率＞

【解答】

7.次期の予想売上高を800,000円とした場合の損益分岐点比率

％

8.次期の予想売上高を800,000円とした場合の安全余裕率

％

CVP分析

《問題9～10》

製品Aを製造する当社は、次期に向けた利益計画を行うことにした。次の資料に基づいて、解答欄に示すそれぞれの金額を計算しなさい。

【資料】

1.販売価格

製品A1コあたりの販売価格：@1,000円

2.製造原価

製品A1コあたりの変動製造原価：@400円

年間固定製造原価：150,000円

3.販売費および一般管理費

製品A1コあたりの変動販売費：@200円

年間固定販売費：20,000円

年間一般管理費（すべて固定費）：30,000円

○ポイント○
当スライドの問題のように、問題によっては簡易P/Lに変更が必要な場合があるため、変更後の数値で計算を行うこと。

＜計算用の簡易P/L（変更前）＞

売上高	@1,000	
変動費	@600	
貢献利益	@400	
固定費		200,000
営業利益		

10%値下げ →

＜計算用の簡易P/L（変更後）＞

売上高	@900	
変動費	@600	
貢献利益	@300	
固定費		200,000
営業利益		

※販売量を「x」とする。

＜目標営業利益の販売量＞

＜目標営業利益の売上高＞

【解答】

9.競合他社の出現により、販売価格を10%値下げせざるを得なくなった場合に、目標営業利益130,000円を達成するための販売量

コ

10.競合他社の出現により、販売価格を10%値下げせざるを得なくなった場合に、目標営業利益130,000円を達成するための売上高

円

CVP分析

《問題11》

製品Aを製造する当社は、次期に向けた利益計画を行うことにした。次の資料に基づいて、解答欄に示すそれぞれの金額を計算しなさい。

【資料】

1.販売価格

製品A1コあたりの販売価格：@1,000円

2.製造原価

製品A1コあたりの変動製造原価：@400円

年間固定製造原価：150,000円

3.販売費および一般管理費

製品A1コあたりの変動販売費：@200円

年間固定販売費：20,000円

年間一般管理費（すべて固定費）：30,000円

9.競合他社の出現により、販売価格を10%値下げせざるを得なくなった場合に、目標営業利益130,000円を達成するための販売量

1,100 コ

10.競合他社の出現により、販売価格を10%値下げせざるを得なくなった場合に、目標営業利益130,000円を達成するための売上高

990,000 円

＜計算用の簡易P/L（変更後）＞

売上高	@900
変動費	@600
貢献利益	@300
固定費	
営業利益	

○ポイント○
「営業利益＝貢献利益－固定費」であることから
「貢献利益＝営業利益＋固定費」でもある。
簡易P/Lからこのような点を考えていくこと

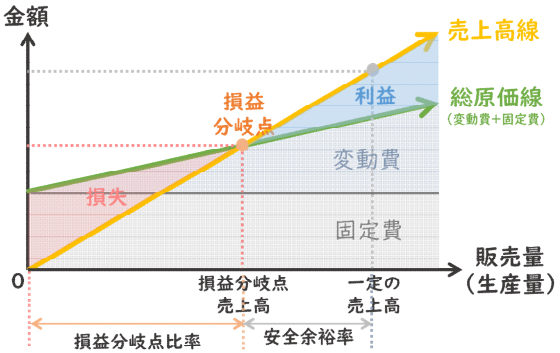
＜条件における固定費の金額＞　＜固定費削減額＞

※（削減後の）固定費を「x」とする。　　固定費削減額＝削減前固定費－削減後固定費

【解答】

11.市場調査の結果、値下げをしても「解答9.」で計算した販売量は1,000コが限界であることが判明した。そこで、値下げ後の販売価格、販売数量は限界の個数を条件として、目標営業利益130,000円達成のために、固定費を削減することにした。この場合における固定費削減額はいくらになるか。

円



≪まとめ≫

<計算用の簡易P/L>

売上高	@1,000	
変動費	@600	
貢献利益	@400	
固定費		200,000
営業利益		

- CVP分析とは、(　　)を策定・実行する際に用いられる分析手法である
- CVP分析における損益計算書は、原価を固定費と変動費に区分する
  (　　)方式の損益計算書を用いる
- (　　)とは、損益がプラスマイナスゼロとなる分岐点のことをいう
- CVP分析の問題を解答する際は、計算用に簡易P/Lを作って考えていく!

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第27回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

28. 原価予測の方法

～原価の固変分解（原価分解）について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

原価予測の方法

～原価の固変分解（原価分解）について～

＜原価分解の方法を把握しよう＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

原価予測の方法

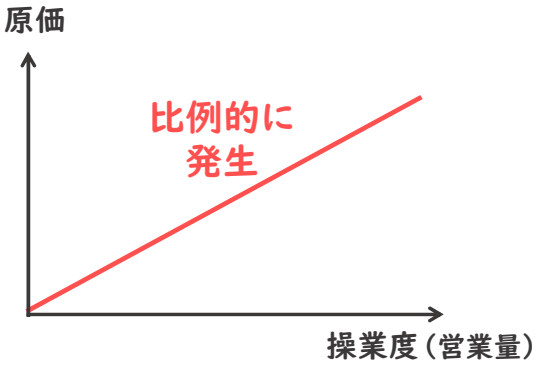
・原価予測とは、操業度の増減に応じて、原価の発生がどう変化するかを予測することをいう。
・予測をするためには、原価を固定費と変動費に分解する必要があるが、これにはいくつかの方法がある。
　その中で、日商簿記2級では（　　）と（　　）の2つについて学習する。

＜原価の分類（操業度との関連における分類）について＞

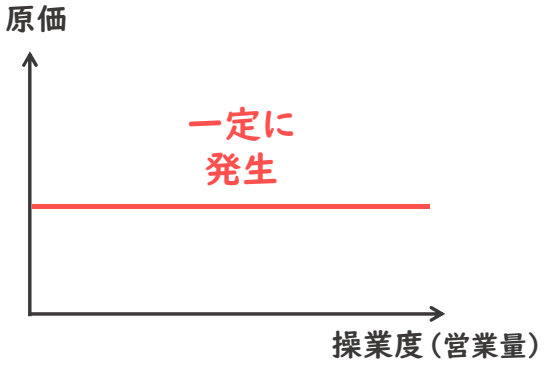
・原価態様によって原価を分けると、下記の4つに分類される。

〇参考（原価の分類）〇
・形態別分類…材料費、労務費、経費
・製品との関連による分類…製造直接費、製造間接費

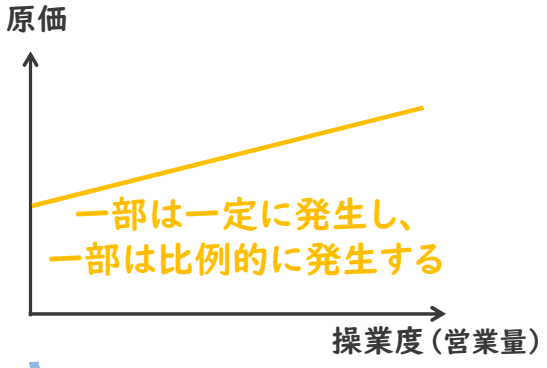
（　　）



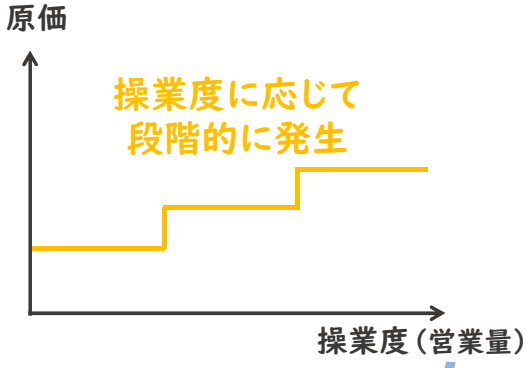
（　　）



（　　）



（　　）



変動費と固定費の中間タイプ

〇用語〇
・操業度…利用度合い（生産量・販売量、時間など）
・態様…様子、物ごとのありさま
・ビヘイビア（behavior）…反応、動作
・精査…詳しく調べること

原価予測の方法

○用語○
・正常操業圏…通常の経営活動から想定される操業度の範囲

＜費目別精査法（勘定科目法）について＞

・費目別精査法とは、過去の実績データ（原価発生額）をもとに、（　　）ごとに固定費と変動費に分ける方法をいう。
・この方法は、簡単に取り入れやすい方法であるため、多くの企業で採用されている。ただし、担当者の主観的な判断で決めていくことから、信頼性が低いという欠点もある。

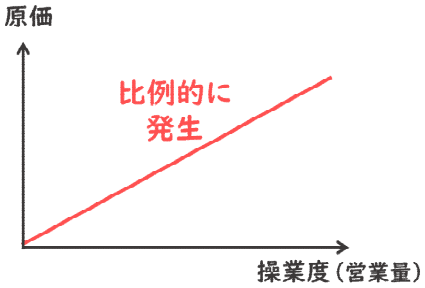
勘定科目		分類
主要材料費	→	変動費
機械減価償却費	→	固定費
賃借料	→	固定費
：		：

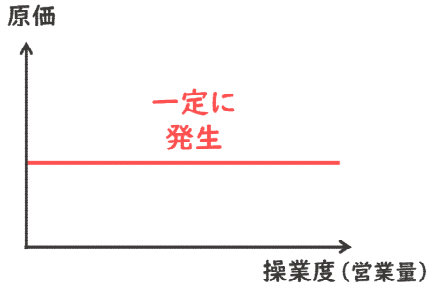
＜高低点法について＞

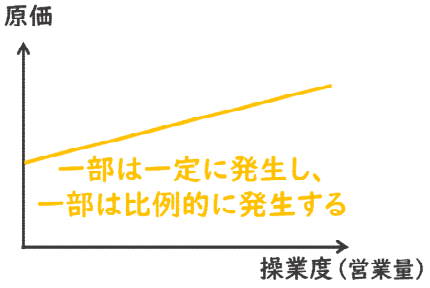
・高低点法とは、過去の実績データをもとに、（　　）操業度と（　　）操業度の2点の原価発生額から固定費と変動費に分ける方法をいう。なお、取り出すデータは、異常値（自然災害等）を除く正常操業圏から取り出す。

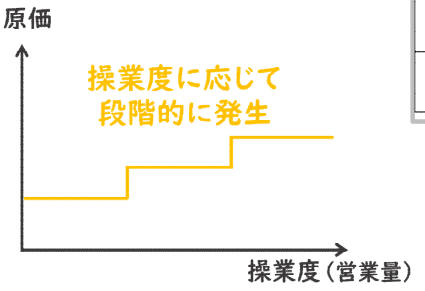
月	生産量	原価発生額
~~4~~	~~30コ~~	~~300円~~
5	50コ	500円
6	60コ	600円
7	100コ	1,000円
~~8~~	~~500コ~~	~~5,000円~~
9	40コ	400円

正常操業圏：40コ～100コ









原価予測の方法

～問題解説～

＜原価の固変分解について計算方法を確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

原価予測の方法

※費目別精査法は、勘定科目の性格に応じて固定費と変動費に分けていくが分けるための明確な基準がないため、多くのケースで固定費に分類するものと変動費に分類するものを資料にあげています。
そのため、この《問題1》では解き方のイメージを掴んでもらえればと思います。

《問題1》

下記の資料より、費目別精査法を用いて原価分解を行い、
解答欄が示す金額を求めなさい。
なお、当期の操業度（直接作業時間）は100時間であった。

【資料】

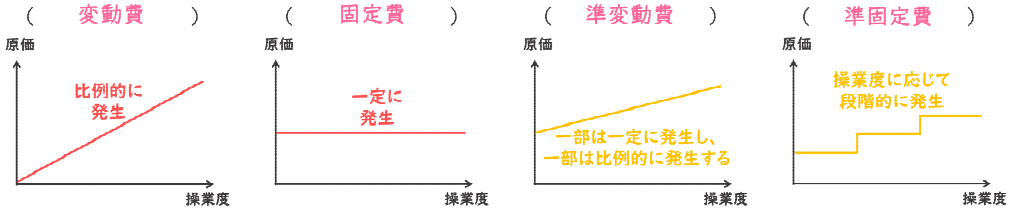
1.原価データ

・主要材料費：2,500円
・買入部品費：1,500円
・直接工賃金：3,500円
（変動費：1,000円・固定費：2,500円）
・機械減価償却費：4,500円
・保険料：1,000円
・賃借料：2,000円

<変動費>

<変動費率>

<固定費>

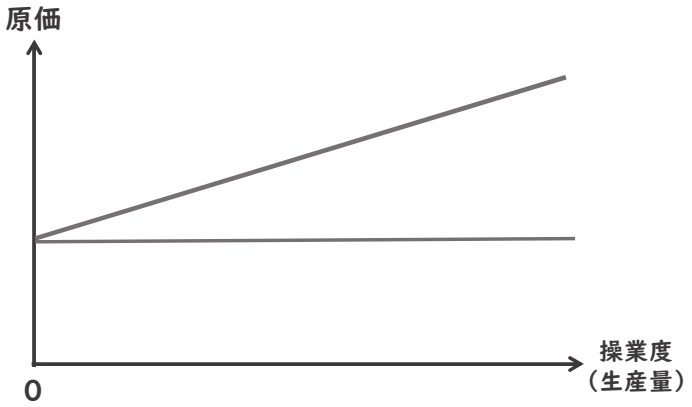


【解答】

	金額
変動費率	@ 円
（年間）固定費	円

原価予測の方法

〇ポイント〇
操業度（営業量）と原価の関係を、一次関数の「y=ax+b」の形で表し、
最高操業度と最低操業度の2点から原価分解を行う。



《問題2》
下記の資料より、高低点法を用いて原価分解を行い、
解答欄が示す金額を求めなさい。
なお、正常操業圏（月間生産量）は140コ～200コである。

【資料】
1.原価データ

月	生産量	原価発生額
4	160コ	17,000円
5	150コ	16,500円
6	110コ	14,000円
7	220コ	22,000円
8	190コ	18,500円
9	170コ	17,600円

<最高操業度>

<最低操業度>

<変動費率>

<固定費>

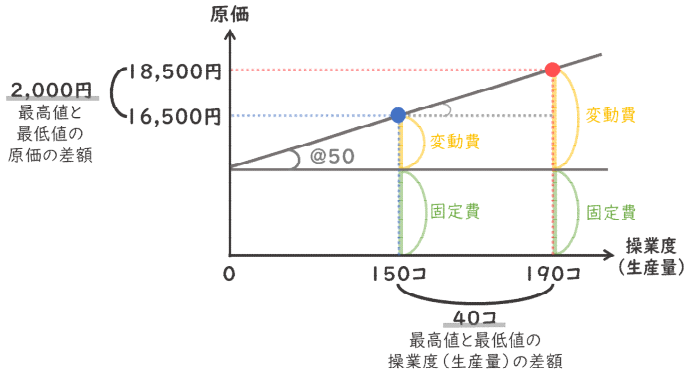
～高低点法の計算手順～
①.データの抽出→②変動費率の計算→③固定費の計算

【解答】

	金額
変動費率	@　　円
（月間）固定費	円

勘定科目		分類
主要材料費	→	変動費
機械減価償却費	→	固定費
賃借料	→	固定費
：		：

≪まとめ≫



- 将来の原価を予測するためには、原価を固定費と変動費に分解する必要がある
- 原価の固変分解の方法には、（　　）と（　　）がある。
- 高低点法は、操業度（営業量）と原価の関係を、一次関数の「y=ax+b」の形で表し、最高操業度と最低操業度の2点から原価分解を行う。
- 高低点法におけるデータは、（　　）から取り出すこと

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第28回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

29. 直接原価計算

～直接原価計算と全部原価計算について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

直接原価計算

～直接原価計算と全部原価計算とは？～

＜それぞれの違いを確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

直接原価計算

＜直接原価計算とは？＞

・直接原価計算とは、製造原価のうち（　　）のみを製品原価として計算し、固定製造原価（固定製造間接費）は（　　）として処理する原価計算方式である。なお、製造原価だけでなく、販売費も変動販売費と固定販売費に原価分解を行う。

・直接原価計算の大きな特徴としては、「CVP（原価・営業量・利益）」の関係から利益計画に有効な情報を提供できるところである。

【直接原価計算による営業利益の計算方法】

売上高－変動費（変動製造原価＋変動販売費）＝貢献利益
貢献利益－固定費（固定製造原価＋固定販売費＋固定一般管理費）＝営業利益

＜全部原価計算とは？＞

・全部原価計算とは、すべての製造原価［（　　）＋（　　）］を製品原価として計算する原価計算方式である。

【全部原価計算による営業利益の計算方法】

売上高－売上原価（変動製造原価＋固定製造原価）＝売上総利益
売上総利益－販売費（変動販売費＋固定販売費）および一般管理費＝営業利益

P/L（直接原価計算方式）

Ⅰ．	売上高		×××
Ⅱ．	変動売上原価　製品原価（変動製造原価のみ）		
	1.期首製品棚卸高	×××	
	2.当期製品製造原価	×××	
	合　計	×××	
	3.期末製品棚卸高	×××	×××
	変動製造マージン		×××
Ⅲ．	変動販売費		×××
	貢献利益		×××
Ⅳ．	固定費		
	1.固定製造原価（期間原価）	×××	
	2.固定販売費	×××	
	3.一般管理費	×××	×××
	営業利益		×××

（変動費：Ⅱ．変動売上原価／Ⅲ．変動販売費　固定費：Ⅳ．固定費）

P/L（全部原価計算方式）

Ⅰ．	売上高		×××
Ⅱ．	売上原価　製品原価（すべての製造原価）		
	1.期首製品棚卸高	×××	
	2.当期製品製造原価	×××	
	合　計	×××	
	3.期末製品棚卸高	×××	×××
	売上総利益		×××
Ⅲ．	販売費および一般管理費		
	1.販売費	×××	
	2.一般管理費	×××	×××
	営業利益		×××

〇用語〇

・（　　）…すべての製造原価（変動製造原価・固定製造原価）を集計したもの
・（　　）…全部原価のうち、一部の原価のみを集計したもの（この代表的なものが変動費のみを集計する「直接原価（変動原価）」）
・（　　）…製品が販売された時点で原価として処理されるもの　※仕掛品勘定・製品勘定を経由する
・（　　）…（製品の販売有無に関係なく）一定期間における発生額をそのまま原価として処理するもの　※仕掛品勘定・製品勘定は経由しない

直接原価計算

＜直接原価計算・全部原価計算の損益計算書の様式について＞

P/L（直接原価計算方式）

Ⅰ．	売上高		×××
Ⅱ．	変動売上原価　製品原価（変動製造原価のみ）		
	1.期首製品棚卸高	×××	
	2.当期製品製造原価	×××	
	合　計	×××	
	3.期末製品棚卸高	×××	×××
	変動製造マージン		×××
Ⅲ．	変動販売費		×××
	貢献利益		×××
Ⅳ．	固定費		
	1.固定製造原価（期間原価）	×××	
	2.固定販売費（期間原価）	×××	
	3.一般管理費（期間原価）	×××	×××
	営業利益		×××

変動費：Ⅱ．変動売上原価　Ⅲ．変動販売費

固定費：Ⅳ．固定費

P/L（全部原価計算方式）

Ⅰ．	売上高		×××
Ⅱ．	売上原価　製品原価（すべての製造原価）		
	1.期首製品棚卸高	×××	
	2.当期製品製造原価	×××	
	合　計	×××	
	3.期末製品棚卸高	×××	×××
	売上総利益		×××
Ⅲ．	販売費および一般管理費		
	1.販売費	×××	
	2.一般管理費	×××	×××
	営業利益		×××

○用語○

・マージン…売価と原価の差（利益）、手数料のこと

・変動製造マージン…売上高から変動製造原価を差し引いて計算した金額のこと

～問題解説～

＜直接原価計算の計算方法を確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

直接原価計算

○ポイント○
直接原価計算では、固定費を製品原価に含めずに計算するため、変動製造原価と固定製造原価を分けてBOXを作る。

《問題》
次の資料に基づいて、直接原価計算方式の損益計算書と全部原価計算方式の損益計算書を作成しなさい。なお、期末仕掛品原価および期末製品原価の計算は先入先出法によること。

1. 生産データ

			<換算量>
期首仕掛品	500 コ	(80%)→	400コ
当期投入	1,200 コ		1,000コ
合計	1,700 コ		1,400コ
期末仕掛品	600 コ	(50%)→	300コ
完成品	1,100 コ		1,100コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2. 販売データ

期首製品	200 コ
当期完成品	1,100 コ
合計	1,300 コ
期末製品	300 コ
当期販売品	1,000 コ

・製品1コあたりの販売単価は180円である。

3. 原価データ

	期首仕掛品原価	当期製造費用	期首製品棚卸高
直接材料費	21,000円	48,000円	10,000円
変動加工費	17,800円	36,000円	6,000円
固定加工費	7,300円	21,000円	4,000円

4. 販売費・一般管理費データ

・変動販売費：製品1コあたり20円
・固定販売費（期間総額）：4,000円
・一般管理費（すべて固定費）：5,000円

P/L（直接原価計算方式）

Ⅰ.	売上高		( )
Ⅱ.	変動売上原価		
	1. 期首製品棚卸高	( )	
	2. 当期製品製造原価	( )	
	合 計	( )	
	3. 期末製品棚卸高	( )	( )
	( )		( )
Ⅲ.	変動販売費		( )
	( )		( )
Ⅳ.	固定費		
	1. 固定製造原価	( )	
	2. 固定販売費	( )	
	3. 一般管理費	( )	( )
	営業利益		( )

P/L（全部原価計算方式）

Ⅰ.	売上高		( )
Ⅱ.	売上原価		
	1. 期首製品棚卸高	( )	
	2. 当期製品製造原価	( )	
	合 計	( )	
	3. 期末製品棚卸高	( )	( )
	売上総利益		( )
Ⅲ.	販売費および一般管理費		
	1. 販売費	( )	
	2. 一般管理費	( )	( )
	営業利益		( )

直接原価計算

○ポイント○
直接原価計算では、固定費を製品原価に含めずに計算するため、
変動製造原価と固定製造原価を分けてBOXを作る。

《問題》
次の資料に基づいて、直接原価計算方式の損益計算書と全部原価計算方式の損益計算書を作成しなさい。なお、期末仕掛品原価および期末製品原価の計算は先入先出法によること。

1. 生産データ

			<換算量>
期首仕掛品	500 コ	(80%)→	400コ
当期投入	1,200 コ		1,000コ
合計	1,700 コ		1,400コ
期末仕掛品	600 コ	(50%)→	300コ
完成品	1,100 コ		1,100コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2. 販売データ

期首製品	200 コ
当期完成品	1,100 コ
合計	1,300 コ
期末製品	300 コ
当期販売品	1,000 コ

・製品1コあたりの販売単価は180円である。

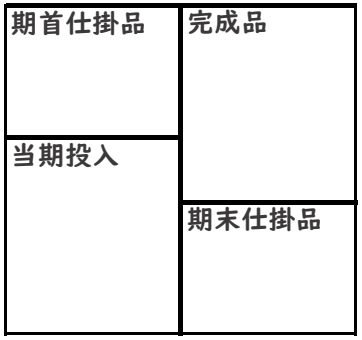
3. 原価データ

	期首仕掛品原価	当期製造費用	期首製品棚卸高
直接材料費	21,000円	48,000円	10,000円
変動加工費	17,800円	36,000円	6,000円
固定加工費	7,300円	21,000円	4,000円

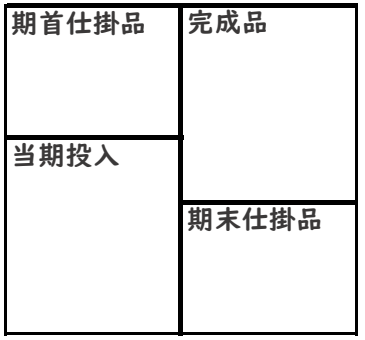
4. 販売費・一般管理費データ

・変動販売費：製品1コあたり20円
・固定販売費（期間総額）：4,000円
・一般管理費（すべて固定費）：5,000円

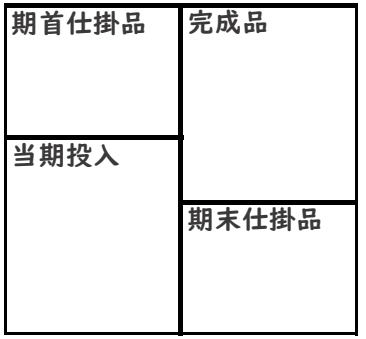
仕掛品（直接材料費）



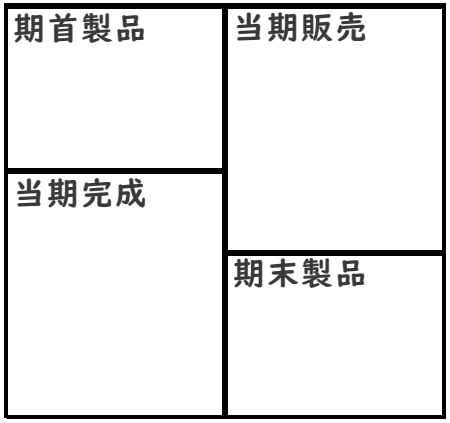
仕掛品（変動加工費）



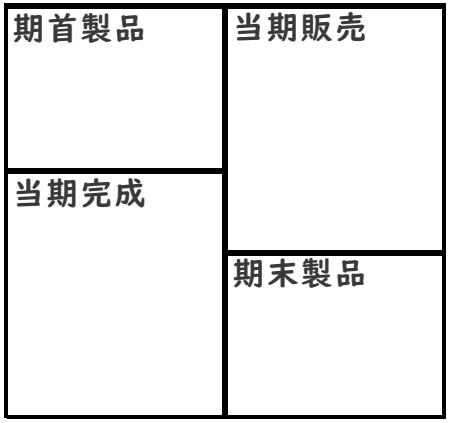
仕掛品（固定加工費）



製品（直/材・変/加）



製品（固/加）



直接原価計算

○ポイント○
直接原価計算では、固定費を製品原価に含めずに計算するため、変動製造原価と固定製造原価を分けてBOXを作る。

《問題》
次の資料に基づいて、直接原価計算方式の損益計算書と全部原価計算方式の損益計算書を作成しなさい。なお、期末仕掛品原価および期末製品原価の計算は先入先出法によること。

1. 生産データ

			<換算量>
期首仕掛品	500 コ	(80%)→	400コ
当期投入	1,200 コ		1,000コ
合計	1,700 コ		1,400コ
期末仕掛品	600 コ	(50%)→	300コ
完成品	1,100 コ		1,100コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

仕掛品(固定加工費)

期首仕掛品 400コ	完成品 1,100コ
7,300	22,000
当期投入 1,000コ	期末仕掛品 300コ
21,000	6,300

2. 販売データ

期首製品	200 コ
当期完成品	1,100 コ
合計	1,300 コ
期末製品	300 コ
当期販売品	1,000 コ

・製品1コあたりの販売単価は180円である。

製品(直/材・変/加)

期首製品 200コ	当期販売 1,000コ
16,000	80,000
当月完成 1,100コ	期末製品 300コ
88,000	24,000

製品(固/加)

期首製品 200コ	当期販売 1,000コ
4,000	20,000
当月完成 1,100コ	期末製品 300コ
22,000	6,000

3. 原価データ

	期首仕掛品原価	当期製造費用	期首製品棚卸高
直接材料費	21,000円	48,000円	10,000円
変動加工費	17,800円	36,000円	6,000円
固定加工費	7,300円	21,000円	4,000円

4. 販売費・一般管理費データ

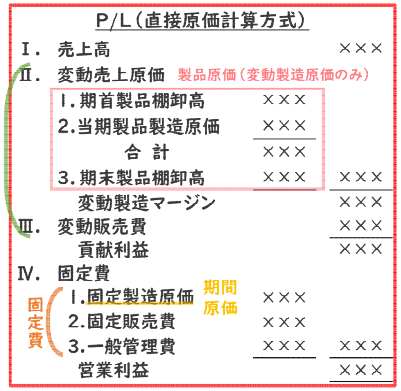
・変動販売費:製品1コあたり20円
・固定販売費(期間総額):4,000円
・一般管理費(すべて固定費):5,000円

P/L(直接原価計算方式)

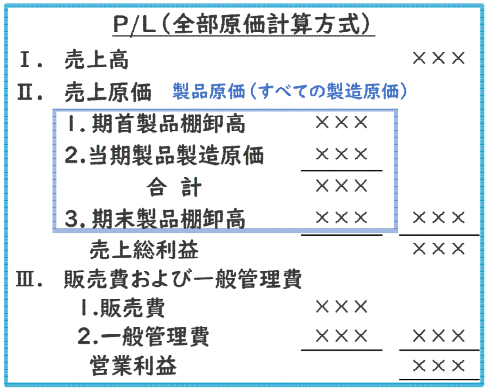
Ⅰ.	売上高		( )
Ⅱ.	変動売上原価		
	1. 期首製品棚卸高	( )	
	2. 当期製品製造原価	( )	
	合 計	( )	
	3. 期末製品棚卸高	( )	( )
	( )		( )
Ⅲ.	変動販売費		( )
	( )		( )
Ⅳ.	固定費		
	1. 固定製造原価	( )	
	2. 固定販売費	( )	
	3. 一般管理費	( )	( )
	営業利益		( )

P/L(全部原価計算方式)

Ⅰ.	売上高		( )
Ⅱ.	売上原価		
	1. 期首製品棚卸高	( )	
	2. 当期製品製造原価	( )	
	合 計	( )	
	3. 期末製品棚卸高	( )	( )
	売上総利益		( )
Ⅲ.	販売費および一般管理費		
	1. 販売費	( )	
	2. 一般管理費	( )	( )
	営業利益		( )



≪まとめ≫



- 直接原価計算とは、製造原価のうち（　　）のみを製品原価とする原価計算である
- 直接原価計算では、固定製造原価を（　　）として処理する
- 全部原価計算とは、すべての製造原価を（　　）とする原価計算である
- 問題を解く際は、変動製造原価と固定製造原価を分けてBOXを作ると直接原価計算・全部原価計算それぞれのP/Lをスムーズに作成できる

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第29回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

30. 固定費調整

～直接原価計算と全部原価計算の営業利益について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

固定費調整

～固定費調整とは？～

＜固定費調整を行う理由について確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

固定費調整

<固定費調整とは?>

○用語○
・製品原価…製品が販売された時点で費用として処理されるもの　※仕掛品勘定・製品勘定を経由する
・期間原価…一定期間における発生額をそのまま費用として処理するもの　※仕掛品勘定・製品勘定は経由しない
・棚卸資産…製造活動・販売活動のために会社で保有している在庫のこと（仕掛品、製品など）

・固定費調整とは、（　　）方式の営業利益を（　　）方式の営業利益に修正する手続きをいう。
・この修正が必要な理由として、直接原価計算方式で計算された営業利益をそのまま外部報告用の資料として使用することが、制度上認められていないためである。
・なお、この両者に差額が生じる原因としては、直接原価計算方式の場合、固定製造原価（固定製造間接費）を（　　）として処理するのに対して、全部原価計算方式では、（　　）として処理するためである。
・これらの処理方法の違いから、固定製造原価の（　　）の分にズレが生じるため、この調整を行っていく。

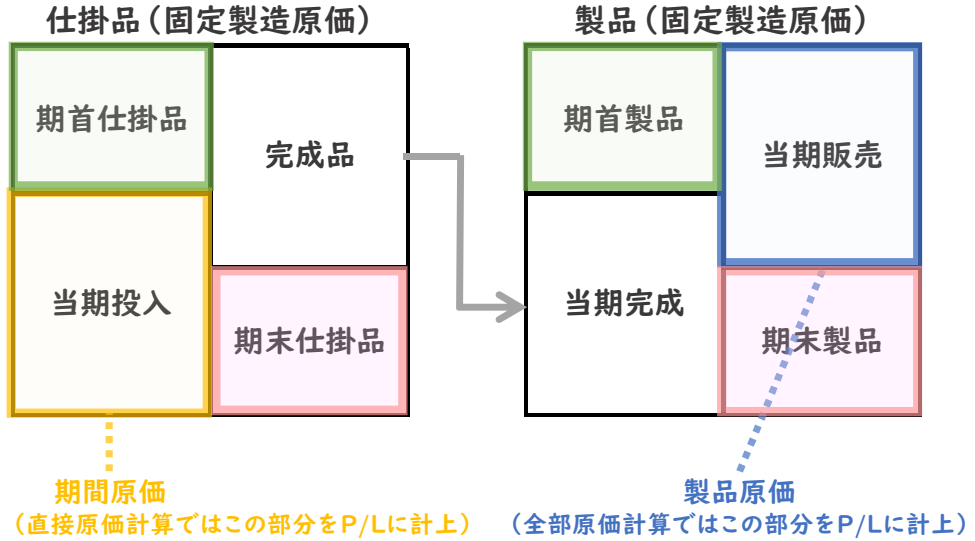
P/L（直接原価計算方式）

Ⅰ．売上高		×××
Ⅱ．変動売上原価　製品原価（変動製造原価のみ）		
1.期首製品棚卸高	×××	
2.当期製品製造原価	×××	
合　計	×××	
3.期末製品棚卸高	×××	×××
変動製造マージン		×××
Ⅲ．変動販売費		×××
貢献利益		×××
Ⅳ．固定費		
1.固定製造原価（期間原価）	×××	
2.固定販売費	×××	
3.一般管理費	×××	×××
営業利益		×××

P/L（全部原価計算方式）

Ⅰ．売上高		×××
Ⅱ．売上原価　製品原価（すべての製造原価）		
1.期首製品棚卸高	×××	
2.当期製品製造原価	×××	
合　計	×××	
3.期末製品棚卸高	×××	×××
売上総利益		×××
Ⅲ．販売費および一般管理費		
1.販売費	×××	
2.一般管理費	×××	×××
営業利益		×××

修正



●直接原価計算による外部報告が認められていない理由について●
原価計算制度（財務諸表作成のための一般的基準）では、「すべての製造原価要素を製品に集計し…」とされており、全部原価で集計することが原則となっている。また、変動費と固定費に原価分解した数値を用いることは、必然的な結びつきがないため報告用の資料として不適切とされる。

固定費調整

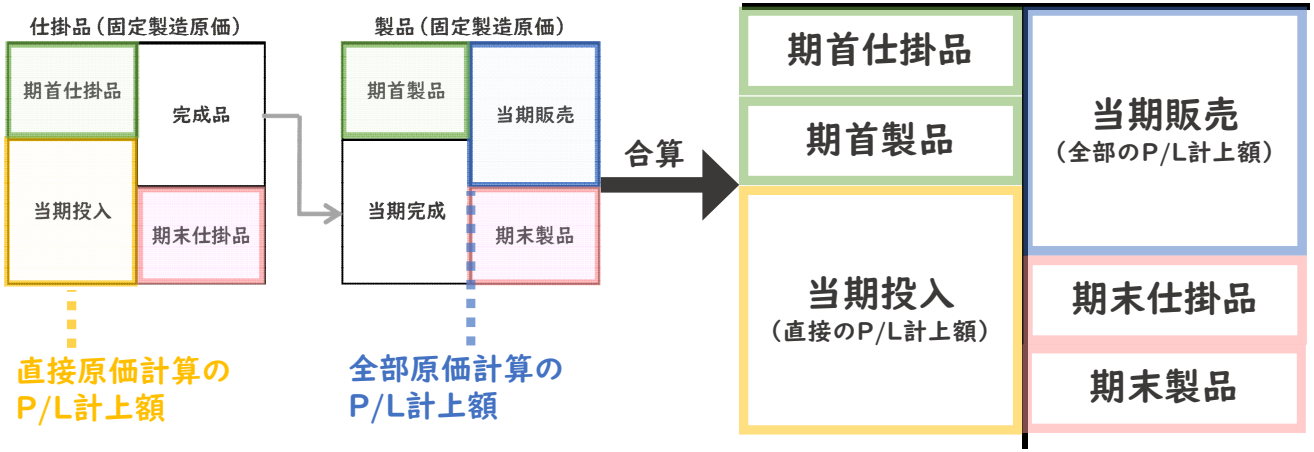
～固定費調整の計算方法～

＜調整計算の方法を確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

固定費調整

<固定費調整の方法>



●参考●

便利な覚え方

首 「首」にはマイナスがある

末 「末」にはプラスがある

※これはあくまでも参考に！
固定費調整の仕組みから
考えるようにしましょう☺

直接原価計算の固定製造原価（P/L計上額）

- 期首仕掛品（固定製造原価）
- 期首製品　（固定製造原価）
- 期末仕掛品（固定製造原価）
- 期末製品　（固定製造原価）

全部原価計算の固定製造原価（P/L計上額）

原価に対する調整ではなく
利益に対して調整すると…

直接原価計算の営業利益（P/L計上額）

- 期首仕掛品（固定製造原価）
- 期首製品　（固定製造原価）
- 期末仕掛品（固定製造原価）
- 期末製品　（固定製造原価）

全部原価計算の営業利益（P/L計上額）

利益対する調整の場合は、原価に対する調整の場合と＋－の符号が逆になる

●計算式●　全部原価計算方式の営業利益＝直接原価計算方式の営業利益＋期末棚卸資産に含まれる固定製造原価－期首棚卸資産に含まれる固定製造原価

固定費調整

～問題解説～

＜固定費調整を問題で確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

固定費調整

《問題》
次の資料に基づいて、直接原価計算方式の損益計算書を作成し、
固定費調整まで行いなさい。なお、期末仕掛品原価および
期末製品原価の計算は先入先出法によること。

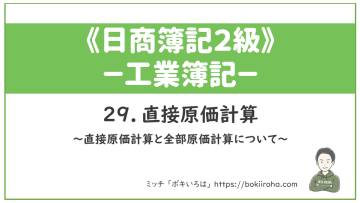
1. 生産データ

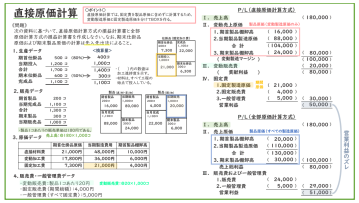
			<換算量>
期首仕掛品	500 コ	(80%)→	400コ
当期投入	1,200 コ		1,000コ
合計	1,700 コ		1,400コ
期末仕掛品	600 コ	(50%)→	300コ
完成品	1,100 コ		1,100コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2. 販売データ

期首製品	200 コ
当期完成品	1,100 コ
合計	1,300 コ
期末製品	300 コ
当期販売品	1,000 コ





・製品1コあたりの販売単価は180円である。

3. 原価データ

	期首仕掛品原価	当期製造費用	期首製品棚卸高
直接材料費	21,000円	48,000円	10,000円
変動加工費	17,800円	36,000円	6,000円
固定加工費	7,300円	21,000円	4,000円

4. 販売費・一般管理費データ

・変動販売費：製品1コあたり20円
・固定販売費（期間総額）：4,000円
・一般管理費（すべて固定費）：5,000円

P/L（直接原価計算方式）

Ⅰ.	売上高		(　　)
Ⅱ.	変動売上原価		
	1. 期首製品棚卸高	(　　)	
	2. 当期製品製造原価	(　　)	
	合　計	(　　)	
	3. 期末製品棚卸高	(　　)	(　　)
	(　　)		(　　)
Ⅲ.	変動販売費		(　　)
	(　　)		(　　)
Ⅳ.	固定費		
	1. 固定製造原価	(　　)	
	2. 固定販売費	(　　)	
	3. 一般管理費	(　　)	(　　)
	直接原価計算の営業利益		(　　)
Ⅳ.	固定費調整		
	期末仕掛品固定製造原価	(　　)	
	期末製品固定製造原価	(　　)	(　　)
	合　計		(　　)
	期首仕掛品固定製造原価	(　　)	
	期首製品固定製造原価	(　　)	(　　)
	全部原価計算の営業利益		(　　)

固定費調整

○ポイント○
直接原価計算では、固定費を製品原価に含めずに計算するため、
変動製造原価と固定製造原価を分けてBOXを作る。

《問題》
次の資料に基づいて、直接原価計算方式の損益計算書を作成し、
固定費調整まで行いなさい。なお、期末仕掛品原価および
期末製品原価の計算は先入先出法によること。

1. 生産データ

			<換算量>
期首仕掛品	500 コ	(80%)→	400コ
当期投入	1,200 コ		1,000コ
合計	1,700 コ		1,400コ
期末仕掛品	600 コ	(50%)→	300コ
完成品	1,100 コ		1,100コ

・(　　)内の数値は
加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の
始点で投入している。

2. 販売データ

期首製品	200 コ
当期完成品	1,100 コ
合計	1,300 コ
期末製品	300 コ
当期販売品	1,000 コ

※製品1コあたりの販売単価は180円である。

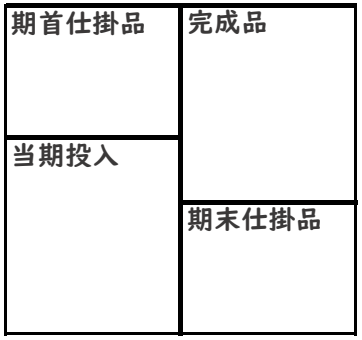
3. 原価データ

	期首仕掛品原価	当期製造費用	期首製品棚卸高
直接材料費	21,000円	48,000円	10,000円
変動加工費	17,800円	36,000円	6,000円
固定加工費	7,300円	21,000円	4,000円

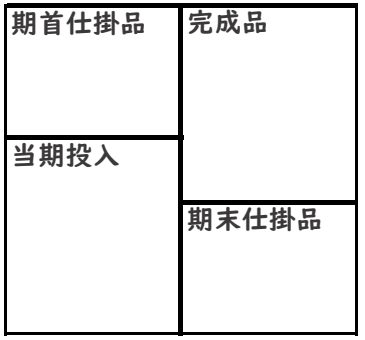
4. 販売費・一般管理費データ

・変動販売費：製品1コあたり20円
・固定販売費（期間総額）：4,000円
・一般管理費（すべて固定費）：5,000円

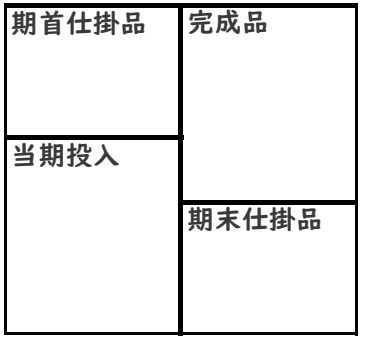
仕掛品（直接材料費）



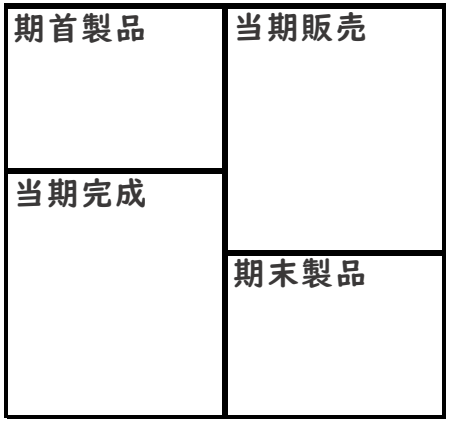
仕掛品（変動加工費）



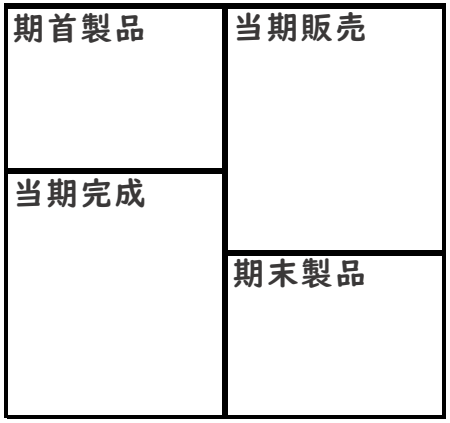
仕掛品（固定加工費）



製品（直/材・変/加）



製品（固/加）



固定費調整

《問題》

次の資料に基づいて、直接原価計算方式の損益計算書を作成し、固定費調整まで行いなさい。なお、期末仕掛品原価および期末製品原価の計算は先入先出法によること。

1. 生産データ

			<換算量>
期首仕掛品	500 コ	(80%)→	400コ
当期投入	1,200 コ		1,000コ
合計	1,700 コ		1,400コ
期末仕掛品	600 コ	(50%)→	300コ
完成品	1,100 コ		1,100コ

・(　　)内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2. 販売データ

期首製品	200 コ
当期完成品	1,100 コ
合計	1,300 コ
期末製品	300 コ
当期販売品	1,000 コ

・製品1コあたりの販売単価は180円である。

直接原価計算の営業利益（P/L計上額）
－ 期首仕掛品（固定製造原価）
－ 期首製品　（固定製造原価）
＋ 期末仕掛品（固定製造原価）
＋ 期末製品　（固定製造原価）
全部原価計算の営業利益（P/L計上額）

3. 原価データ

売上高：@180×1,000コ

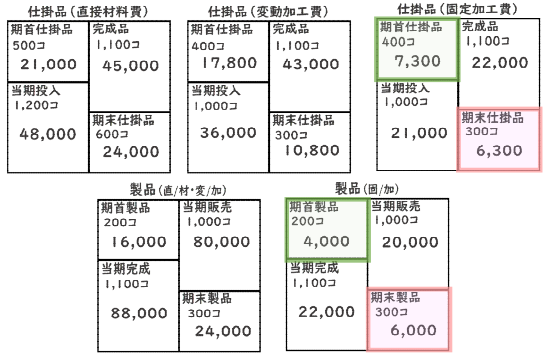
	期首仕掛品原価	当期製造費用	期首製品棚卸高
直接材料費	21,000円	48,000円	10,000円
変動加工費	17,800円	36,000円	6,000円
固定加工費	7,300円	21,000円	4,000円

4. 販売費・一般管理費データ

・変動販売費：製品1コあたり20円　　変動販売費：@20×1,000コ
・固定販売費（期間総額）：4,000円
・一般管理費（すべて固定費）：5,000円

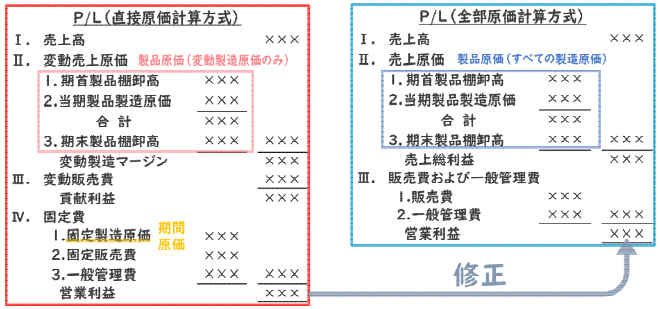
P/L（全部原価計算方式）

Ⅰ. 売上高		(180,000)
Ⅱ. 売上原価		
1.期首製品棚卸高	(20,000)	
2.当期製品製造原価	(110,000)	
合 計	(130,000)	
3.期末製品棚卸高	(30,000)	(100,000)
売上総利益		(80,000)
Ⅲ. 販売費および一般管理費		
1.販売費	(24,000)	
2.一般管理費	(5,000)	(29,000)
営業利益		(51,000)



P/L（直接原価計算方式）

Ⅰ. 売上高			( )
Ⅱ. 変動売上原価			
1.期首製品棚卸高		( )	
2.当期製品製造原価		( )	
合 計		( )	
3.期末製品棚卸高		( )	( )
(変動製造マージン)			( )
Ⅲ. 変動販売費			( )
(貢献利益)			( )
Ⅳ. 固定費			
1.固定製造原価		( )	
2.固定販売費		( )	
3.一般管理費		( )	( )
直接原価計算の営業利益			( )
Ⅳ. 固定費調整			
期末仕掛品固定製造原価		( )	
期末製品固定製造原価		( )	( )
合 計			( )
期首仕掛品固定製造原価		( )	
期首製品固定製造原価		( )	( )
全部原価計算の営業利益			( )



≪まとめ≫

- （　　）とは、直接原価計算の営業利益を全部原価計算の営業利益に修正する手続きをいう
- 両者に差額が生じる原因としては、直接原価計算方式の場合、固定製造原価を（　　）として処理するのに対して、全部原価計算方式では、（　　）として処理するためである。そのため、固定製造原価の棚卸資産の分差額が生じる
- ：全部原価計算方式の営業利益 ＝ 直接原価計算方式の営業利益 ＋ 期末棚卸資産に含まれる固定製造原価 － 期首棚卸資産に含まれる固定製造原価

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第30回の内容お疲れさまでした♪

《日商簿記2級》
ー工業簿記ー

31.本社工場会計

～工場会計を独立させた場合の記帳方法について～

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

本社工場会計

～本社工場会計とは？～

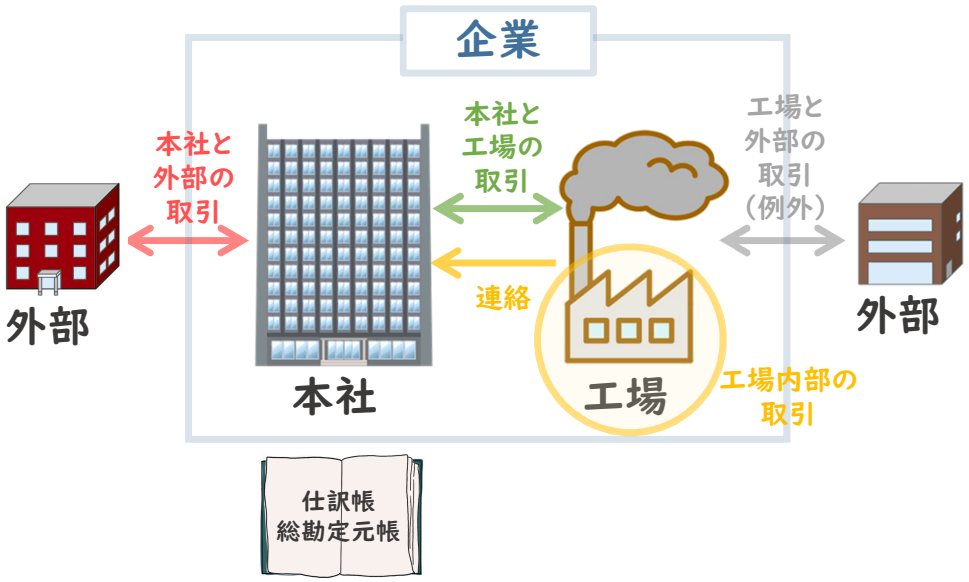
＜本社工場会計の概要を確認しよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

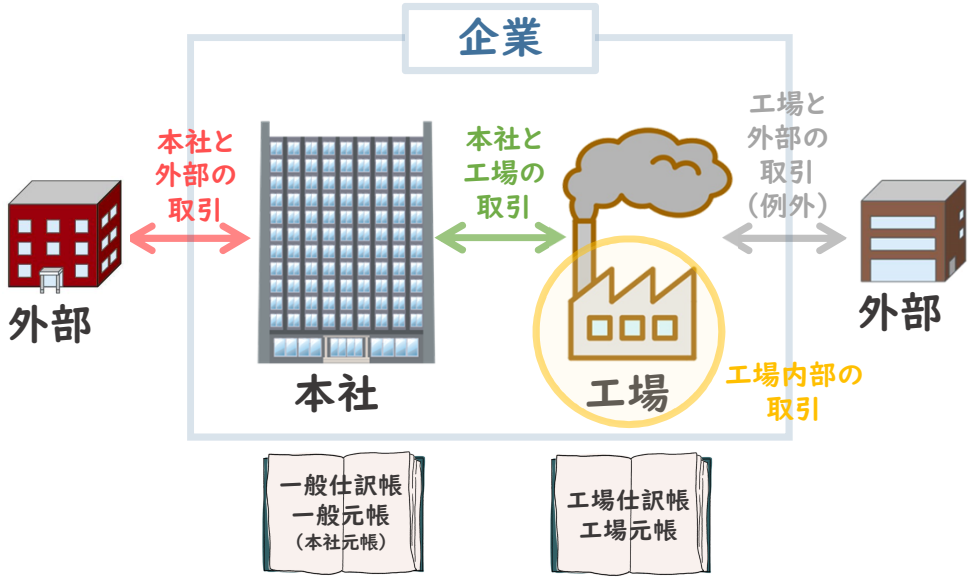
本社工場会計 ＝工場会計の独立

・本社工場会計とは、本社だけですべての取引を記帳するのではなく、工場の（　　）活動に関する取引は工場側でも記帳できるように帳簿を設けて、本社と工場の会計を区別して記帳する方法をいう。
・これは、会社の規模が大きくなり、本社は都心部に、工場は地方や海外などの遠隔地に移す場合に、地理的な問題で会計業務を煩雑しないなどの理由で用いられる。
・なお、本社だけで記帳を行う場合（工場会計独立前）の「仕訳帳」・「総勘定元帳」は、本社工場会計（工場会計独立後）においては、仕訳帳が（　　）に、総勘定元帳は（　　）または（　　）に名称が変わる。そして、工場側で新たに設ける仕訳帳は（　　）、総勘定元帳は（　　）という。

<工場会計独立前>



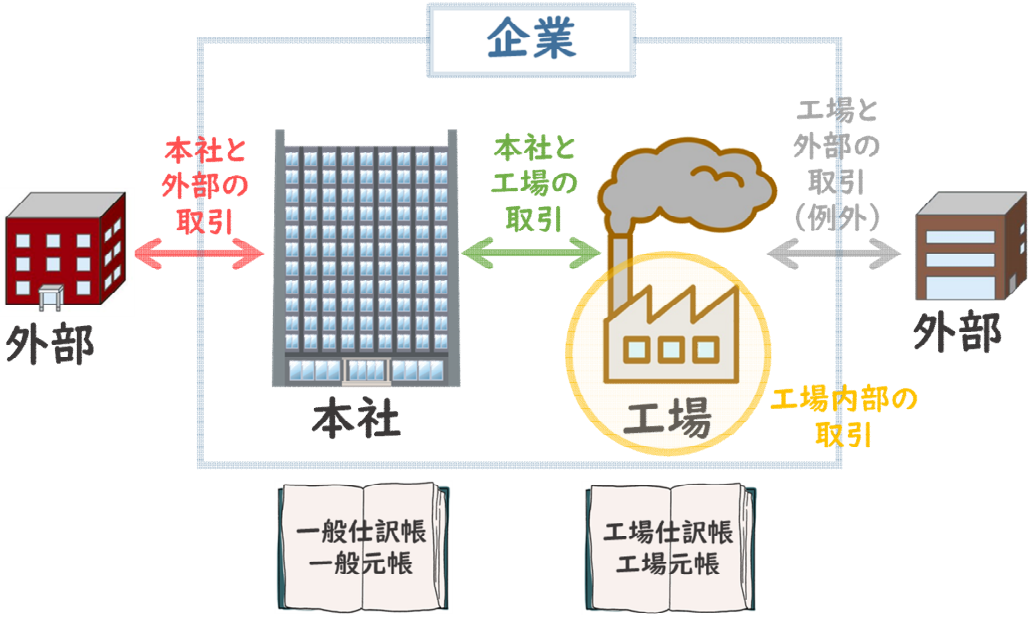
<工場会計独立後>



本社工場会計

●勘定科目の設定について●
勘定科目の設定は、基本的に製造活動に関するものを「工場側（工場元帳）」に、販売・管理に関するものを「本社側（一般元帳）」に設定するが、設定の仕方（「製品勘定」はどちらに設けるかなど）は各企業で異なる。つまり、問題の指示に従って柔軟に対応すること！

＜本社工場会計の取引パターンについて＞



［主に設定する勘定］
・現金
・売掛金
・買掛金
・売上
・売上原価
・製品※
・工場

［主に設定する勘定］
・材料
・労務費
・経費（諸勘定）
・仕掛品
・製造間接費
・製品※
・本社

①.本社と外部（本社のみ）の取引

・工場会計独立前と同様に、本社側（一般仕訳帳・一般元帳）にのみ記帳（仕訳・勘定記入）を行う。
・工場側（工場仕訳帳・工場元帳）の取引は一切ない。

②.本社と工場（本社・工場間）の取引

・本社（一般仕訳帳・一般元帳）と工場（工場仕訳帳・工場元帳）の両方に記帳を行う。
・この取引の際には、本社・工場間の取引を記録するための勘定として、本社側には（　　）勘定を、工場側には（　　）勘定を用いて処理を行っていく。なお、これらの勘定は、特殊な性質を持つ（　　）に該当する。

③.工場内部（工場のみ）の取引

・工場側（工場仕訳帳・工場元帳）にのみ記帳を行う。
・本社側（一般仕訳帳・一般元帳）の取引は一切ない。

○用語○
・照合勘定…（本社・工場間の）貸借関係を処理するための勘定。
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する。
※商業簿記の本支店会計（本店勘定・支店勘定）や、工業簿記の本社工場会計（本社勘定・工場勘定）で用いられる。

本社工場会計

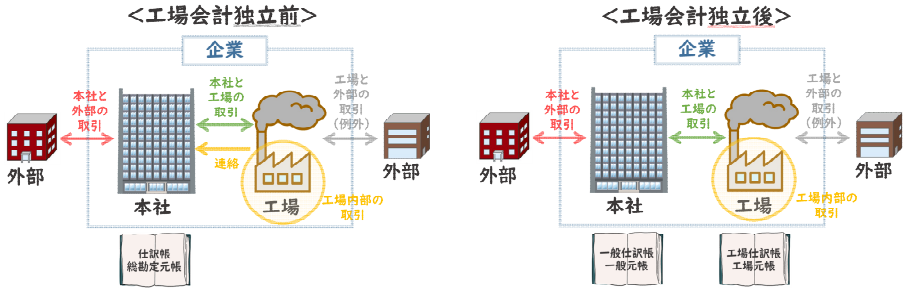
～問題解説～

＜仕訳問題を用いて理解を深めよう！＞

ミッチ「ボキいろは」https://bokiiroha.com

本社工場会計

○用語○
照合勘定…（本社・工場間の）貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する



《問題》

当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

＜本社・工場で設定している勘定科目＞

本社側：現金・売掛金・買掛金・減価償却累計額・預り金
売上・売上原価・工場

工場側：材料・仕掛品・製造間接費・製品・賃金・本社

1. 材料100,000円を掛けで仕入れ、工場の倉庫に受け入れた。
2. 工場従業員の賃金200,000円を預り金10,000を差し引き、残額を現金で支給した。
3. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。
4. 直接材料費70,000円と間接材料費30,000円を消費した。
5. 直接労務費160,000円と間接労務費40,000円を消費した。
6. 製造間接費300,000円を各製造指図書に配賦した。
7. 製品400,000円が完成し、工場の倉庫に保管した。
8. 本社は、製品250,000円（製造原価：200,000円）を掛で販売し、工場の倉庫から直送させた。

1．独立前：

本社側：

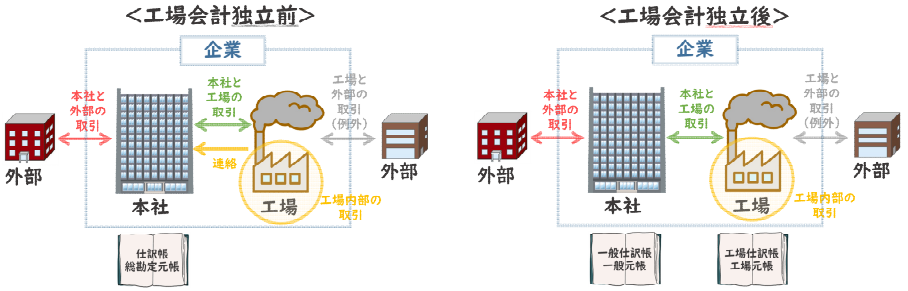
工場側：

○ポイント○

・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳（企業全体の仕訳）を考え、設定されている勘定科目をもとに 本社側・工場側の仕訳を行っていく。
・特に、製品勘定や（設備・機械）減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。

本社工場会計

○用語○
照合勘定…（本社・工場間の）貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する



《問題》
当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

＜本社・工場で設定している勘定科目＞
本社側：現金・売掛金・買掛金・減価償却累計額・預り金
売上・売上原価・工場
工場側：材料・仕掛品・製造間接費・製品・賃金・本社

1. 材料100,000円を掛けで仕入れ、工場の倉庫に受け入れた。
2. 工場従業員の賃金200,000円を預り金10,000を差し引き、残額を現金で支給した。
3. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。
4. 直接材料費70,000円と間接材料費30,000円を消費した。
5. 直接労務費160,000円と間接労務費40,000円を消費した。
6. 製造間接費300,000円を各製造指図書に配賦した。
7. 製品400,000円が完成し、工場の倉庫に保管した。
8. 本社は、製品250,000円（製造原価：200,000円）を掛で販売し、工場の倉庫から直送させた。

2. 独立前：

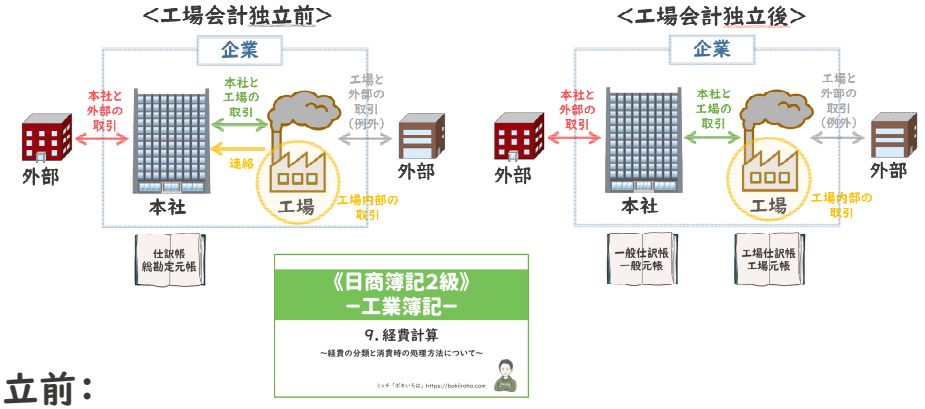
本社側：

工場側：

○ポイント○
・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳（企業全体の仕訳）を考え、設定されている勘定科目をもとに 本社側・工場側の仕訳を行っていく。
・特に、製品勘定や（設備・機械）減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。

本社工場会計

○用語○
照合勘定…（本社・工場間の）貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する



《日商簿記2級》
－工業簿記－
9. 経費計算
～経費の分類と消費時の処理方法について～

《問題》
当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

＜本社・工場で設定している勘定科目＞
本社側：現金・売掛金・買掛金・減価償却累計額・預り金
売上・売上原価・工場
工場側：材料・仕掛品・製造間接費・製品・賃金・本社

1. 材料100,000円を掛けで仕入れ、工場の倉庫に受け入れた。
2. 工場従業員の賃金200,000円を預り金10,000を差し引き、残額を現金で支給した。
3. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。
4. 直接材料費70,000円と間接材料費30,000円を消費した。
5. 直接労務費160,000円と間接労務費40,000円を消費した。
6. 製造間接費300,000円を各製造指図書に配賦した。
7. 製品400,000円が完成し、工場の倉庫に保管した。
8. 本社は、製品250,000円（製造原価：200,000円）を掛で販売し、工場の倉庫から直送させた。

3. 独立前：

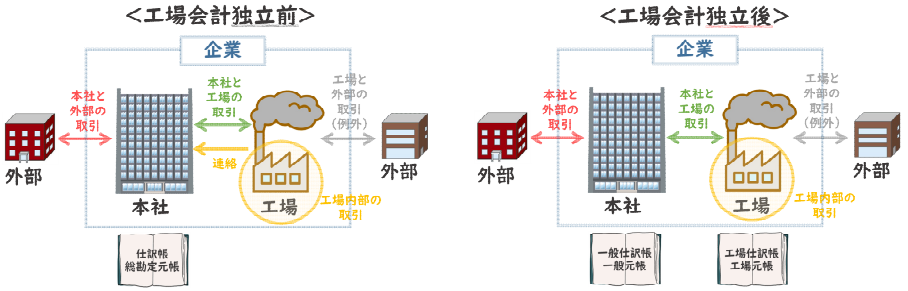
本社側：

工場側：

○ポイント○
・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳（企業全体の仕訳）を考え、設定されている勘定科目をもとに 本社側・工場側の仕訳を行っていく。
・特に、製品勘定や（設備・機械）減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。

本社工場会計

○用語○
照合勘定…（本社・工場間の）貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する



《問題》
当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

●参考●
「減価償却累計額」勘定が工場側に設定されている場合

＜本社・工場で設定している勘定科目＞
本社側：工場
工場側：製造間接費・減価償却累計額・本社

3-1. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。

3. 独立前：

本社側：

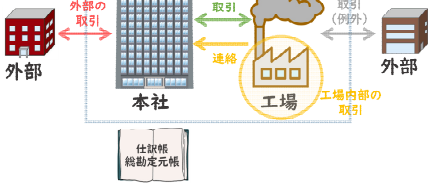
工場側：

○ポイント○
・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳（企業全体の仕訳）を考え、設定されている勘定科目をもとに 本社側・工場側の仕訳を行っていく。
・特に、製品勘定や（設備・機械）減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。

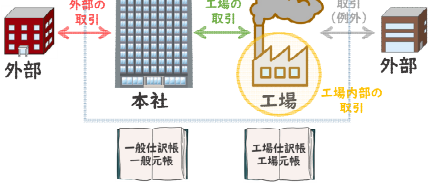
本社工場会計

○用語○
照合勘定…（本社・工場間の）貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する

<工場会計独立前>



<工場会計独立後>



《問題》

当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

＜本社・工場で設定している勘定科目＞

本社側：現金・売掛金・買掛金・減価償却累計額・預り金
売上・売上原価・工場

工場側：材料・仕掛品・製造間接費・製品・賃金・本社

1. 材料100,000円を掛けで仕入れ、工場の倉庫に受け入れた。
2. 工場従業員の賃金200,000円を預り金10,000を差し引き、残額を現金で支給した。
3. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。
4. 直接材料費70,000円と間接材料費30,000円を消費した。
5. 直接労務費160,000円と間接労務費40,000円を消費した。
6. 製造間接費300,000円を各製造指図書に配賦した。
7. 製品400,000円が完成し、工場の倉庫に保管した。
8. 本社は、製品250,000円（製造原価：200,000円）を掛で販売し、工場の倉庫から直送させた。

4.　独立前：

本社側：

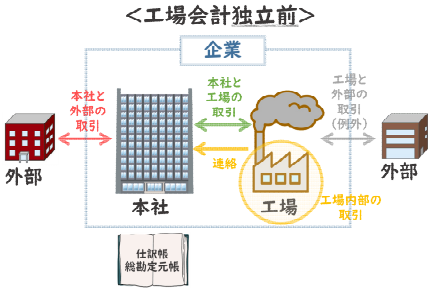
工場側：

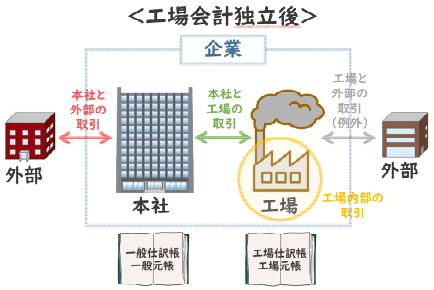
○ポイント○

・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳（企業全体の仕訳）を考え、設定されている勘定科目をもとに 本社側・工場側の仕訳を行っていく。
・特に、製品勘定や（設備・機械）減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。

本社工場会計

○用語○
照合勘定…（本社・工場間の）貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する





《問題》
当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

＜本社・工場で設定している勘定科目＞
本社側：現金・売掛金・買掛金・減価償却累計額・預り金
売上・売上原価・工場
工場側：材料・仕掛品・製造間接費・製品・賃金・本社

1. 材料100,000円を掛けで仕入れ、工場の倉庫に受け入れた。
2. 工場従業員の賃金200,000円を預り金10,000を差し引き、残額を現金で支給した。
3. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。
4. 直接材料費70,000円と間接材料費30,000円を消費した。
5. 直接労務費160,000円と間接労務費40,000円を消費した。
6. 製造間接費300,000円を各製造指図書に配賦した。
7. 製品400,000円が完成し、工場の倉庫に保管した。
8. 本社は、製品250,000円（製造原価：200,000円）を掛で販売し、工場の倉庫から直送させた。

5.　独立前：

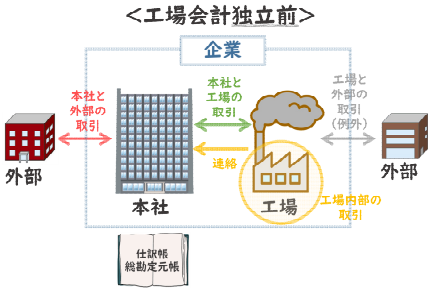
本社側：

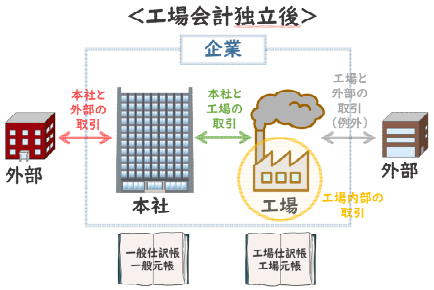
工場側：

○ポイント○
・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳（企業全体の仕訳）を考え、設定されている勘定科目をもとに 本社側・工場側の仕訳を行っていく。
・特に、製品勘定や（設備・機械）減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。

本社工場会計

○用語○
照合勘定…（本社・工場間の）貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する





《問題》
当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

＜本社・工場で設定している勘定科目＞
本社側：現金・売掛金・買掛金・減価償却累計額・預り金
売上・売上原価・工場
工場側：材料・仕掛品・製造間接費・製品・賃金・本社

1. 材料100,000円を掛けで仕入れ、工場の倉庫に受け入れた。
2. 工場従業員の賃金200,000円を預り金10,000を差し引き、残額を現金で支給した。
3. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。
4. 直接材料費70,000円と間接材料費30,000円を消費した。
5. 直接労務費160,000円と間接労務費40,000円を消費した。
6. 製造間接費300,000円を各製造指図書に配賦した。
7. 製品400,000円が完成し、工場の倉庫に保管した。
8. 本社は、製品250,000円（製造原価：200,000円）を掛で販売し、工場の倉庫から直送させた。

6. 独立前：

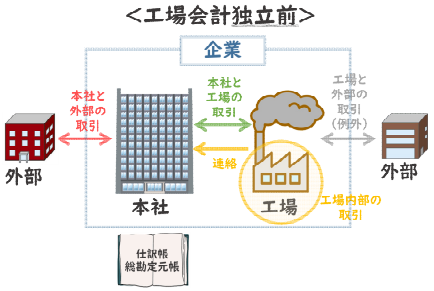
本社側：

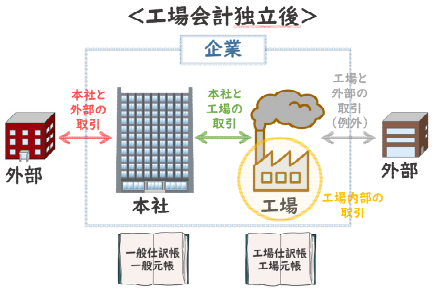
工場側：

○ポイント○
・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳（企業全体の仕訳）を考え、設定されている勘定科目をもとに 本社側・工場側の仕訳を行っていく。
・特に、製品勘定や（設備・機械）減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。

本社工場会計

○用語○
照合勘定…（本社・工場間の）貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する





《問題》

当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

＜本社・工場で設定している勘定科目＞

本社側：現金・売掛金・買掛金・減価償却累計額・預り金
売上・売上原価・工場
工場側：材料・仕掛品・製造間接費・製品・賃金・本社

1. 材料100,000円を掛けで仕入れ、工場の倉庫に受け入れた。
2. 工場従業員の賃金200,000円を預り金10,000を差し引き、残額を現金で支給した。
3. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。
4. 直接材料費70,000円と間接材料費30,000円を消費した。
5. 直接労務費160,000円と間接労務費40,000円を消費した。
6. 製造間接費300,000円を各製造指図書に配賦した。
7. 製品400,000円が完成し、工場の倉庫に保管した。
8. 本社は、製品250,000円（製造原価：200,000円）を掛で販売し、工場の倉庫から直送させた。

7.　独立前：

本社側：

工場側：

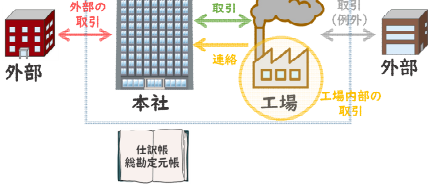
○ポイント○

・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳（企業全体の仕訳）を考え、設定されている勘定科目をもとに 本社側・工場側の仕訳を行っていく。
・特に、製品勘定や（設備・機械）減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。

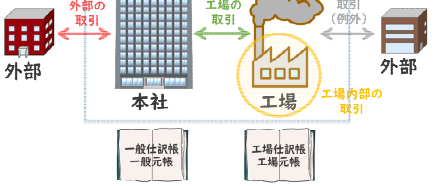
本社工場会計

○用語○
照合勘定…（本社・工場間の）貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する

<工場会計独立前>



<工場会計独立後>



《問題》
当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

●参考●
「製品」勘定が本社側に設定されている場合

＜本社・工場で設定している勘定科目＞
本社側：製品・工場
工場側：仕掛品・本社

7-1. 製品400,000円が完成し、本社の倉庫へ送付した。

7. 独立前：

本社側：

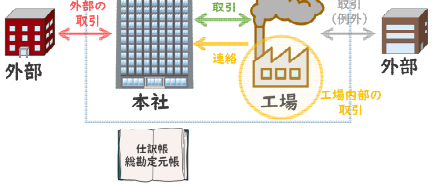
工場側：

○ポイント○
・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳（企業全体の仕訳）を考え、設定されている勘定科目をもとに 本社側・工場側の仕訳を行っていく。
・特に、製品勘定や（設備・機械）減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。

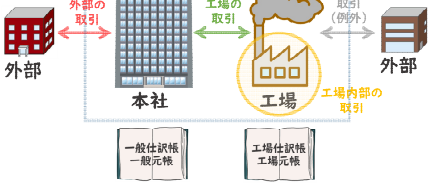
本社工場会計

○用語○
照合勘定…（本社・工場間の）貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する

<工場会計独立前>



<工場会計独立後>



《問題》

当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

＜本社・工場で設定している勘定科目＞

本社側：現金・売掛金・買掛金・減価償却累計額・預り金
売上・売上原価・工場

工場側：材料・仕掛品・製造間接費・製品・賃金・本社

1. 材料100,000円を掛けで仕入れ、工場の倉庫に受け入れた。
2. 工場従業員の賃金200,000円を預り金10,000を差し引き、残額を現金で支給した。
3. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。
4. 直接材料費70,000円と間接材料費30,000円を消費した。
5. 直接労務費160,000円と間接労務費40,000円を消費した。
6. 製造間接費300,000円を各製造指図書に配賦した。
7. 製品400,000円が完成し、工場の倉庫に保管した。
8. 本社は、製品250,000円（製造原価：200,000円）を掛で販売し、工場の倉庫から直送させた。

8.　独立前：

本社側：

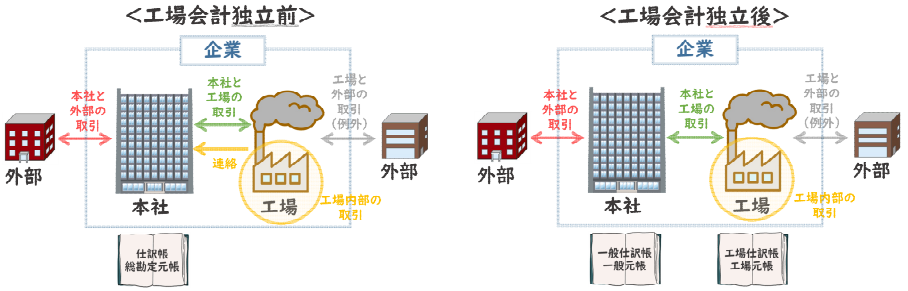
工場側：

○ポイント○

・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳（企業全体の仕訳）を考え、設定されている勘定科目をもとに 本社側・工場側の仕訳を行っていく。
・特に、製品勘定や（設備・機械）減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。

本社工場会計

○用語○
照合勘定…（本社・工場間の）貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する



《問題》
当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

●参考●
「製品」勘定が本社側に設定されている場合

＜本社・工場で設定している勘定科目＞
本社側：売掛金・製品・売上・売上原価・工場
工場側：仕掛品・本社

8-1. 本社は、製品250,000円（製造原価：200,000円）を掛で販売した。

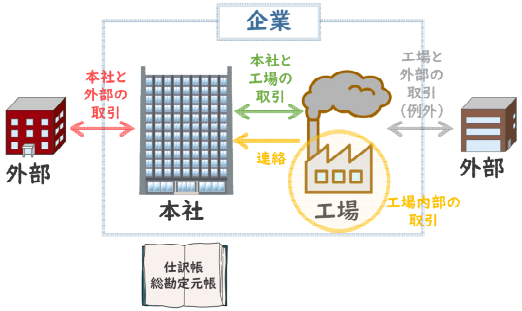
8. 独立前：

本社側：

工場側：

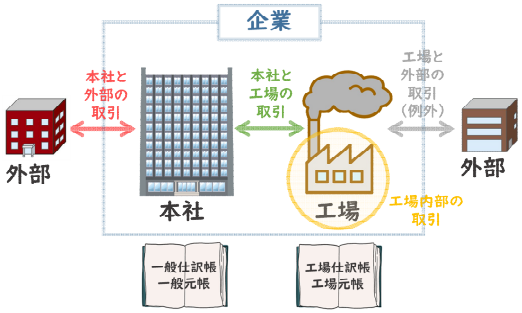
○ポイント○
・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳（企業全体の仕訳）を考え、設定されている勘定科目をもとに 本社側・工場側の仕訳を行っていく。
・特に、製品勘定や（設備・機械）減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。

<工場会計独立前>



≪まとめ≫

<工場会計独立後>



- 本社工場会計とは、本社の会計から工場の会計を独立させて、本社・工場の会計を分担して記帳する方法をいう
- 取引は「①.本社のみの取引、②.本社・工場間の取引、③.工場のみの取引」がある
- 本社・工場間の取引を行う場合、これらを記録するための勘定として、本社側には工場勘定を、工場側には本社勘定といった（　　）を用いる
- 照合勘定とは、貸借関係を処理するための勘定で、残高は貸借逆で必ず（　　）する
- 仕訳の際は、本社側・工場側で設定されている勘定科目を必ず確認すること

※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、
ぜひ、高評価をお願いします❣

第31回すべての内容お疲れさまでした♪